



PAT-LIST-GLS Ver3.0 *For Windows*

ユーザーズガイド

日本特許調査・解析機能

改訂 2021年 10月 31日

株式会社 レイテック

Windows 8、Windows 8.1、Windows10、Microsoft Office、Microsoft Excel は、Microsoft 社の商標です。

目次

はじめに

- ごあいさつ
- 本書の構成について

第1章 本ソフトウェアの概要

- 1.1 本ソフトウェアの構成 2
- 1.2 動作環境 2
- 1.3 各特許調査・解析機能の画面 3
- 1.5 注意事項 4

第2章 インストールガイド

- 2.1 システム管理者権限の確認 6
- 2.2 セキュリティソフトウェアの確認 8
- 2.3 PAT-LIST-GLS のインストール 8
 - 2.3.1 ダウンロードプログラムからのインストール 8
 - 2.3.2 CD-ROM からのインストール 8
 - 2.3.3 インストール 9
- 2.4 Excel のセキュリティ設定 12
 - 2.4.1 Excel 2013 - 2019 の場合 12
- 2.5 PAT-LIST-GLS のアンインストール 15

第3章 起動方法

- 3.1 デスクトップ ショートカットアイコンによる起動 17
- 3.2 スタートメニューからの起動 18
- 3.3 PAT-LIST 形式ファイルのアイコンによる起動 18

第4章 初期画面と PAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面

- 4.1 初期画面の構成 19
- 4.2 メニューの構成 20
 - 4.2.1 「ファイル」メニュー 20
 - 4.2.2 「編集」メニュー 20
 - 4.2.3 「表示」メニュー 20
 - 4.2.4 「データ操作」メニュー 21
 - 4.2.5 「ツール」メニュー 21
 - 4.2.6 「ダウンロード」メニュー 21
 - 4.2.7 「ウィンドウ」メニュー 21
 - 4.2.8 「ヘルプ」メニュー 21
- 4.3 ツールバーの構成 22
- 4.4 TPL ファイルを開いた後の画面 23
- 4.5 各国特許調査・解析機能の切替タブ 23
- 4.6 日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の画面 24

第5章 外部データ取込み

- 5.1 取込み対象の外部データ 25
- 5.2 特許庁 ROM データの取込み 25
- 5.3 CSV データの取込み 27
 - 5.3.1 CSV データ取込み 27
 - 5.3.2 項目対応表の登録 34
 - 5.3.3 項目対応表の呼出 34
 - 5.3.4 項目対応表の削除 37
- 5.4 PAT-LIST-JPS データの取込み 38
- 5.5 PAT-LIST CSV データの取込み 40
 - 5.5.1 PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力方法 40
 - 5.5.2 PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法 45

第6章 閲覧画面の操作ガイド

6.1	閲覧画面の表示方法	47
6.2	閲覧画面の構成	47
6.2.1	テキスト・図面表示領域	48
6.2.2	フロント頁	49
6.2.2.1	テキスト表示部	50
6.2.2.2	図面表示部	52
6.2.3	全文	55
6.2.4	審査&登録	56
6.2.5	審判	56
6.2.6	他の項目	57
6.2.7	備考領域	58
6.3	ツールバーのボタン	59
6.4	ファイルを開く	60
6.5	データファイルの更新	60
6.6	全文・全図ダウンロード	62
6.7	並べ替え	65
6.7.1	「データ操作」画面の表示方法	65
6.7.2	「データ操作」画面の詳細	66
6.7.3	並べ替えの操作方法	70
6.7.4	並べ替え式の登録・呼出	72
6.8	検索	73
6.8.1	検索画面の詳細	73
6.8.2	「データ操作」画面の詳細	73
6.8.3	検索方法	80
6.8.4	検索文字欄の入力方法	82
6.8.5	検索式の登録・呼出	83
6.8.6	検索したデータの抽出	83
6.9	備考欄	84
6.9.1	備考欄の入力方法	84
6.9.2	備考欄登録データの機能	99
6.9.3	備考入力画面表示頁と PAT-LIST 表示頁の連動機能	101
6.10	しおり機能	102
6.11	全文公報の閲覧機能	103
6.12	辞書の編集	104
6.12.1	取込辞書の編集	104
6.12.2	取除辞書の編集	105
6.12.3	取込・取除辞書の CSV 出力と取込	106
6.12.4	ユーザー辞書の追加/削除	108
6.13	TPL 設定式の抽出・取込	110
6.13.1	ユーザー情報の書出し	110
6.13.2	ユーザー情報の取込	111
第7章 表示画面の操作ガイド		
7.1	表示画面を開く	113
7.2	ツールバーのボタンの配置と帳票タブ	113
7.3	帳票の種類とツールバーのボタン機能	114
7.4	帳票形式	114
7.5	PL-User の書式設定	115
7.5.1	書式レイアウト構成	115
7.5.2	機能一覧	115
7.5.3	新規の帳票を作成する	117

7.6	閲覧画面との連携機能	119
7.7	印刷と出力	120
7.8	帳票の Excel 出力	120
第 8 章 マップ画面の操作ガイド		
8.1	マップ画面を開く	123
8.2	マップ作成手順	124
8.3	ツールバーのボタン配置とその機能	124
8.4	マップ操作ダイアログボックス	126
8.5	PAT-MAP(マップ自動作成)機能	128
8.5.1	データ操作ダイアログボックスの表示	128
8.5.2	データ操作ダイアログボックスの表示	130
8.6	マップ軸の設定・実行	131
8.6.1	マップ軸の設定	131
8.6.2	軸項目への追加結合機能	135
8.6.3	キーワード切出し方法	136
8.6.4	切り出されたキーワードの辞書登録	138
8.6.5	マップ軸選択項目の検索機能とマーカー機能	139
8.6.6	軸項目の表示と実行	141
8.7	マトリックスとグラフの表示	142
8.7.1	マトリックス表の表示	142
8.7.2	グラフ表示	145
8.7.3	グラフ画面のボタンと機能の説明	146
8.7.4	シートの追加	147
8.8	グラフ編集機能	148
8.8.1	泡グラフの調整	149
8.8.2	編集したグラフの保存機能	149
8.9	2次マップ作成機能	150
8.10	グラフの書き出し	151
8.11	特殊マップ	153
8.11.1	3D 泡グラフ	153
8.11.2	マルチテーブル	155
8.11.3	マルチマップ	158
8.11.4	魚の骨	162
8.11.5	相関マップ	167
8.11.6	独自技術マップ	169
第 9 章 マルチ画面の操作ガイド		
9.1	マルチ画面を開く	171
9.2	ツールバーのボタン配置	172
9.3	ツールバーのボタン機能	173
9.4	画面の初期表示について	174
9.5	画面内容変更機能	175
9.6	マルチ画面の拡大縮小表示切替機能	176
補足資料		
	資料 1: マップ画面の X(Y) 軸に選択可能な項目一覧	177
改訂履歴		

はじめに

ごあいさつ

この度は、当社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。

「PAT-LIST-GLS」は、日本、米国、欧州、中国などの特許情報を取り込み、調査・解析を行うためのソフトウェアです。特許情報を取り込み、PAT-LIST-GLS 形式ファイル(以後、TPL ファイルと略します)に変換すると、本ソフトウェアの機能を用いて、特許の様々な調査・解析が行えます。

本書は、「PAT-LIST-GLS」の、日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の操作方法について説明したものです。本書を読み進めながら本ソフトウェアを操作しますと、一通りの操作ができるようになるように記述しています。本書で使用している画像について、実際のソフトの画面と一部異なることがあります。

「PAT-LIST-GLS」の米国特許調査・解析機能(「US」タブ)、欧州特許調査・解析機能(「ES」、「EW」、「EC」タブ)、中国特許調査・解析機能(「CN」タブ)、統合特許調査・解析機能(「統合」タブ)の操作方法については、それぞれ別のユーザーズガイドをご用意しておりますので、そちらをご覧ください。



左のようなマークがある場合、重要な注意事項を記述しています。

本書の構成について

このマニュアルは、次に示す 9 つの章から構成されています。

第 1 章 本ソフトウェアの概要

この章では、本ソフトウェア全体の構成と画面について説明しています。

第 2 章 インストールガイド

この章では、インストールガイドについて説明しています。

第 3 章 起動方法

この章では、本ソフトウェアの起動方法について説明しています。

第 4 章 初期画面と PAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面

この章では、初期画面と PAT-LIST 形式ファイルを開いた直後の画面について説明しています。

第 5 章 外部データ取込み

この章では、本ソフトウェアにデータを取り込む方法について説明しています。

第 6 章 閲覧画面の操作ガイド

この章では、閲覧画面の操作について説明しています。

第 7 章 表示画面の操作ガイド

この章では、表示画面の操作について説明しています。

第 8 章 マップ画面の操作ガイド

この章では、マップ画面の操作について説明しています。

第 9 章 マルチマップの操作ガイド

この章では、マルチ画面の操作について説明しています。

第1章 本ソフトウェアの概要

本章では、本ソフトウェア全体の構成と画面について説明しています。

1.1 本ソフトウェアの構成

本ソフトウェアには、以下の機能が含まれています。本書では、2番目の日本特許調査・解析機能の使用方法に関して説明します。他の調査・解析機能に関しましては、それぞれ別のユーザーズガイドを用意しておりますので、そちらをご参照ください。

No	名称	説明
1	統合 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている各国特許を、特許ファミリーで関連付け、日本・米国・欧州（世界）・中国特許を1画面で閲覧できます。また、日本・米国・欧州（世界）・中国特許の帳票作成や特許マップ作成も可能です。
2	日本特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている日本特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。本書では、日本特許調査・解析機能の操作方法を説明します。
3	米国特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている米国特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。
4	欧州(世界)特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている欧州(世界)特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。Espacenet 用の「ES」、WPI/DWPI 用の「EW」、STN/CAPLUS 用の「EC」の3種類があります。
5	中国特許 調査・解析機能	PAT-LIST 形式ファイルに含まれている中国特許の閲覧・帳票作成・特許マップ作成が行えます。
6	シソーラス辞書 (オプション)	シソーラス辞書の作成および作成したシソーラス辞書を利用した特許マップ作成が行えるオプションです。

1.2 動作環境

OS	プロセッサ	ディスク容量	RAM
Windows 8/8.1 Windows 10	2GHz 以上の 32 ビット もしくは 64 ビット プロセッサを推奨	1GB 以上を推奨 ※インストールに必要な ディスク容量は約 200MB	2.0GB 以上を推奨
Microsoft Excel			
Excel 2013 から Excel 2019 まで対応			
ブラウザ			
Microsoft Internet Explorer 11 以上			

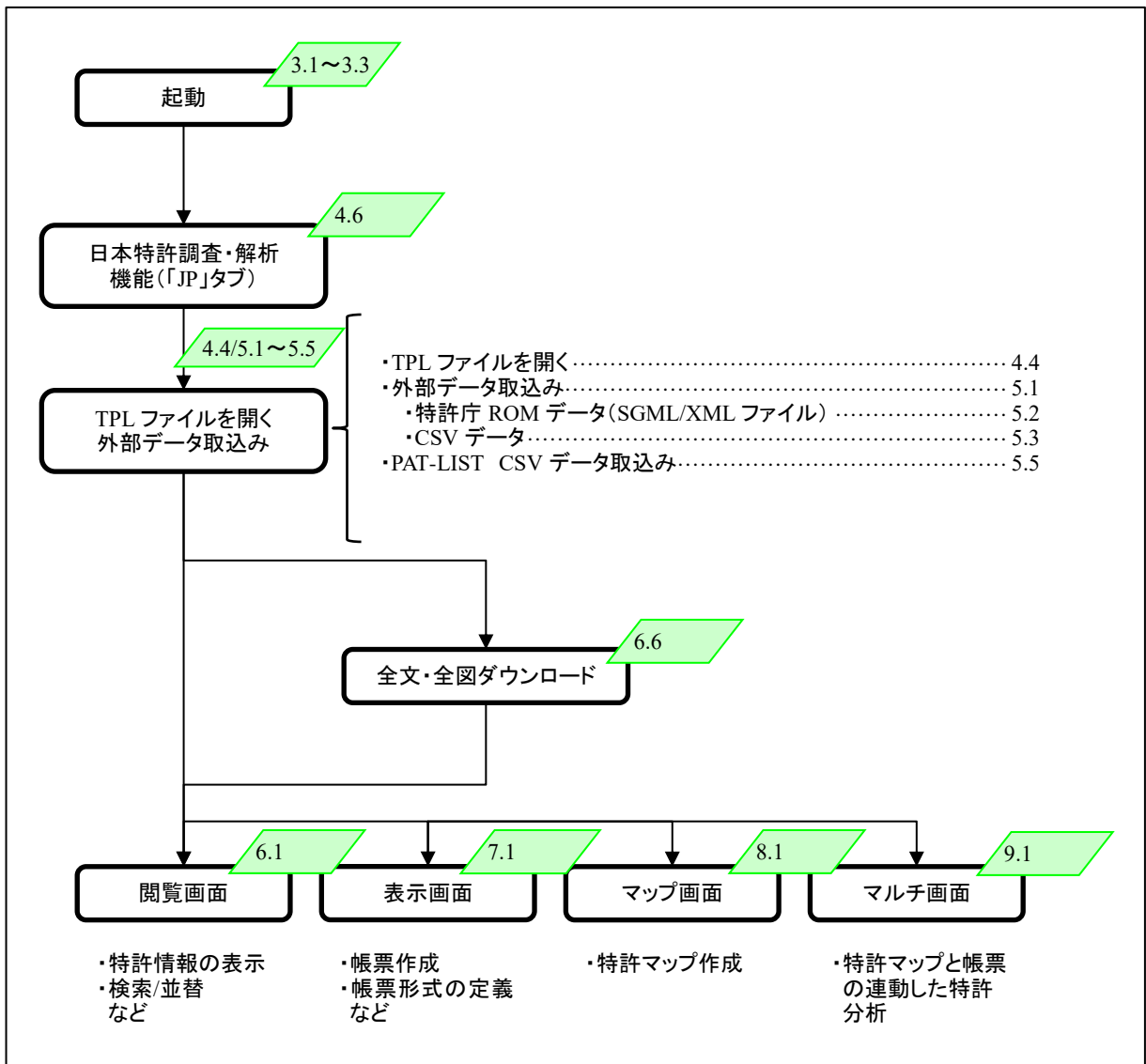
1.3 各特許調査・解析機能の画面

本ソフトウェアの各特許調査・解析機能には次の画面があります。

No	項目	説明
1	初期画面	本ソフトウェアの起動直後に表示される画面です。
2	閲覧画面	開いた TPL ファイルに含まれている特許文献を 1 文献ごとに閲覧できます。また特許文献の並び替えや検索なども行えます。
3	表示画面	特許文献リストの作成・表示・印刷・Excel 出力等を行えます。既定の帳票形式の他に、ユーザー帳票形式の作成も行えます。
4	マップ画面	XY 軸を設定して各種の特許マップを作成できます。
5	マルチ画面	画面を 2~4 分割し、特許マップと帳票を 1 画面に並べて表示できます。 (※ 統合タブにはマルチ画面はありません。)

1.4 処理の概要

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能の処理は、以下の通りです。平行四辺形の中には、参照節を表記しています。



1.5 注意事項

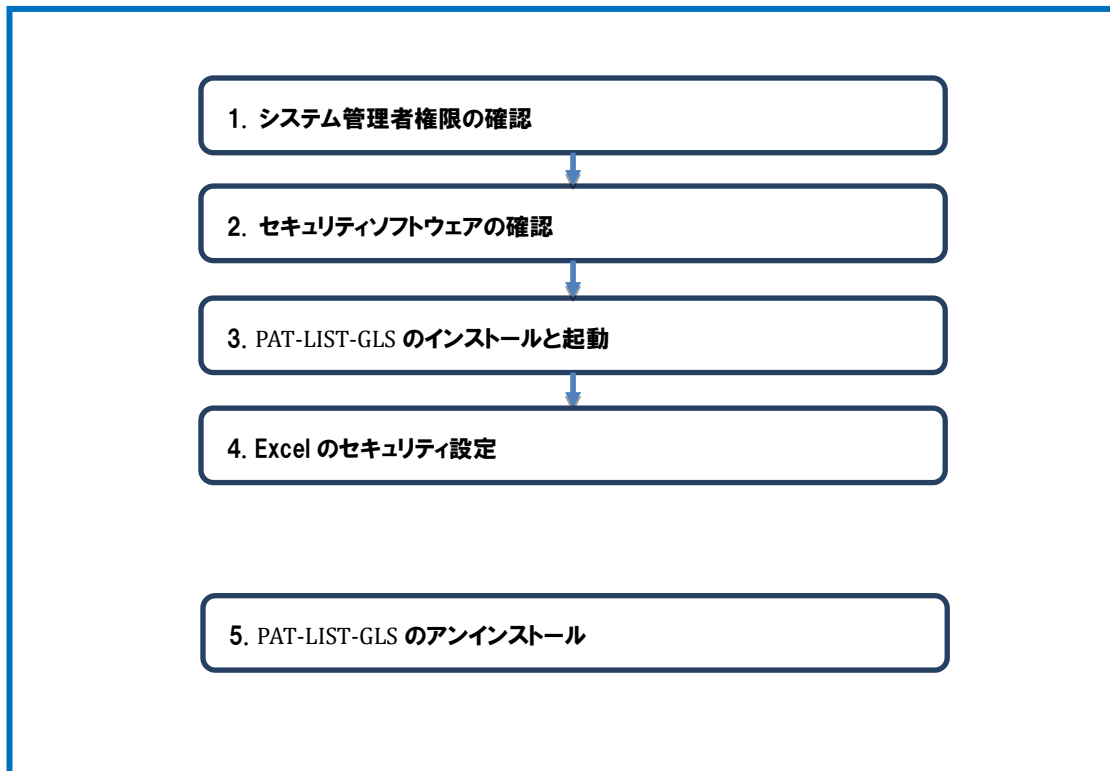
以下の場合には、お問い合わせに対する回答ができない場合があります。あらかじめご了承下さい。

1. 本製品で保証している動作環境以外でのお問い合わせ
2. 本製品とは直接関係のないハードウェア、または他社製品に関するお問い合わせ
3. 本製品を利用しているネットワーク管理や、ネットワーク機器の設定に関わる問題
4. サポート時間外のサポート、及びお客様への出張を伴うサポート

第2章 インストールガイド

本書では、PAT-LIST-GLS(以下、本ソフトと略します)を Windows 環境の PC にインストールして、起動するまでの手順について説明いたします。

インストール作業の全体の流れを下図に示します。



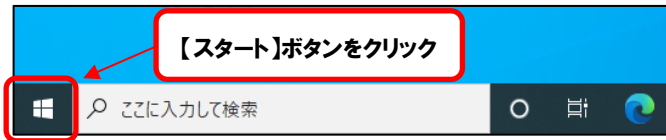
インストール作業の流れ

2.1 システム管理者権限の確認

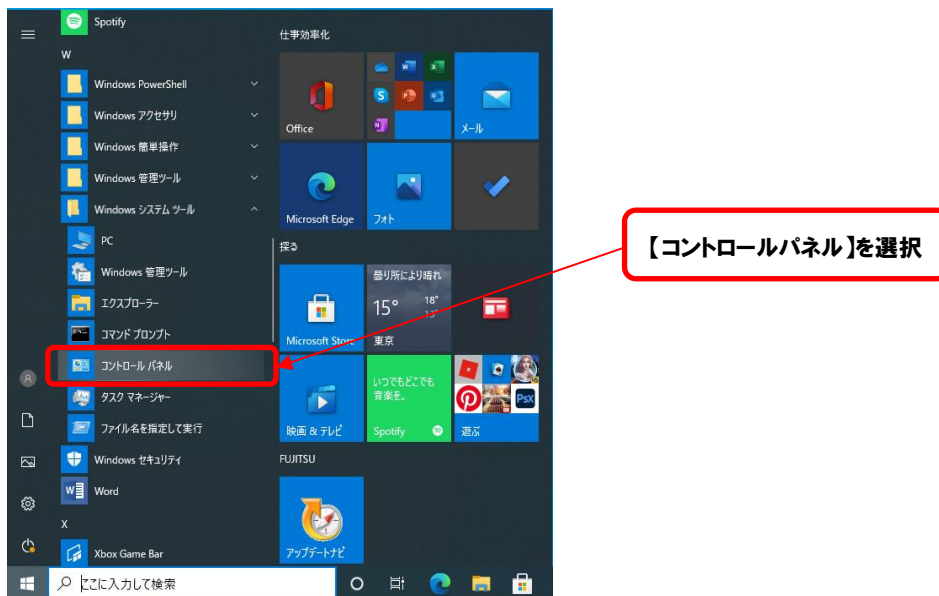
Windows PC にソフトウェアをインストールするには、Windows のシステム管理者権限が必要です。インストールを始める前に、Windows にログインしているユーザーアカウントにシステム管理者権限があるかを確認します。

システム管理者権限の確認は以下の手順で行います。

1. 画面右下にある  をクリックします。



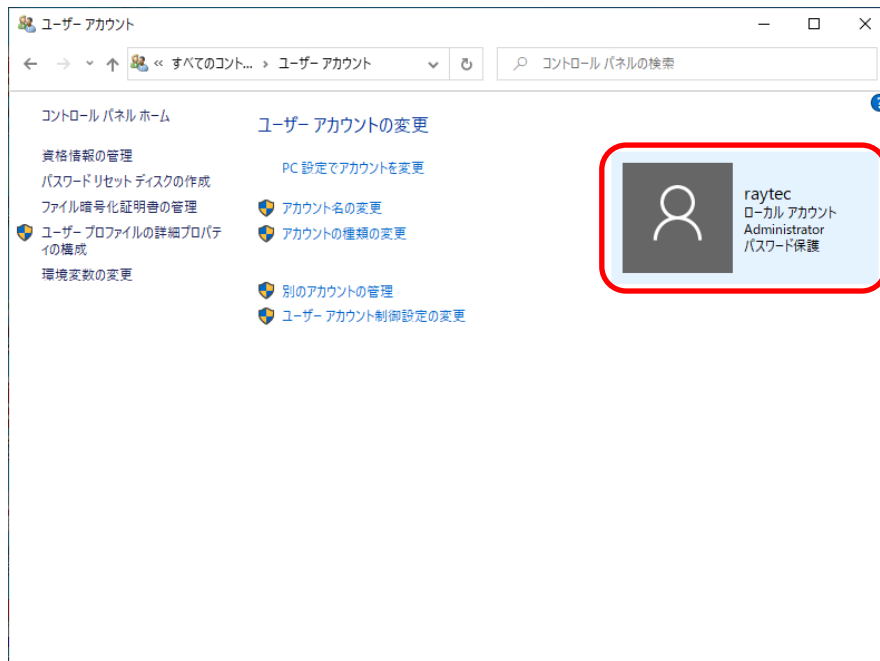
2.  コントロール パネル を選択します。



3. 「ユーザーアカウント」を選択します。



4. システム管理者権限がある場合はユーザー名の箇所に「Administrator」が表示されます。システム管理者権限がない場合はインストールできませんので、情報システム部門に依頼して下さい。



2.2 セキュリティソフトウェアの確認

セキュリティソフトウェアや、ウイルス対策ソフトウェアなどをインストールしている PC では、新規ソフトウェアのインストールを制限していて、PAT-LIST-GLS をインストールできない場合があります。インストール制限があるかどうか情報システム部門にお問い合わせ下さい。

2.3 PAT-LIST-GLS のインストール

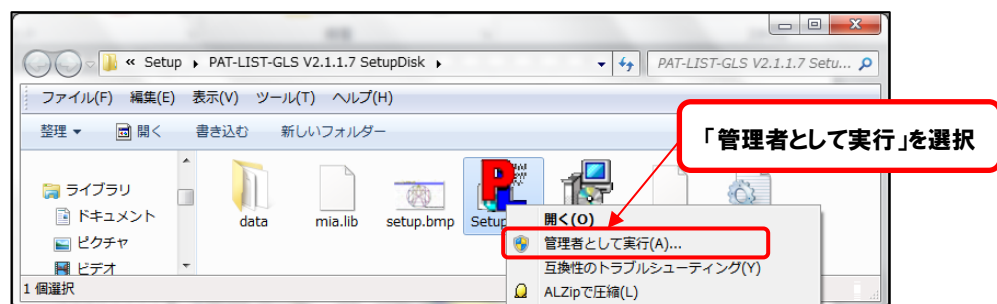
2.3.1 ダウンロードプログラムからのインストール

1. お客様向けダウンロードサイトより、PAT-LIST-GLS プログラム (SetupDiskGLS30XX.zip) をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを解凍します。
3. 作成したフォルダの中の Setup.exe を実行します。

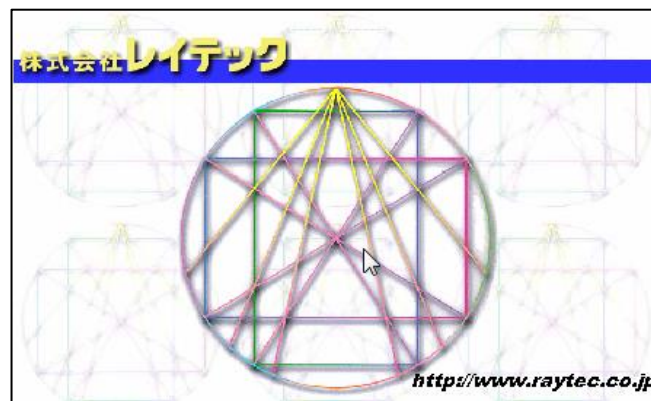
2.3.2 CD-ROM からのインストール

1. CD-ROM の SetupDiskGLSVer3.0.xx フォルダをローカルのパソコンへコピーします。
2. フォルダの中の Setup.exe を実行します。

※「システム管理者権限がありません。管理者権限にてログインして下さい。」等の警告メッセージが表示された場合は「SETUP.EXE」のアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「管理者として実行」を選択して、セットアップ・プログラムを実行します。



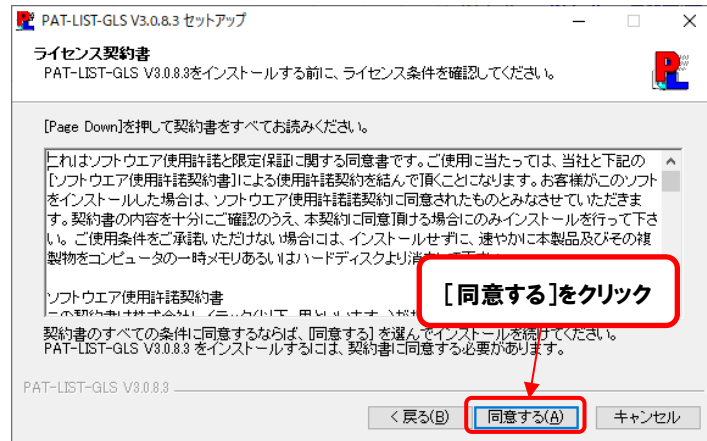
セットアップ・プログラムが起動すると、次のような画面が表示されます。



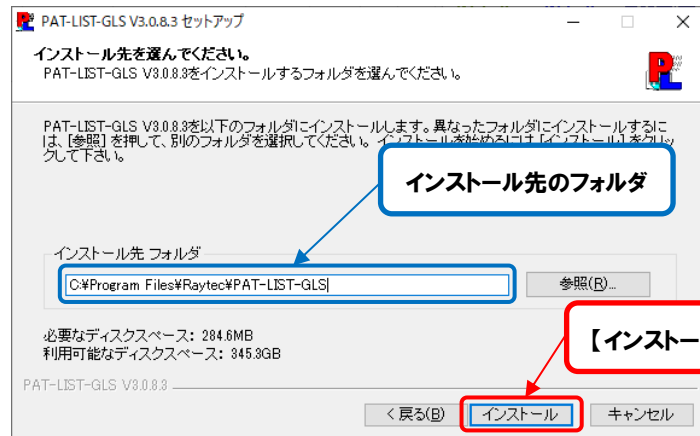
2.3.3 インストール

セットアップ・プログラムが起動した後、画面に表示されるメッセージに従って操作します。

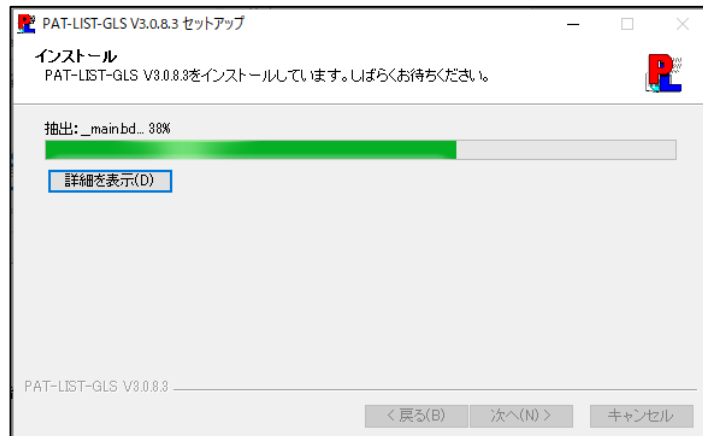
1. ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容をよく読んでいただき、ご同意していただける場合は、**同意する(A)** をクリックします。ご同意いただけない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中断し、本ソフトおよび本ソフトの複製物を PC のメモリおよびハードディスクから削除して下さい。



2. インストール先のフォルダを確認する画面が表示されます。デフォルトのフォルダで良ければ、**インストール** ボタンをクリックします。



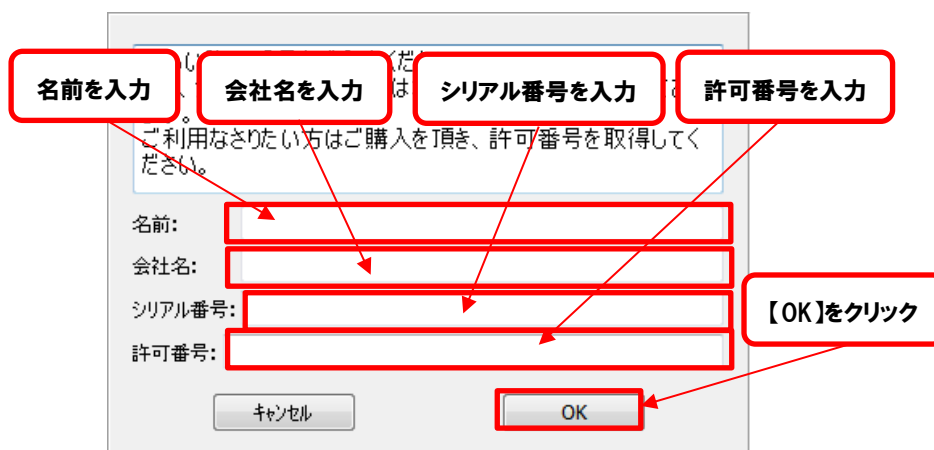
3. インストールが開始されます。



4. インストールが完了すると次の画面が表示されます。 **完了(E)** ボタンをクリックして、セットアップ・プログラムを終了します。



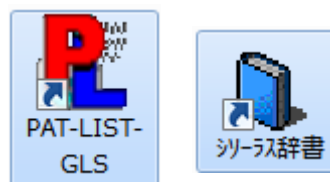
5. ユーザー情報の入力画面が起動しますので、お名前、会社名、シリアル番号、許可番号を入力して **OK** ボタンをクリックします。



PAT-LIST-GLS が起動します。



インストールが完了すると、お使いのパソコンのデスクトップに下記のアイコンが作成されます。



※シソーラス辞書のショートカットアイコンは、シソーラス辞書オプションをお申込みされたお客様のみ作成されます。

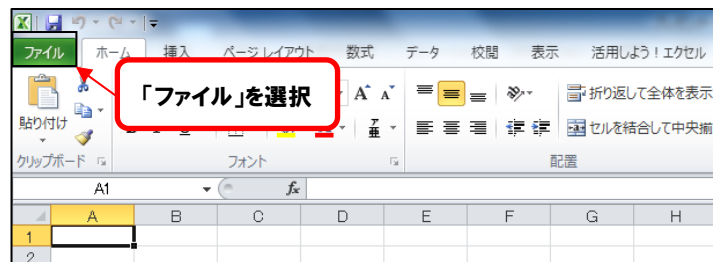
2.4 Excel のセキュリティ設定

PAT-LIST-GLS は、3D 泡マップ作成や帳票 Excel 出力等に、Excel マクロを使用しています。3D 泡マップ作成や帳票 Excel 出力を行う場合は、事前にマクロを実行できるように、Excel を設定しておく必要があります。ここでは、Excel の設定について説明します。

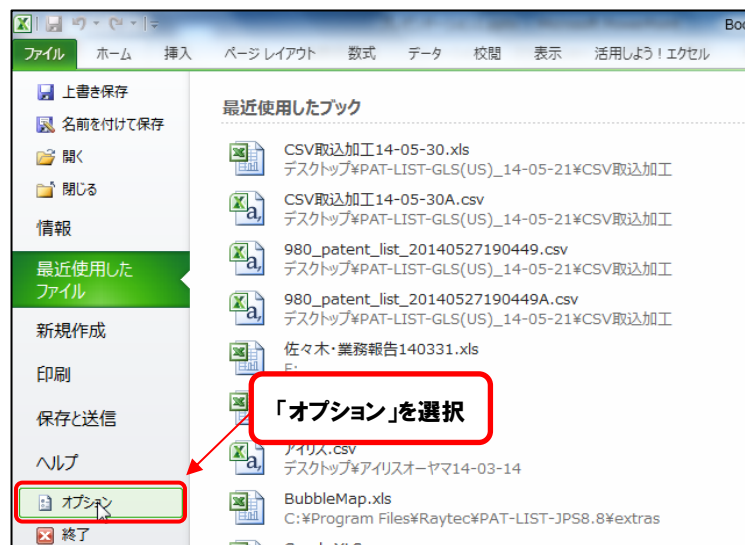
2.4.1 Excel 2013 - 2019 の場合

ご利用の Excel が Excel 2013 - 2019 の場合は次のように設定します。

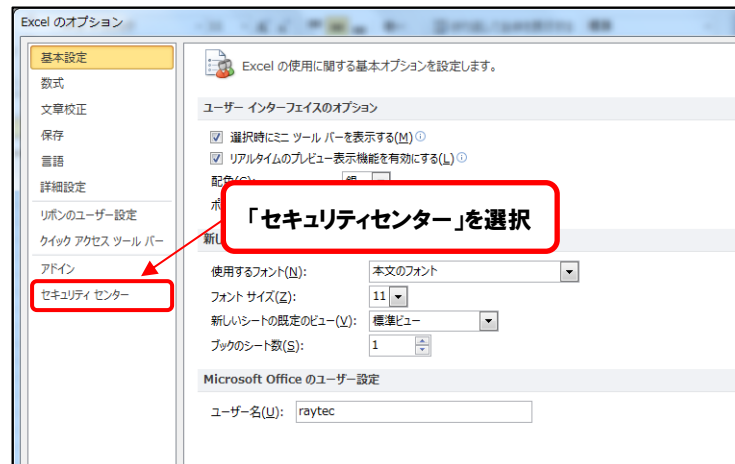
1. Excel を起動します。
2. メニューバーの「ファイル」を選択します。



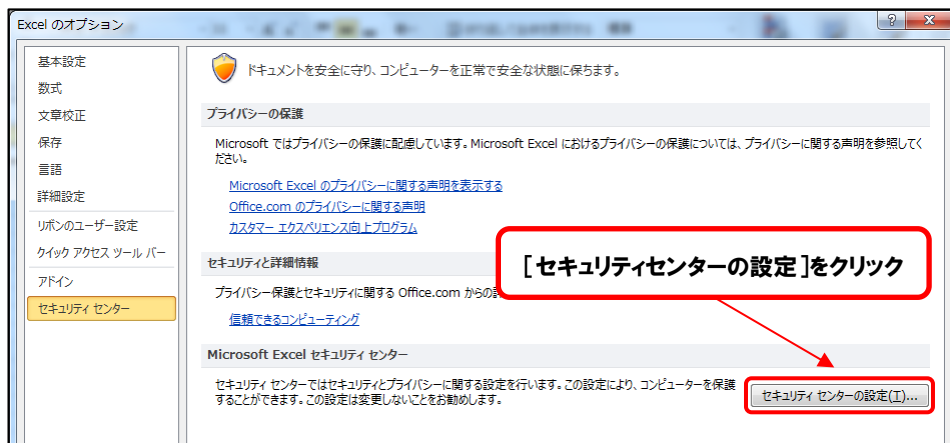
3. 「オプション」を選択します。



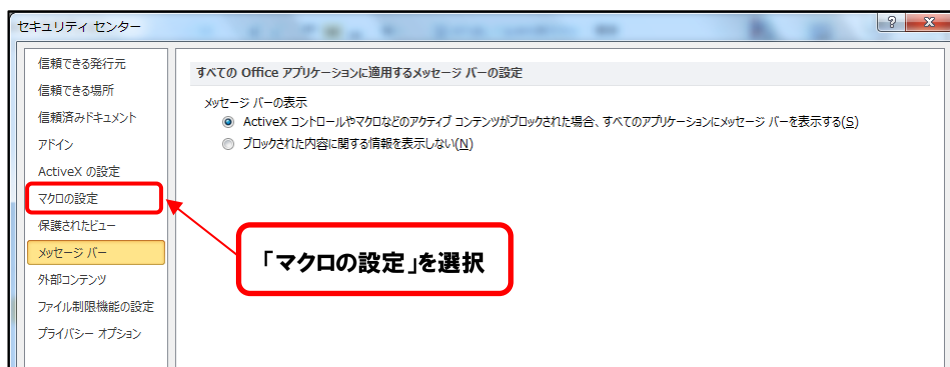
4. 「セキュリティセンター」を選択します。



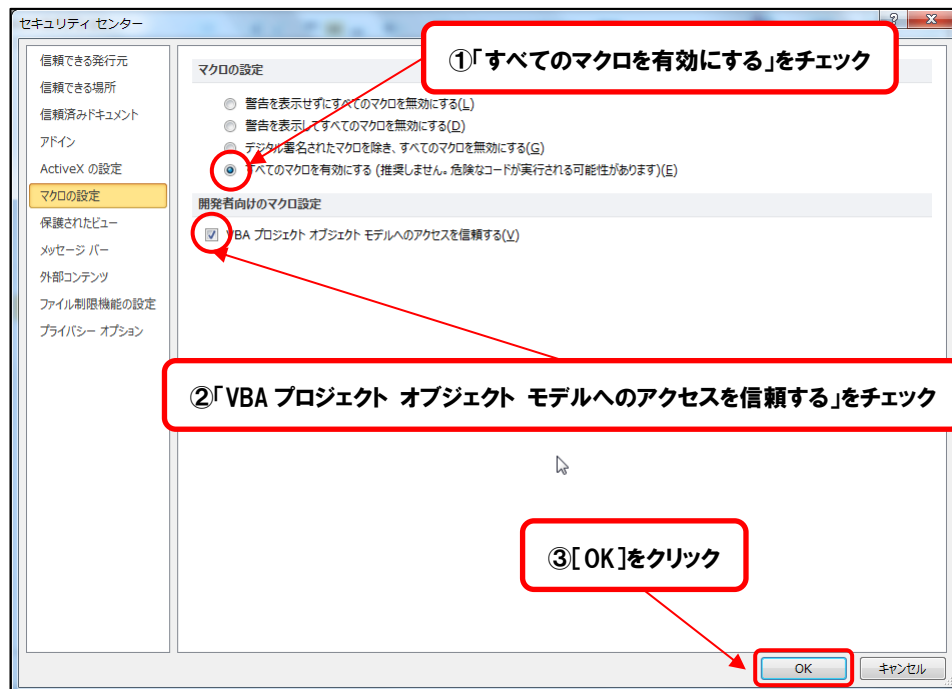
5. セキュリティセンターの設定(I)... をクリックします。



6. 「マクロの設定」を選択します。



7. 「すべてのマクロを有効にする」と「VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する」の2つをチェックし、 をクリックします。

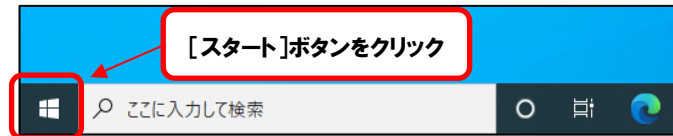


8. Excel を再起動します。

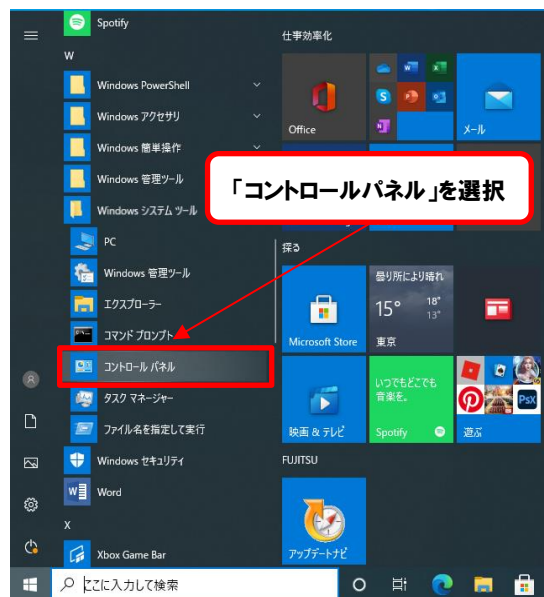
2.5 PAT-LIST-GLS のアンインストール

本ソフトのアンインストールは以下の手順で行います。

1. 画面左下にある  をクリックします。



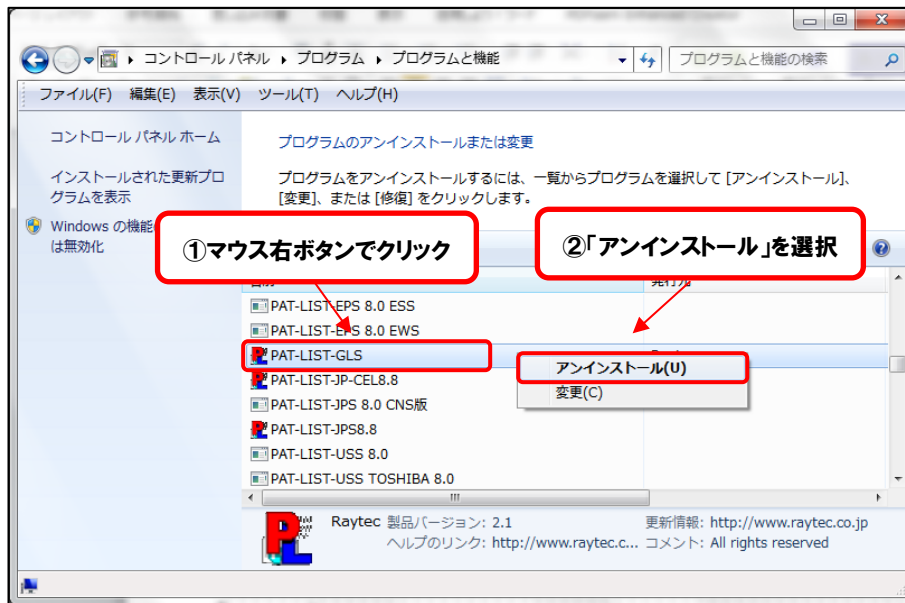
2. 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を選択します。



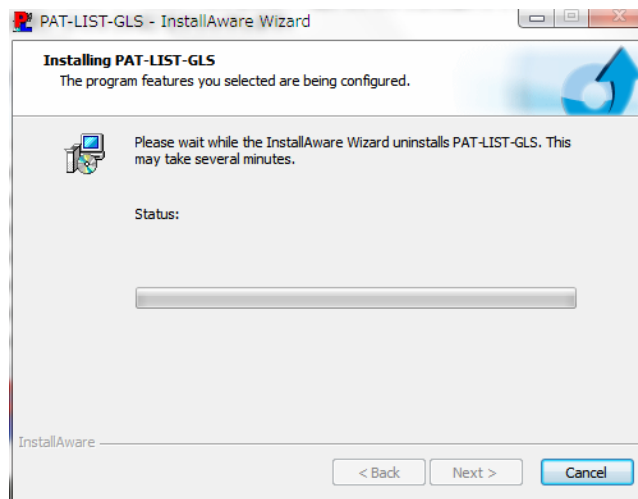
3. 「プログラムのアンインストール」を選択します。



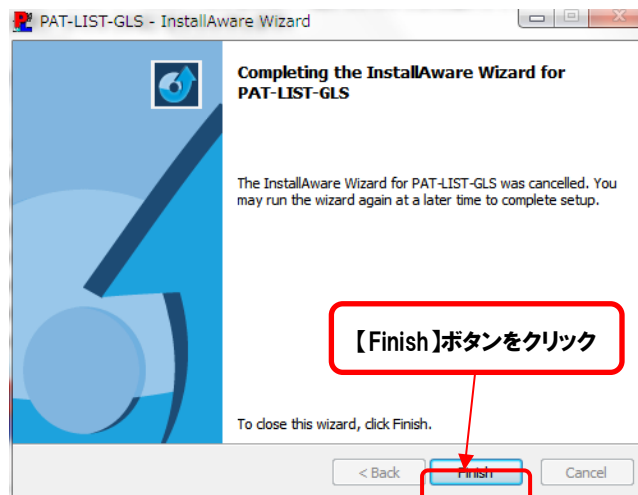
4. 「PAT-LIST-GLS」をマウスの右ボタンでクリックし、「アンインストール」を選択します。



5. アンインストールが開始しますので、終了するまで待ちます。



6. アンインストール終了画面が表示されたら、**Finish** をクリックします。



第3章 起動方法

本ソフトウェアの起動には、いくつかの方法があります。

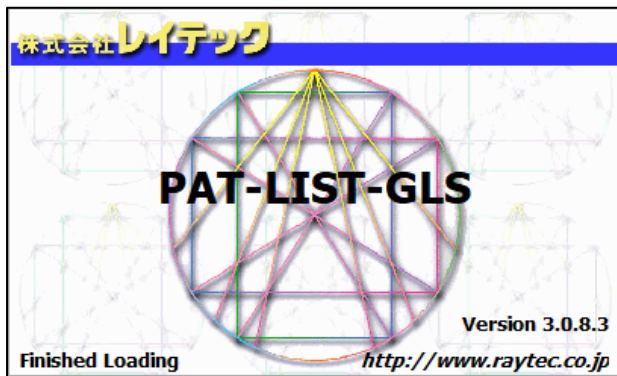
3.1 デスクトップ ショートカットアイコンによる起動

本ソフトウェアをインストールすると、デスクトップにショートカットアイコンが作成されます。このショートカットアイコンで本ソフトウェアを起動できます。

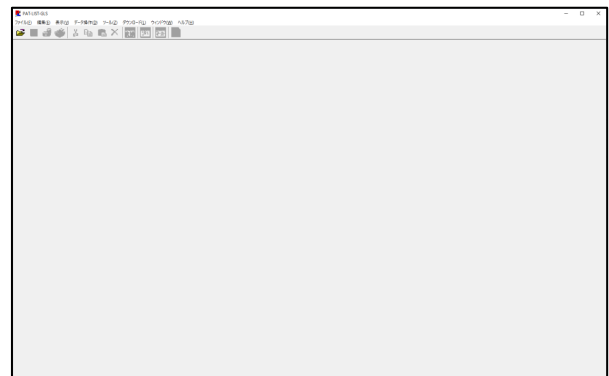
1. デスクトップ上にある、ショートカットキーをダブルクリックします。



2. 本ソフトウェア が起動し、初期画面が次のように表示されます。




起動中の画面

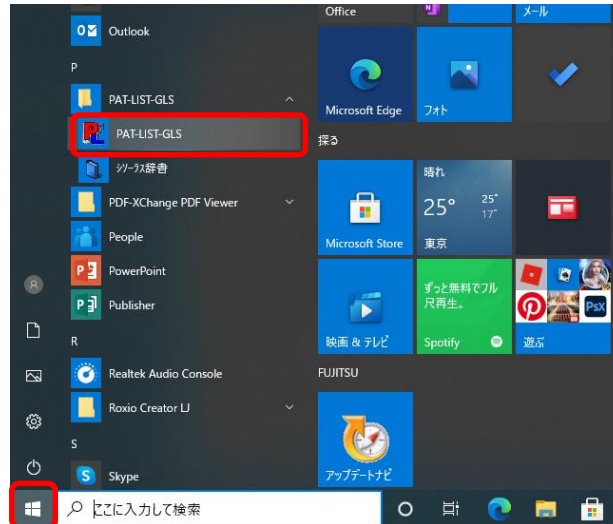


起動後の初期画面

3.2 スタートメニューからの起動

通常の Windows アプリケーションソフトウェアと同様に、本ソフトウェアもスタートメニューから起動することができます。

1. Windows 10 の場合、画面の左下にある  をクリックします。
2. 「PAT-LIST-GLS」→「PAT-LIST-GLS」を選択します。



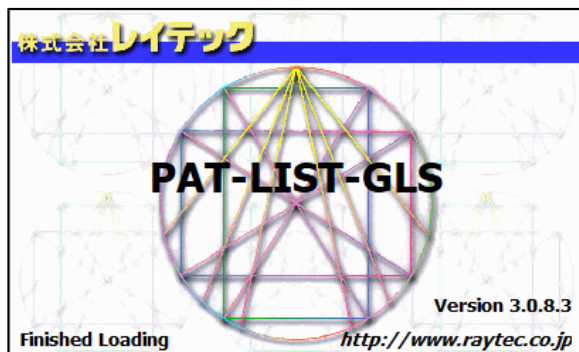
デスクトップのショートカットアイコンで起動した時と同様に、起動した後で初期画面が表示されます。

3.3 PAT-LIST 形式ファイルのアイコンによる起動

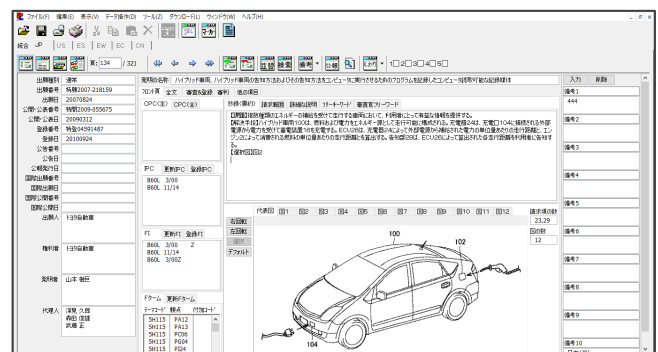
TPL ファイル(拡張子が“TPL”のファイル)のアイコンをダブルクリックしても、本ソフトウェアを起動できます。



本ソフトウェアが起動した後、初期画面は表示されず、閲覧画面が表示され、TPL ファイルに含まれる最初の特許文献の情報が表示されます。



起動中の画面



起動後の閲覧画面

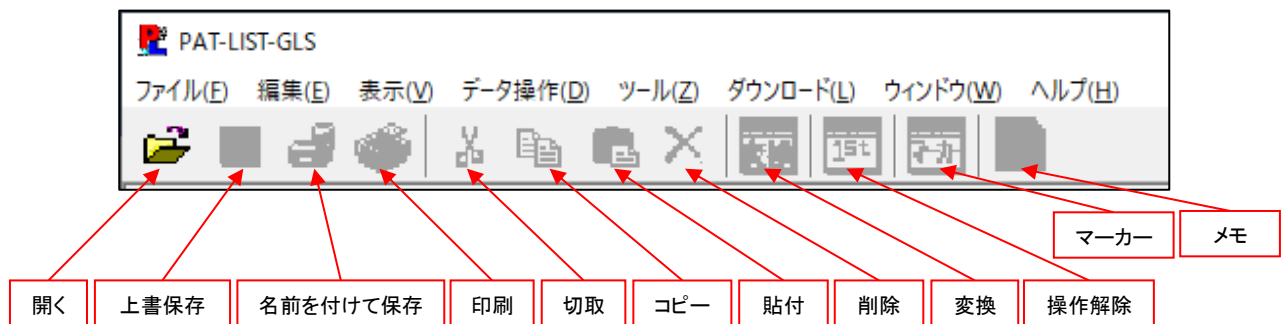
第4章 初期画面とPAT-LIST形式ファイルを開いた直後の画面

4.1 初期画面の構成

デスクトップのショートカットアイコンで本ソフトウェアを起動した後に表示される初期画面を説明します。



初期画面にあるツールバーのボタンは次の通りです。



4.2 メニューの構成

本ソフトウェアで提供する初期画面のメニューバーのコマンドは以下の通りです。

4.2.1 「ファイル」メニュー

サブメニュー	操作の内容
開く	選択した TPL ファイルを開きます。
最近使ったファイル	最近使った TPL ファイルの中から選択したファイルを開きます。
上書き保存	TPL ファイルを上書き保存します。
名前をつけて保存	TPL ファイルとして名前を付けて保存します。
閉じる	現在開いている TPL ファイルを閉じます。
外部データ取込	CSV データ等を取り込んで TPL ファイルを作成します。
PAT-LIST CSV データ	PAT-LIST CSV ファイルを取込または出力します。
データファイル更新	現在開いている TPL ファイルに、指定した TPL ファイルの情報を追加して、データ更新を行います。
印刷設定	プリンタ等の設定メニューを表示します。
印刷	印刷をします。
終了	PAT-LIST-GLS を終了します。

4.2.2 「編集」メニュー

サブメニュー	操作の内容
マップリセット	特許マップを初期状態に戻します。
元に戻す	一つ前の操作に戻ります。
やり直し	一つ後の操作をやり直します。
切り取り	選択されたものを切り取って、クリップボードに送ります。
コピー	選択されたものをコピーして、クリップボードに送ります。
貼り付け	クリップボードにあるデータをカーソルの位置に貼り付けます。
削除	選択されたものを削除します。
すべてを選択	すべてを選択します。
辞書	「辞書の編集」または「ユーザー辞書の追加/削除」画面を開きます。

4.2.3 「表示」メニュー

サブメニュー	操作の内容
閲覧画面	「閲覧画面」に移行します。
表示画面	「表示画面」に移行します。
マップ画面	「マップ画面」に移行します。
マルチ画面	「マルチ画面」に移行します。
フォント設定	「フォント」設定画面を開きます。
更新処理マークを解除	「データファイル更新」で追加・更新箇所を示す「表示画面」の青色下線表示を解除し、通常の黒色表示にします。

4.2.4 「データ操作」メニュー

サブメニュー	操作の内容
変換	取り込んだ特許情報ファイルを TPL ファイルに変換します。
並替え	「並替」画面を開きます。
検索	「検索」画面を開きます。
マーカー	閲覧画面では、指定した単語の背景に色を付けることができます。
初期状態に戻す	並び替え、検索を解除して、元の閲覧画面に戻ります。
⏪ 先頭	先頭頁の文献へ戻ります。
⏩ 前頁	前頁の文献へ戻ります。
➡ 次頁	次頁の文献へ進みます。
⏩ 末尾	末尾の文献へ進みます。

4.2.5 「ツール」メニュー

サブメニュー	操作の内容
ユーザー情報	ユーザーデータのファイル書き出し、取り込みを行います。
TPL 合成	複数の TPL ファイルを合成して、1つの TPL ファイルにします。
TPL 一括変換	PTL 形式のファイルを一括で TPL 形式に変換します。
シソーラス辞書	オプションのシソーラス辞書を起動します。

4.2.6 「ダウンロード」メニュー

サブメニュー	操作の内容
項目選択更新	ダウンロードするデータ項目を選択します。
ダウンロードの設定	プロキシサーバーとの通信形式を設定します。

4.2.7 「ウィンドウ」メニュー













サブメニュー	操作の内容
重ねて表示	開いている複数の TPL ファイルを重ねて表示します。
水平に並べて表示	開いている複数の TPL ファイルを水平に並べて表示します。
垂直に並べて表示	開いている複数の TPL ファイルを垂直に並べて表示します。
すべてを最小化	開いている複数の TPL ファイルを全て最小化したアイコンで表示します。
アイコンの整列	最小化している TPL ファイルのアイコンを整列します。

4.2.8 「ヘルプ」メニュー

サブメニュー	操作の内容
目次	本ソフトウェアのオンラインマニュアル画面へリンクします。 (インターネット接続環境が必要です)
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

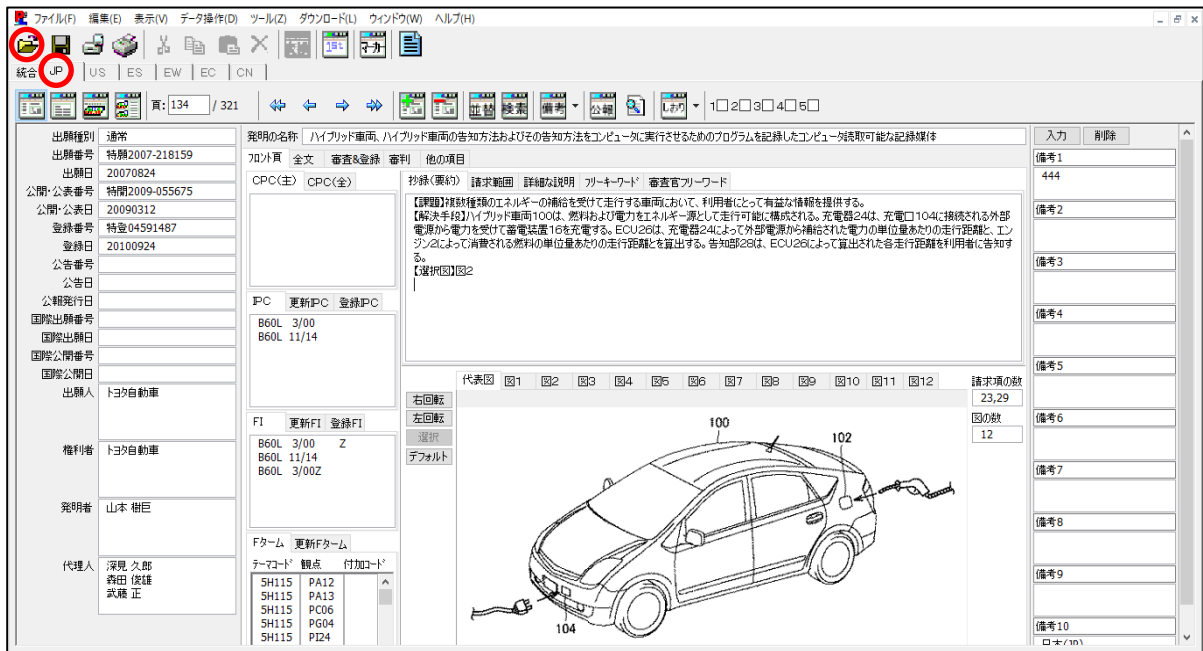
4.3 ツールバーの構成

本ソフトウェアの初期画面にあるツールバーのボタンは以下の通りです。

ボタン		機能
	開く	既存の TPL ファイル(*.TPL)を開きます。PAT-LIST-JPS の PTL ファイルを指定した場合は、TPL ファイルに変換した後、開きます。
	上書き保存	開いている TPL ファイルを上書き保存します。
	別名保存	開いている TPL ファイルに名前を付けて保存します。
	印刷	画面、帳票を印刷します。
	切り取り	選択したテキストを切り取ります。
	コピー	選択したテキストをコピーします。
	貼り付け	カーソル位置にクリップボードにコピーしたテキストを貼り付けます。
	削除	選択したテキストを削除します。
	変換	取り込んだ特許情報ファイルを TPL ファイルに変換します。
	初期状態に戻す	並び替えや検索を解除して表示を元に戻します。
	マーカー	特定の文字列の背景に色を付けます。
	ユーザーメモ	メモとしてテキストを入力できます。

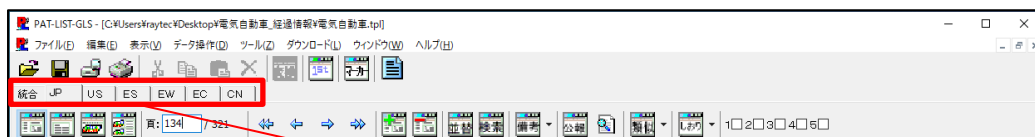
4.4 TPL ファイルを開いた後の画面

本ソフトウェアで TPL ファイルを開くと、次のように JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「閲覧画面」が表示されます。



4.5 各国特許調査・解析機能の切替タブ

ツールバーの下側には、「統合」、「JP」、「US」、「ES」、「EW」、「EC」、「CN」の7つタブがあり、各国特許調査・解析機能を切り替えることができます。本書では、「JP」タブの日本特許調査・解析機能について説明します。他の特許調査・解析機能については、個々にユーザーズガイドを用意していますので、そちらをご参照ください。各国タブのご使用には別途契約が必要です。



特許調査・解析機能切替タブ

タブ	機能	
統合	統合	開いている TPL ファイルに複数の国の特許データが含まれている場合、特許ファミリーでリンク付して、同じ特許ファミリーの各国特許を 1 画面に同時表示できます。また、各国の特許データを串刺しで解析できます。
JP	日本	開いている TPL ファイルに含まれている日本の特許を閲覧・分析できます。
US	米国	開いている TPL ファイルに含まれている米国の特許を閲覧・分析できます。
ES	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。Espacenet の特許データを取込対象にしています。
EW	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。WPI/DWPI の特許データを取込対象にしています。
EC	欧州	開いている TPL ファイルに含まれている欧州の特許を閲覧・分析できます。STN/CAPLUS の特許データを取込対象にしています。
CN	中国	開いている TPL ファイルに含まれている中国の特許を閲覧・分析できます。

4.6 日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の画面

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、閲覧画面、表示画面、マップ画面、マルチ画面の4つの画面があります。次章では、日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)の閲覧画面について説明します。

① 閲覧画面	② 表示画面
③ マップ画面	④ マルチ画面

第 5 章 外部データ取込み

本ソフトウェアは、様々な特許情報を取り込むことができます。ここでは、外部データの取込方法を説明します。

5.1 取込み対象の外部データ

本ソフトウェアは、商用特許検索システムの検索結果をダウンロードした CSV ファイルをはじめ、当社 JP/WEB 国内特許検索システムからダウンロードした CSV ファイル、特許庁発行の電子公報 DVD (庁 ROM)、当社製品の PAT-LIST-JPS で作成した PTL ファイル、PAT-LIST-JPS または本ソフトウェアから出力した日本特許の CSV ファイルなどを取り込んで、TPL ファイルに変換できます。

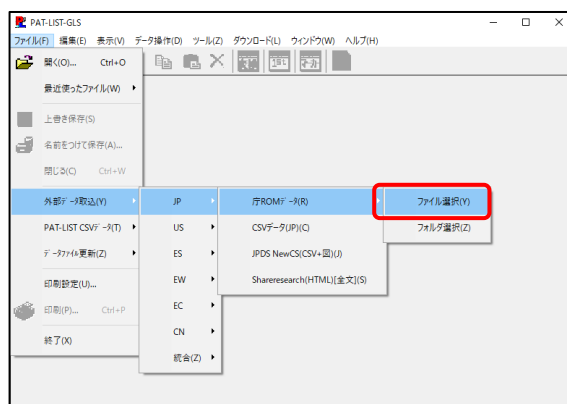
《標準対応》		
対象	データ形式	内容
庁 ROM データ	XML ファイル	特許庁が発行している特許公報データ
CSV データ	CSV ファイル	商用特許検索システムの CSV ファイル
PAT-LIST	PTL ファイル	PAT-LIST-JPS で作成した PTL ファイル
PAT-LIST CSV	CSV ファイル	PAT-LIST-JPS または本ソフトウェアから出力した日本特許の CSV ファイル
《カスタマイズ対応》		
対象	データ形式	内容
Shareresearch	CSV/HTML ファイル	各商用特許検索システムの特許データに最適化した外部データ取込機能をカスタマイズで追加できます。
サイバーパテントデスク	CSV/HTML ファイル	
PatentSQUARE	CSV ファイル+代表図	
JP-NET/NewCSS	CSV ファイル+代表図	
PatentScore、Orbit など	CSV/XML ファイル	

5.2 特許庁 ROM データの取込み

ここでは特許庁の CD-ROM または DVD-ROM のデータを、PAT-LIST に取込む方法について説明します。データの取込を始める前に、CD-ROM または DVD-ROM のデータをあらかじめパソコンのハードディスクに保存してください。また自動的に図面をリンクさせるために、画像ファイルとテキストファイルを同じフォルダに保存してください。

特許庁 ROM データ (TXT/SGML/XML データ) の取込み手順は以下の通りです。

1. メニューバーから、「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「庁 ROM データ」を選択します。



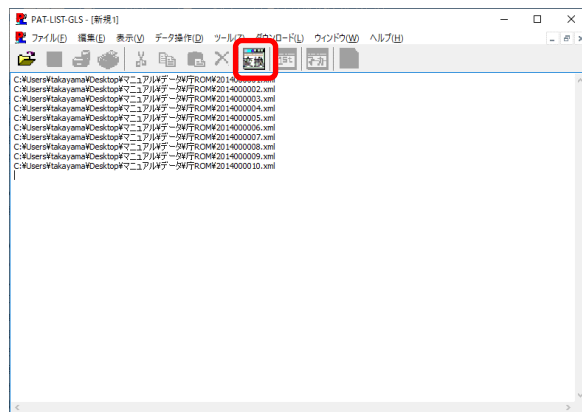
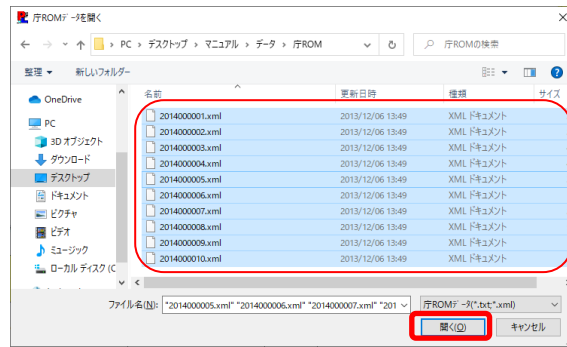
2. 「**行 ROM データを開く**」画面が表示されます。取り込む TXT、SGML、XML ファイルを選択して、**開く(O)** をクリックします。

Shift キーや **Ctrl** キーを押しながらクリックすると、同時に複数のファイルを選択できます。

また、**Ctrl** + **A** キーを押すと、すべてのファイルを選択できます。

3. 選択したファイルのファイル名がフルパス形式で表示されます。

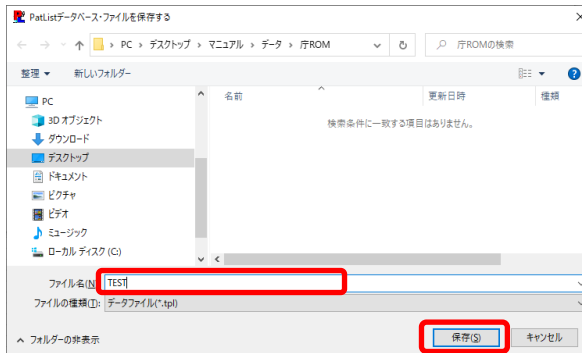
変換 をクリックします。



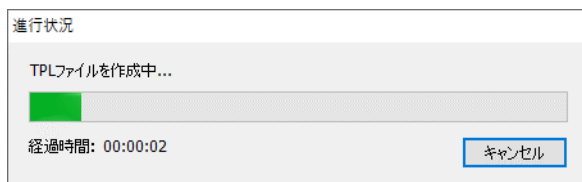
4. 「**PatList データベース・ファイルを保存する**」画面が表示されます。

新たに作成する TPL ファイルの名前を入力します。

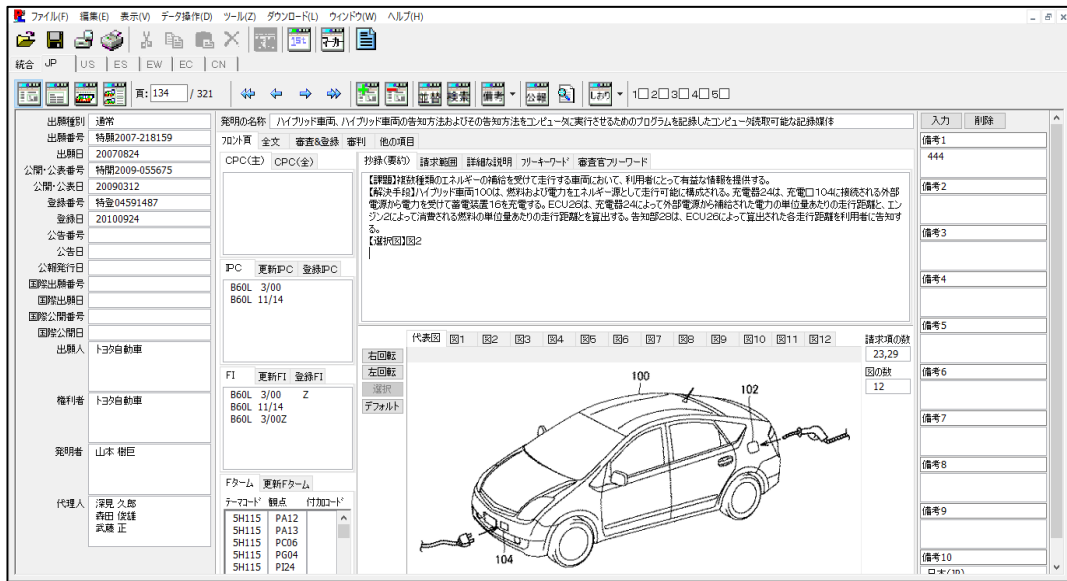
保存(S) をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



5.3 CSV データの取込み

本ソフトウェアは、各種商用特許検索システムよりダウンロードした CSV ファイルを取り込むことができます。ここでは、CSV ファイルを取り込む方法と、設定を保存する方法、保存した設定を呼出す方法について説明します。

5.3.1 CSV データ取込み

CSV データの各項目を本ソフトウェアのどの項目に取り込むかを示す項目対応表を指定することにより、各種商用特許検索システムよりダウンロードした CSV データに対応することができます。



CSV データの文字コードは「Shift-JIS」および「Unicode (UTF-8)」に対応しています。他の文字コードの場合は「Shift-JIS」または「Unicode (UTF-8)」へ変換する必要があります。



CSV データの項目区切り文字は通常「カンマ(,)」ですが、「タブ」、「セミコロン(;)」、「スペース(半角の空白)」、その他の指定した文字に変更することができます。



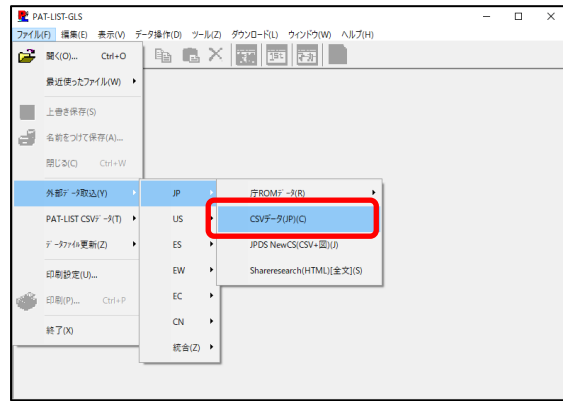
CSV データの項目名は通常 1 行目にありますが、2 行目以降に項目名がある場合は、取込み開始行を項目名がある行に変更することにより、対応できます。




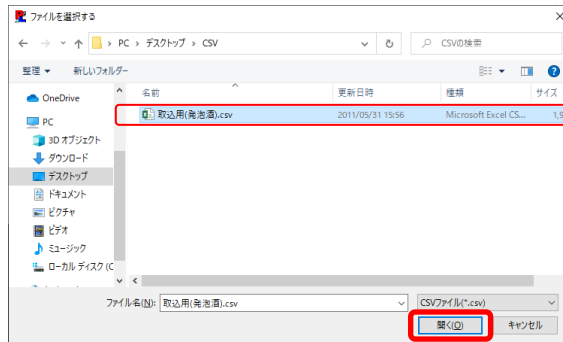
特許分類(IPC、FI、F タームなど)、出願人、発明者、代理人など、1つの項目内に複数のデータがある場合、各データは項目内区切り文字で区切られています。本ソフトウェアは、「カンマ(,)」、「セミコロン(;)」、「パイプ(|)」、改行の 4 種類の項目内区切り文字に対応しています。

CSVデータの取り込みは次の手順で行います。

1. メニューバーから、「ファイル」→「外部データ取込」→「JP」→「CSVデータ」を選択します。




2. 「ファイルを選択する」画面が表示されます。
CSVファイルを選択し、
 をクリックします。



3. 「JP CSV データ取込」画面に、
指定した CSV ファイルから読み
出した内容が表示されます。

CSV ファイルの各項目が正しく
区切られるように、画面上側の
CSV ファイル名の下側にあるオ
プションボタンで適切な「区切り
文字」を選択します。区切り文字
は、「タブ」、「セミコロン」、「カン
マ」、「スペース」、「その他」から
選択できます。

また CSV ファイルの項目名が 1
行目でない場合は、画面の下側
にある「取込み開始行」で適切な
行を指定します。

区切り文字と取込み開始行を適
切に指定した後、 をク
リックします。



取込み開始行(R): 1

4. 「JP CSV データ取込」画面の「項目対応表」に移ります。この画面では、CSV ファイルの各項目を本ソフトウェアのどの項目へ取り込むかを設定します。

左側の「CSV データ項目名称」列には CSV ファイルの取込み開始行にある項目が表示されます。中央の「項目種別」列には本ソフトウェアの項目の種別が表示されます。そして右側の「TPL 項目名称」列には当ソフトウェアの項目が表示されます。

本ソフトウェアは、CSVファイルの取込み開始行にある項目を読み取り、ある程度自動的に取込先の項目を割り当てます。判断できない場合は右側の「TPL 項目名称」列の欄が空白になります。

右側の「TPL 項目名称」列の欄が空白の項目や自動的に割り当てられ取込先の項目が希望と異なる場合は、次のように操作します。

5. 中央にある「項目種別」列の欄をクリックし、プルダウンメニューから希望する項目種別を選択します。

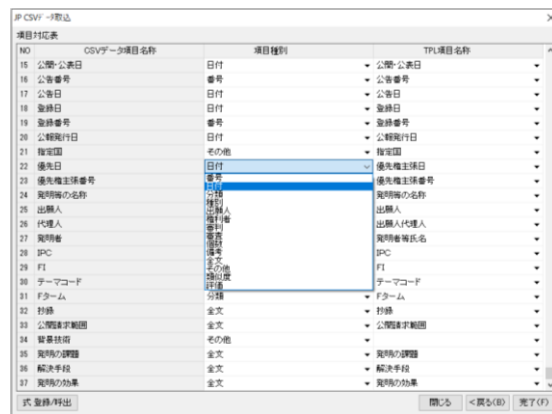
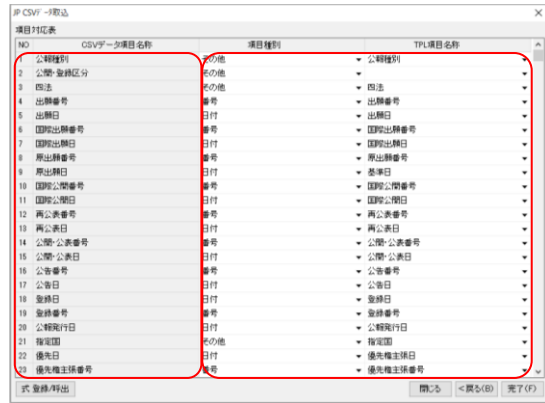
例えば、出願番号の場合は「番号」、出願日の場合は「日付」をプルダウンメニューより選択します。

項目種別と項目の関係は、「CSV 取込項目一覧表」をご覧ください。

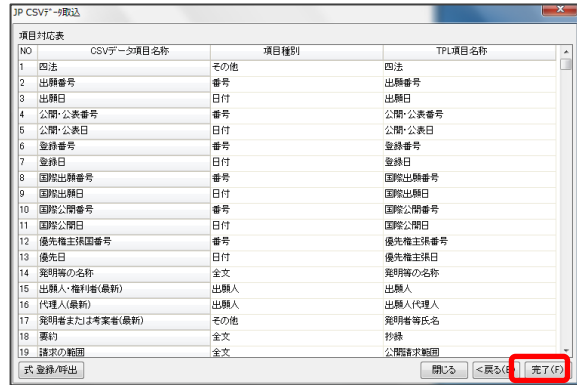
6. 項目種別を選択した後、右側にある「TPL 項目名称」列の欄をクリックし、プルダウンメニューから希望する項目を選択します。

例えば、出願番号の場合は「出願番号」、出願日の場合は「出願日」を選択します。

項目種別と項目の関係は、「CSV 取込項目一覧表」(32 ページ)をご覧ください。



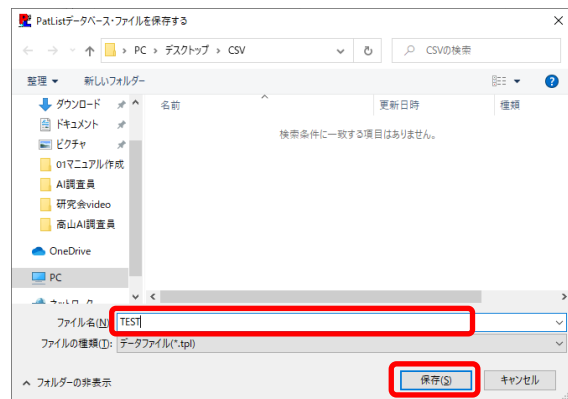
7. ステップ5と6の操作を繰り返して、本ソフトウェアに取り込む項目すべての取込先項目を指定した後、画面右下にある **完了(F)** をクリックします。



本ソフトウェアに取り込まない項目は、右側の「TPL 項目名称」列の欄を空白のままにします。

複数の項目に同じ取込先項目を指定した場合、項目対応表の下側にある項目が優先されます。

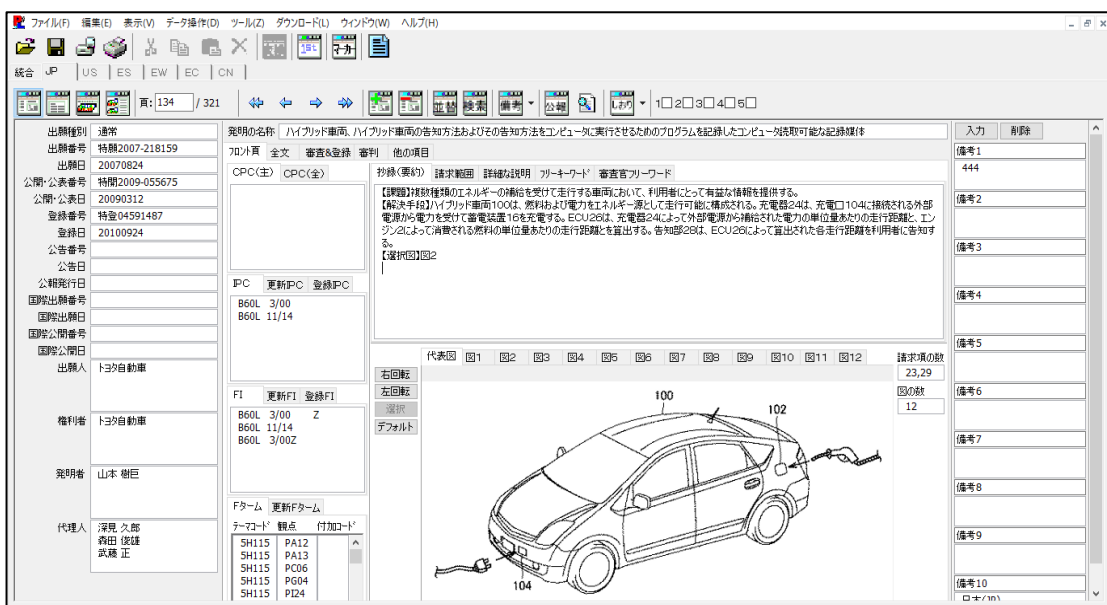
8. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。新たに作成する TPL ファイルの名前を入力して、**保存(S)** をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「**閲覧画面**」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。



CSV 取込項目一覧表

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称
番号	出願番号	日付 (つづき)	審判確定日
	国際出願番号		国際出願日
	国際公開番号	分類	CPC (主)
	公開・公表番号		CPC (全)
	公表番号		IPC
	再公表番号		更新IPC
	公告番号		登録IPC
	登録番号		FI
	優先権主張番号		更新FI
	国内優先権主張番号		登録FI
	原出願番号		テーマコード
	追加特許番号		Fターム
	延長出願番号		付加コード
	審判番号		更新テーマコード
	請求公告番号		更新Fターム
	出訴／上告事件番号		更新付加コード
	上告受理番号		JPC
	微生物受託番号		広域分類
	原登録番号		異議決定分類
日付	出願日		審決決定分類
	遡及日	種別	出願種別
	基準日		関連種別
	国際公開日		出願人代理人種別
	翻訳文提出日		権利者代理人種別
	公開・公表日		審査種別
	公表日		審査請求種別
	再公表日		最古請求種別
	公告日		審査種別 (EXK)
	登録日		査定種別
	公報発行日		審査異議決定種別
	優先権主張日		審査異議申立人代理人種別
	国内優先権主張日		審判種別
	優先権主張日 (登録)		審級等種別
	追加出願日		審判請求人代理人種別
	追加公告日		審判被請求人代理人種別
	請求日		異議決定種別
	本権利抹消日		審判異議申立人代理人種別
	閉鎖原簿登録日	出願人	出願人国県
	査定発送日		出願人
	審査最終処分日		出願人コード
	審査異議申立日		出願人代理人種別
	審判請求日		出願人代理人資格
	審判最終処分日		出願人代理人
	異議申立日		出願人代理人コード
	審判異議決定日	権利者	権利者国県
	審決日		権利者
	請求公告日		権利者コード
	出訴日／上告日		権利者代理人種別

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称	
権利者（つづき）	権利者代理人資格	個数（つづき）	図の数	
	権利者代理人	備考	備考 1	
	権利者代理人コード		備考 2	
審判	審判記録		備考 3	
	審判最終処分		備考 4	
	審判請求人国県		備考 5	
	審判請求人		備考 6	
	審判請求人代理人種別		備考 7	
	審判請求人代理人資格		備考 8	
	審判請求人代理人		備考 9	
	審判被請求人国県		備考 10	
	審判被請求人		備考 11	
	審判被請求人代理人種別		備考 12	
	審判被請求人代理人資格		備考 13	
	審判被請求人代理人		備考 14	
	審判参加人国県		備考 15	
	審判参加人		備考 16	
	審判異議申立請求項		備考 17	
	審判維持請求項		備考 18	
	審判取消請求項		備考 19	
	審判異議申立人国県		備考 20	
	審判異議申立人	全文	発明等の名称	
	審判異議申立人代理人種別		抄録	
審判異議申立人代理人資格		公開請求範囲		
審判異議申立人代理人		登録請求範囲		
審査	予備審査		技術分野	
	早期審査		従来技術	
	審査記録		発明の課題	
	審査最終処分		解決手段	
	審査異議件数		実施の形態	
	審査異議有効数		発明の効果	
	審査異議申立日		図面の簡単な説明	
	審査異議決定種別		符号の説明	
	審査異議申立国県	その他	四法	
	審査異議申立人		基準日の種類	
	審査異議申立人代理人種別		公報発行区分	
	審査異議申立人代理人資格		公報発行区分（公告）	
	審査異議申立人代理人		公報種別	
	審査官フリーワード		優先権主張国	
	個数	総通号数		国内優先権主張四法
		年間通号数		優先権主張国（登録）
		優先権件数		閉鎖原簿移記
優先権件数（登録）			出願言語	
頁数			発明者等国県	
請求数			発明者等氏名	
異議件数			フリーキーワード	
異議有効数			固定キーワード	
請求項数			請求の有無	

項目種別	TPL 項目名称	項目種別	TPL 項目名称
その他（つづき）	権利譲渡／実施許諾	その他（つづき）	登録公報ファイル名
	公害防止関連技術	類似度	類似度 A
	早期審理		類似度 B
	登録記録		類似度 C
	年分		類似度 D
	担当官		類似度 E
	拒絶理由条文		類似度 F
	引用文献		類似度 G
	出訴上告区分		類似度 H
	指定国		類似度 I
	属性		類似度 J
	公序良俗	評価	特許力偏差値
	条文		ランク
	内容		特許価値
	調査した分野		審査・権利状況
	評価書の請求		拒絶査定不服審判の有無
	図名		請求一覧数
	広報直接閲覧URL		無効審判の数
	図面の回転		被引用出願数
	全図の名称		ファミリー数
	全図の図名		引用文献数
	全図の回転		拒絶理由通知数
	公開公報ファイル名		情報提供数

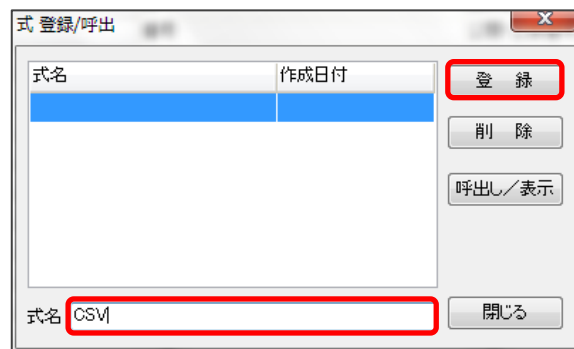
5.3.2 項目対応表の登録

「5.3 CSVデータ取込み」で指定した項目対応表は登録・保存することができます。
項目対応表の登録は次のように行います。

1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある **式登録/呼出** をクリックします。



2. 「式登録/呼出」画面が表示されます。
画面下側にある「式名」欄に指定した項目対応表の名前を入力し、**登録** をクリックします。



5.3.3 項目対応表の呼出

登録した項目対応表は、呼び出して再設定でき、項目対応表を指定する操作を省くことができます。



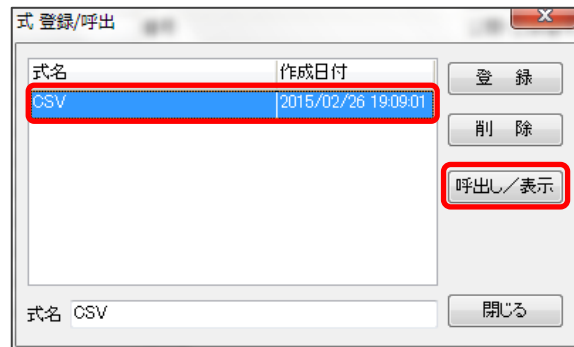
登録した項目対応表を呼び出して再設定し、CSVデータを取り込む場合、取り込むCSVデータの項目とその順序が項目対応表を登録した時のCSVデータと一致している必要がありますので、ご注意ください。

項目対応表の呼出は次のように行います。

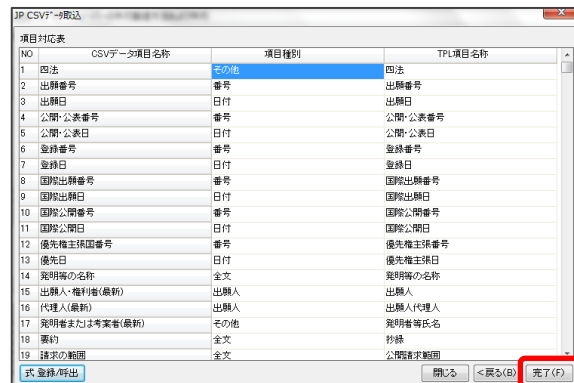
1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある **式登録/呼出** をクリックします。



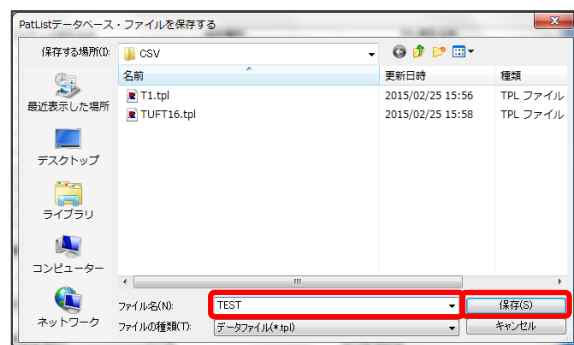
2. 「式 登録/呼出」画面が現れ、登録した項目対応表の名前と登録日時がリスト表示されます。
希望する項目対応表を選択し、「呼出し/表示」をクリックします。



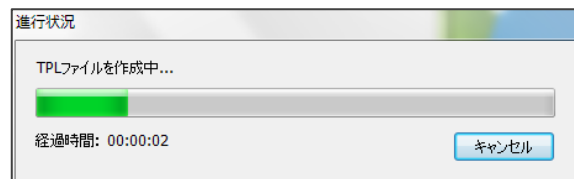
3. 設定が呼び出され、登録した時と同じ項目対応表になります。
画面右下にある「完了(F)」をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。
新たに作成する TPL ファイルの名前を入力します。
「保存(S)」をクリックします。



データ取込処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ取込みが完了すると、JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「閲覧画面」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) データ操作(D) ツール(T) ダウンロード(L) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

統合 JP US | ES | EW | EC | CN |

134 / 321

1 □ 2 □ 3 □ 4 □ 5 □

出願種別 通常

出願番号 特願2007-218159

出願日 20070824

公開・公表番号 特開2009-055675

公開・公表日 20090312

登録番号 特登04591487

登録日 20100924

公告番号

公告日

公報発行日

国際出願番号

国際出願日

国際公開番号

国際公開日

出願人 トヨタ自動車

権利者 トヨタ自動車

発明者 山本 樹巨

代理人 浮見 久敏
森田 俊雄
武藤 正

発明の名称 ハイブリッド車両、ハイブリッド車両の告知方法およびその告知方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体

700 外頁 全文 審査&登録 審判 他の項目

CPC(主) CPC(全)

IPC 更新IPC 登録IPC

B60L 3/00
B60L 11/14

FI 更新FI 登録FI

B60L 3/00 Z
B60L 11/14
B60L 3/00Z

Fターム 更新Fターム

タームコード	観点	付加コード
SH115	PA12	
SH115	PA13	
SH115	PC06	
SH115	PG04	
SH115	PI24	

登録(要約) 請求範囲 詳細な説明 「カーキート」 審査官アワード

【課題】種別種類のエネルギーの供給を受けて走行する車両において、利用者にとって有益な情報を提供する。
 【解決手段】ハイブリッド車両100は、燃料および電力をエネルギー源として走行可能な構成される。充電部24は、充電口104に接続される外部電源から電力を受けて高電圧16を充電する。ECU26は、充電部24によって外部電源から供給された電力の単位量あたりの走行距離L、エンジン22によって消費される燃料の単位量あたりの走行距離Lを算出する。告知部28は、ECU26によって算出された各走行距離を利用者に告知する。
 【発明】図2

右回転
左回転
選択
デフォルト

代表図 図1 図2 図3 図4 図5 図6 図7 図8 図9 図10 図11 図12

請求項の枚数 23,29
図の枚数 12

入力 削除

備考1 444

備考2

備考3

備考4

備考5

備考6

備考7

備考8

備考9

備考10

ロオ/10)

5.3.4 項目対応表の削除

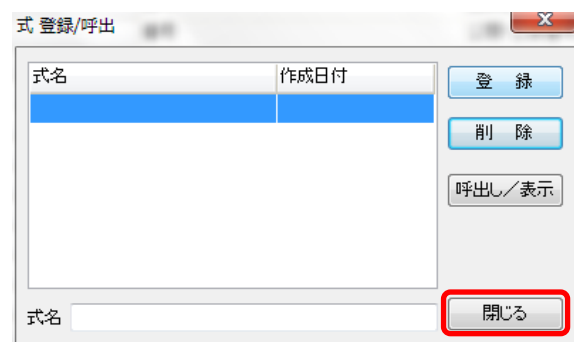
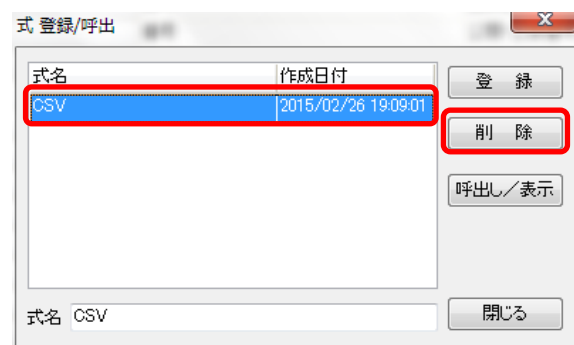
不要になった項目対応表は登録から削除することができます。



項目対応表を削除すると、元に戻せなくなりますので、削除を実行する前にご確認ください。


項目対応表の削除は次のように行います。

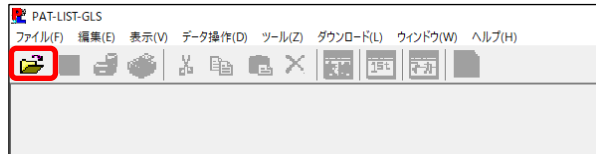
1. 項目対応表を指定した後、画面左下にある **式登録/呼出** をクリックします。
2. 「**式登録/呼出**」画面が現れ、登録した項目対応表の名前と登録日時がリスト表示されます。
削除する項目対応表を選択し、**削除** をクリックします。
3. 「**式登録/呼出**」画面から選択した項目対応表が消えます。
閉じる をクリックして、元の画面に戻ります。



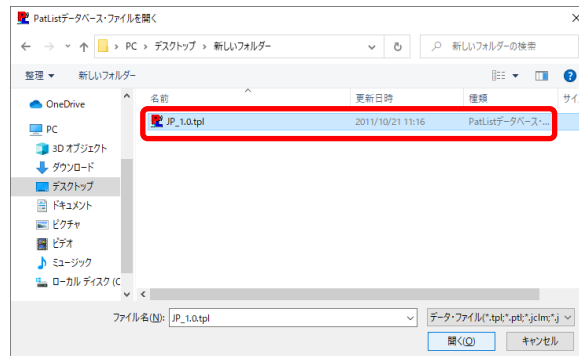
5.4 PAT-LIST-JPS データおよび PAT-LIST-GLSV2.1 のデータ取込み

PAT-LIST-JPS で作成した PTL ファイルおよび PAT-LIST-GLS V2.1 で作成した TPL ファイルを本ソフトウェアで使用するには、ファイルのフォーマット変換が必要です。

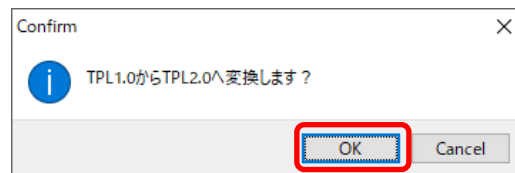
1. ツールバーにある  をクリックします。



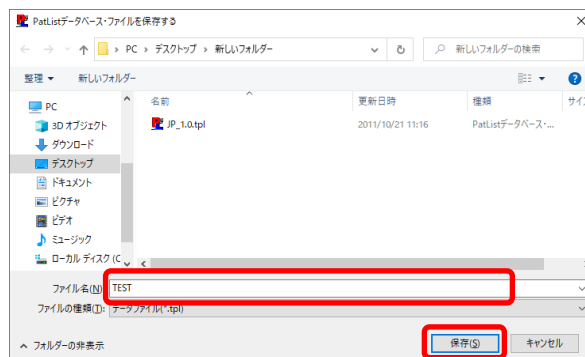
2. 「PatList データベース・ファイルを開く」画面が表示されます。
TPL ファイルに変換して開く PTL ファイルを選択します。
 をクリックします。



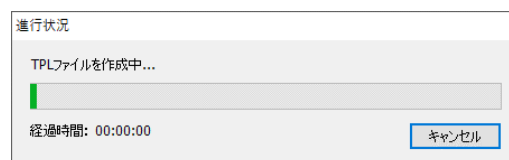
3. 確認メッセージが表示されます。 をクリックします。



4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。
新たに作成する TPL ファイルの名前を入力します。
 をクリックします。



データ変換処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



データ変換が完了すると、JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「**閲覧画面**」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。

The screenshot displays the 'JP' tab interface for patent search and analysis. The main window shows a patent record for '充電場における電気自動車電力供給システム' (Electric vehicle power supply system in charging station).

出願種別: 通常
出願番号: 特願2010-155765
出願日: 20100708
公開・公表番号: 特開2011-018336
公開・公表日: 20110127
登録番号:
公告番号:
公告日:
公報発行日:
国際出願番号:
国際出願日:
国際公開番号:
国際公開日:
出願人: スキーデータ アカチエンゲルシ
権利者:
発明者: クレメンス ヴァス
代理人: 近島 一夫

発明の名称: 充電場における電気自動車電力供給システム
IPC: G06Q 50/00, G07F 15/00, G07B 15/00, B60L 11/18, G06Q 30/00
FI: G06F 17/60 134, G07F 15/00, G07B 15/00 N, G07B 15/00 510, B60L 11/18 C, G06F 17/60 332, G07B 15/00M
Fターム: 3E047 JA04, 3E047 KA02, 3E047 KA09, 3E127 AA18, 3E127 BA11, 3E127 BA36

抄録(要約): 請求範囲 詳細な説明 カートワード 審査官キーワード
【課題】 充電場で電気自動車に電力を提供するシステムを提供する。
【解決手段】 前記システムは、各駐車スペースないし駐車場において、前記駐車スペースないし駐車場に割り当てられ、電気自動車に電力を供給し、消費電力を検出し、消費電力に対して課金を行うために車両を識別するための検出する手段を備えた充電ステーションと、消費電力に対して支払いを行う装置とを備える。

代表図: 請求項の枚数: 18, 図の枚数: 0

備考1-10, 日本(CP)

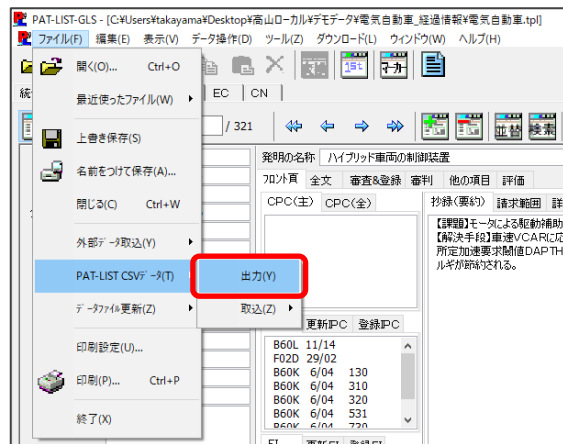
5.5 PAT-LIST CSV データの取込み

ここでは、本ソフトウェアからの PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力と、本ソフトウェアまたは当社の PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法を説明します。

5.5.1 PAT-LIST CSV 形式ファイルの出力方法

本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)より、PAT-LIST CSV 形式ファイルは次の手順で出力できます。

1. メニューバーから「ファイル」→「PAT-LIST CSV データ」→「出力」を選択します。



2. 「CSV データ抽出」画面が表示されます。
この画面には、「基本情報/フロント頁/分類」、「審査/審判/登録/備考」、「その他(1)」、「その他(2)」の4つのタブがあり、それぞれのタブに出力項目とチェックボックスが並んでいます。各タブで出力する項目のチェックボックスをオンにします。

全ての項目を選択する場合は、画面上部にある **全選択** をクリックします。

逆に、チェックボックスを全てオフにする場合は、画面上部にある **全解除** をクリックします。

同様に、各タブに表示されている項目を全て選択する場合は、タブの中にある **全選択** をクリックします。

また、タブの中にある項目を全てオフにする場合は、タブの中にある **全解除** をクリックします。

出力項目を選択した後、画面上部にある **CSVデータ作成** をクリックします。

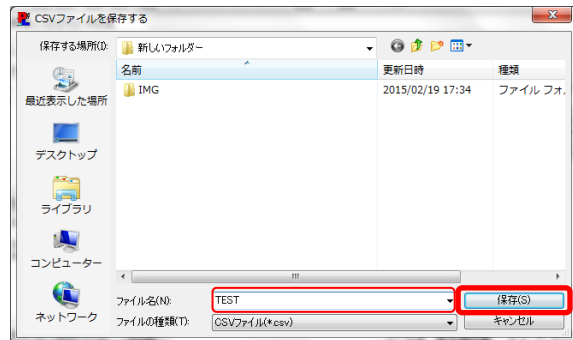


3. 「CSV ファイルを保存する」画面が表示されます。

ファイル名を指定します。

 をクリックします。

PAT-LIST CSV 形式ファイルが作成されます。



PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの文字コードは「Shift JIS」ですが、本ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルの文字コードは「Unicode (UTF-8)」になります。文字コードが従来と異なりますので、ご注意ください。

各タブで選択できる CSV 出力項目は次表の通りです。

CSV 出力項目一覧表

「基本情報/分類/フロント頁」タブ			
四法	公報発行日	公告番号	従来技術
出願種別	国際出願番号	公告日	発明の課題
出願番号	国際出願日	登録番号	解決手段
出願日	国際公開番号	登録日	実施の形態
公開・公表番号	国際公開日	出願人	発明の効果
公開・公表日		発明者等氏名	図面の簡単な説明
		出願人代理人	符号の説明
		発明等の名称	C P C (主)
		抄録	C P C (全)
		公開独立項請求範囲	I P C
		公開請求範囲	更新 I P C
		登録独立項請求範囲	登録 I P C
		登録請求範囲	F I
		請求項数	更新 F I
		フリーキーワード	登録 F I
		審査官フリーワード	F ターム
		技術分野	更新 F ターム

「審査/審判/登録/備考」タブ		
関連種別	審判番号	年分
原出願番号	審判請求日	本権利抹消日
原登録番号	審判種別	閉鎖原簿登録日
基準日の種類	審判請求人	権利者
基準日	審判請求人代理人	追加特許番号
遡及日	異議有効数	登録記録
早期審査	審判被請求人	閉鎖原簿移記
請求日	審判異議申立人	備考 1
請求数	審判異議申立請求項	備考 2
権利譲渡/実施許諾	異議決定種別	備考 3
査定種別	審判最終処分	備考 4
拒絶理由条文	審判確定日	備考 5
査定発送日	審判記録	備考 6
審査最終処分	異議決定分類	備考 7
審査記録	審決決定分類	備考 8
審査最終処分日	出訴上告区分	備考 9
審査種別 (EXK)	出訴/上告事件番号	備考 10

「類似度」タブ		
	類似度 A	
	類似度 B	
	類似度 C	
	類似度 D	
	類似度 E	
	類似度 F	
	類似度 G	
	類似度 H	
	類似度 I	
	類似度 J	

「評価」タブ		
	特許力偏差値	
	ランク	
	特許価値	
	審査・権利状況	
	拒絶査定不服審判の有無	
	請求一覧数	
	無効審判の数	
	被引用出願数	
	ファミリー数	
	引用文献数	
	拒絶理由通知数	
	情報提供数	

CSV 出力項目一覧表 (つづき)

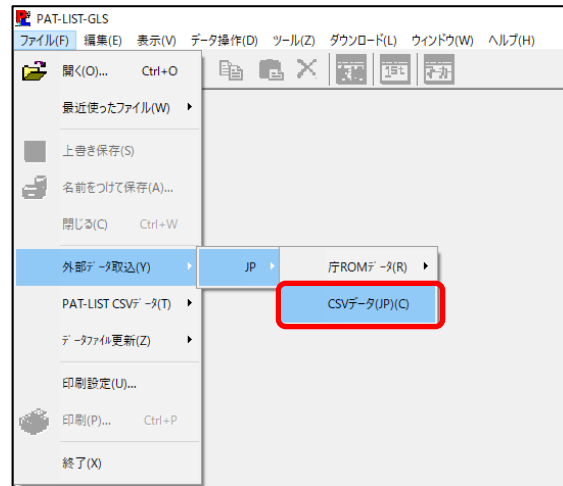
「その他(1)」タブ		
翻訳文提出日	追加公告日	請求の有無
予備審査	延長出願番号	頁数
公報発行区分	出願言語	公害防止関連技術
公報発行区分(公告)	出願人国県	審査請求種別
総通号数	出願人コード	最古請求種別
年間通号数	出願人代理人種別	早期審理
優先権件数	出願人代理人資格	担当官
優先権主張日	出願人代理人コード	引用文献
優先権主張国	権利者国県	審査異議件数
優先権主張番号	権利者コード	審査異議申立日
国内優先権主張四法	権利者代理人種別	審査異議決定種別
国内優先権主張番号	権利者代理人資格	審査異議申立国県
国内優先権主張日	権利者代理人	審査異議申立人
優先権主張日(登録)	権利者代理人コード	審査異議申立人代理人種別
優先権主張国(登録)	発明者等国県	審査異議申立人代理人資格
優先権件数(登録)	J P C	審査異議申立人代理人
追加出願日	審査種別	審級等種別

「その他(2)」タブ		
審判最終処分日	審判異議申立人代理人資格	公報種別
審判請求人国県	審判異議申立人代理人	公報直接閲覧 URL
審判請求人代理人種別	審決日	公開公報ファイル名
審判請求人代理人資格	請求公告番号	登録公報ファイル名
審判被請求人国県	請求公告日	固定キーワード
審判被請求人代理人種別	指定国	広域分類
審判被請求人代理人資格	属性	図の数
審判被請求人代理人	上告受理番号	備考 11
審判参加人国県	出訴日／上告日	備考 12
審判参加人	公序良俗	備考 13
異議件数	微生物受託番号	備考 14
異議申立日	内容	備考 15
審判異議決定日	調査した分野	備考 16
審判維持請求項	評価書の請求	備考 17
審判取消請求項	図名	備考 18
審判異議申立人国県	全図の名称	備考 19
審判異議申立人代理人種別	全図の図名	備考 20


5.5.2 PAT-LIST CSV 形式ファイルの取込方法

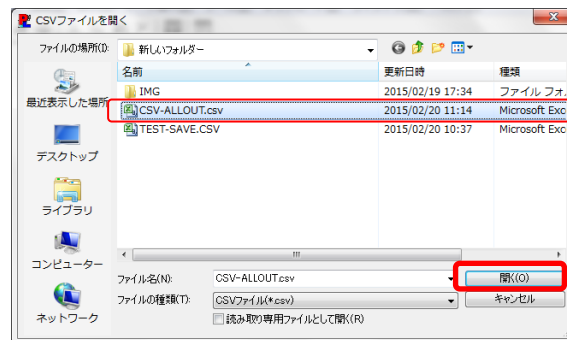
本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能(「JP」タブ)および当社の PAT-LIST-JPS 日本特許調査・解析ソフトウェアから出力した PAT-LIST CSV 形式ファイルは、次の手順で取り込むことができます。

1. メニューバーから「ファイル」→「PAT-LIST CSV データ」→「取込」→「CSV データ(JP)」を選択します。




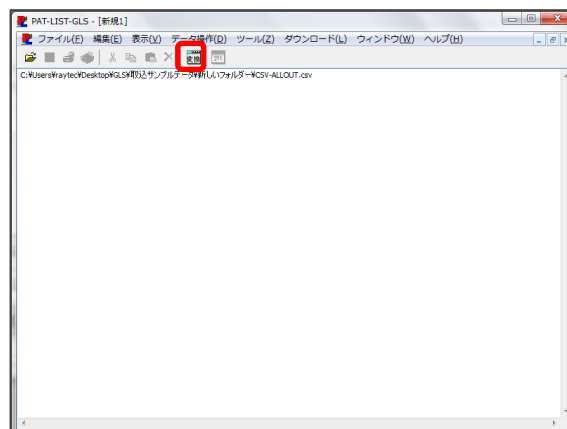
2. 「CSV ファイルを開く」画面が表示されます。PAT-LIST CSV 形式ファイルを指定します。

 をクリックします。



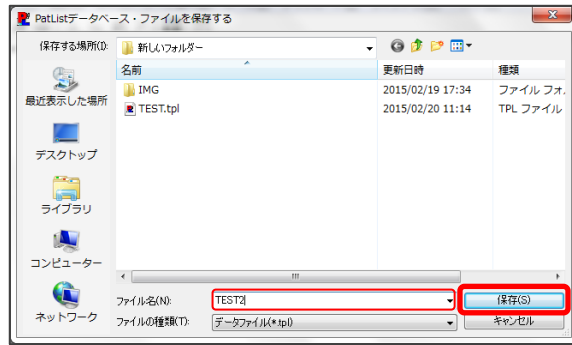
3. 選択した PAT-LIST CSV 形式ファイルの名前がフルパスで表示されます。

ツールバーにある  をクリックします。

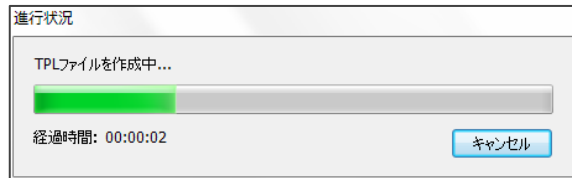


4. 「PatList データベースファイルを保存する」画面が表示されます。

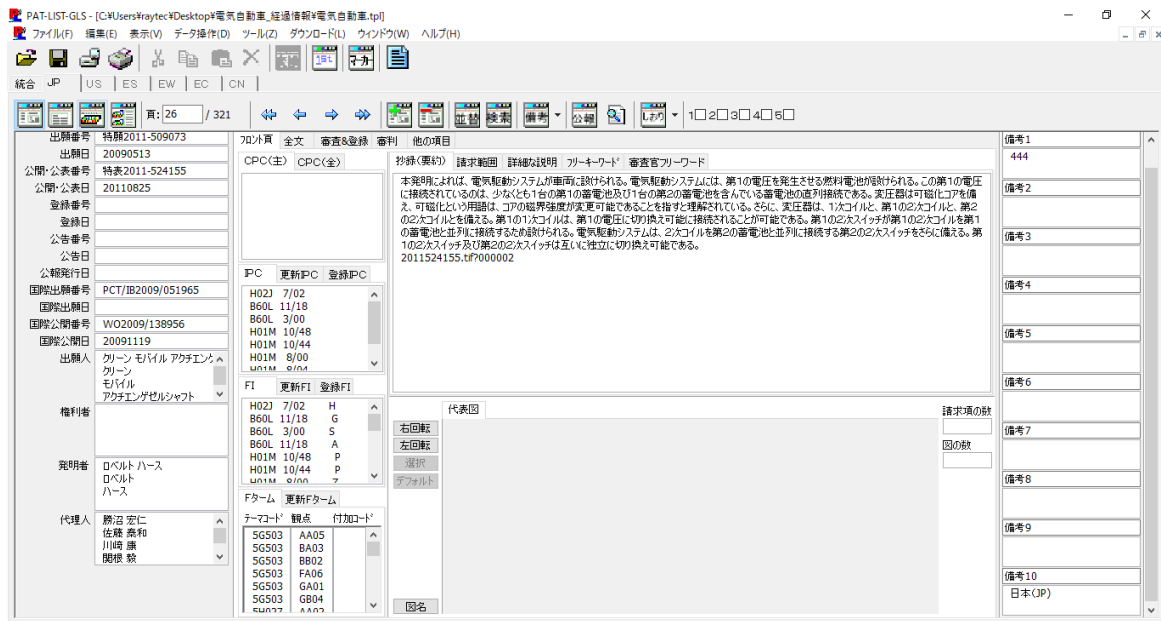
新たに作成する TPL ファイルの名前を入力し、**保存(S)** をクリックします。



データ変換処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。




データ取込みが完了すると、JP 特許調査・解析機能(「JP」タブ)の「**閲覧画面**」で、取り込んだ特許情報の最初の文献が表示されます。

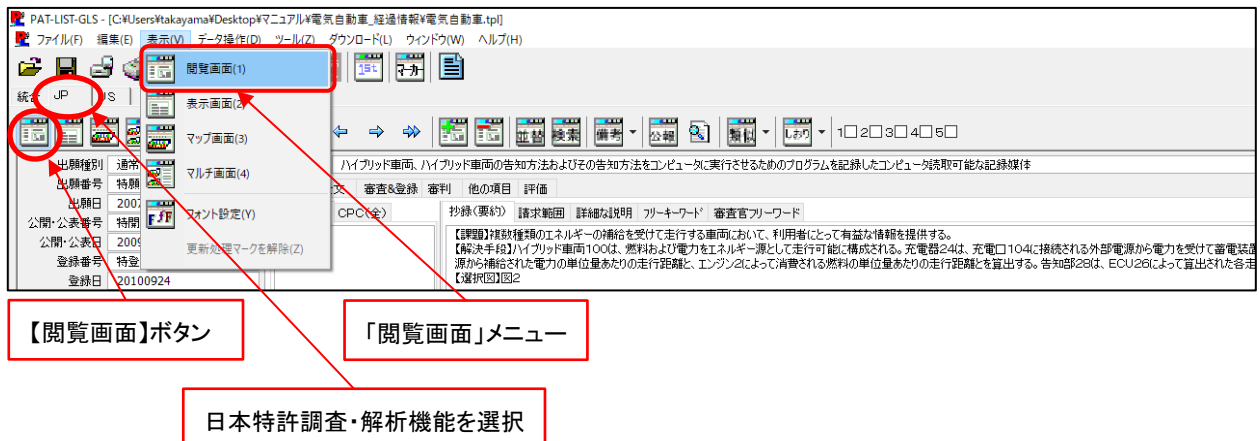


第6章 閲覧画面の操作ガイド

6.1 閲覧画面の表示方法

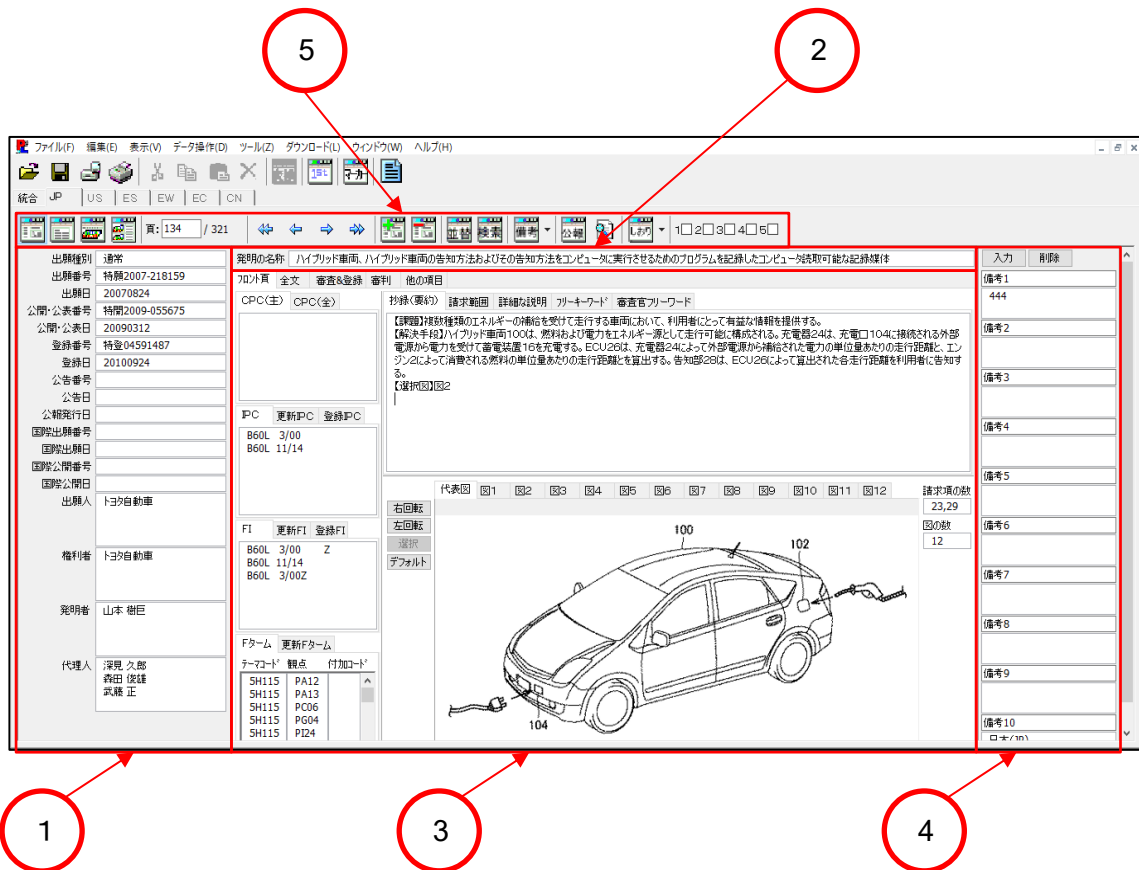
本ソフトウェア起動時は、JP タブの閲覧画面がデフォルトで表示されます。「JP」タブで日本特許調査・解析機能を選択した後、、またはメニューバーで「表示」→「閲覧画面」を選択すると、閲覧画面を表示できます。

また、データを取り込んで PAT-LIST 形式ファイルを作成すると、文献情報を1件ずつ見られる閲覧画面が表示されます。ここで、様々な編集・加工作業を行うことができます。本章では、閲覧画面で行える作業について説明します。



6.2 閲覧画面の構成

日本特許調査・解析機能の閲覧画面を下図に示します。閲覧画面は、PAT-LIST 形式ファイルに含まれる特許文献を1件ずつ閲覧できる画面で、画面の各部は次のようになっています。

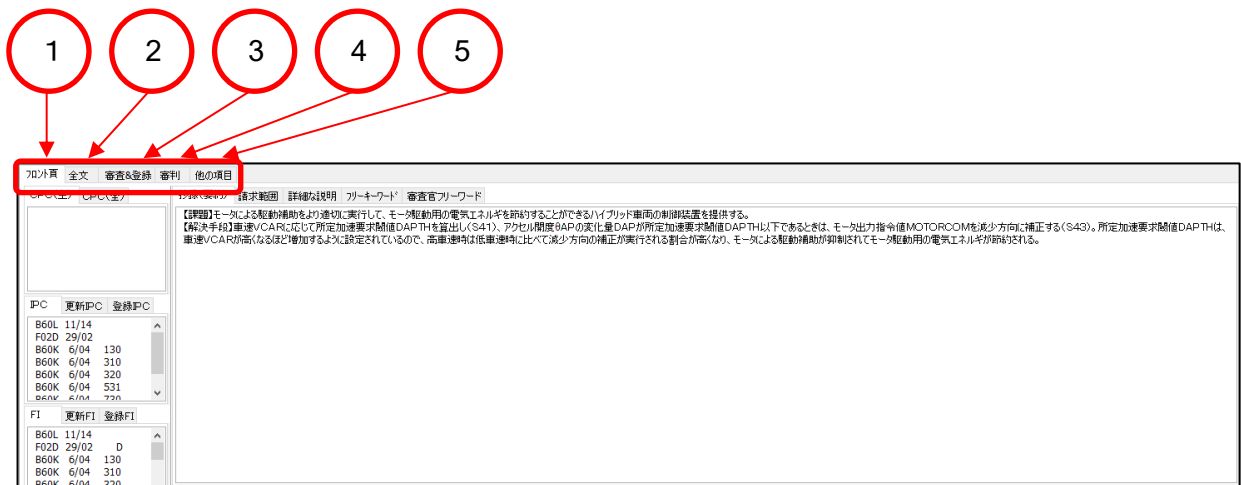


閲覧画面の各部

No.	表示領域	機能説明
①	書誌	出願種別、出願番号、出願日、公開・公表番号、公開・公表日、登録番号、登録日、国際出願番号、国際出願日、国際公開番号、国際公開日などの番号と日付のほか、出願人、発明者、代理人が表示されます。
②	名称表示	発明の名称が表示されます。
③	テキスト・図面	「フロント頁」、「全文」、「審査&登録」、「審判」、「他の項目」など、「発明の名称」の下側にあるタブで選択した情報が表示されます。
④	備考	備考欄が表示されます。標準で「備考 1」～「備考 10」までの 10 個の備考欄が用意されています。
⑤	ツールバー	各種のボタンが表示されます。

6.2.1 テキスト・図面表示領域

「発明の名称」の下側にあるタブで選択した情報が表示されます。各タブを選択した時に表示される情報を説明します。

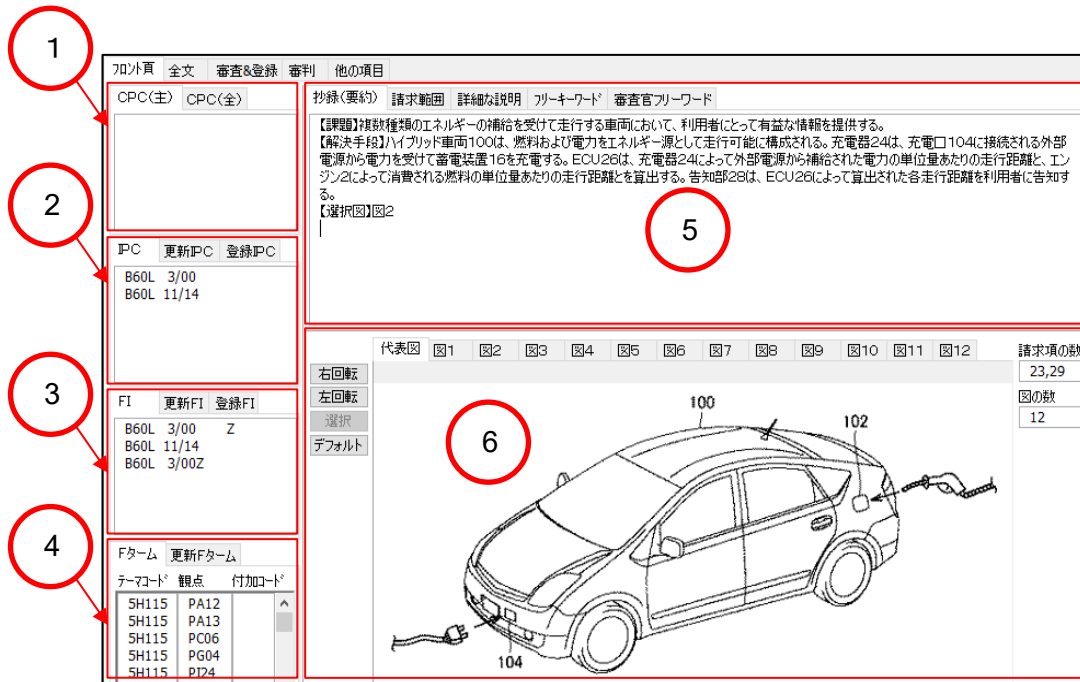


テキスト・図面表示領域のタブ

No.	タブ	機能説明
①	フロント頁	特許分類（IPC、FI、F ターム）、タブで選択したテキスト情報、図面が表示されます。デフォルトでは「フロント頁」が表示されます。
②	全文	全文公報と図面が表示されます。
③	審査&登録	審査記録、登録記録などが表示されます。
④	審判	審判／異議記録などが表示されます。
⑤	他の項目	上記以外の項目が表示されます。

6.2.2 フロント頁

「フロント頁」タブを選択すると、公報のフロント頁と同様に、特許分類 (CPC、IPC、FI、F ターム)、抄録、代表図などが表示されます。テキスト・図面表示領域の各部分は次のようになっています。



フロント頁の各部

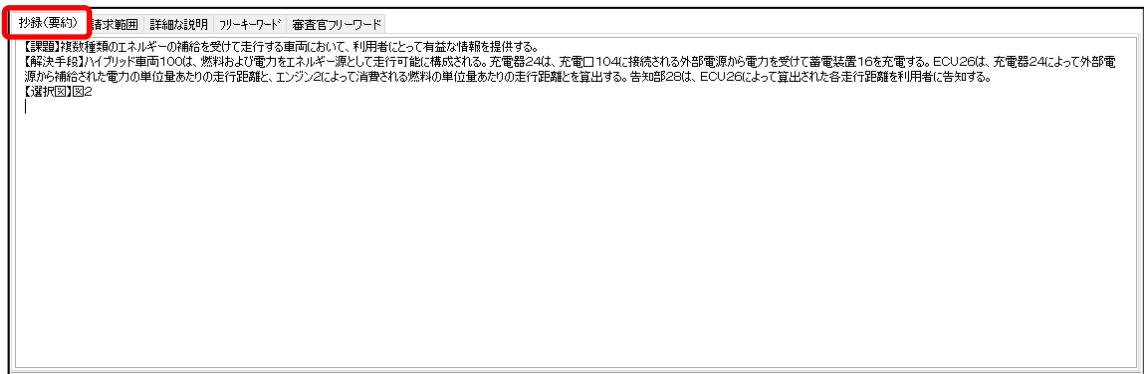
No.	表示箇所	機能説明
①	CPC	閲覧している特許文献に付与されている CPC が表示されます。本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、「CPC(主)」、「CPC(副)」の 2 種類があります。取り込む GSV 項目が CPC だけの場合、筆頭 CPC を自動的に CPC(主)に取り込みます。デフォルトでは「CPC(主)」が表示されます。
②	IPC	閲覧している特許文献に付与されている IPC が表示されます。本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、「IPC」、「更新 IPC」、「登録 IPC」の 3 種類があり、タブで切り替えて希望する IPC を表示することができます。デフォルトでは「IPC」が表示されます。
③	FI	閲覧している特許文献に付与されている FI が表示されます。本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、「FI」、「更新 FI」、「登録 FI」の 3 種類があり、タブで切り替えて希望する FI を表示することができます。デフォルトでは「FI」が表示されます。
④	F ターム	閲覧している特許文献に付与されている F ターム (テーマコード、観点、付加コード) が表示されます。本ソフトウェアの日本特許調査・解析機能には、「F ターム」、「更新 F ターム」、「登録 F ターム」の 3 種類があり、タブで切り替えて希望する FI を表示することができます。デフォルトでは「F ターム」が表示されます。
⑤	テキスト	閲覧している特許文献の「抄録 (要約)」、「請求範囲」、「詳細な説明」、「キーワード」、「審査官フリーワード」をタブで切り替えて表示できます。デフォルトでは、「抄録 (要約)」が表示されます。
⑥	図面	タブで選択した図面が表示されます。デフォルトでは「代表図」が表示されます。

6.2.2.1 テキスト表示部

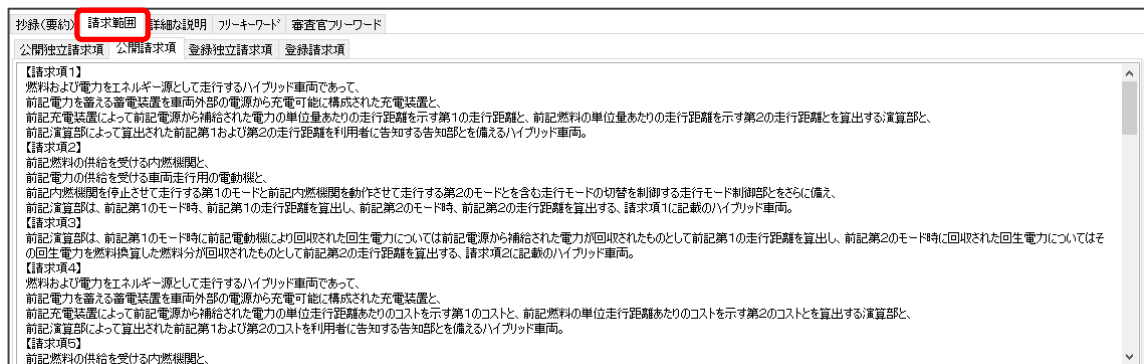
「発明の名称」の下にあるタブで選択したテキスト情報が表示されます。タブで表示できるテキスト情報は次の通りです。

テキスト表示部のタブ

メインタブ	サブタブ	機能説明
抄録（要約）		抄録（要約）が表示されます。デフォルトでは抄録（要約）が表示されます。
請求範囲	公開独立請求項	公開公報の独立請求項が表示されます。
	公開請求項	公開公報の請求項が表示されます。「請求範囲」のデフォルトは「公開請求項」になっています。
	登録独立請求項	登録公報の独立請求項が表示されます。
	登録請求項	登録公報の請求項が表示されます。
詳細な説明	技術分野	公報の「詳細の説明」にある技術分野が表示されます。「詳細の説明」のデフォルトは「技術分野」になっています。
	従来技術	公報の「詳細の説明」にある従来技術が表示されます。
	発明の課題	公報の「詳細の説明」にある発明の課題が表示されます。
	解決手段	公報の「詳細の説明」にある解決手段が表示されます。
	実施の形態	公報の「詳細の説明」にある実施の形態が表示されます。
	発明の効果	公報の「詳細の説明」にある発明の効果が表示されます。
	図面の簡単な説明	公報の「詳細の説明」にある図面の簡単な説明が表示されます。
	符号の説明	公報の「詳細の説明」にある符号の説明が表示されます。
キーワード		キーワードが表示されます。
審査官フリーワード		審査官フリーワードが表示されます。



「抄録（要約）」タブの表示例



「請求範囲」タブの表示例（「公開請求項」タブ）

抄録(要約) 請求範囲 **詳細な説明** キーワード 審査官フリーワード

技術分野 従来技術 発明の課題 解決手段 実施の形態 発明の効果 図面の簡単な説明 符号の説明

【技術分野】
[0001]
この発明は、複数種類のエネルギーが車両外部から供給される車両に関する。

「詳細な説明」タブの表示例（「技術分野」タブ）

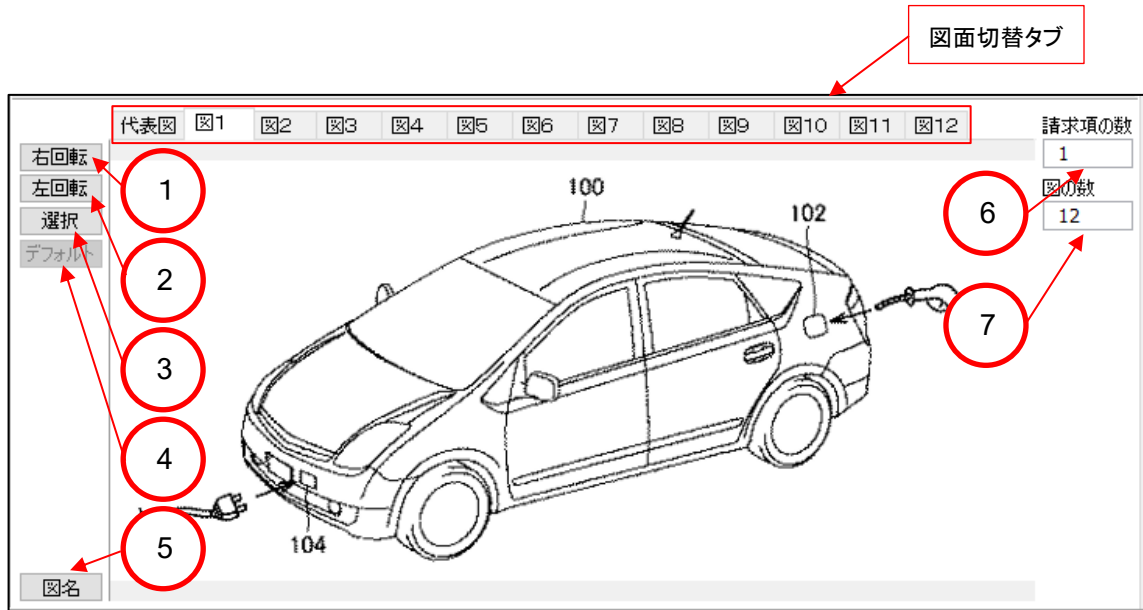


本ソフトウェアでは、登録特許については、項目対応表の設定にかかわらず、出願人は権利者欄に、請求項は登録請求項欄に自動的に取り込まれます。

また、請求項のテキストの内容を判断して、独立項と思われる請求項は、独立請求項欄へ取り込みます。

6.2.2.2 図面表示部

代表図が表示されます。全図を取り込んでいる場合は、「代表図」、「図1」、「図2」…などの図面切替タブで、表示する図面を選択できます。デフォルトでは、「代表図」が表示されます。




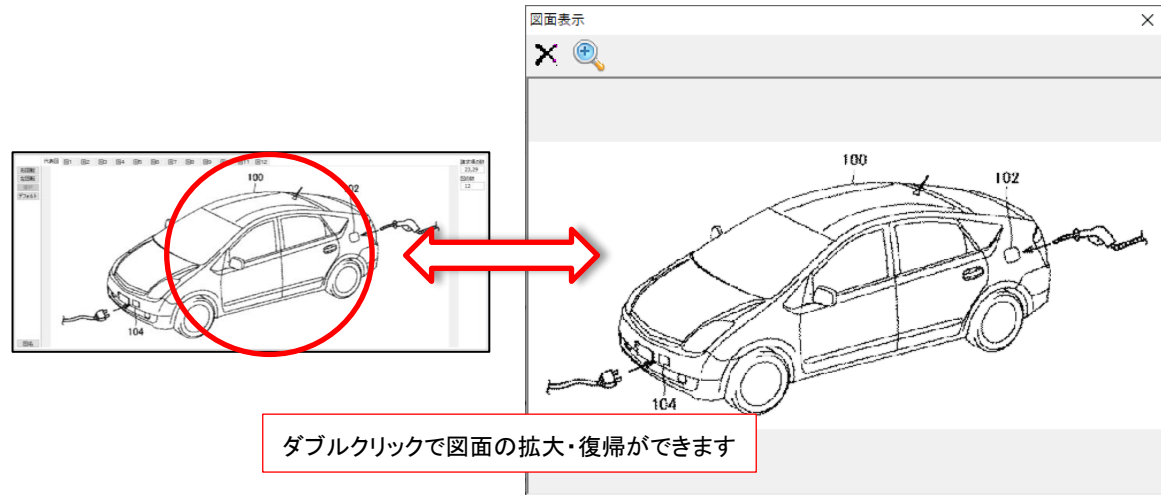
図面表示部にあるボタン類は次の通りです。

図面表示部のボタン

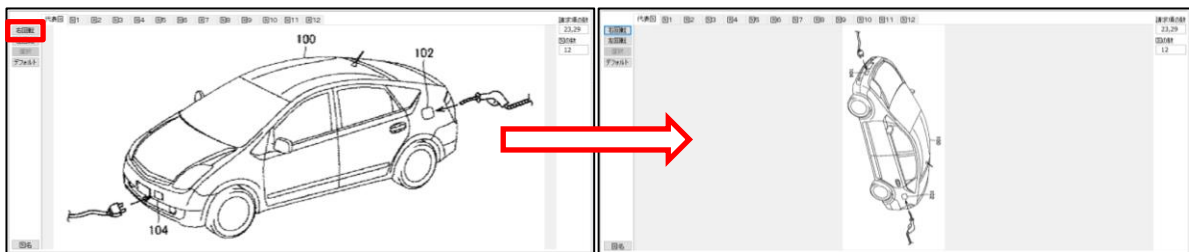
No	ボタン		機能
①	<input type="button" value="右回転"/>	[右回転]	図面を右に 90° 回転します。
②	<input type="button" value="左回転"/>	[左回転]	図面を左へ 90° 回転します。
③	<input type="button" value="選択"/>	[選択]	現在表示している図面を代表図に設定します。
④	<input type="button" value="デフォルト"/>	[デフォルト]	<input type="button" value="選択"/> で変更し代表図を元の代表図に戻します。
⑤	<input type="button" value="図名"/>	[図名]	図面をファイル名で指定した図面と入れ替えます。
⑥	請求項の数 <input type="text" value="1"/>	請求項の数	請求項の数が表示されます。
⑦	図の数 <input type="text" value="12"/>	図の数	図面の数が表示されます。

図面の拡大・復帰—図面をダブルクリックすることで、図面をオリジナルサイズで表示します。

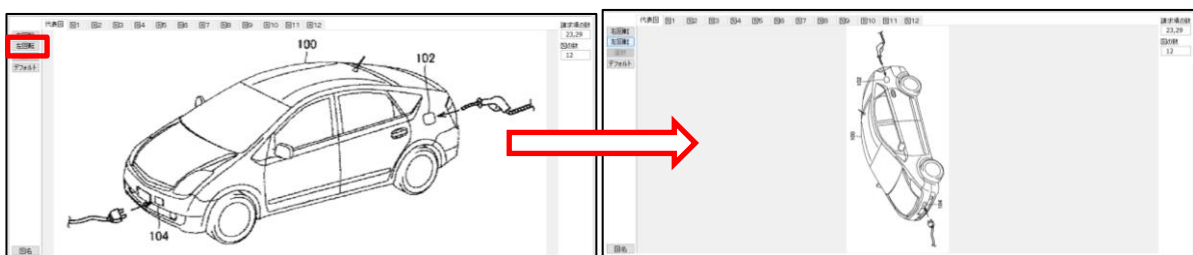
画面に収まらない図面の場合は、 虫眼鏡アイコンをクリックすることで、画面に収まるサイズで表示します。
拡大した図面をダブルクリックすると、元の表示に戻ります。



図面の右回転— **右回転** をクリックするたびに、図面が右に 90° 回転します。



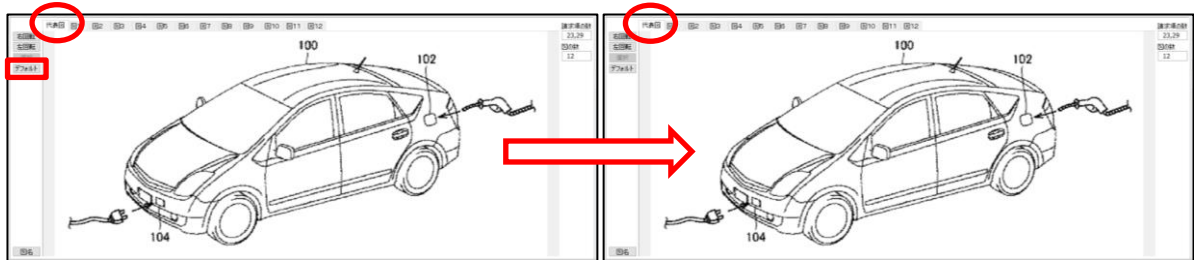
図面の左回転— **左回転** をクリックするたびに、図面が左に 90° 回転します。



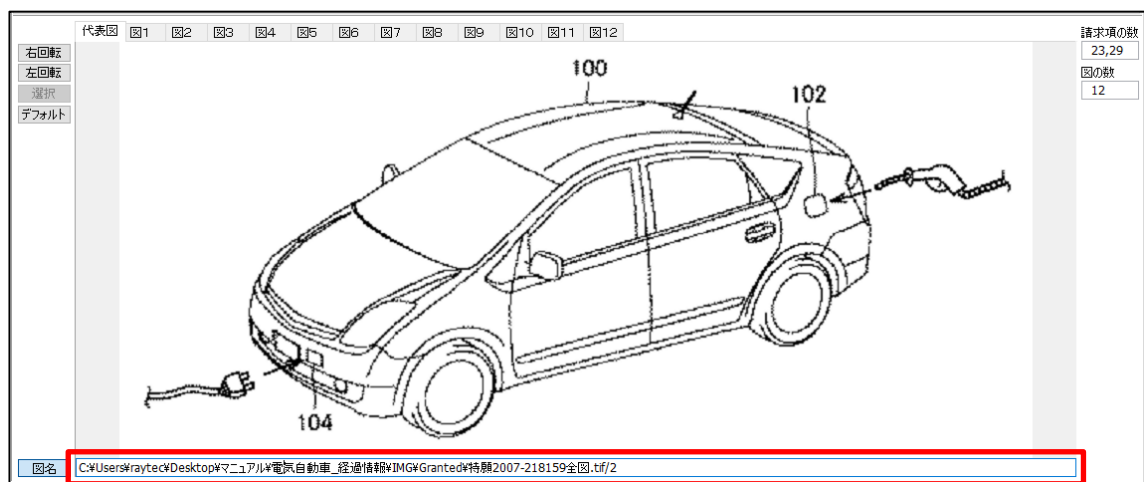
代表図の選択— **選択** をクリックすると、現在表示している図面が「代表図」になります。例えば「**図 3**」を代表図に設定する場合は、「**図 3**」を表示した後、「**選択**」をクリックします。「代表図」が選択した「**図 3**」に切り替わります。



代表図の復帰— **デフォルト** をクリックすると、「代表図」が元の図面に戻ります。



図面の入れ替え— **図名** をクリックし、図面ファイル名を入力すると、図面を他の図面と入れ替えることができます。図名 ボタンをクリックすると、すぐ右側に欄が表示されます。この欄に希望する図面のファイル名をフルパスで入力すると、指定した図面ファイルの図面が表示されます。



6.2.3 全文

閲覧している特許文献の全文・全図を表示できます。「公開」と「登録」の2つのタブがあり、公開公報と登録公報のどちらを表示するか切り替えられます。

7011頁 全文 審査&登録 審判 他の項目 評価

公開 登録

(19)【発明の名称】日本国特許庁(IP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開2009-55675(P2009-55675A)
 (43)【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)
 (54)【発明の名称】ハイブリッド車両、ハイブリッド車両の告知方法およびその告知方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体
 (51)【国際特許分類】
 B60L 3/00 (2006.01)
 B60L 11/14 (2006.01)
 【F】
 B60L 3/00 Z
 B60L 11/14
 【審査請求】有
 【請求項の数】23
 【出願形態】OL
 【全頁数】24
 (2)【出願番号】特願2007-218159(P2007-218159)
 (22)【出願日】平成19年8月24日(2007.8.24)
 (71)【出願人】
 【識別番号】000003207
 【氏名又は名称】トヨタ自動車株式会社
 【住所又は居所】愛知県豊田市トヨタ町1番地
 (74)【代理人】
 【識別番号】100064746
 【弁護士】
 【氏名又は名称】深見 久郎
 (74)【代理人】
 【識別番号】100085132
 【弁護士】
 【氏名又は名称】森田 俊雄
 (74)【代理人】
 【識別番号】100112852
 【弁護士】
 【氏名又は名称】武藤 正
 (72)【発明者】
 【氏名】山本 樹巨
 【住所又は居所】愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
 テーマコード(参考)
 SH11T6
 【ファミリー(参考)】
 SH11SPA12
 SH11SPA13
 SH11SPC06
 SH11SPG04
 SH11SPJ24
 SH11SPJ29
 SH11SPJ17
 SH11SPU08
 SH11SPU24
 SH11SPU25
 SH11SPV09
 SH11SQ104
 SH11SRB11
 SH11SRE02

代表図

図1

図2

図3

公報切替タブ



全文・全図を表示するには、事前に当社サーバーより、全文情報をダウンロードしておく必要があります。

6.2.4 審査&登録

閲覧している特許文献の審査および登録に関連する情報表示できます。(例:審査記録、登録記録などの項目)

70/外頁	全文	審査&登録	審判	他の項目	評価																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">審査記録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(特許願</td><td>平19.8.24 :)</td></tr> <tr><td>(出願審査</td><td>平20.8.28 :)</td></tr> <tr><td>(優先権証</td><td>平20.9.2 :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平20.9.3 (-) :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平20.11.14 :)</td></tr> <tr><td>(拒絶理由</td><td>平20.11.14 :)</td></tr> <tr><td>(意見書</td><td>平21.1.23 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平21.1.23 (-) :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平21.1.29 :)</td></tr> <tr><td>(拒絶理由</td><td>平21.1.29 :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平21.1.29 :)</td></tr> <tr><td>(意見書</td><td>平21.5.26 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平21.7.29 :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平21.7.29 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平21.7.29 (-) :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平21.8.4 :)</td></tr> <tr><td>(拒絶理由</td><td>平21.8.4 :)</td></tr> <tr><td>(意見書</td><td>平21.8.4 (-) :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平21.8.4 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平21.8.4 (-) :)</td></tr> <tr><td>(拒絶理由</td><td>平22.1.8 :)</td></tr> <tr><td>(意見書</td><td>平22.1.8 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平22.3.19 :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平22.3.19 :)</td></tr> <tr><td>(手続補正</td><td>平22.3.19 (-) :)</td></tr> <tr><td>(認定+付</td><td>平22.3.26 :)</td></tr> <tr><td>(特許査定</td><td>平22.8.9 :)</td></tr> <tr><td>(登録料納</td><td>平22.8.30 :)</td></tr> </tbody> </table>						審査記録		(特許願	平19.8.24 :)	(出願審査	平20.8.28 :)	(優先権証	平20.9.2 :)	(認定+付	平20.9.3 (-) :)	(手続補正	平20.11.14 :)	(拒絶理由	平20.11.14 :)	(意見書	平21.1.23 :)	(手続補正	平21.1.23 (-) :)	(認定+付	平21.1.29 :)	(拒絶理由	平21.1.29 :)	(認定+付	平21.1.29 :)	(意見書	平21.5.26 :)	(手続補正	平21.7.29 :)	(認定+付	平21.7.29 :)	(手続補正	平21.7.29 (-) :)	(認定+付	平21.8.4 :)	(拒絶理由	平21.8.4 :)	(意見書	平21.8.4 (-) :)	(認定+付	平21.8.4 :)	(手続補正	平21.8.4 (-) :)	(拒絶理由	平22.1.8 :)	(意見書	平22.1.8 :)	(手続補正	平22.3.19 :)	(認定+付	平22.3.19 :)	(手続補正	平22.3.19 (-) :)	(認定+付	平22.3.26 :)	(特許査定	平22.8.9 :)	(登録料納	平22.8.30 :)
審査記録																																																															
(特許願	平19.8.24 :)																																																														
(出願審査	平20.8.28 :)																																																														
(優先権証	平20.9.2 :)																																																														
(認定+付	平20.9.3 (-) :)																																																														
(手続補正	平20.11.14 :)																																																														
(拒絶理由	平20.11.14 :)																																																														
(意見書	平21.1.23 :)																																																														
(手続補正	平21.1.23 (-) :)																																																														
(認定+付	平21.1.29 :)																																																														
(拒絶理由	平21.1.29 :)																																																														
(認定+付	平21.1.29 :)																																																														
(意見書	平21.5.26 :)																																																														
(手続補正	平21.7.29 :)																																																														
(認定+付	平21.7.29 :)																																																														
(手続補正	平21.7.29 (-) :)																																																														
(認定+付	平21.8.4 :)																																																														
(拒絶理由	平21.8.4 :)																																																														
(意見書	平21.8.4 (-) :)																																																														
(認定+付	平21.8.4 :)																																																														
(手続補正	平21.8.4 (-) :)																																																														
(拒絶理由	平22.1.8 :)																																																														
(意見書	平22.1.8 :)																																																														
(手続補正	平22.3.19 :)																																																														
(認定+付	平22.3.19 :)																																																														
(手続補正	平22.3.19 (-) :)																																																														
(認定+付	平22.3.26 :)																																																														
(特許査定	平22.8.9 :)																																																														
(登録料納	平22.8.30 :)																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">登録記録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(特許査定</td><td>平22.8.17 :)</td></tr> <tr><td>(特許料納</td><td>平22.8.30 :)</td></tr> <tr><td>(特許登録</td><td>平22.10.12 :)</td></tr> </tbody> </table>						登録記録		(特許査定	平22.8.17 :)	(特許料納	平22.8.30 :)	(特許登録	平22.10.12 :)																																																		
登録記録																																																															
(特許査定	平22.8.17 :)																																																														
(特許料納	平22.8.30 :)																																																														
(特許登録	平22.10.12 :)																																																														

6.2.5 審判

閲覧している特許文献の審判に関する情報が表示されます。

70/外頁	全文	審査&登録	審判	他の項目	評価																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">審判/異議記録</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>審判番号</td><td></td></tr> <tr><td>審判請求日</td><td></td></tr> <tr><td>審判種別</td><td></td></tr> <tr><td>審判請求人</td><td></td></tr> <tr><td>請求代理人</td><td></td></tr> <tr><td>異議有効期</td><td></td></tr> <tr><td>補正請求人</td><td></td></tr> <tr><td>異議申立人</td><td></td></tr> <tr><td>異議申立請求</td><td></td></tr> <tr><td>異議決定種別</td><td></td></tr> <tr><td>審判最終処分種</td><td></td></tr> <tr><td>確定日</td><td></td></tr> <tr><td>出願/上巻区分</td><td></td></tr> <tr><td>出願/上巻</td><td></td></tr> <tr><td>審判番号</td><td></td></tr> <tr><td>上巻受理番号</td><td></td></tr> <tr><td>出願日/上巻日</td><td></td></tr> <tr><td>異議決定分限</td><td></td></tr> <tr><td>審決分限</td><td></td></tr> </tbody> </table>						審判/異議記録		審判番号		審判請求日		審判種別		審判請求人		請求代理人		異議有効期		補正請求人		異議申立人		異議申立請求		異議決定種別		審判最終処分種		確定日		出願/上巻区分		出願/上巻		審判番号		上巻受理番号		出願日/上巻日		異議決定分限		審決分限	
審判/異議記録																																													
審判番号																																													
審判請求日																																													
審判種別																																													
審判請求人																																													
請求代理人																																													
異議有効期																																													
補正請求人																																													
異議申立人																																													
異議申立請求																																													
異議決定種別																																													
審判最終処分種																																													
確定日																																													
出願/上巻区分																																													
出願/上巻																																													
審判番号																																													
上巻受理番号																																													
出願日/上巻日																																													
異議決定分限																																													
審決分限																																													

6.2.6 他の項目

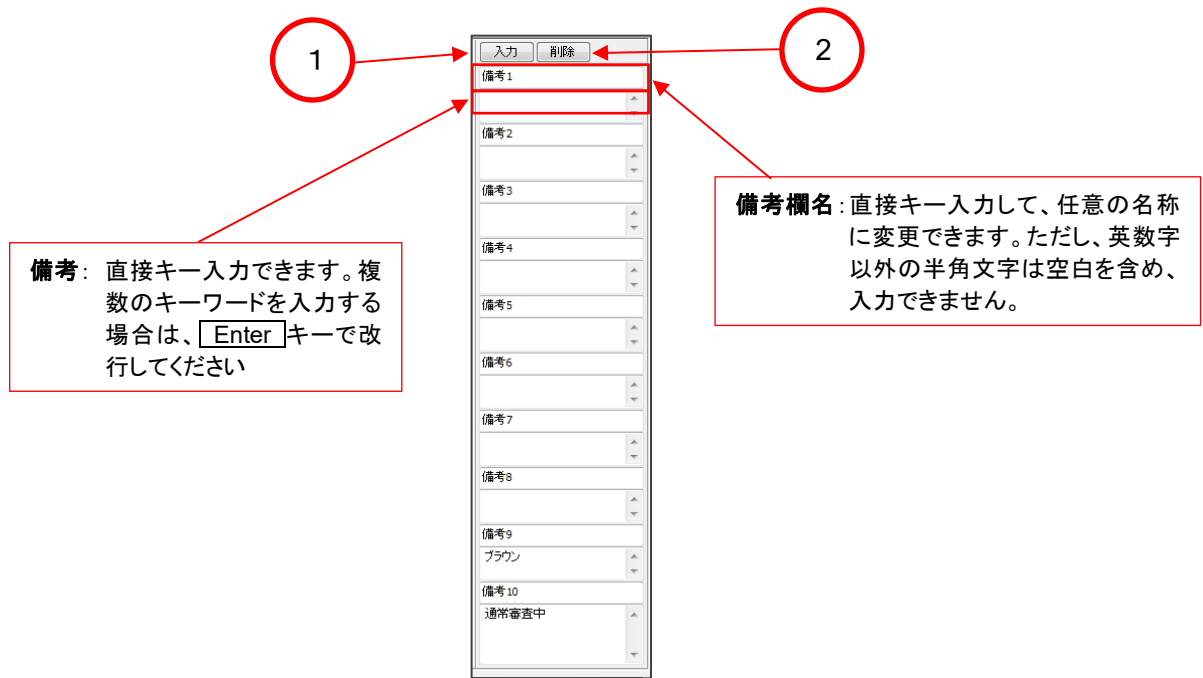
閲覧している特許文献のフロント頁、審査&登録、審判以外のその他の項目が表示されます。

加小頁	全文	審査&登録	審判	他の項目	特許
四法					特許
翻訳文提出日					
予備審査					
公報発行区分					
公報発行区分(公告)					
特許番号					
年報番号					
公報種別					
優先権種別					
優先権主張日					
優先権主張国					
優先権主張番号					
国内優先権主張四法					
国内優先権主張番号					
国内優先権主張日					
優先権主張日(登録)					
優先権主張国(登録)					
優先権種別(登録)					
追加出願日					
追加公告日					
延長出願番号					
出願言語					
出願人国名		愛知県豊田市トヨタ町1番地			
出願人コード		000003207			
出願人代理人種別					
出願人代理人資格					
出願人代理人コード		100064746,100085132,100112852			
権利者国名		愛知県豊田市トヨタ町1番地			
権利者コード		000003207			
権利者代理人種別					
権利者代理人資格					
権利者代理人コード		100064746,100085132,100112852			
発明者等国名		愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内			





6.2.7 備考領域

閲覧している特許文献の備考欄が表示されます。本ソフトウェアには、標準で「備考 1」～「備考 10」の 10 個の備考欄が用意されています。オプションで「備考 11」～「備考 20」を追加して、最大 20 個までの備考欄を使用することも可能です。

各備考欄に独自の分類や、発明の課題、解決手段、評価などの特許情報には含まれていない、付加情報を入力して戦略データベース(SDB)を構築できます。備考欄のデータは、特許マップのXY軸に設定して、「課題」-「解決手段」マップのような特許マップが作成できます。備考欄の項目にはすでに使用している項目名(たとえば、解決手段 等)は入力出来ません。




















備考領域のボタン

No	ボタン		機能
①		[入力]	貼付した文字列を一括入力します。抄録(要約)や「請求範囲」などのから文字列をコピーして備考に貼付した後、  をクリックすると、コピー元の抄録(要約)や「請求範囲」などに同じ文字列が含まれる文献を自動的に検索し、それらの文献の同じ備考へ貼付した文字列を一括入力します。
②		[削除]	備考でコピーした文字列を一括削除します。備考で文字列をコピーした後、  をクリックすると、すべての文献の同一備考を検索し、コピーした文字列を一括削除します。

6.3 ツールバーのボタン


閲覧画面のツールバーにあるボタンは、下記の通りです。



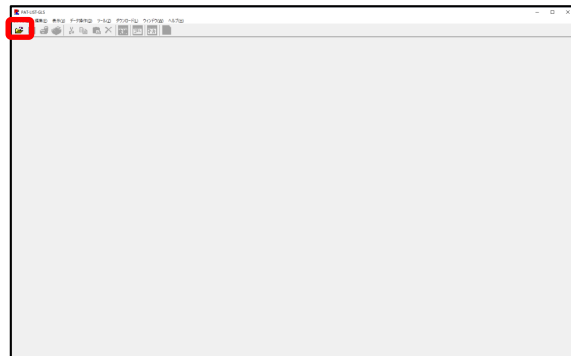
アイコンボタン		機能
	[閲覧画面]	閲覧画面に移行します。
	[表示画面]	表示画面に移行します。
	[マップ画面]	マップ画面に移行します。
	[マルチ画面]	マルチ画面に移行します。
頁: 134 / 321 [頁番号]の表示		閲覧している特許文献の頁番号/総件数が表されます。欄内に頁番号を入力し、[Enter]キーを押すことによって、指定した頁にジャンプできます。
	[先頭]	先頭の頁に移動します。
	[前頁]	前頁に移動します。
	[次頁]	次頁に移動します。
	[末尾]	末尾の頁に移動します。
	[新規]	末尾に新規の空白頁を1件追加します。
	[削除]	現在閲覧している特許文献を1件分削除します。
	[並替]	特許文献の並び替えを行います。
	[検索]	検索を行います。
	[備考]	備考欄への入力、一括入力・削除・置換が行えます。
 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> [しおり]		1~5のチェックボックスをクリックすることで、現在閲覧している特許文献に「しおり」を付けたり、付けた「しおり」を解除したりできます。
	[公報]	当社サーバーにアクセスして、現在閲覧している特許文献の全文公報を見ることができます。
	[類似]	
	[PMGS]	特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) の特許・実用新案分類照会ページ (PMGS) にアクセスできます。

6.4 ファイルを開く

既存の TPL ファイルを開く場合は、以下のように操作します。

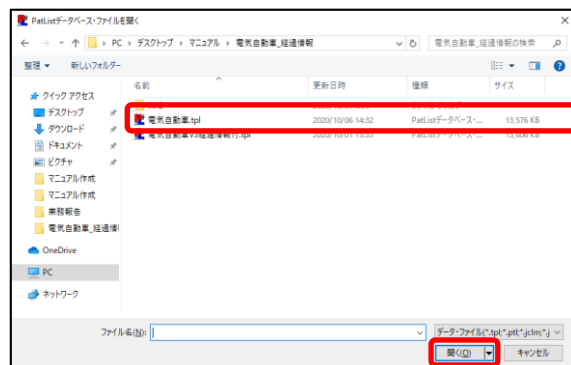
1. ツールバーにある  をクリック、

または初期画面のメニューバーから「ファイル」→「開く」を選択すると、「PAT-LIST データファイルを開く」画面が表示されます。



2. TPL ファイルを指定して  をクリックします。

選択した TPL ファイルが開かれ、最初の文献の情報が閲覧画面で表示されます。




6.5 データファイルの更新

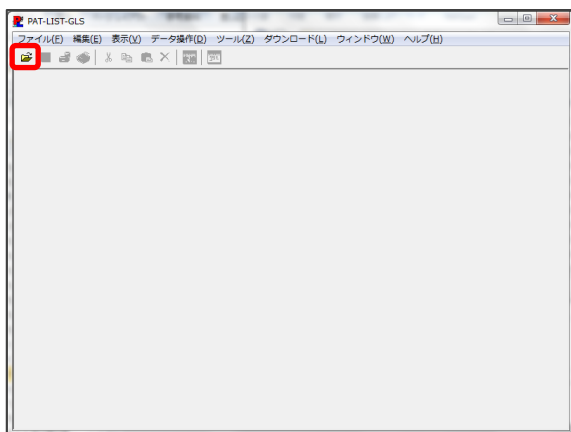
現在開いている TPL ファイルに、別の TPL ファイルの内容をマージして、情報を1つの TPL ファイルにまとめることができます。



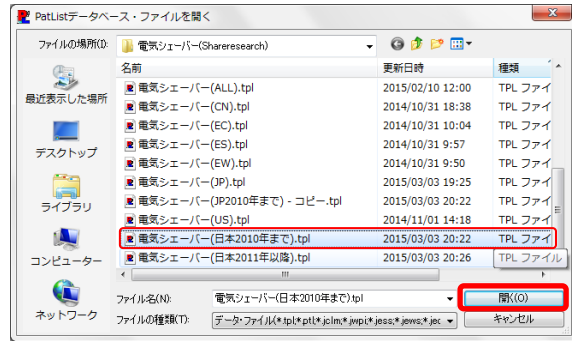
データファイルの更新を実行すると、更新前の状態に戻せなくなります。更新を行う前に、元の TPL ファイルのバックアップを保存してください。

操作手順は、以下のとおりです。

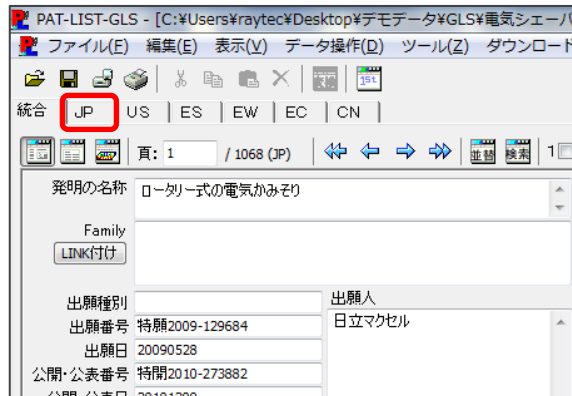
1. ツールバーにある  をクリックします。



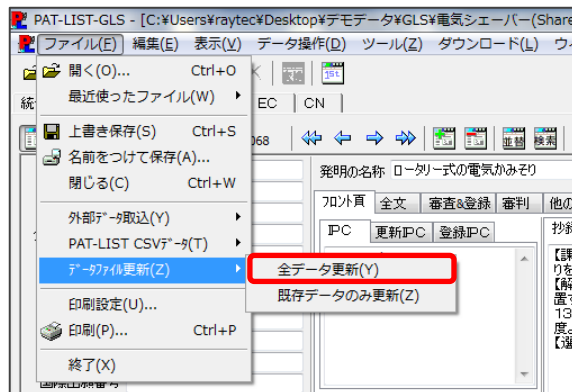
2. 情報を追加して更新する TPL ファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。



選択した TPL が開かれ、閲覧画面が表示されます。



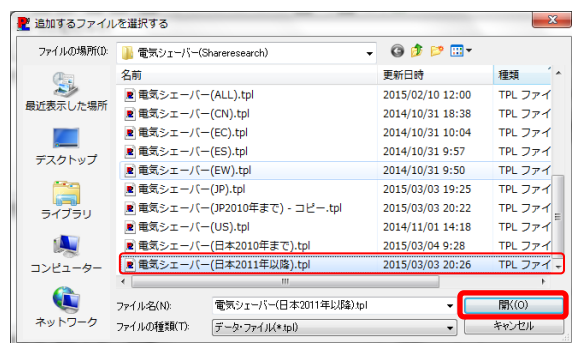
3. メニューバーから「ファイル」→「データファイル更新」→「全データ更新」、または「既存データのみ更新」を選択します。



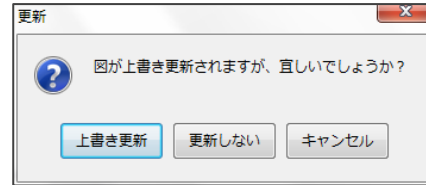
4. 「追加するファイルを選択する」画面が表示されます。更新・追加情報が保存されている TPL ファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。

これにより、2)で選択した TPL ファイルに、ここで選択した TPL ファイルの内容が追加・更新されます。

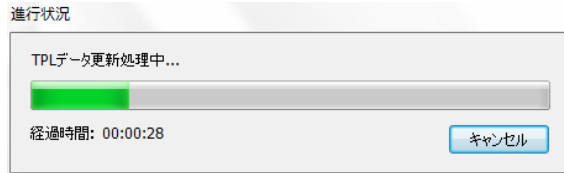
ファイル名は、2)のファイル名がそのまま使用されます。



5. 代表図などの図面を上書きするかを確認するメッセージが表示されます。



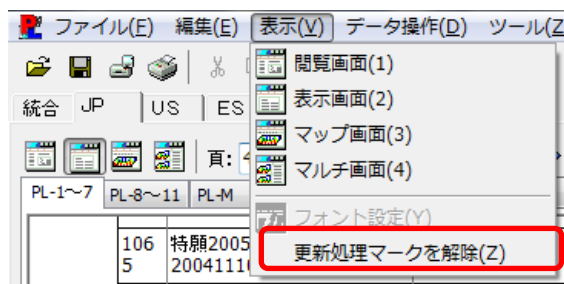
データ変換処理が開始し、処理の進捗を示す画面が表示されます。



更新されたファイルの表示画面では、更新・追加されたデータが、青色下線表示されています。

106	特願2005-515355 20041110	WO05/044524 20070517	特許04870987 20111125
106	特願2004-532717 20030826	WO04/020161 20051215	特許04123232 20080516
106	特願2003-526645 20020909	WO03/022535 20041224	特許04207779 20081031
106	特願2004-176169 20040614	特開2005-349133 20051222	
106	特願2011-173594 20110809	特開2014-198059 20141023	
107	特願2013-070604 20130328	特開2014-193219 20141009	
107	特願2014-076875 20070615	特開2014-158939 20140904	
107	特願2013-025918 20130213	特開2014-151124 20140825	

青色下線表示を解除したい場合、メニューバーから「表示」→「更新処理マークを解除」を選択しますと、青色下線表示が解除されます。



「全データ更新」と「既存データのみ更新」の違いを以下に示します。

全データ更新

更新元ファイルの更新部分と、追加データのいずれも青色表示されます。

106	特願2005-515355 20041110	WO05/044524 20070517	特許04870987 20111125
106	特願2004-532717 20030826	WO04/020161 20051215	特許04123232 20080516
106	特願2003-526645 20020909	WO03/022535 20041224	特許04207779 20081031
106	特願2004-176169 20040614	特開2005-349133 20051222	
106	特願2011-173594 2010809	特開2014-198059 20141023	
107	特願2013-070604 20130328	特開2014-193219 20141009	
107	特願2014-076875 20070615	特開2014-158939 20140904	
107	特願2013-025918 20130213	特開2014-151124 20140825	
107	特願2014-081620 20140209	特開2014-128743 20140716	

既存データのみ更新

更新元ファイル更新箇所のみ青色表示されます。追加データは、青色表示されません。

106	特願2005-515355 20041110	WO05/044524 20070517	特許04870987 20111125
106	特願2004-532717 20030826	WO04/020161 20051215	特許04123232 20080516
106	特願2003-526645 20020909	WO03/022535 20041224	特許04207779 20081031
106	特願2004-176169 20040614	特開2005-349133 20051222	
106	特願2011-173594 20110809	特開2014-198059 20141023	
107	特願2013-070604 20130328	特開2014-193219 20141009	



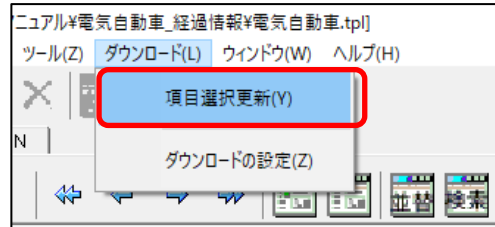
ファイル更新は出願番号をキーにしています。追加ファイルの出願番号が更新元ファイルに存在する場合、各フィールドの値を比較し、違っている時は更新元ファイルに追加ファイルを追記します。追加ファイルの出願番号が更新元ファイルに存在しない場合は、更新元ファイルの最後に追加ファイルを追加します。

6.6 全文・全図ダウンロード

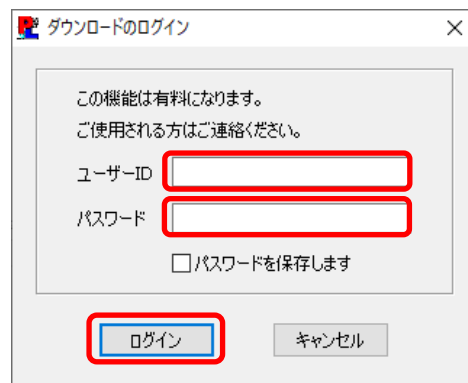
情報の全文と全図を当社サーバーからダウンロードできます。

操作手順は以下のとおりです。

1. メニューバーから、「ダウンロード」→「項目選択更新」を選択します。



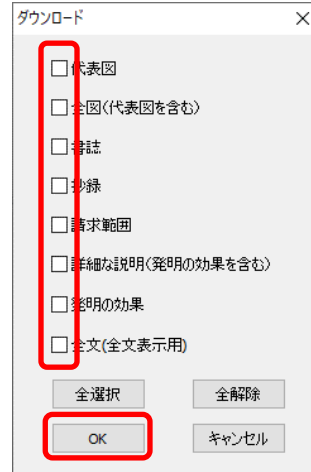
2. 「ダウンロードのログイン」画面が表示されます。
この中にある、「ユーザーID」と「パスワード」欄に、ユーザーID とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



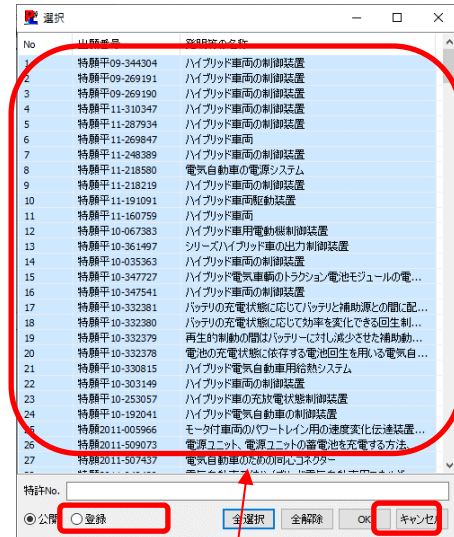
ログインした後、「ダウンロード」画面が表示されます。

ダウンロードしたい項目のチェックボックスをオンにし、「OK」をクリックします。

全ての項目を選択する場合は「全選択」を、チェックを入れた項目全てを解除する場合は「全解除」をクリックします。



- 次に「**選択**」画面が表示されます。
ダウンロードしたい文献をクリックします。
全選択及び全解除ボタン、**[Shift]** キーおよび**[Ctrl]** キーを使い、複数選択も可能です。
また、特許 No を直接入力することも出来ます。
個別の特許 No.は、カンマで区切って指定します。
(例: 1,5,10)
連続の特許 No.は、“ - ”で範囲を指定します。
(例: 5-10)
特許 No.が入力された場合、番号入力の選択結果が優先となります。
公開公報と登録公報のどちらをダウンロードするかラジオボタンで選択します。



一度にダウンロードする件数は100件まで。100件以上の場合は、フリーズする事がある。

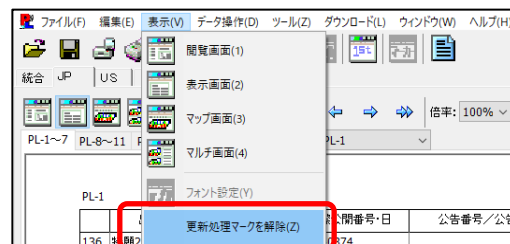
をクリックします。

- 当社サーバーに接続し、ダウンロードを開始します。ダウンロード中は、プログレスバーで、進行度が表示されます。
- ダウンロード終了後、更新部分が表示画面に青色下線表示されます。



出願番号/出願日	発明の名称	IPC	出願人
特願2011-173594 20110809	ローターサーバーの外刃製造方法および外刃	B26B 19/14 B21D 22/26	泉精器製作所
特願2013-070604 20130328	電気かみそり	B26B 19/04	パナソニック
特願2014-076875 20140403	ヘアワックスデバイス	B26B 19/10	ユニオンレック・スリッパズ・エヌ・オー
特願2013-025918 20130213	手工具	B26B 19/28	パナソニック
特願2014-081620 20140411	電気かみそり	B26B 19/14	日立マクセル
特願2014-081619 20140411	電気かみそり	B26B 19/14	日立マクセル
特願2012-286276 20121227	リットルブロックおよびリットルブロックを有する電気かみそり	B26B 19/10	パナソニック
特願2012-286275 20121227	リットルブロックおよびリットルブロックを有する電気かみそり	B26B 19/10	パナソニック
特願2012-286274 20121227	リットルブロックおよびリットルブロックを有する電気かみそり	B26B 19/10	パナソニック
特願2012-286273 20121227	リットルブロックおよびリットルブロックを有する電気かみそり	B26B 19/10	パナソニック


- 更新箇所を示す青色下線表示を解除する場合は、表示画面のメニューバーから「**表示**」→「**更新処理マークを解除**」を選択します。



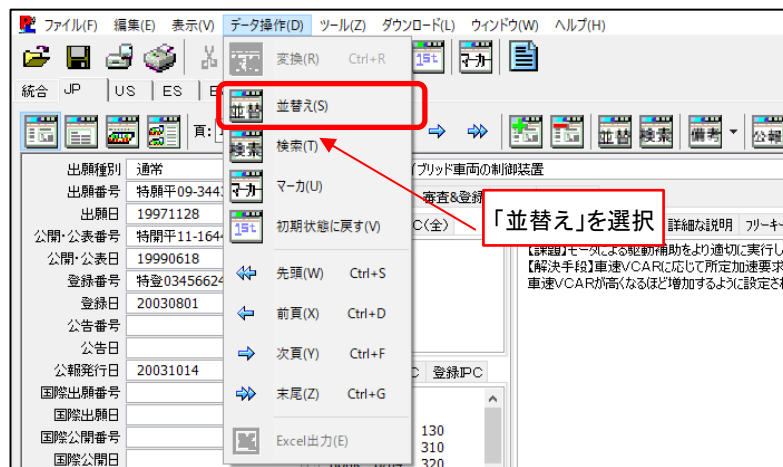
6.7 並べ替え

本ソフトウェアでは、データベース内の文献の表示順を並べ替えることができます。
また、出願番号および公開・公表番号の抽出、出願番号の重複確認(ダブリチェック)も行えます。

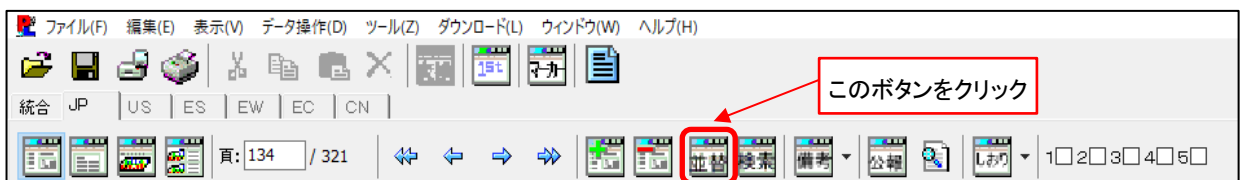
6.7.1 「データ操作」画面の表示方法

文献の並べ替えは「データ操作」画面で行います。「データ操作」画面は、メニューバーから「データ操作」→「並替え」を選択するか、またはツールバーにある  をクリックして表示します。

●メニューバーから「データ操作」画面を表示する方法

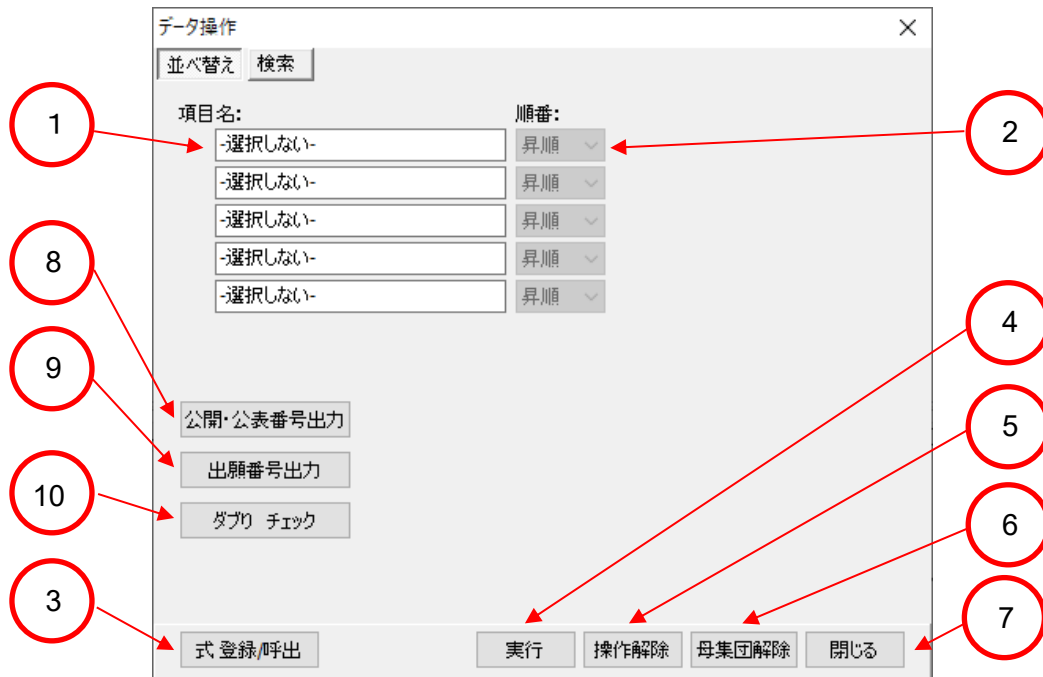


●ツールバーのボタンで「データ操作」画面を表示する方法



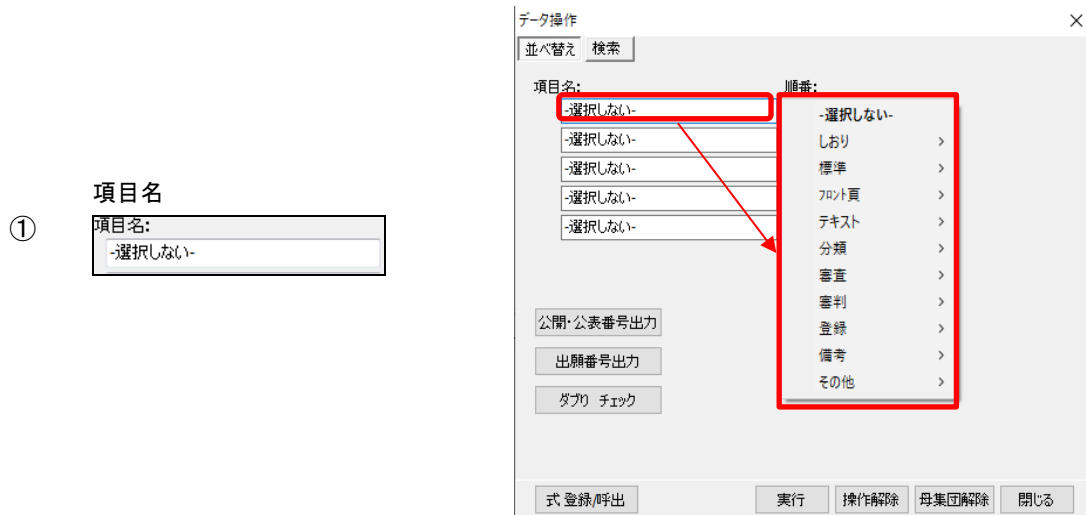
6.7.2 「データ操作」画面の詳細

「データ操作」画面の各部は次のようになっています。



No	機能の種類	機能説明
----	-------	------

並び替えのキーを選択します。「項目名」の欄をクリックして、プルダウンメニューから並び替えのキーにする項目を選択します。



文献を並べ替える順序を「昇順」または「降順」から選択します。

② 順番

順番:
昇順

③ 式登録/呼出

頻繁に使用される並べ替え式は、「式登録/呼出」ボタンで登録・保存をしておき、必要に応じて適宜呼び出して使用することができます。

④ 実行

文献の並べ替えを実行します。

⑤ 操作解除

文献の並べ替えを行う以前の状態に戻します。

(並べ替えた状態を保持しておきたい場合は操作解除する前に別名でファイルを保存してください。)

⑥ 母集団解除

直前に設定した並べ替えの条件はそのままに母集団を解除します。

⑦ 閉じる

「データ操作」画面を閉じます。

⑧ 公開・公表番号出力

公開・公表番号を「改行」で区切り、縦一列にクリップボードへ出力します。

クリップボードに出力された番号を貼付して、特許検索データベースの番号照会などに利用できます。


⑨ 出願番号出力

出願番号を「改行」で区切り、縦一列にクリップボードへ出力します。

クリップボードに出力された番号を貼付して、特許検索データベースの番号照会などに利用できます。

⑩ ダブリ チェック

TPL データ内で出願番号が重複している文献を抽出します。

出願番号が重複している文献が表示されますので、不要な文献を閲覧画面のツールバーにある  をクリックして削除します。

並替項目一覧表

項目名		項目名		
しおり	しおり 1	分類	登録 FI	
	しおり 2		テーマコード	
	しおり 3		F ターム	
	しおり 4		付加コード	
	しおり 5		F タームセット	
標準	四法	審査	更新テーマコード	
	出願種別		更新 F ターム	
	出願番号		更新付加コード	
	出願日		更新 F タームセット	
	公開・公表番号		広域分類	
	公開・公表日		固定キーワード	
	公告番号		関連種別	
	公告日		原出願番号	
	登録番号		原登録番号	
	登録日		基準日の種類	
	公報発効日		基準日	
	請求項数		遡及日	
	国際出願番号		早期審査	
	国際出願日		請求日	
国際公開番号	請求数			
国際公開日	権利譲渡／実施許諾			
フロント頁	出願人	審判	査定種別	
	権利者		拒絶理由条文	
	出願人+権利者		査定発送日	
	発明者等氏名		審査最終処分	
	出願人代理人		審査最終処分日	
	権利者代理人		審査種別 (EXK)	
	出願人代理人+権利者代理人		審査記録	
	フリーキーワード		審判番号	
テキスト	発明等の名称	登録	審判請求日	
	抄録		審判種別	
	請求範囲		公開独立請求範囲	審判請求人
			公開請求範囲	審判請求人代理人
			登録独立請求範囲	異議有効数
			登録請求範囲	審判被請求人
	詳細な説明		技術分野	審判異議申立人
			従来技術	審判異議申立請求項
			発明の課題	異議決定種別
			解決手段	審判最終処分
			実施の形態	審判確定日
			発明の効果	異議決定分類
			図面の簡単な説明	審決決定分類
			符号の説明	審判記録
			全詳細な説明	年分
	抄録+請求範囲+効果			本権利抹消日
全文		閉鎖原簿登録日		
分類	IPC		追加特許番号	
	更新 IPC		登録記録	
	登録 IPC		閉鎖原簿移記	
	FI	備考	備考 1	
更新 FI		備考 2		

並替項目一覧表(つづき)			
備考	備考 3	その他	公害防止関連技術
	備考 4		審査請求種別
	備考 5		最古請求種別
	備考 6		早期審理
	備考 7		担当官
	備考 8		引用文献
	備考 9		審等級種別
	備考 10		審判最終処分日
その他	審査官フリーワード		審判請求人国県
	翻訳文提出日		審判請求人代理人種別
	予備審査		審判請求人代理人資格
	公報発行区分		審判被請求人国県
	公報発行区分 (公告)		審判被請求人代理人種別
	総通号数		審判被請求人代理人資格
	年間通号数		審判被請求人代理人
	優先権件数		審判参加人国県
	優先権主張日		審判参加人
	優先権主張国		異議件数
	優先権主張番号		異議申立日
	国内優先権主張四法		審判異議決定日
	国内優先権主張番号		審判維持請求項
	国内優先権主張日		審判取消請求項
	優先権主張日 (登録)		審判異議申立人国県
	優先権主張国 (登録)		審判異議申立人代理人種別
	優先権件数 (登録)		審判異議申立人代理人資格
	追加出願日		審判異議申立人代理人
	追加公告日		審決日
	延長出願番号		請求公告番号
	出願言語		請求公告日
	出願人国県		出訴上告区分
	出願人コード		出訴/上告事件番号
	出願人代理人種別		上告受理番号
	出願人代理人資格		出訴日/上告日
	出願人代理人コード		指定国
	権利者国県		属性
	権利者コード		公序良俗
	権利者代理人種別		微生物受託番号
	権利者代理人資格		内容
	権利者代理人コード		公報直接閲覧 URL
	発明者等国県		図の数
	JPC		公報種別
	審査種別		公開公報ファイル名
	請求の有無		登録公報ファイル名
	頁数		

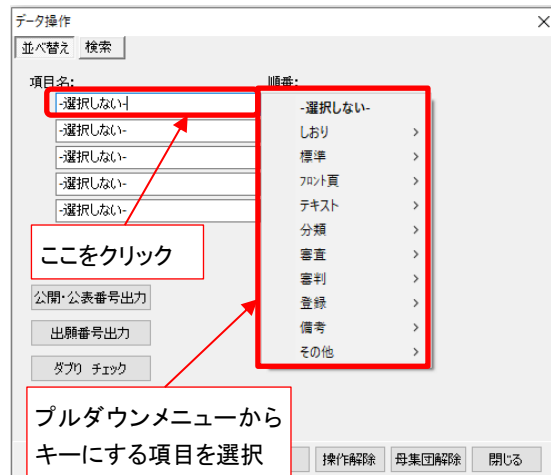
6.7.3 並べ替えの操作方法

ここでは、文献を並べ替る方法について説明します。

1. 「項目名」欄内をクリックして、プルダウンメニューから並べ替えのキーにする項目を選択します。

並べ替えは、全ての項目について実行可能です。

並べ替え項目は、5 項目まで選択できます。



2. 「順番」欄で、並べ替え順序を、昇順または降順から選択します。



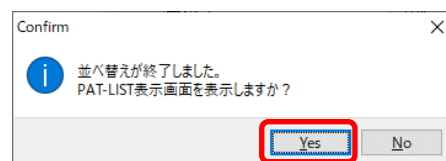
3. 並べ替える項目と順番を選択したら **実行** をクリックします。



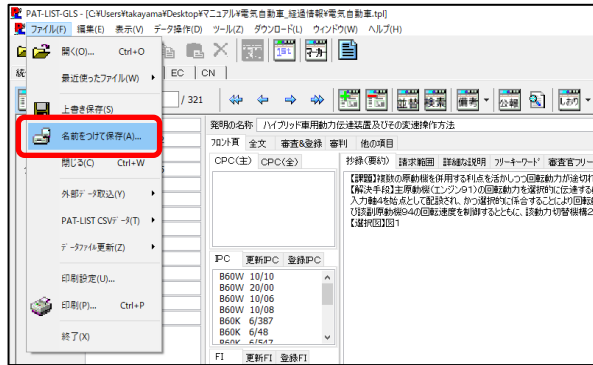
4. 並べ替えが実行され、並べ替えられた状態の画面を表示するか確認されます。


文献を並べ替えた画面を表示する場合は、**Yes** をクリックします。


5. 並べ替えられた文献が表示されます。

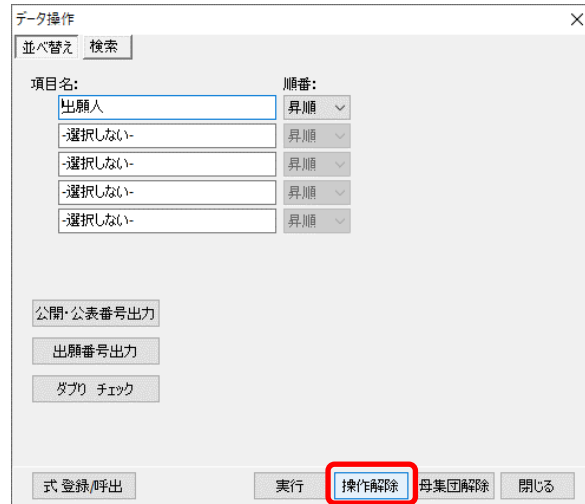


6. 並び替えられた文献を、TPLファイルに保存するときは、メニューバーから「ファイル」→「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名を付けて保存してください。



7. 並び替え前の画面に戻る場合は、 をクリックします。

あるいは、再度「データ操作」画面を表示し、 をクリックします。



6.7.4 並べ替え式の登録・呼出

頻繁に使用される並べ替え式は **式登録/呼出** で登録・保存しておき、必要に応じて適宜呼び出して使用することができます。

1. 「データ操作」画面の **式登録/呼出** をクリックします。

2. 「並べ替え式 登録/呼び出し」画面が表示されます。

下部にある「式名」欄に式の登録名を入力します。

登録 をクリックして、並べ替え式を登録します。

No.	式名	作成日付
1	出願日昇順	2020/08/05 15:57:23


3. 並べ替え式を呼び出すときは、「並べ替え式 登録/呼び出し」画面を表示し、呼び出したい式名を選択した後、**呼出し/表示** をクリックします。

No.	式名	作成日付
1	出願人で並べ替え	2020/10/26 10:35:07

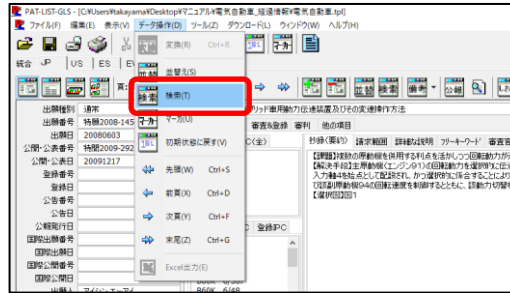
6.8 検索

様々な検索式から、該当文献のみを抽出することができます。

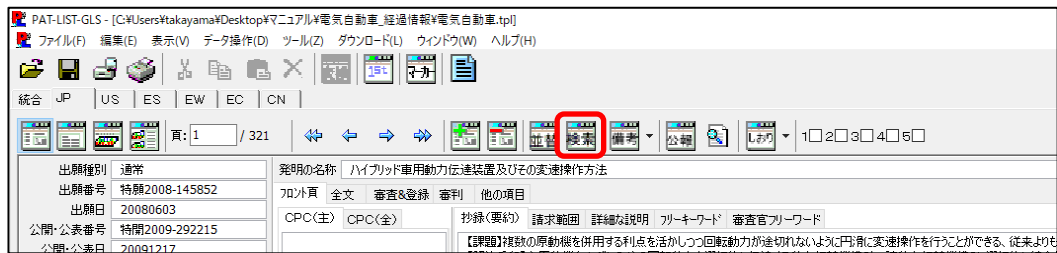
6.8.1 検索画面の詳細

検索は、「データ操作」画面で行います。「データ操作」画面は、メニューバーから「データ操作」→「検索」を選択するか、またはツールバーにある  をクリックして表示します。

●メニューバーから「データ操作」画面を表示する方法



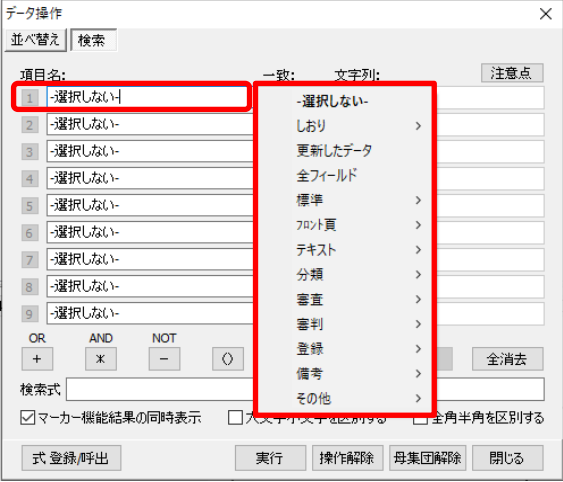

●ツールバーのボタンで「データ操作」画面を表示する方法

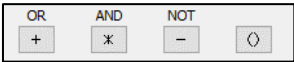


6.8.2 「データ操作」画面の詳細

「データ操作」画面の各部は次のようになっています。



No	機能の種類	機能説明
①	項目 No. 1 . . . 9	検索式に項目番号を入力するときに使用します。 項目名を選択するまで、非アクティブでクリックできません。
②	項目名 項目名: 1 -選択しない-	<p>「項目名」の欄をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。</p> <p>プルダウンメニューから検索対象の項目を選択します。 9項目まで条件を入力できます。</p> 
③	一致 一致: 部分	<p>一致方法を、「部分」、「完全」、「論理」から選択します。</p> <p>「論理」を選択した場合、ワイルドカードの「%」（任意の文字列）が利用でき、「A%」で前方一致、「%A」で後方一致、「%A%」で部分一致の検索が行えます。</p> 
④	文字列 文字列: 注意点	検索内容を入力します。

⑤	演算子 	検索式を入力するときに使用します。
⑥	検索式 <input type="text" value="検索式"/>	検索式を入力します。
⑦	<input type="button" value="戻る"/>	作成中の検索式をワンステップ前の状態に戻します。
⑧	<input type="button" value="全消去"/>	検索式全文を消去します。
⑨	<input type="button" value="式登録/呼出"/>	作成中の検索式を保存する、または保存されている検索式を呼び出します。
⑩	<input type="button" value="実行"/>	検索式に従って検索を実行します。
⑪	<input type="button" value="操作解除"/>	検索実行前の状態に戻します。
⑫	<input type="button" value="母集団解除"/>	直前に設定した検索の条件はそのままに母集団を解除します。
⑬	<input type="button" value="閉じる"/>	「データ操作」画面を閉じます。
⑬	<input type="button" value="注意点"/>	「文字列」の欄に入力できる文字数など、検索についての注意点を表示します。
⑭	<input checked="" type="checkbox"/> マーカー機能結果の同時表示 <input type="checkbox"/> 大文字小文字を区別する <input type="checkbox"/> 全角半角を区別する	チェックすると、マーカー機能（背景色）と同時に使えます。 チェックすると、大文字小文字を区別して検索します。 チェックすると、全角半角を区別して検索します。

検索項目一覧表

項目名		文字列の欄に指定可能な条件	
しおり	しおり 1	—	
	しおり 2	—	
	しおり 3	—	
	しおり 4	—	
	しおり 5	—	
更新したデータ		—	
全フィールド		キーワード	
標準	四法	キーワード	
	出願種別	キーワード	
	出願番号	キーワード	
	出願日	日付(例 20000101:20001231)	
	公開・公表番号	キーワード	
	公開・公表日	日付(例 20000101:20001231)	
	公告番号	キーワード	
	公告日	日付(例 20000101:20001231)	
	登録番号	キーワード	
	登録日	日付(例 20000101:20001231)	
	公報発効日	日付(例 20000101:20001231)	
	請求項数	キーワード	
	国際出願番号	キーワード	
	国際出願日	日付(例 20000101:20001231)	
	国際公開番号	キーワード	
	国際公開日	日付(例 20000101:20001231)	
フロント頁	出願人	キーワード	
	出願人+権利者	キーワード	
	発明者等氏名	キーワード	
	出願人代理人	キーワード	
	権利者代理人	キーワード	
	出願人代理人+権利者代理人	キーワード	
	フリーキーワード	キーワード	
テキスト	発明等の名称	キーワード	
	抄録	キーワード	
	請求範囲	公開独立請求範囲	キーワード
		公開請求範囲	キーワード
		登録独立請求範囲	キーワード
		登録請求範囲	キーワード
	詳細な説明	技術分野	キーワード
		従来技術	キーワード
		発明の課題	キーワード
		解決手段	キーワード
		実施の形態	キーワード
		発明の効果	キーワード
		図面の簡単な説明	キーワード
		符号の説明	キーワード
		全詳細な説明	キーワード
	抄録+請求範囲+効果		キーワード
	全文		キーワード
分類	IPC		キーワード
	CPC (主)		キーワード

	CPC (金)	キーワード
	更新 IPC	キーワード
	更新 IPC	キーワード
	登録 IPC	キーワード
	統合 IPC	キーワード
	F I	キーワード
	更新 F I	キーワード
	登録 F I	キーワード
	統合 F I	キーワード
	テーマコード	キーワード
	F ターム	キーワード
	付加コード	キーワード
	F タームセット	キーワード
	更新テーマコード	キーワード
	更新 F ターム	キーワード
	更新付加コード	キーワード
	更新 F タームセット	キーワード
	広域分類	キーワード
	固定キーワード	キーワード
審査	関連種別	キーワード
	原出願番号	キーワード
	原登録番号	キーワード
	基準日の種類	キーワード
	基準日	日付(例 20000101:20001231)
	遡及日	日付(例 20000101:20001231)
	早期審査	キーワード
	請求日	日付(例 20000101:20001231)
	請求数	数字
	権利譲渡／実施許諾	キーワード
	査定種別	キーワード
	拒絶理由条文	キーワード
	査定発送日	日付(例 20000101:20001231)
	審査最終処分	キーワード
	審査最終処分日	日付(例 20000101:20001231)
	審査種別 (EXK)	キーワード
	審査記録	キーワード
審判	審判番号	キーワード
	審判請求日	日付(例 20000101:20001231)
	審判種別	キーワード
	審判請求人	キーワード
	審判請求人代理人	キーワード
	異議有効数	数字
	審判被請求人	キーワード
	審判異議申立人	キーワード
	審判異議申立請求項	キーワード
	異議決定種別	キーワード
	審判最終処分	キーワード
	審判確定日	日付(例 20000101:20001231)
	異議決定分類	キーワード
	審決決定分類	キーワード
審判記録	キーワード	
登録	年分	キーワード
	本権利抹消日	日付(例 20000101:20001231)

	閉鎖原簿登録日	日付(例 20000101:20001231)
	追加特許番号	キーワード
	登録記録	キーワード
	閉鎖原簿移記	キーワード
備考	備考 1	キーワード
	備考 2	キーワード
	備考 3	キーワード
	備考 4	キーワード
	備考 5	キーワード
	備考 6	キーワード
	備考 7	キーワード
	備考 8	キーワード
	備考 9	キーワード
	備考 10	キーワード
	備考 11	キーワード
	備考 12	キーワード
	備考 13	キーワード
	備考 14	キーワード
	備考 15	キーワード
	備考 16	キーワード
	備考 17	キーワード
	備考 18	キーワード
	備考 19	キーワード
	備考 20	キーワード
その他	審査官フリーワード	キーワード
	翻訳文提出日	日付(例 20000101:20001231)
	予備審査	キーワード
	公報発行区分	キーワード
	公報発行区分(公告)	キーワード
	総通号数	数字
	年間通号数	数字
	優先権件数	数字
	優先権主張日	日付(例 20000101:20001231)
	優先権主張国	キーワード
	優先権主張番号	キーワード
	国内優先権主張四法	キーワード
	国内優先権主張番号	キーワード
	国内優先権主張日	日付(例 20000101:20001231)
	優先権主張日(登録)	日付(例 20000101:20001231)
	優先権主張国(登録)	日付(例 20000101:20001231)
	優先権件数(登録)	数字
	追加出願日	日付(例 20000101:20001231)
	追加公告日	日付(例 20000101:20001231)
	延長出願番号	キーワード
	出願言語	キーワード
	出願人国県	キーワード
	出願人コード	キーワード
出願人代理人種別	キーワード	
出願人代理人資格	キーワード	
出願人代理人コード	キーワード	
権利者国県	キーワード	
権利者コード	キーワード	
権利者代理人種別	キーワード	

	権利者代理人資格	キーワード
	権利者代理人コード	キーワード
その他	発明者等国県	キーワード
	JPC	キーワード
	審査種別	キーワード
	請求の有無	キーワード
	頁数	数字
	公害防止関連技術	キーワード
	審査請求種別	キーワード
	最古請求種別	キーワード
	早期審理	キーワード
	担当官	キーワード
	引用文献	キーワード
	審等級種別	キーワード
	審判最終処分日	日付(例 20000101:20001231)
	審判請求人国県	キーワード
	審判請求人代理人種別	キーワード
	審判請求人代理人資格	キーワード
	審判被請求人国県	キーワード
	審判被請求人代理人種別	キーワード
	審判被請求人代理人資格	キーワード
	審判被請求人代理人	キーワード
	審判参加人国県	キーワード
	審判参加人	キーワード
	異議件数	数字
	異議申立日	日付(例 20000101:20001231)
	審判異議決定日	日付(例 20000101:20001231)
	審判維持請求項	キーワード
	審判取消請求項	キーワード
	審判異議申立人国県	キーワード
	審判異議申立人代理人種別	キーワード
	審判異議申立人代理人資格	キーワード
	審判異議申立人代理人	キーワード
	審決日	日付(例 20000101:20001231)
	請求公告番号	キーワード
	請求公告日	日付(例 20000101:20001231)
	出訴上告区分	キーワード
	出訴／上告事件番号	キーワード
	上告受理番号	キーワード
	出訴日／上告日	日付(例 20000101:20001231)
	指定国	キーワード
	属性	キーワード
	公序良俗	キーワード
	微生物受託番号	キーワード
	内容	キーワード
	公報直接閲覧 URL	キーワード
	図の数	数字
	公報種別	キーワード
	公開公報ファイル名	キーワード
	登録公報ファイル名	キーワード

6.8.3 検索方法

1. 「項目名」欄内でクリックしますとメニューが表示されます。
このメニューから検索する項目を選択します。
検索は、全ての項目について実行可能です。
部分一致、完全一致の他に前方一致などの検索が行えます。
検索項目は、9項目まで選択できます。

2. 「文字列」欄に絞り込む検索内容を入力します。

3. 「一致」プルダウンメニューから、「部分」、「完全」または「論理」を選択します。

4. 検索するにあたっての注意点（**注意点** をクリックしてください）は必ずお読みください。
(文字列の制限について書かれています)




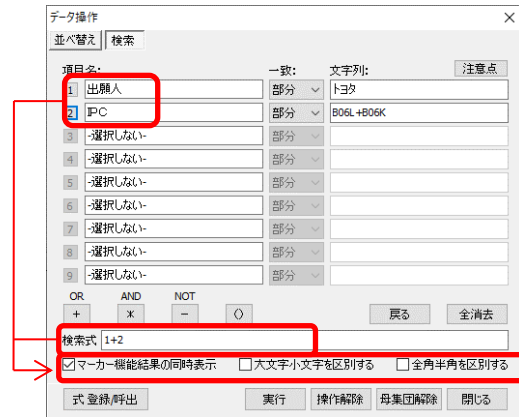
検索する文字列は「+(OR)」、「*(AND)」を使用し、繋げることで複数の入力が可能です。

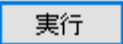
項目名:	一致:	文字列:	注意点
1 出願人	部分	トヨタ	
2 IPC	部分	B06L+B06K	

5. 「文字列」欄の入力が完了後、「項目名」欄の左にある数字のボタンがアクティブになります。

アクティブになった数字ボタン及び演算記号ボタン(「+(OR)」、「*(AND)」、「-(NOT)」、「()」(括弧))を用いて、「検索式」欄に検索式を作成します。

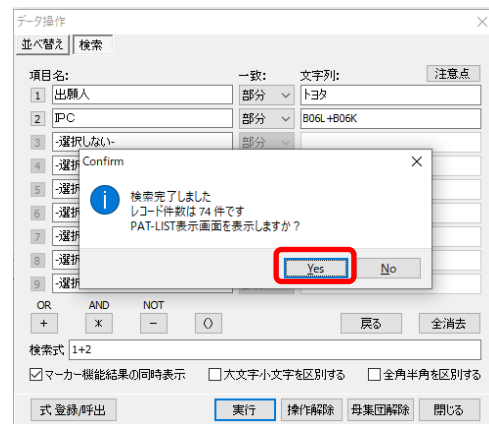
括弧を入力する場合は、括弧で括る範囲をマウスでドラッグして反転表示させた後、 をクリックします。




6. 検索式が完成しましたら、 を押します。

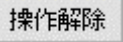
「検索完了しました/レコード件数は〇〇件です/PAT-LIST の画面を表示しますか?」というメッセージ(下左図)が示されます。

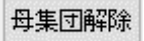
 をクリックします。

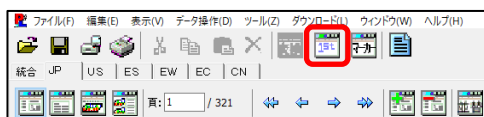


7. 検索実行後「閲覧画面」、または「表示画面」に戻ると、検索により絞り込まれたデータのみが表示されます。
8. 検索で絞り込んだ文献を、別の TPL ファイルに保存したいときは、メニューバーから、「ファイル」> 「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名を付けて保存してください。

9. 検索前の画面に戻る場合は、 をクリックしてください。

あるいは再度「データ操作」ダイアログボックスを表示し、 をクリックしてください。

項目名と順番で操作した情報を残したい場合は、 をクリックしてください。



6.8.4 検索文字欄の入力方法

- **「*」検索機能**
文字列に「*(半角アスタリスク)」だけを入力した場合、指定した項目にデータが入っていればヒットされます。但し、日付の項目は、使用できません。
- **日付入力例**
2001 年以降 「2001:」 または 「20010101:」
2001 年以前 「:2001」 または 「:20010101」
2001 年から 2005 年 「2001:2005」 または 「20010101:20051231」
- **その他の入力**
文字列は、全角半角が区別されます。また、スペースもカウントされます。
- **前方一致・後方一致検索**
前方一致検索を実行するときは、一致欄に「論理」を選択し、検索文字列の後に「%」を付けて、「実行」ボタンをクリックします。
また、後方一致検索を実行するときは、前方一致検索のときと同じく「論理」を選択し、検索文字列の頭に「%」を付けて、「実行」ボタンをクリックします。
例) IPC の A セクションを付与されている公報を抽出したい場合 ⇒ A%
「処理」を後方一致で検索したい場合 ⇒ %処理
- **検索式には、近接演算子を使用出来ます。**
「A (Wn) B」 [n=1,2,3]: 入力順序で検索語間の字数がn個以下のもの。
「A (An) B」 [n=1,2,3]: 入力順序に関係なく検索語間の字数がn個以下のもの。
日付や数字の場合、「:」(コロン)で範囲を指定できます

【課題】不注意でフィルタ無しで使用した場合の早期故障という課題の問題
【解決手段】真空掃除機の汚れ分離器は、流体が汚れ分離器に流入する入口と、入口の下流及び出口の上流に配置されるフィルタ組立体と、フィルタ組立

【課題】不注意でフィルタ無しで使用した場合の早期故障という課題の問題の
【解決手段】真空掃除機の汚れ分離器は、流体が汚れ分離器に流入する入口と、入口の下流及び出口の上流に配置されるフィルタ組立体と、フィルタ組立体を汚さない開放位置と、開口が部分に覆われる閉鎖位置との間を移動可能なハッチを閉鎖位置にある場合、ハッチがハッチの少なくとも一部の周りに形成され、流体は

「論理」を選択 「流体 (W4) 分離器」を入力 「流体が汚れ分離器」を検索

「論理」を選択 「部分 (A4) 開口」を入力 「開口が部分」を検索

6.8.5 検索式の登録・呼出

頻繁に使用される並べ替え式は「式登録／呼出」ボタンで登録・保存しておき、必要に応じて適宜呼び出して使用することができます。

10. 「データ操作」ダイアログボックスの「検索」画面にある、「式登録/呼出」をクリックします。

データ操作

並べ替え 検索

項目名: 一致: 文字列: 注意点

1	出願入	部分	トヨタ
2	IPC	部分	B06L+B06K
3	-選択しない-	部分	
4	-選択しない-	部分	
5	-選択しない-	部分	
6	-選択しない-	部分	
7	-選択しない-	部分	
8	-選択しない-	部分	
9	-選択しない-	部分	

OR AND NOT
+ x - O 戻る 全消去

検索式 1+2

マーカー機能結果の同時表示 大文字小文字を区別する 全角半角を区別する

式登録/呼出 実行 操作解除 母集団解除 閉じる

11. 「検索式 登録/呼び出し」ダイアログボックスが開きます。

下部にある「式名」欄に式の登録名を入力し、「登録」をクリックし、並べ替え式を登録します。

検索式 登録/呼び出し

No.	式名	作成日付

登録 削除 呼出し/表示

式名 test_2020 閉じる

12. 検索を呼び出したいときは、「検索式 登録/呼び出し」ダイアログボックスを開きます。

呼び出したい式名を選択し、「呼出し/表示」をクリックします。

検索式 登録/呼び出し

No.	式名	作成日付
1	test_2020	2020/10/27 17:57:07

登録 削除 呼出し/表示

式名 test_2020 閉じる



登録した検索式は、他のユーザーと共有することが可能です。詳しくは、「6.13 TPL 設定式の抽出・取込」を参照してください。

6.8.6 検索したデータの抽出


検索結果の抽出データのためのデータレコードを作成する場合は、

- 抽出された検索結果を表示した状態の閲覧画面のメニューバーから、「ファイル」> 「PAT-LIST CSV データ」> 「出力」を選択し、出力する項目を指定して CSV 形式ファイルで出力して保存します。
- 抽出された検索結果を表示した状態の閲覧画面のメニューバーから、「ファイル」> 「名前をつけて保存」、検索結果の母集団抽出データのための母集団を作成します。

6.9 備考欄


備考欄 1～10 の項目名を変更しデータを入力することができます。こちらのデータは、マップ(軸)の項目としても利用できます。

6.9.1 備考欄の入力方法


備考欄に文字を入力する方法には、閲覧画面の右セルにある備考欄に直接入力する方法と、 をクリックして表示させたウィンドウでの入力方法があります。



を使つての入力

備考に入力する内容が多い場合や、特定の内容を複数の備考欄に入力する場合は、 を使って、備考欄への入力する方が便利です。



右隣にある  をクリックして、「備考の入力」を選択し、表示された「備考の入力」ダイアログボックスを用います。

このダイアログボックスを使って、備考欄に入力するには、2とおりの方法があります。

一つ目は、直接ダイアログボックス上部の欄に入力する方法で、二つ目は「備考欄登録データ」に予め、備考欄に入力する語句を登録し、登録した語句を入力する方法です。

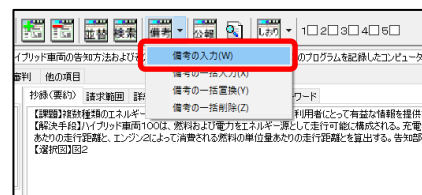
両方の手順を以下に記載します。



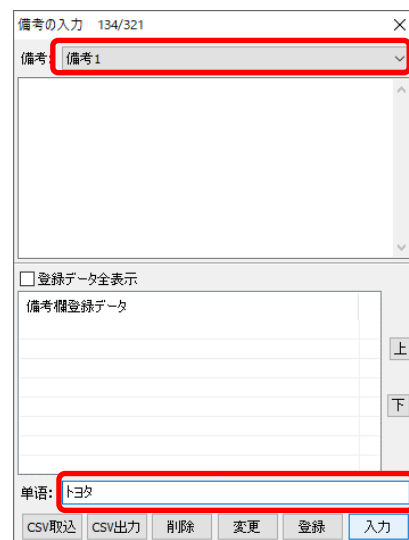
「備考欄登録データ」は PAT-LIST 内で保存されますので、備考欄に入力する頻度の高い文字列を登録しておきますと、開いている TPL ファイルだけでなく、他の TPL ファイルにも利用することができます。

● 【備考欄の入力手順】

1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。



2. 入力する備考番号を選択します。



3. 選択した備考欄に入力する文字を入力します。

● 【備考欄の入力手順】(備考欄登録データ使用)

1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。
入力する備考番号を選択します。
2. 「備考欄登録データ」に登録する文字を入力します。
3. 登録 をクリックします。
「備考欄登録データ」に入力したデータが登録されます。

備考の入力 134/321

備考: 備考1

備考1
備考2
備考3
備考4
備考5
備考6
備考7
備考8
備考9
備考10

登録データ全表示

備考欄登録データ

単語:

CSV取込 CSV出力 削除 変更 登録 入力

備考の入力 134/321

備考: 備考1

単語: トヨタ

CSV取込 CSV出力 削除 変更 登録 入力

備考の入力 134/321

備考: 備考1

単語: トヨタ

備考欄登録データ
トヨタ

登録 入力

4. 備考欄登録データから、選択した備考欄に入力するデータを選択します。

5. **入力** をクリックします。

6. 選択した備考欄に、文字が入力されます。





「備考欄登録データ」は PAT-LIST 内で保存されますので、備考欄に入力する頻度の高い文字列を登録しておきますと、開いている TPL ファイルだけでなく、他の TPL ファイルにも利用することができます。

備考の一括入力

全ての文献の備考欄に入力したい場合、「備考の一括入力」の機能を使えば、少ない手間で、備考欄への入力が可能です。

検索機能で絞り込んだ複数の文献の備考欄への入力にも使えます。

 の右隣にある  をクリックし、「備考の一括入力」を選択しますと、「備考の一括入力」ダイアログボックスが開きます。

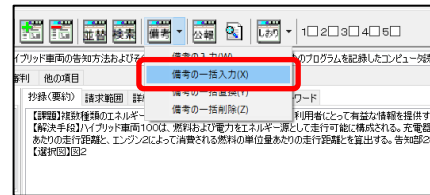
このダイアログボックスを使って、備考欄に一括入力するには、2 とおりの方法があります。

一つ目は、直接ダイアログボックス上部の欄に入力する方法で、二つ目は「備考欄登録データ」に予め、備考欄に入力する語句を登録し、登録した語句を入力する方法です。

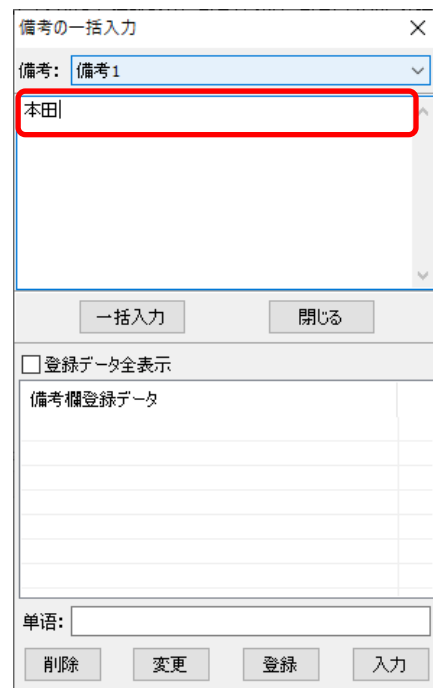
両方の手順を下に記載します。

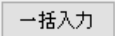
● 【備考欄の一括入力手順】

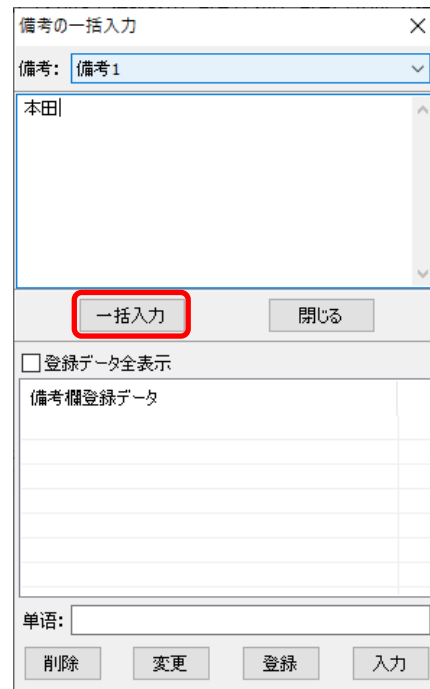
1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。



2. 選択した備考欄に入力する文字を入力します。



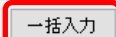
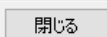
3.  をクリックします。



備考の一括入力

備考: 備考1





本田

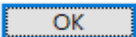
登録データ全表示

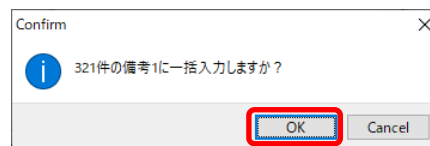
備考欄登録データ

単語:


   



4. 「〇〇件の備考●に一括入力しますか？」という確認画面が表示されます。

 をクリックします。



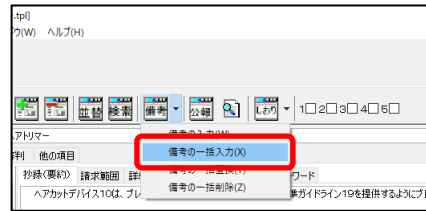
Confirm

 321件の備考1に一括入力しますか？

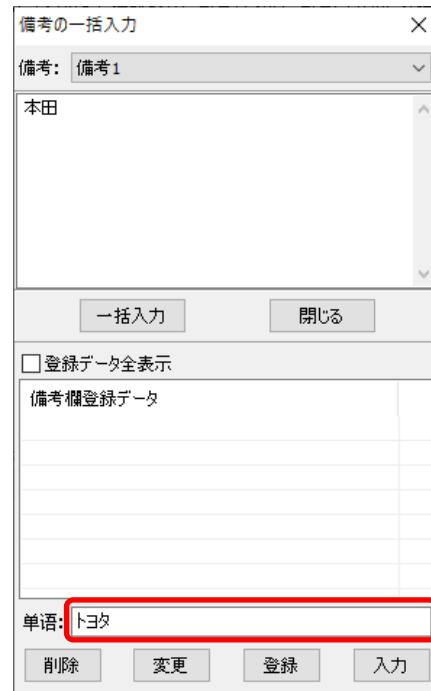
 

- 【備考欄の一括入力手順】(備考欄登録データ使用)

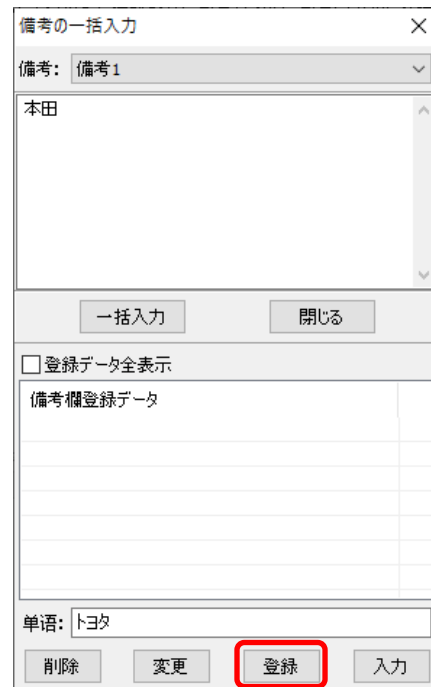
1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。



2. 「備考欄登録データ」に登録する文字を入力します。



3. をクリックします。



4. 備考欄登録データから、選択した備考欄に入力するデータを選択します。

備考の一括入力

備考: 備考1

本田

一括入力 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ	
トヨタ	

単語: トヨタ

削除 変更 登録 入力

5. をクリックします。

備考の一括入力

備考: 備考1

本田

一括入力 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ	
トヨタ	

単語: トヨタ

削除 変更 登録 **入力**

6. 入力欄にある、備考欄に入力するデータを選択します。



7. **一括入力** をクリックします。

8. 「〇〇件の備考●に一括入力しますか?」という確認画面が表示されます。

OK をクリックします。

備考の一括置換

備考欄に入力された特定の内容を別の内容で置換したい場合、「備考の一括置換」を用いると、簡単な手順で、一括で置換することが可能です。

 の右隣にある  をクリックし、「備考の一括置換」を選択しますと、「備考の一括置換」ダイアログボックスが開きます。

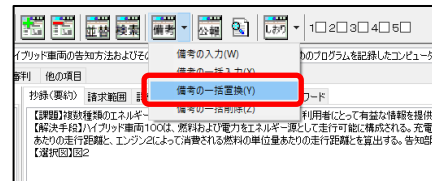
このダイアログボックスを使って、備考欄の特定の内容を一括置換するには、2とおりの方法があります。

一つ目は、直接ダイアログボックス上部の欄に入力する方法で、二つ目は「備考欄登録データ」に予め、備考欄に入力する語句を登録し、登録した語句を入力する方法です。

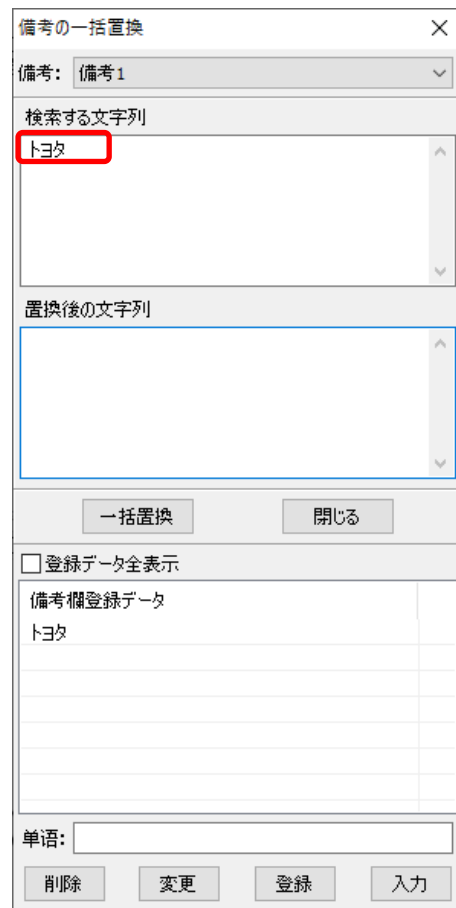
両方の手順を下に記載します。

● 【備考欄の一括置換手順】

1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。



2. 備考欄に入力されている文字を入力します。



3. 置換する文字を入力します。

備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

トヨタ

置換後の文字列

本田

一括置換 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ
トヨタ

単語:

削除 変更 登録 入力

4. **一括置換** をクリックします。

備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

トヨタ

置換後の文字列

本田

一括置換 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ
トヨタ

単語:

削除 変更 登録 入力

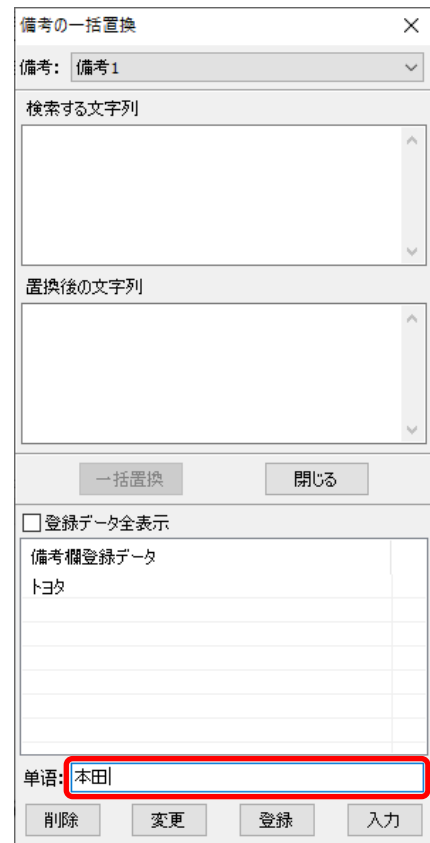
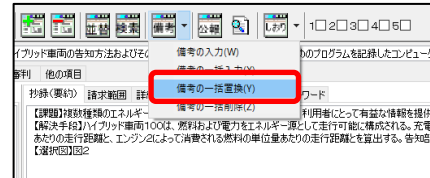
5. 「〇〇件の備考●のデータを一括置換しますか?」という確認画面が表示されます

をクリックします。

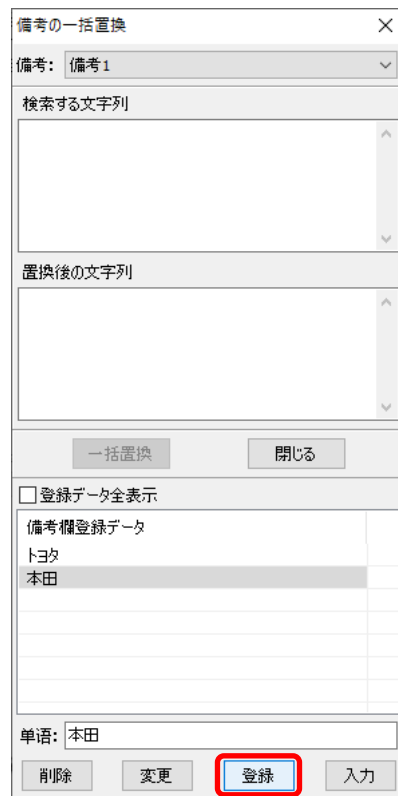


● 【備考欄の一括置換手順】(備考欄登録データ使用)

1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。
2. 「備考欄登録データ」に登録する文字を入力します。



3.  をクリックします。



備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

置換後の文字列

一括置換 閉じる

登録データ全表示

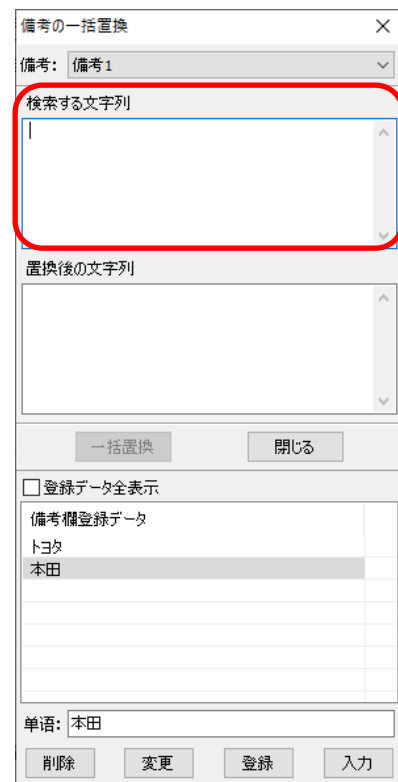
備考欄登録データ

トヨタ	
本田	

単語: 本田

削除 変更 **登録** 入力

4. 「検索する文字列」欄にマウスカーソルを移動させます。



備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

置換後の文字列

一括置換 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ

トヨタ	
本田	

単語: 本田

削除 変更 登録 入力

5. 「検索する文字列」欄に入力する文字を選択します。

備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

置換後の文字列

一括置換 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ

トヨタ	
本田	

単語: 本田

削除 変更 登録 入力

6. をクリックします。

備考の一括置換

備考: 備考1

検索する文字列

トヨタ

置換後の文字列

一括置換 閉じる

登録データ全表示

備考欄登録データ

トヨタ	
本田	

単語: トヨタ

削除 変更 登録 入力

7. 「置換後の文字列欄」にマウスカースルを移動させます。
それから「備考欄登録データ(⑤)」より、置換する文字を選択します。

(⑥)をクリックします。



8. をクリックします。

9. 「〇〇件の備考●のデータを一括置換しますか？」という確認画面が表示されます。

をクリックします。

備考の一括削除

一括削除機能は、選択した備考欄の内容を全て削除する機能です。

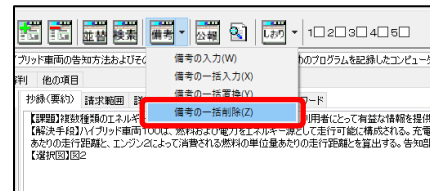
 の右隣にある  をクリックし、「備考の一括削除」を選択しますと、「備考の一括削除」ダイアログボックスが開きます。

このダイアログボックスを使って、指定した備考欄の内容を全て削除することができます。

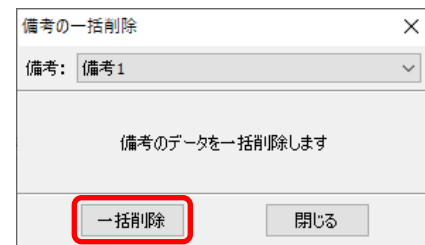
手順を下に記載します。

● 【備考欄の一括削除手順】

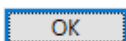
1. 備考欄をプルダウンメニューから選択します。

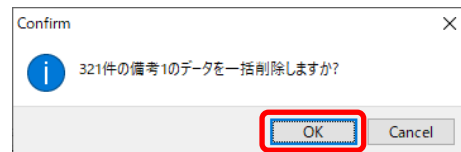


2.  をクリックします。



3. 「〇〇件の備考●のデータを一括削除しますか?」という確認画面が表示されます。

 をクリックします。



6.9.2 備考欄登録データの機能

「6.9.1 備考欄の入力方法」で紹介しましたが、備考欄に入力するデータを、PAT-LIST に登録することができます。登録操作は、「備考入力」、「備考の一括入力」、「備考の一括置換」それぞれのダイアログボックスで、登録だけでなく、変更や削除も実行することが可能です。また登録した内容を、他の TPL ファイルの JP タブ上で利用することが可能です(他のタブでは利用することができません)。

1. 備考欄入力データの登録方法

備考欄登録入力ボックスに登録する文字列を入力します。

をクリックします。

備考欄登録データ表示欄にデータが入ります。

備考の入力 134/321

備考: 備考1

登録データ全表示

備考欄登録データ
トヨタ

単語: トヨタ

CSV取込 CSV出力 削除 変更 **登録** 入力

2. 登録データを備考欄へ入力する方法

備考欄登録データ表示欄から、入力データを選択します。

次に、 をクリックします。

備考欄に文字列が入力されます。

備考の入力 134/321

備考: 備考1

トヨタ

登録データ全表示

備考欄登録データ
トヨタ

単語: トヨタ

CSV取込 CSV出力 削除 変更 登録 **入力**

3. 備考欄登録データの変更方法

登録した備考欄登録データは、変更することが可能です。

【手順】

備考欄登録データ表示欄から、該当の文字列を選択します。

備考欄登録入力ボックスに、選択した文字列が表示されますので、この文字列を変更します。

変更後、**変更** をクリックします。

備考欄登録データ表示欄に表示される文字列が変更されます。

The screenshot shows a dialog box titled '備考の入力 1/321'. At the top, there is a dropdown menu for '備考:' with '備考 1' selected. Below this is a large empty text area. A checkbox labeled '登録データ全表示' is present. Underneath is a table with the header '備考欄登録データ' and one row containing the text 'トヨタ'. This row is highlighted with a red border. To the right of the table are '上' and '下' navigation buttons. Below the table is a text input field labeled '単語:' containing the text '本田', which is also highlighted with a red border. At the bottom, there are several buttons: 'CSV取込', 'CSV出力', '削除', '変更', '登録', and '入力'. The '変更' button is highlighted with a red border.

4. 備考欄登録データの削除方法

登録した備考欄登録データは、削除することも可能です。

手順

備考欄登録データ表示欄から、該当の文字列を選択します。

削除 をクリックします。

備考欄登録データ表示欄から、選択した文字列が削除されます。

This screenshot is identical to the one above, showing the '備考の入力 1/321' dialog box. In this instance, the 'トヨタ' row in the table is highlighted with a blue background and a red border. The '単語:' field still contains '本田'. The '削除' button at the bottom is highlighted with a red border.

5. 備考欄登録データの CSV 出力

登録した備考欄登録データを CSV 出力し、他のユーザーとデータを共有することができます。

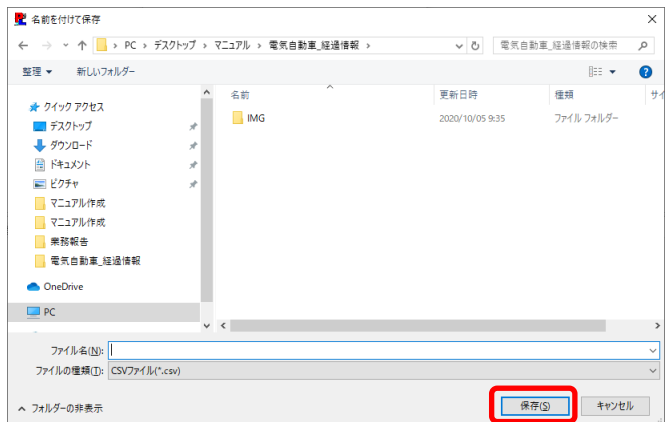
手順

CSV出力 をクリックします。

表示された「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、出力する CSV ファイルの保存先を選択し、ファイル名を入力します。

保存(S) をクリックします。

この操作で備考欄登録データを CSV 出力することができます。



6. 備考欄登録データの CSV 取込

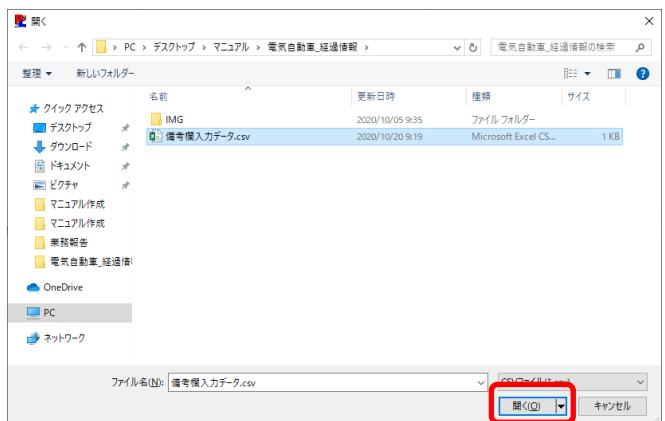
他のユーザーから CSV 出力した備考欄登録データを取り込む手順について説明します。

CSV取込 をクリックします。

表示された「ファイルを開く」ダイアログボックスで、取り込む CSV ファイルの保存先を選択し、取り込む CSV ファイルを選択します。

開く(O) をクリックします。

この操作で備考欄登録データを PAT-LIST に取り込むことができます。



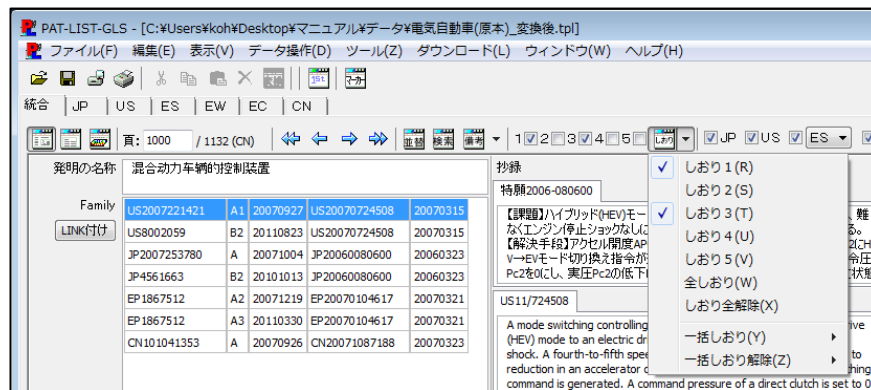
6.9.3 備考入力画面表示頁と PAT-LIST 表示頁の連動機能


「備考の入力」ダイアログボックスには、どの文献の備考欄を入力しているのか、わかりやすいように、タイトルバーに、TPL ファイル中の頁が表示されています。

該当する文献の閲覧画面の情報を確認しながら、備考欄へ入力することが可能になりました。

6.10 しおり機能


「しおり」機能をもちいて、PAT-LIST ファイル内の文献をグループ分けすることができます。しおりは 5 種類あり、一件の文献に、複数のしおりを付けることが可能です。ここでは、この「しおり」機能について説明します。

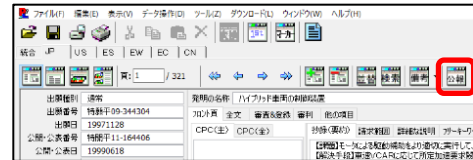


- ファイル中の文献をグループ分けしたい場合、その文献を表示し、 左横の 1～5 のチェックボックスの中から、特定のチェックボックスを選択し、オンにします。
- 表示している文献の、オン状態の「しおり」のチェックボックスをオフにすると、その番号のしおりは、解除されます。
- 「全しおり」を選択した場合、表示している文献に、しおり 1～しおり 5 までのしおりを付けることとなります。
- 「しおり全解除」を選択すると、表示している文献に付けられたしおりを全て解除します。
- 「一括しおり」を選択すると、更に、「しおり 1」から「しおり 5」までのメニューが表示されます。この中から、特定のしおりを選択すると、すべてのタブに表示される全文献にその番号のしおりを付けることができます。
- 「一括しおり解除」から、特定の番号のしおりを選択すると、すべてのタブに表示する全文献に付けられた、その番号のしおりが解除されます。
- しおりを付けた文献は、検索機能で抽出することができます。また「並べ替え」機能で並べ替えることも可能です。
- しおり機能で保存されたデータは、「しおり全てを削除」ボタンにより元に戻ります。

6.11 全文公報の閲覧機能

ここでは、弊社のサーバーにアクセスし、PAT-LIST に表示している文献の公報全文をみることができる機能について説明します。

表示している文献の公報全文をみる場合、ツールバーの  をクリックします。




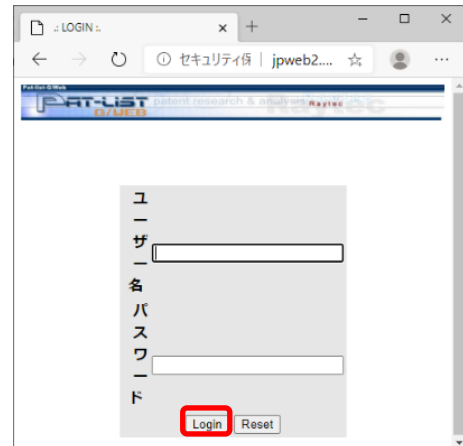
インターネットブラウザが開き、弊社のサーバーにアクセスします。

「ユーザー名」と「パスワード」欄に、弊社よりお知らせした「ユーザー名」と「パスワード」(全文・全図ダウンロードと同じです。

「6.6 全文・全図ダウンロード」を参照)を入力してください。

「ユーザー名」と「パスワード」を入力したら、

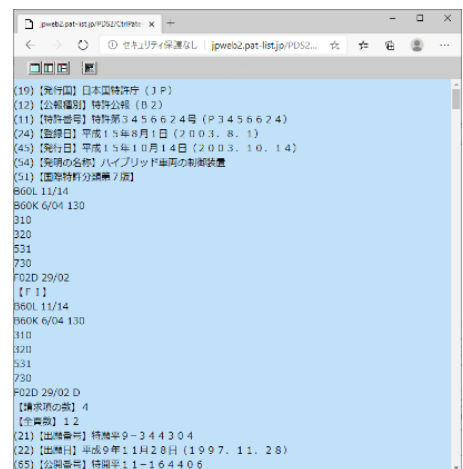
 をクリックしてください。



インターネットブラウザに、PAT-LIST に表示されている文献の公報全文が表示されます。

表示レイアウトを変更したい場合は、上にある 4 種類のボタンから選択してください。

PDF 形式の表示も可能です。表示された PDF ファイルは、ダウンロードすることも可能です。



2 ウィンドウと 3 ウィンドウの左側の欄には、「要約」・「特許(実用新案登録)請求の範囲」・「発明(考案)詳細な説明」・「図面」の中から選択し表示します。



2 ウィンドウと 3 ウィンドウの右側の欄には、図面が表示されます。(2 ウィンドウでは 1 図、3 ウィンドウでは 2 図表示します) 図面が 3 図以上ある場合は、右側の欄の上部に、「前へ」と「次へ」ボタンが表示され、このボタンを使って、表示する図面を図面番号順に切り替えます。

6.12 辞書の編集

本ソフトには、発明の名称、抄録、請求範囲、詳細な説明の文章からキーワードを切出す機能を備えています。それを補佐する機能として、取込辞書と取除辞書の編集を行うことができます。作成した辞書を CSV 形式ファイルへ出力、また別のユーザーが作成し出力した辞書 CSV ファイルの取込が可能ですので、辞書内容を共有することが可能です。



辞書登録は、マップ画面の項目設定画面でも行うことができます
 (「8.6 マップ軸の設定・実行」を参照)

6.12.1 取込辞書の編集

ここでは取込辞書の編集について説明します。取込辞書には、切り出される特定のキーワードを登録します。

- 取込辞書に単語を追加

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>
 「〇〇語(任意の言語)」を選択します。

表示された「辞書の編集(任意の言語)」ダイアログボックスで「取込辞書」タブを選択します。

左下の「単語」欄に、切り出したいキーワードを入力します。

追加 をクリックします。

一覧に追加されたことを確認し、

終了 をクリックし、辞書を更新します。



- 取込辞書に登録した単語を削除

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>
 「〇〇語(任意の言語)」を選択します。

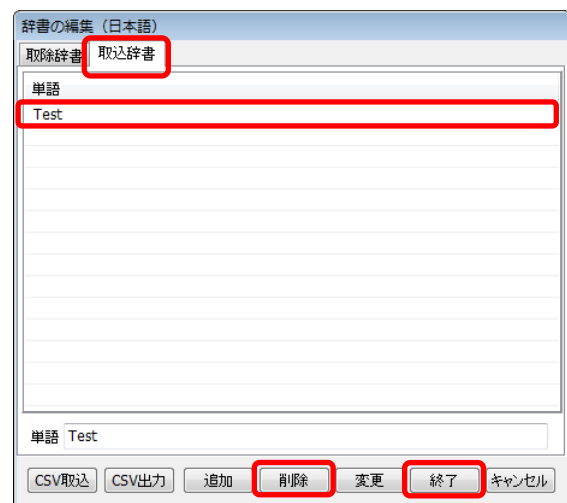
表示された「辞書の編集(任意の言語)」ダイアログボックスで「取込辞書」タブを選択します。

中央の「単語」欄から、削除するキーワードを選択します。

削除 をクリックします。

一覧から選択したキーワードが削除されたことを確認し、

終了 をクリックします。



6.12.2 取除辞書の編集

ここでは取除辞書の編集について説明します。取除辞書には、切り出さない特定のキーワードを登録します。

- 取除辞書に単語を追加

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>「〇〇語(任意の言語)」を選択します。
表示された「辞書の編集(任意の言語)」ダイアログボックスで「取除辞書」タブを選択します。
左下の「単語」欄に、切り出さないキーワードを入力します。
「取り除き方」欄から、切り出しを実行しないキーワードの抽出方法を「単語」・「接頭語」・「接尾語」より選択します。
入力したキーワード単語全体を取除く場合は「単語」を、単語の先頭部分のみを取除く場合は「接頭語」を選択し、単語の末尾部分のみを取除く場合には「接尾語」を選択します。

追加 をクリックします。

一覧に追加されたことを確認し、**終了** をクリックします。

- 取除辞書に登録した単語を削除

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>「〇〇語(任意の言語)」を選択します。
表示された「辞書の編集(任意の言語)」ダイアログボックスで、「取除辞書」タブを選択します。
中央の「単語」欄から、削除するキーワードを選択します。

削除 をクリックします。

一覧に追加されたことを確認し、**終了** をクリックします。

6.12.3 取込・取除辞書の CSV 出力と取込

ここでは取込・取除辞書の CSV ファイル出力と取込について説明します。

取込辞書と取除辞書は同じ CSV ファイルに出力されます。取込も実行可能なため、辞書ファイルの共有が可能です。また出力した CSV ファイルを編集して PAT-LIST に取り込むことも可能です。

- 取込辞書・取除辞書を CSV 形式ファイルに出力

作成した取込辞書と取除辞書を CSV 形式ファイルに出力する方法を説明します。

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>「〇〇語(任意の言語)」を選択します。

「辞書の編集(任意の言語)」ダイアログボックスが開きます。

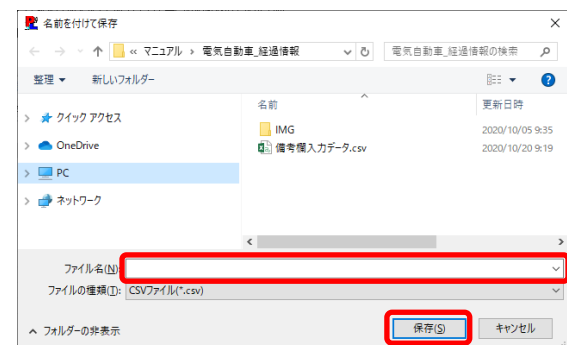
取込辞書と取除辞書のタブはどちらを選択しても、CSV ファイル出力には影響されないため、好きな方を選択してください。

下にある **CSV出力** をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

ここで、指定のフォルダに移動し、出力する取除辞書の CSV ファイルに付ける名前を入力した後

保存(S) をクリックします。



- CSV 取込・取除辞書ファイルの取込

別のユーザーが作成した CSV 形式の取込辞書ファイルを PAT-LIST に取り込む方法を説明します。

メニューバーから「編集」>「辞書の編集」>

「〇〇語(任意の言語)」を選択します。

「辞書の編集(日本語)」ダイアログボックスが開きます。

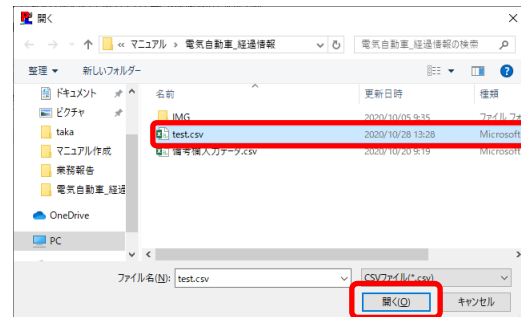
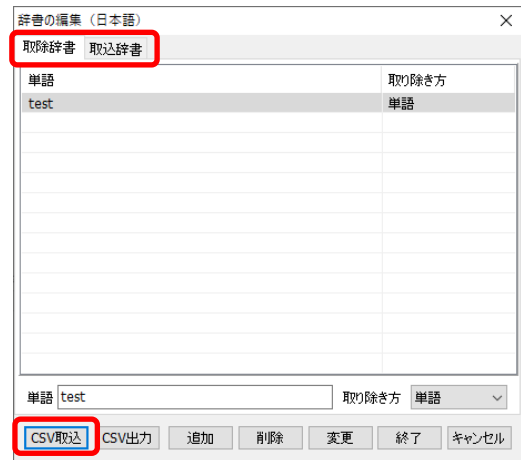
取込辞書と取除辞書のタブはどちらを選択しても、取込みには影響されないため、好きな方を選択してください。

下にある **CSV取込** をクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

ここで、指定のフォルダに移動し、取込を行う取除辞書の CSV ファイルを選択します。

開く(O) をクリックします。




6.12.4 ユーザー辞書の追加/削除

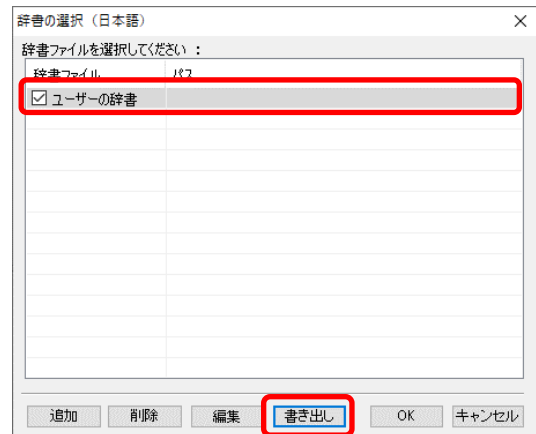
「6.12.3 取込・取除辞書の CSV 出力と取込」で述べた取込辞書・取除辞書の CSV ファイル出力と取込とは別に、作成した辞書のデータを他のユーザーと共有する方法があります。

メニューバーの「編集」>「辞書」>「ユーザー辞書の追加/削除」>「〇〇語(任意の言語)」を選択して開かれた「辞書の選択(任意の言語)」ダイアログボックスをします。


- 辞書ファイルの書き出し方法

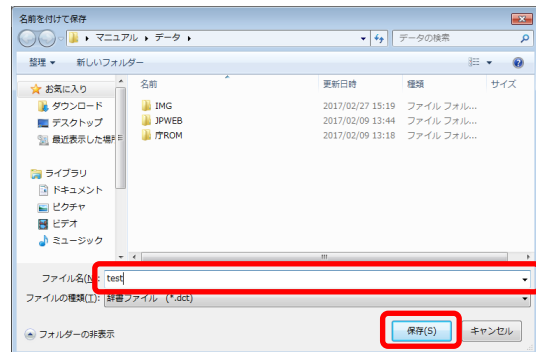
他のユーザーと共有したい辞書ファイルを選択します。

 をクリックします。




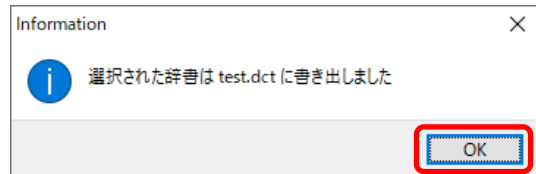
保存場所に移動し、ファイル名を付けます。

 をクリックします。



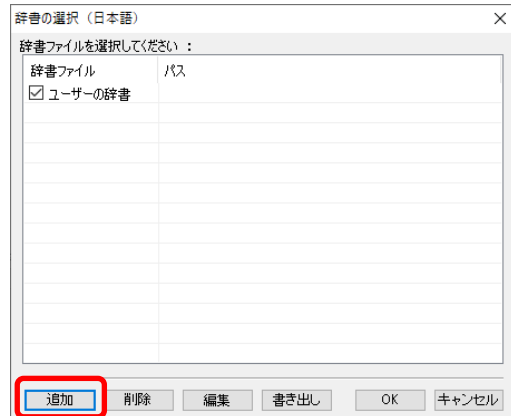
辞書ファイルの書き出しが終了したことをお知らせするダイアログボックスが開きます。

 をクリックしてください。



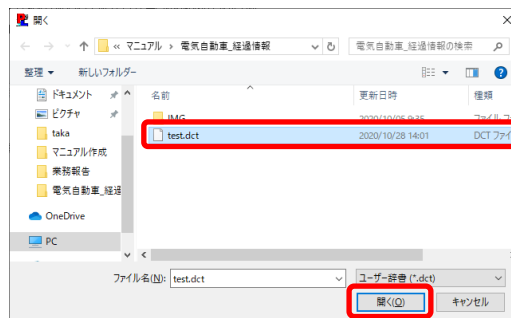
- 辞書ファイルの取り込み方法

追加 をクリックします。



取り込む辞書ファイルを選択します。

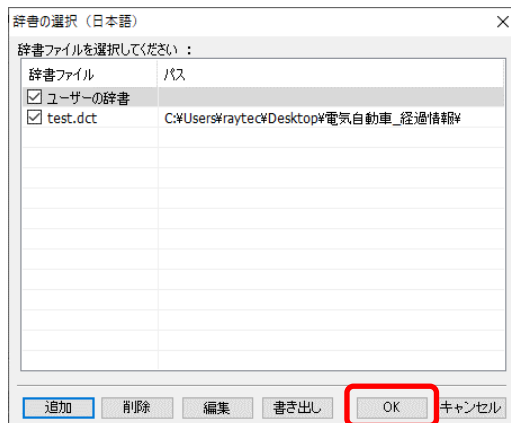
開く(O) をクリックします。



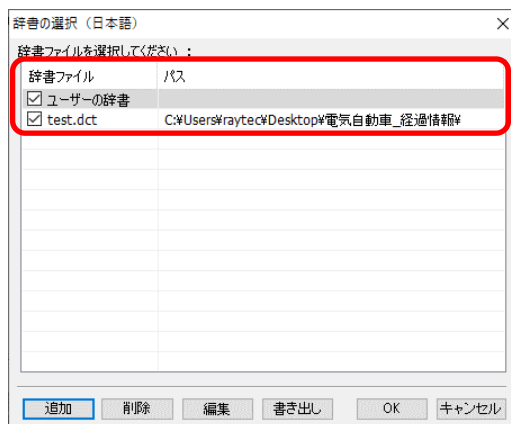
選択した辞書ファイルが取込まれます。

取り込んだ辞書ファイルが「辞書ファイル」欄に追加されたことを確認します。

OK をクリックします。



キーワードを切り出す時に使用したいファイルのみチェックボックスをオンにしてください。ただし、ユーザー辞書のチェックを外すことはできません。



6.13 TPL 設定式の抽出・取込

PAT-LIST で設定し保存できるユーザー設定式には、ユーザー帳票 (PL-User) のレイアウトや並替式、検索式、そしてマップ軸設定式の 4 種類があります。

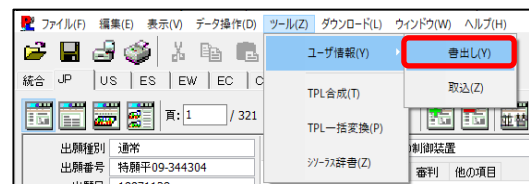
PAT-LIST では、これらのユーザー設定式を、TPL ファイルとは別のファイルに出力したり、また他のユーザーが作成し出力したファイルを取り込むことが可能です。

この機能で、同じ設定で検索や並べ替えの実行や、マップや帳票を作成することが可能になります。

6.13.1 ユーザー情報の書出し

ここでは、ユーザー設定式を出力する方法について説明します

メニューバーの「ツール」 > 「ユーザー情報」
> 「書き出し」を選択します。



「ユーザー情報の書出し」ダイアログボックスが開きます。

ここには、統合だけでなく、他のタブ (JP, US など) で作成されたユーザー設定式も表示されます。



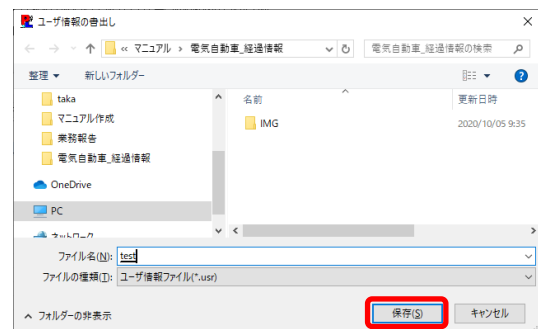
各タブに表示されているユーザー設定式から、出力するユーザー設定式を選択し、式の左横にあるチェックボックスをオンにします。

複数のユーザー設定式の選択が可能です。

出力するユーザー設定式を選択したら、**書出し** をクリックします。

ここで、**全選択** は、表示されている式全てを選択します。一方、**全解除** は、表示されている全ての式の選択状態を解除します。

別の、新しく表示された「ユーザー情報の書出し」ダイアログボックスが開きます。

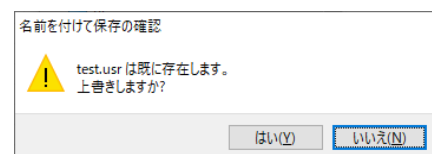


ここで選択した設定式を出力するフォルダを選択または作成し、ファイル名を付けます。

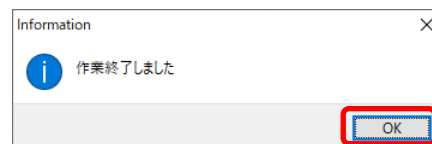
保存 (S) をクリックします。



同名のユーザー設定式が存在する場合、上書き確認のダイアログボックスが開きます。



設定式の書出しが終了したら、作業が終了したことを知らせるダイアログボックスが開きます。

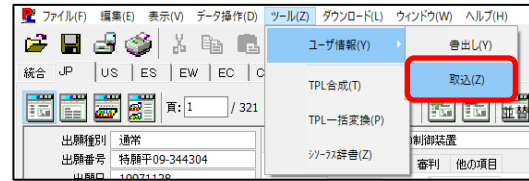


OK をクリックします。


6.13.2 ユーザー情報の取込

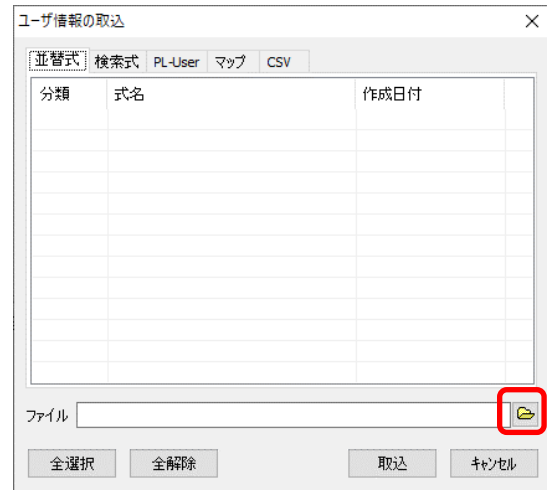
出力されたユーザー設定式を取り込む方法について説明します。

メニューバーの「ツール」>「ユーザー情報」>「取込」を選択します。




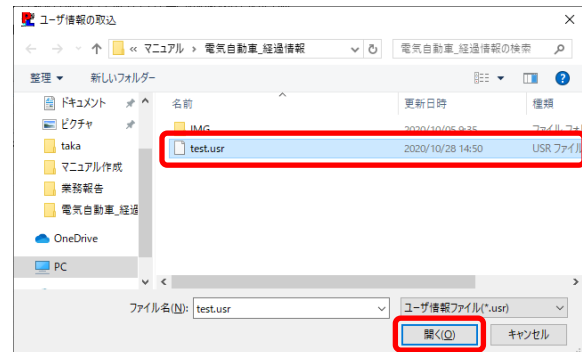
「ユーザー情報の取込」ダイアログボックスが開きます。

「ファイル」欄の右とりにある、フォルダが表示された  をクリックします。



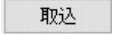
別の「ユーザー情報の取込」ダイアログボックスが開きます。

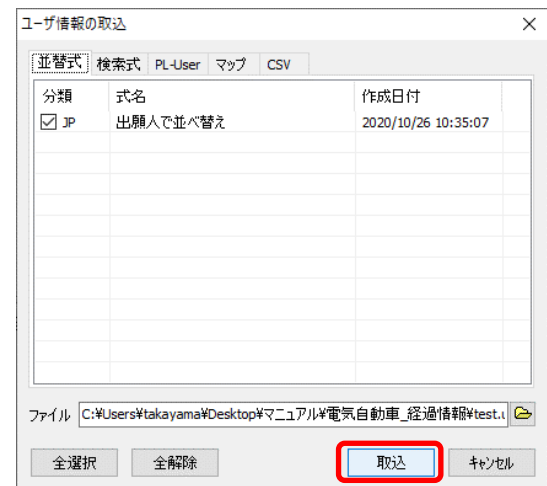
ここで、取り込むユーザー設定式ファイルを選択し、 をクリックします。



開いたファイルに保存されたユーザー設定式が各タブに表示されます。

この中から、PAT-LIST に取り込むユーザー設定式を選択し、式の左横にあるチェックボックスをオンにします。

選択終了後、 をクリックします。





**同名のユーザー設定式が存在する場合、
上書き確認のダイアログボックスが開きます。**

同名のユーザー設定式がある場合、名称変更の
要があります。

このときには、ユーザー設定式の名称を入力する
ダイアログボックスが開きます。

ユーザー設定式の名前を入力し、 を

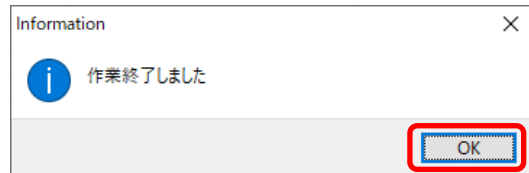
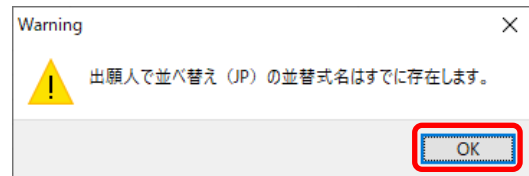
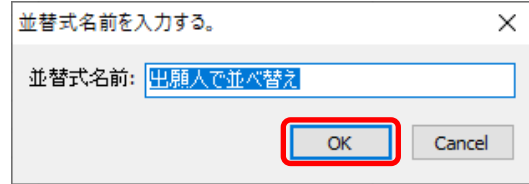
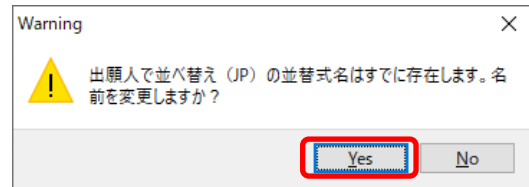
クリックします。



**同名のユーザー設定式が存在する場合、
「警告」ダイアログボックスが開きます。**

取り込み終了後、作業が終了したことを知らせる
ダイアログボックスが開きます。

をクリックします。

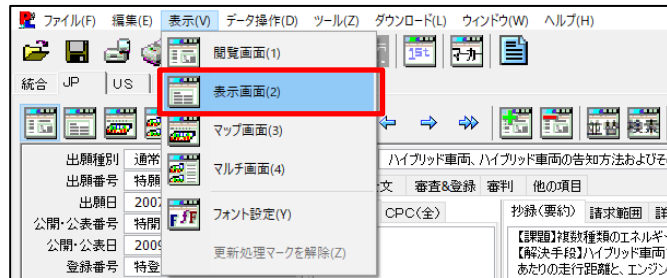


第7章 表示画面の操作ガイド

PAT-LIST-GLS「統合」の表示画面では公報の帳票を作成することができます。帳票の種類には、「PL-M」(：マップ画面で設定した X・Y 軸項目によるマトリックス)、さらに、自由に書式を設定できる「PL-User」があります。作成した帳票は、表示されているイメージで印刷することが可能です。

7.1 表示画面を開く

「表示画面」ボタンをクリック、またはメニューバーの「表示」>「表示画面」を選択すると、表示画面が表示されます。表示画面でも、並び替えや検索ができます。

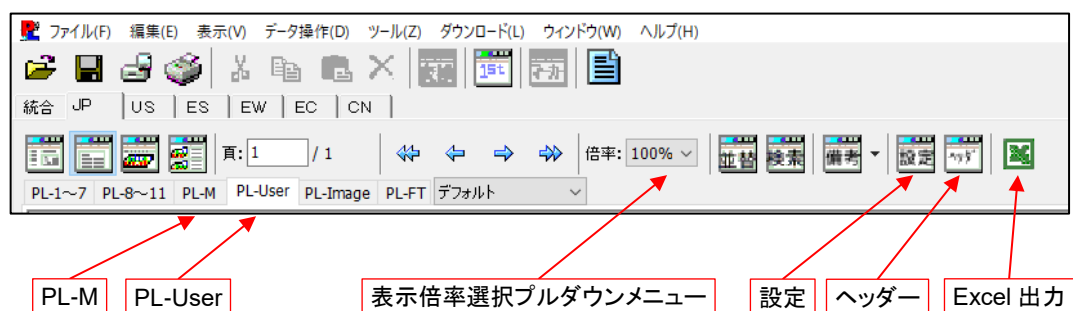


The screenshot shows the '表示画面' with a data table for 'PL-1' dated 2020/11/05. The table has 5 columns: 出願番号/出願日, 公開/国際公開番号・日, 公告番号/公告日, and 登録番号/登録日. The table contains 7 rows of patent data.






	出願番号/出願日	公開/国際公開番号・日	公告番号/公告日	登録番号/登録日
109	特願2007-557551 20060224	特表2008-535713 20080904		
110	特願2007-547408 20051024	特表2008-524067 20080710		
111	特願2007-540475 20041129	特表2008-520173 20080612		特登04620125 20101105
112	特願2007-533781 20050928	特表2008-515373 20080508		
113	特願2007-533760 20050927	特表2008-514486 20080508		
114	特願2007-501078 20050301	特表2007-526166 20070913		
115	特願2007-039576 20070220	特開2008-201262 20080904		特登04274257 20090313

7.2 ツールバーのボタンの配置と帳票タブ

ここでは、表示画面のツールバーにあるボタンの配置と帳票タブを示します。閲覧画面のツールバーにもあるボタンについては省略します。



7.3 帳票の種類とツールバーのボタン機能

アイコンボタン		機能
PL-M		マップ画面で作成したマトリクス形式帳票詳細については、6.3 マップ画面の操作ガイドをご参照ください。
PL-User		ユーザーが自由に設定可能な帳票形式。他の表示画面のヘッダーやフッターの編集も行えます。
倍率		帳票表示の拡大縮小倍率が 20~300%まで選択可能です。
	[並替]	帳票の項目を選択し並替を行います。
	[検索]	帳票の項目を選択し検索を行います。
	[設定]	PL-User を表示させたときにアクティブになります。ユーザー書式のレイアウトを編集する時に使います。
	[ヘッダー]	PL-M(マトリクスマップ)を表示させたときにアクティブになります。PL-Mにおいて、タイトルを入力・編集するときに使用します。
	[Excel 出力]	表示している帳票を Excel に出力します。「Excel 出力」は、出力先や出力範囲を指定します。



帳票に表示されているレコード(1件毎のデータ)上でダブルクリックすると、閲覧画面に切り替わり、対応するレコードが表示されます。

7.4 帳票形式

PAT-LIST-GLS の統合で出力可能な帳票形式は、マトリクスマップ画面を表示した「PL-M」形式、ユーザーが自由に書式を設定できる「PL-User」形式があります。

「PL-M」の帳票形式は、次の通りです。

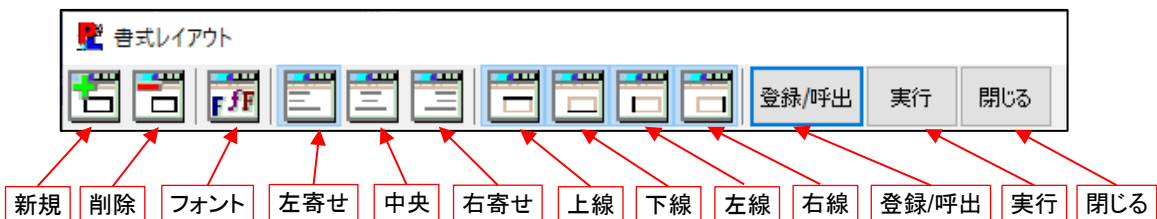
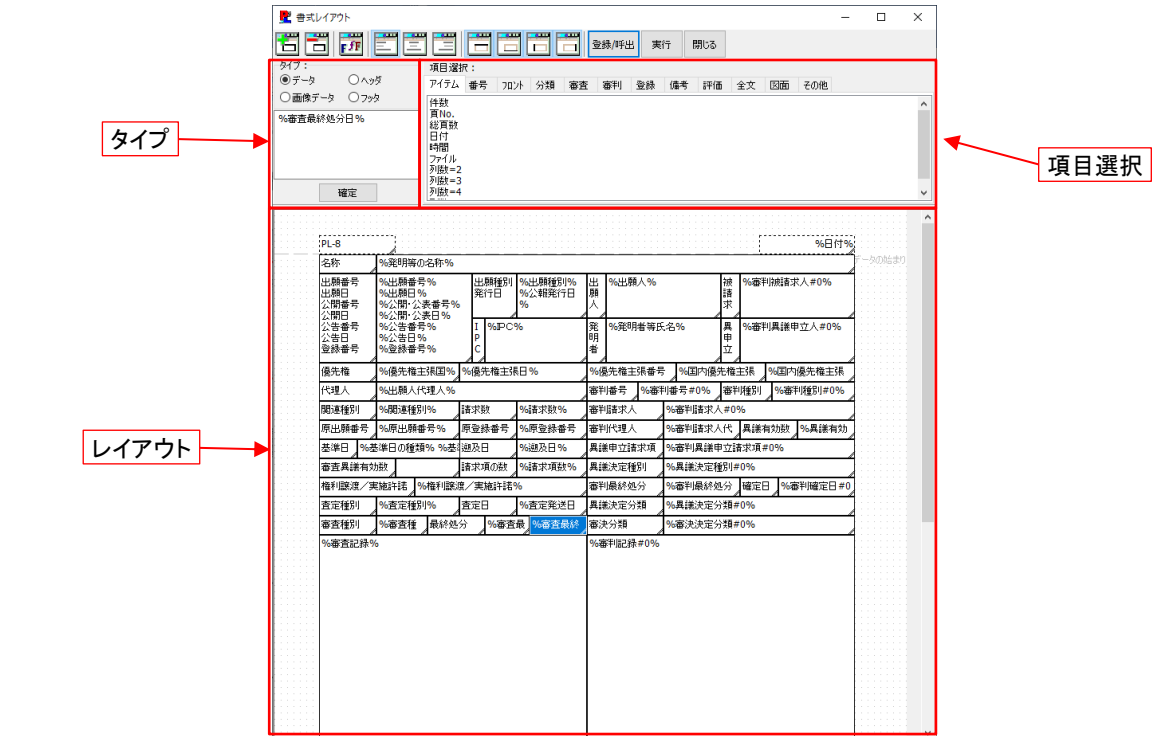
マトリクス一覧表							
2017/03/06							
	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2
TOYOTA MOTOR CO LTD [JP]	EP 20020788419, EP 20020023895,	EP 20030816253, EP 20030016211	EP 20040748256, EP 20040736885,	EP 20050808831, EP 20050788159,	EP 20060823470, EP 20060847239,	EP 20070792984, EP 20070791295,	EP 20080792984, EP 20080791295,
トヨタ自動車	特願2002-211373	特願2003-072588, 特願2003-065360,	特願2004-293651, 特願2004-272915,	特願2005-037536, 特願2005-372594,	特願2006-072834, 特願2006-006236,	特願2007-093187, 特願2007-088495,	特願2008-093187, 特願2008-088495,
HONDA MOTOR CO LTD [JP]	EP 20020772858, EP 20020730697,	EP 20030811529, EP 20030799158,	EP 20040771659, EP 20040771658,	EP 20050018852, EP 20050254343,	EP 20060001128	EP 20070110944	EP 20110110944, EP 20110110944,
本田技研工業株式会社	02147134.7	03826070.0	200480021996.9, 200480017656.9,	200580033886.9, 200580031813.6,	200680053876.6, 200680050935.4,	200780052337.5, 200780043472.3,	200880052337.5, 200880043472.3,
本田技研工業	特願2002-008961, 特願2002-004523,	特願2003-338823, 特願2003-294662,	特願2004-041627, 特願2004-256859,	特願2005-042070	特願2006-184565	特願2007-183462	特願2008-183462, 特願2008-183462,
日産自動車	特願2002-245539	特願2003-063056, 特願2003-378530,	特願2004-077074, 特願2004-077064,	特願2005-357078, 特願2005-324296,	特願2006-091547, 特願2006-090028,	特願2007-097961, 特願2007-308140,	特願2008-097961, 特願2008-308140,
NISSAN MOTOR [JP]	EP 20020026813, EP 20020021102,	EP 20030015454	EP 20040026075, EP 20040018492,	EP 200500165041, EP 20050012636,	EP 20060820799, EP 20060125810,	EP 20070848942, EP 20070013516,	EP 20080848942, EP 20080013516,
本田技研工業株式会社	02818355.X, 02811606.2,	03823300.2, 03821684.1,	200710091938.9, 200480023608.0,	200510078096.4	200610004402.4	200710127812.2	200880078096.4,
日産自動車株式会社			200410092248.1, 200410028262.5	200580014735.9	200610165824.X, 200610151744.9,	200710160632.4, 200710127269.6,	200810160632.4, 200810127269.6,
TOYOTA JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA	US10/272988, US10/261411,	US10/614889, US10/530514	US10/781781, US10/559828	US11/587753, US10/586368,	US11/477595, US11/792694,	US11/680269, US12/298955,	US12/298955,

7.5 PL-User の書式設定

「PL-User」が選択されている状態で、ツールバーの **確定** をクリックすると「書式レイアウト」ウィンドウが開きます。





7.5.1 書式レイアウト構成




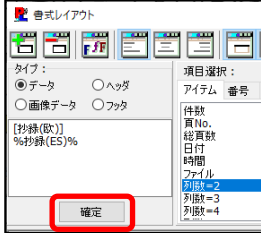

ここでは、「書式レイアウト」ウィンドウの構成について説明します。



7.5.2 機能一覧


書式レイアウトで提供する初期画面のツールバーのボタン機能は以下のとおりです。

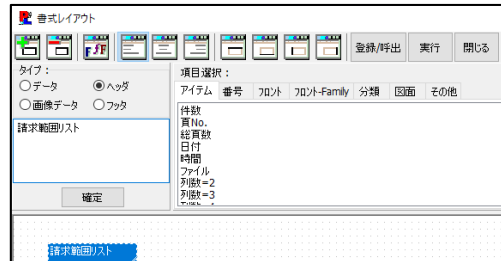
ボタン	機能
	[新規] 新規のセルを作ります。ボタンを押す前に、既存のセルを選択している状態の場合、そのセルのコピーを作成します。
	[削除] セルを削除します。
	[フォント] フォントを変更します。
	[左寄せ] データを左寄せに設定します。

ボタン		機能
	[中央]	データをセンタリングします。
	[右寄せ]	データを右寄せに設定します。
	[罫線]	セルの上下左右の罫線をつけるまたは消去します。初期設定では、上下左右の罫線がついていますので、消したい場合に各ボタンをクリックをすると、そのボタンに表示されている罫線が消去されます。
タイプ		データのタイプによって、ラジオボタンを押して設定します。
確定		セル内のデータを変更後、確定ボタンを押すことによって、変更が反映されます。
項目選択		セル内に表示させたいデータなどを選択します。データ名のほかに以下のようなアイテムを選択できます。
		<p>件数 No. 1 より通し番号が表示されます。</p> <p>頁 No. ページ番号を表示します (ヘッダー・フッターの項目として使用)</p> <p>総頁数 総ページ数を表示します。頁 No. と組み合わせて、1/10 と表示することが可能です。</p> <p>日付 書類を開いた日付を表示します。</p> <p>時間 書類を開いた時刻を表示します。</p> <p>ファイル 書類が保存されているディレクトリを含むファイル名が表示されます。</p> <p>列数 2-5 1つのセル内の段組数を設定します。列数3の場合下記のようになります。</p> <p>列数の設定は下のように、セル内のデータ項目が表示されている右側に入力します。</p>
		 <p>例は、抄録の2列表示です</p>
		
登録/呼出		作成した帳票レイアウトを登録、呼出します。
実行		作成した帳票レイアウトで帳票を表示します。
閉じる		「書式レイアウト」ウィンドウを閉じます。表示画面に戻ります。

7.5.3 新規の帳票を作成する

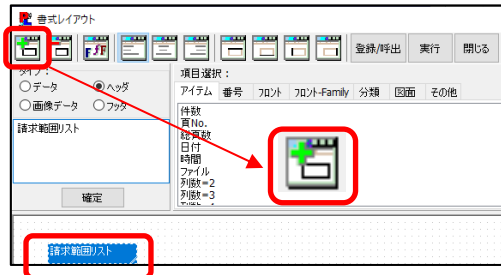
PL-User では、新規に帳票の形式を作成することが可能です。
ここでは、新規に帳票形式を作成する方法について説明します。

ツールバーの  をクリックすると、「書式レイアウト」ウィンドウが開きます。



をクリックします。

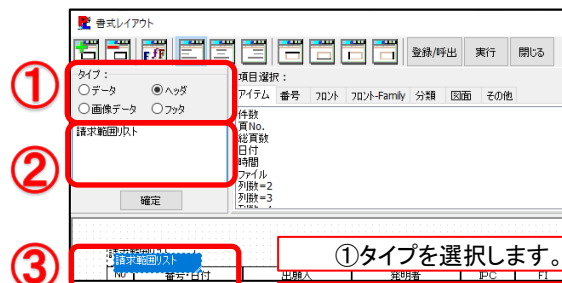
レイアウト画面に新しくセルが作成されます。



次に、① 選択したセルに表示する項目を選択します。セルが選択中であること(青く塗りつぶされているか)を確認して、

② タイプ欄から、表示する項目の種類を選択します。それから

③ タイプ欄内に表示されている文字列がある場合は、その文字列を削除します。



① タイプを選択します。

② 文字列を削除します。

③ セルを選択します。

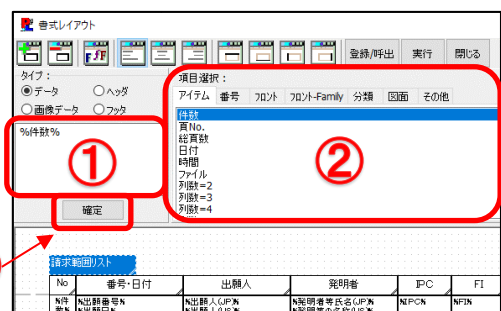
① 選択しているセル内に表示する項目を、項目選択欄から選択します。

項目の選択後、その項目名上でダブルクリックすると、

② タイプ欄に選択したタイプに合わせた表示形式で、選択した項目名が表示されます。

③ **確定** をクリックします。

「ヘッダー」タイプを選択した場合は、直接、ヘッダーに用いる文字列を入力することも可能です。



① 項目を選択してダブルクリックします。

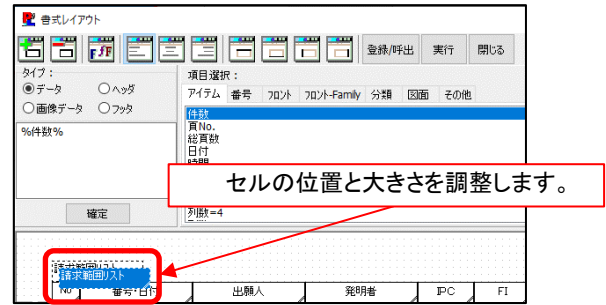
② 選択したタイプに合わせて項目が表示されます。

③ 「確定」ボタンをクリックします。

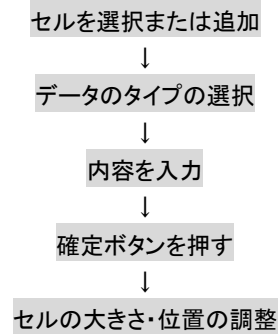
選択したセル内に、先ほど選択した項目名が表示されます。

このセルをドラッグすることで表示位置を調整します。

それからセルの右線、下線、または右下の角にマウスカursorを移動させ、枠の大きさも調整します。

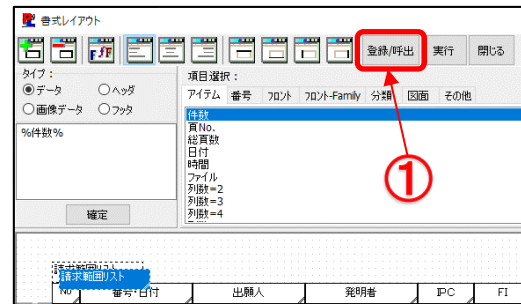


1～5までの操作を繰り返し、帳票形式を作成します。

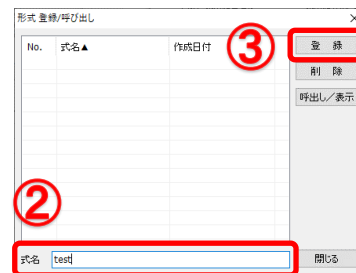


レイアウトが完成したら、

- ① **登録/呼出** をクリックします。
- ② 形式名をつけます。
- ③ **登録** をクリックします。

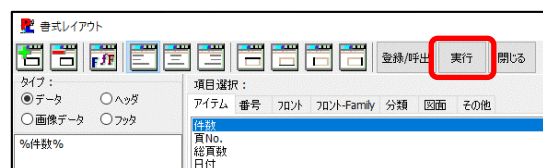


- ①「登録/呼出」ボタンをクリックします。
- ②形式名を入力します。
- ③「登録」ボタンをクリックします。



帳票形式を作成したら、**実行** をクリックします。

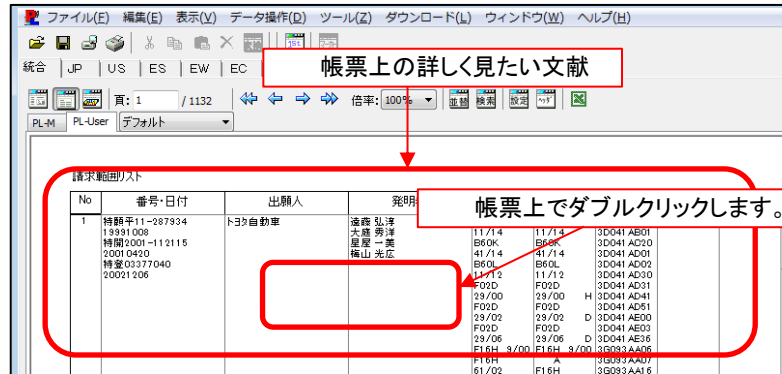
オリジナルの帳票が表示されます。



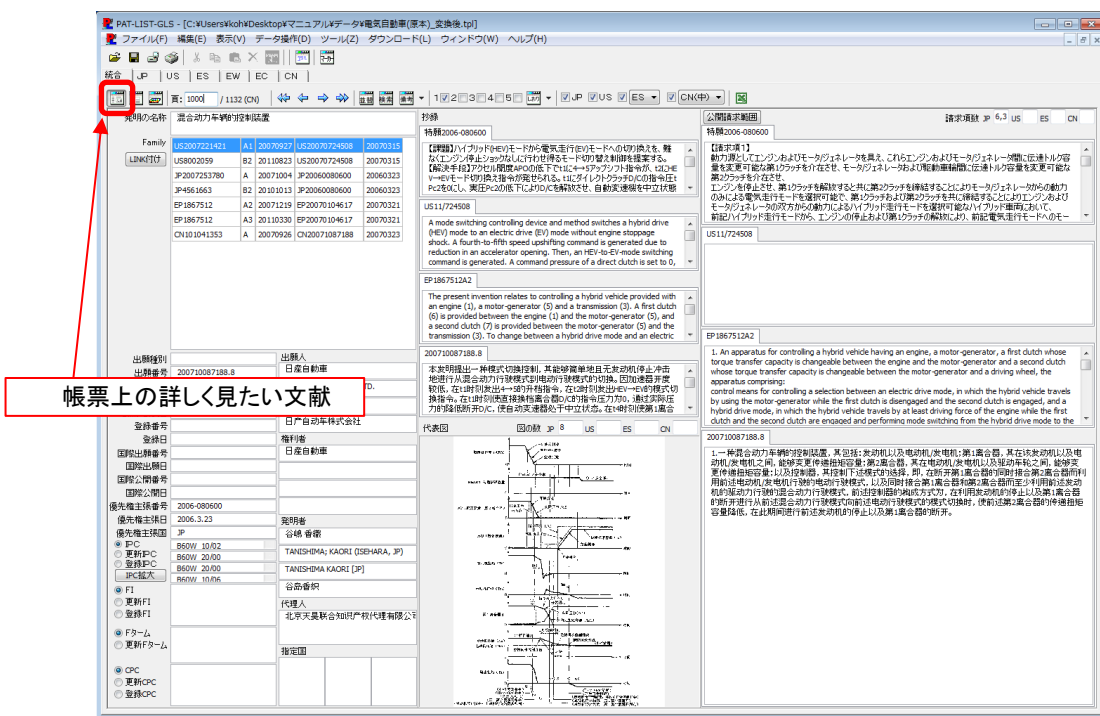
7.6 閲覧画面との連携機能

PAT-LIST は、帳票に示されている文献上にマウスカーソルを移動させダブルクリックすると、その文献データが表示される閲覧画面にジャンプします。ここでは、その機能について説明します。

詳しくデータを見たい文献を表示した帳票上のページに移動します。その文献が示されている帳票上にマウスカーソルを移動させ、ダブルクリックします。



- 1) でクリックした文献データが表示された閲覧画面が表示されます。「表示画面」ボタンをクリックすると、閲覧画面にジャンプする前の帳票が表示された表示画面に戻ります。



7.7 印刷と出力

メニューバーから「ファイル」> 「印刷設定」を選択すると、「プリンタの設定」のダイアログボックスが開きます。

複数のプリンタドライバがインストールされている場合に、プリンタドライバの指定を行います。

その後、用紙サイズ、給紙方法、印刷の向き等を入力し、**OK** をクリックします。

尚、初期設定では、A4 サイズ縦置きで「表示されているページのみ」を印刷する設定になっています。


PAT-LIST では、A3 サイズまでの設定が可能です（プリンタが対応している必要があります）。

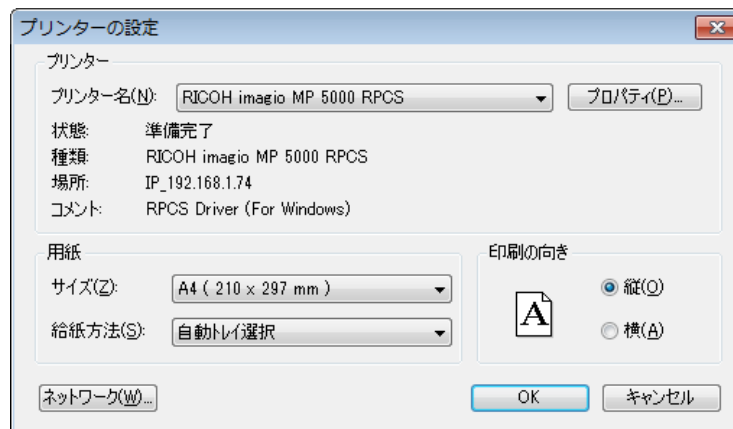


帳票面が印刷されない場合、また、印刷された図の画質が悪い場合には、プロパティで「グラフィック」「きれい」などの設定に変更して印刷してください。


7.8 帳票の Excel 出力

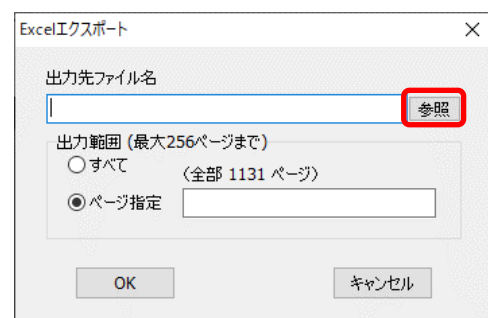
PAT-LIST では、作成した帳票を Excel ファイルに出力することができます。

帳票を作成し、ツールバーの  をクリックします。

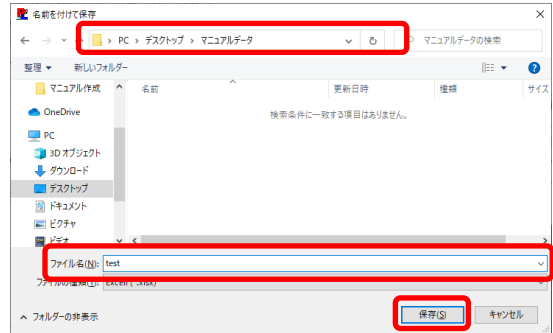


「Excel エクスポート」ダイアログボックスが開きます。

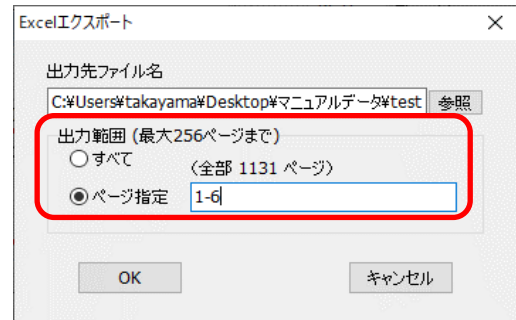
「出力先ファイル名」欄にある、 をクリックします。



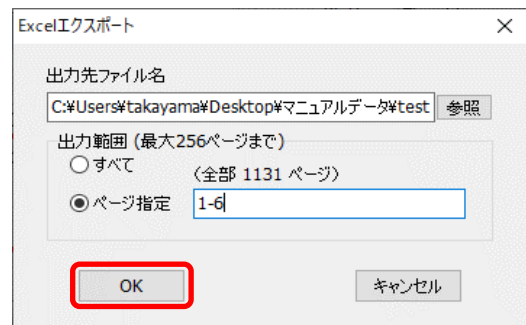
「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。
出力した帳票のファイルを保存する場所を指定し、ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックします。



3) の後、「Excel エクスポート」ダイアログボックスに出力ファイル名が表示されます。
次に出力範囲を指定します。
帳票全てを出力する場合は、「すべて」チェックボックスをオンにします。
ページ指定する場合は、「ページ指定」チェックボックスをオンにし、帳票のページを指定します。
出力するページが連続する場合は、連続する最初のページと最後のページを「-」(ハイフン)で繋がります。
出力するページが連続していない場合は、「,」(カンマ)でページ数を区切り入力します。



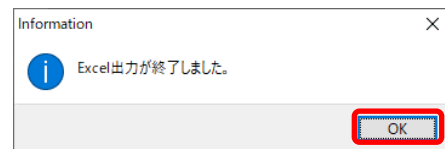
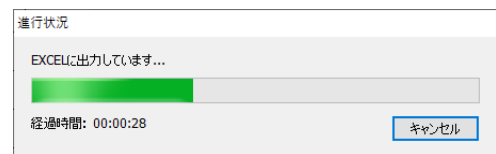
出力するページを指定したら、**OK** をクリックします。



帳票を Excel 出力すると、「進行状況」ダイアログボックスが表示され、終了すると「情報」ダイアログボックスに「Excel 出力が終了しました。」と表示されます。

OK をクリックし、

「情報」ダイアログボックスを閉じます。



帳票を出力した Excel ファイルには、1つのワークシートに帳票1ページが記載されます。
 そしてシート名には帳票のページが記載されています。
 この出力した帳票の Excel ファイルは、Excel 上で編集や印刷が可能です。
 また、他の方と共有することも可能です。

	出願番号/出願日	公開/国際公開番号・日	公告番号/公告日	登録番号/登録日
1	特願平09-344304 19971128	特開平11-164406 19990618		特登03456624 20030801
2	特願平09-269191 19970917	特開平11-093723 19990406		特登03096446 20000804
3	特願平09-269190 19970917	特開平11-093722 19990406		特登03216082 20010803
4	特願平11-310347 19991029	特開2001-128310 20010511		特登03542938 20040409
5	特願平11-287934 19991008	特開2001-112115 20010420		特登03377040 20021206
6	特願平11-269847 19990924	特開2001-095105 20010406		特登03374802 20021129
7	特願平11-248389 19990902	特開2001-078306 20010323		特登03967043 20070608
8	特願平11-218580 19990802	特開2001-045607 20010216		特登03466513 20030829
9	特願平11-218219 19990730	特開2001-045610 20010216		特登03300304 20020419
10	特願平11-191091 19990705	特開2001-018668 20010123		特登03666727 20050415
11	特願平11-160759 19990608	特開2000-343965 20001212		
12	特願平10-067383 19980317	特開平11-150807 19990602		特登03685920 20050610
13	特願平10-361497 19981218	特開2000-186590 20000704		特登03385986 20030110
14	特願平10-035363 19980203	特開平11-220810 19990810		特登03478723 20031003
15	特願平10-347727 19981030	特開2000-014031 20000114		特登04185606 20080912
16	特願平10-347541 19981207	特開2000-175306 20000623		特登03300294 20020419
17	特願平10-332381 19981124	特開平11-243603 19990907		
18	特願平10-332380 19981124	特開平11-234807 19990827		
19	特願平10-332379 19981124	特開平11-252710 19990917		

第 8 章 マップ画面の操作ガイド

PAT-LIST-GLS のマップ画面では、PAT-LIST-GLS に取り込んだデータを使って、マップを作成できます。マップの作成方法は、大きく二つの方法があります。

一つは、既に用意された X 軸と Y 軸の組み合わせから、いずれかを選択し、詳細項目まで自動に設定しマップを作成する方法 (PAT-MAP 機能) で、もう一つは、ご自分で X(Y) 軸の詳細項目を選択し作成する方法です。

「マップ操作」ダイアログボックスで実行されますと、設定された詳細項目が自動的にマップ画面のセルの X(Y) 軸に表示されます。

8.1 マップ画面を開く

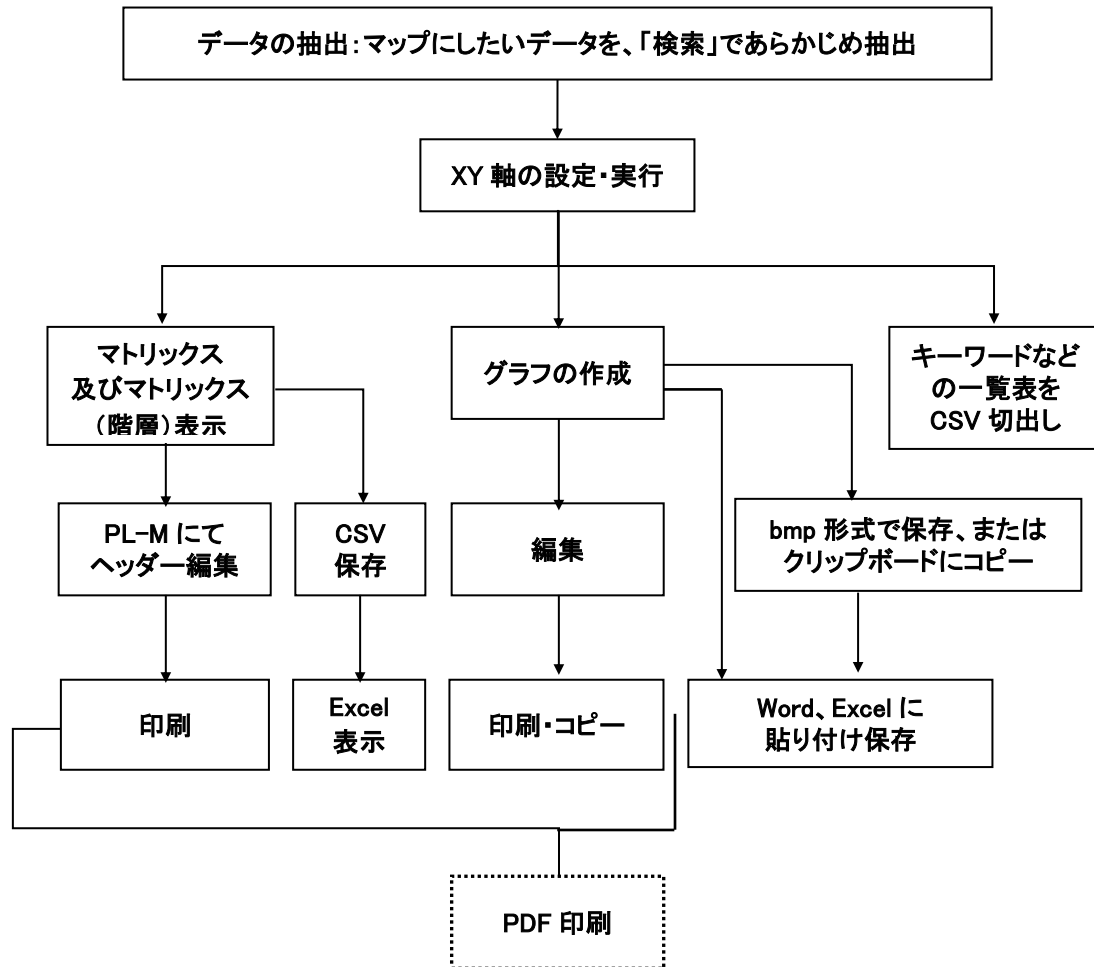
「マップ画面」ボタンをクリック、またはメニューバーから「表示」>「マップ画面」を選択すると、「マップ」画面が表示されます。「項目設定」ボタンをクリックすると、「マップ操作」ダイアログボックスが開き、これを用いて軸項目を設定し、マップを作成します。



年(デフォルトは1月～12月)	出願	公開	特許	特許	特許	特許	特許	特許	特許	特許
2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	
トヨタ自動車	特許2002-211373	特許2003-072889, 特許2004-263851, 特許2005-053960, 特許2004-272915	特許2005-072536, 特許2006-072834, 特許2007-091287, 特許2008-091263, 特許2009-189308	特許2005-372294, 特許2006-058226, 特許2007-088495, 特許2008-091262						
本田技研工業	特許2002-008961, 特許2003-238823, 特許2004-241527, 特許2003-004522, 特許2003-294652, 特許2004-256859	特許2005-045079, 特許2006-184950, 特許2007-181462, 特許2008-288235, 特許2009-087776, 特許2010-022234	特許2005-091547, 特許2006-091547, 特許2007-097961, 特許2008-094050, 特許2009-046464, 特許2010-041289	特許2005-326296, 特許2006-090208, 特許2007-208140, 特許2008-054511, 特許2009-036974						
日立製作所	特許2002-257242	特許2004-318660	特許2005-101425	特許2006-309078, 特許2007-091287, 特許2007-088495						
デンソー				特許2006-309078, 特許2007-091287, 特許2007-088495						
マツダ				特許2006-091770, 特許2007-090049, 特許2008-229372, 特許2007-313179						
ドコモケータイシステムズ							特許2009-176851, 特許2010-067898			
ヤマハ発動機			特許2005-086419, 特許2005-082815							
ローカル・ボックス・システム・ソフトウェア・マーケティング	特許2003-556264			特許2008-546343, 特許2008-553719, 特許2008-528463	特許2009-545366, 特許2009-159470					

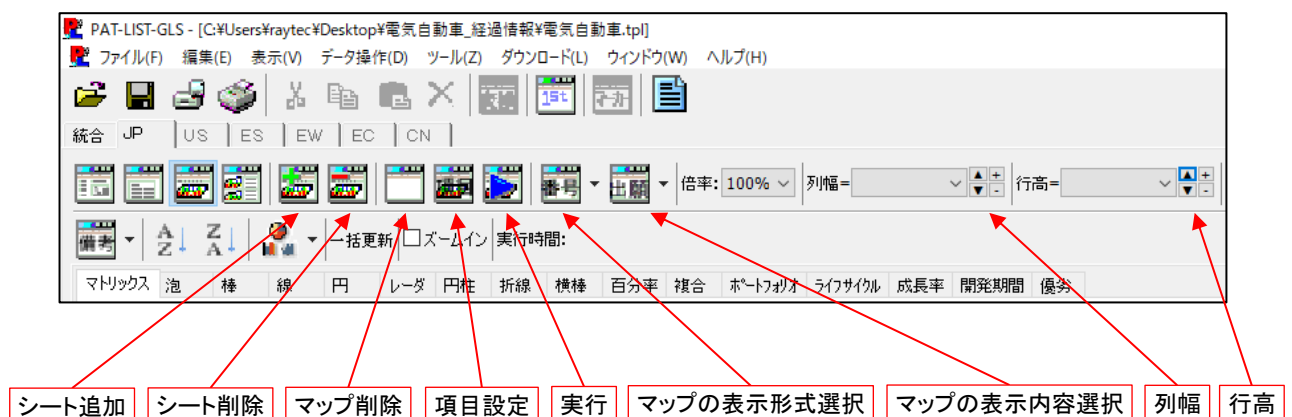
8.2 マップ作成手順

マップ作成の流れは、以下のようになっています。



8.3 ツールバーのボタン配置とその機能

マップ画面のツールバーは下記になります。ここでは、マップ画面で新規に表示されたボタンについて図示します。



ボタン	機能	
[シート追加]	新しいマップシートを作成します。マップのシートは、20枚まで作ることができます。	
[シート削除]	現在表示しているマップシートを削除します。	
[マップ削除]	セル内のデータを消去して、マトリックス画面を初期化します。	
[マップ操作] (項目設定)	マップ操作画面が表示され、X・Y軸の項目が選択できます。	
[実行]	閲覧画面で選択条件を変更した内容で、マップを更新します。	
マトリックスの表示形式選択 選択した項目によって ボタンの変わります	番号/項目	番号を表示します。
	件数	現在選択されている番号についての件数を表示させます。
	件数(合計)	現在のマップに合計を追加します。
	累積 (番号/項目)	番号(名称等)を累計して表示させます。
	累積 (件数)	件数を累計して表示させます。
	新規参入 (番号/項目)	新規のみの番号(名称等)を表示させます。 X軸に、「年」をとります。
	新規参入 (件数)	新規のみの件数を表示させます。 X軸に、「年」をとります。
マトリックスの表示内容選択 選択した項目によって ボタンの変わります。	出願番号	出願番号を表示します。
	公開・公表番号/ 国際公開番号	公開番号を表示します。公開番号がない場合は国際公開番号を表示します。
	登録番号	登録番号を表示します。
	出願人	出願人を表示します。
	発明者	発明者を表示します。
	分類 IPC	IPC分類を表示します。
 「列幅」を選択	プルダウンメニュー	現在ハイライトされているセルの列番号を表示します。プルダウンメニューから特定の列の列幅に全ての列の列幅寸法を合わせます。
	▲▼ボタン	列幅を変更します。
	＋－ボタン	項目欄の列幅を変更します。
 「行高」を選択	プルダウンメニュー	現在ハイライトされているセルの行番号を表示します。プルダウンメニューから特定の行の行高に全ての行の行高寸法を合わせます。
	▲▼ボタン	行高を変更します。
	＋－ボタン	項目欄の行高を変更します。



表示内容の選択で、カウント対象公報が、変わります。出願番号を選択した場合は、出願番号の入っているデータを、登録番号を選択した場合は、登録番号の入っているデータをカウントします。



「新規」ボタンは、マップシート作成の追加を行うたびに、使用してください。

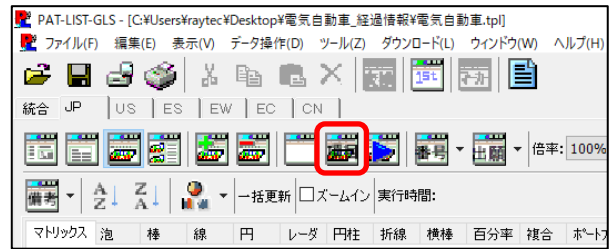
8.4 マップ操作ダイアログボックス

マップ軸の項目を設定するためには、ツールバー上の「項目」ボタンをクリックし、表示された「マップ操作」ダイアログボックスを使用します。

7. マップ画面のツールバーにある、



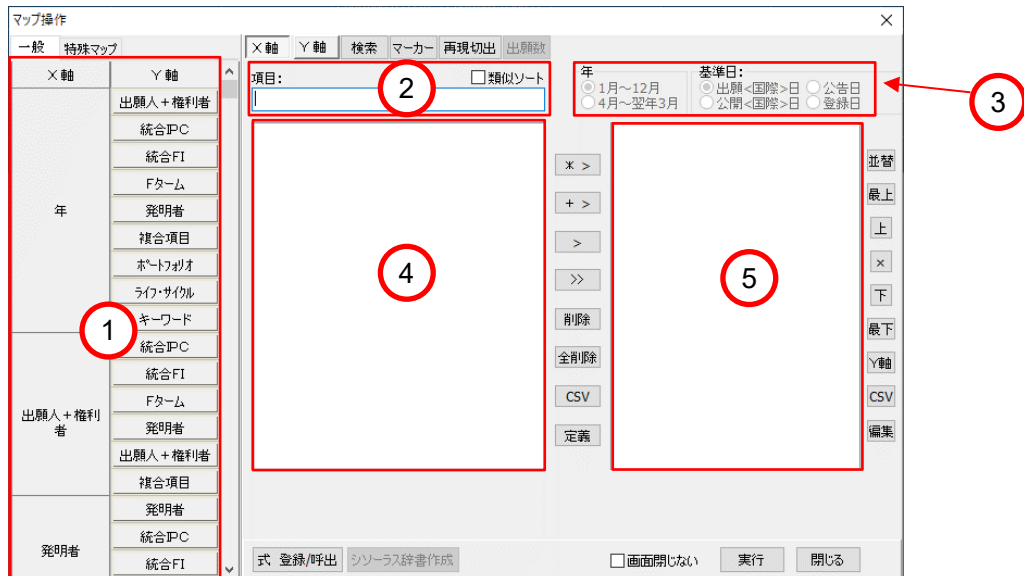
をクリックします。



8. 「マップ操作」ダイアログボックスが開きます。













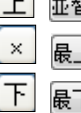



ここで、「マップ操作」ダイアログボックスについて説明します。



No.	名称	説明
1	マップリスト	マップ軸に設定する項目の組み合わせを 30 種類用意しました。Y 軸列のボタンをクリックするだけで、自動的にマップ軸を設定することができます。詳しくは、「PAT-MAP(マップ自動作成機能)」を参照してください。
2	軸項目選択ボックス	欄内でクリックすると、マップ軸に設定可能な項目が表示されます。ここから選択して軸項目を選択します。
3	基準日選択ボックス	項目を「年月」を選択した場合「年」と「基準日」を設定することができます。
4	軸設定候補ボックス	選択した軸項目のデータが表示されます。ここからマップに表示する軸項目データを選択します。
5	軸設定ボックス	選択されたマップに表示する軸項目データの表示順の並べ替えや削除などの編集を行います。

マップ操作ダイアログボックスのボタンの説明

各ボタンの機能とマップ自動作成選択欄の特殊の項目について下記に説明します。

ボタン	機能
 [X軸・Y軸]	X軸の設定、Y軸の設定表示画面に切替えます。
 [検索]	軸設定候補内のデータを検索します。
 [マーカー]	軸設定候補内のデータをハイライトします。
[再現切出]	
基準日: <input type="radio"/> 出願<国際>日 <input type="radio"/> 公告日 <input type="radio"/> 公開<国際>日 <input type="radio"/> 登録日 [基準日選択]	年・月を軸項目に設定した場合、その基準日となる日付が出願日だということを示しています。
 [AND 選択]	軸設定候補内の項目の中から、 Shift・Ctrl キーを使って複数選択した軸項目データ全てを満たす文献を抽出するときに、このボタンをクリックします。最大5つの項目データを一括にAND結合できます。
 [OR 選択]	軸設定候補内の項目の中から、複数の軸項目データを Shift・Ctrl キーを使って選択し、それぞれの選択した軸項目データを含む文献をマップに表示したいときに、このボタンをクリックします。
 [項目選択]	軸設定候補ボックスから選択されたデータだけが入力項目ボックスにコピーされます。
 [全項目選択]	軸設定候補ボックス中の全データ（最大100項目）が入力項目ボックスにコピーされます。
 [項目削除]	軸設定ボックスで選択されたデータだけが削除されます。
 [項目全削除]	軸設定ボックス中の全データが削除されます。
 [CSV 切出]	軸設定候補の横のボタンは、選択項目一覧内のランキングしたデータをCSVファイルに出力します。 軸設定ボックスの横のボタンは、選択した項目の一覧をCSVファイルに出力します。
 [項目移動]	軸設定ボックス内で並べ替えたいデータ選択し、「上」、「下」ボタンを押すと、そのデータが上下に移動します。「最上」、「最下」ボタンを押すと、そのデータが最上か最下へと移動します。「×」ボタンは、入力項目を逆転します。 「並替」ボタンは、昇順、降順に項目を並べ替えます。
 [追加]	左側の追加入力ボックスにワードを入力し、追加ボタンを押すと、入力項目ボックス内の一番下にワードが表示されます。部分一致にする場合は、半角の「^（caret）」を、ワードの後ろに付けます。
 [変更]	軸設定ボックスで選択した項目の名称を変更します。
 [式 登録/呼出]	作成したマップ作成式を登録したり、外部から取り込んだマップ作成式を呼び出します。

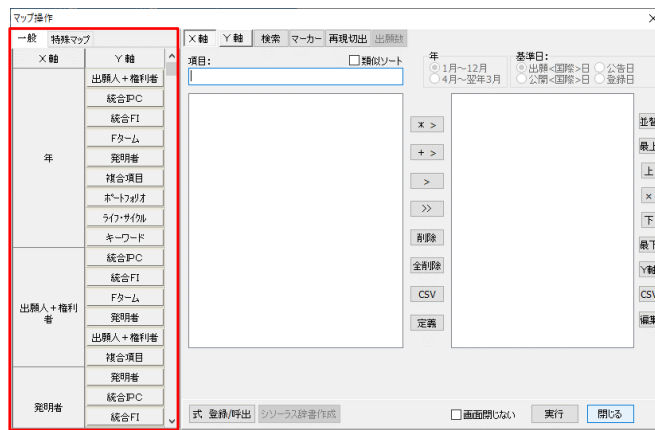
8.5 PAT-MAP(マップ自動作成)機能

PAT-LIST-GLS「統合」では、マップのX軸とY軸が自動的に設定できるメニューを、28種類用意しています。ここでは、このメニューを使って、マップを作成する方法について説明します。

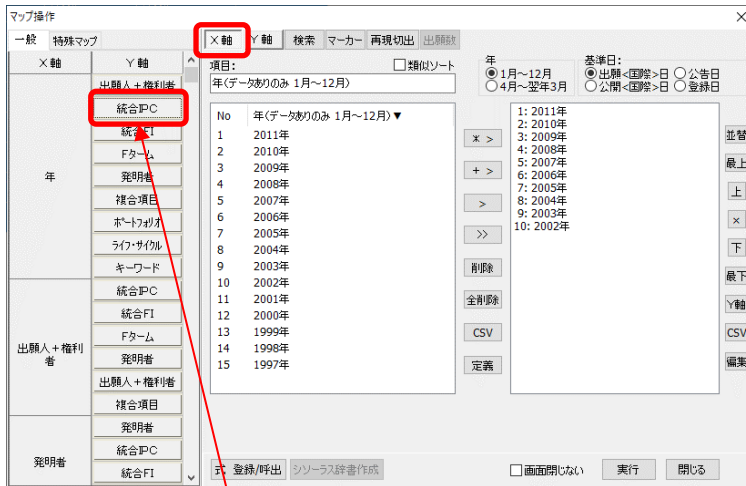
8.5.1 データ操作ダイアログボックスの表示

「マップ操作」ダイアログボックスの左にある、14種類のメニューから選択したX軸とY軸の組み合わせのY軸項目のボタンをクリックすると、X軸の項目と「Y軸」列ボタン項目との組み合わせで、自動的にマップ軸項目が設定されます。

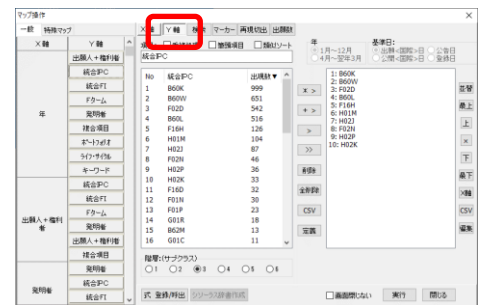
X、Y軸の組み合わせのメニューについては、「マップ自動作成の組み合わせ一覧」を参照してください。



例えば、X軸が「年」、Y軸「分類(IPC)」を選択した場合、X軸項目に「年(データありのみ)」、Y軸項目に「IPC」が設定され、件数が降順で並べ替えた設定が自動で行なわれます。



② X軸とY軸の項目が自動的に設定されます。



① X軸「年」にある、Y軸「分類(IPC)」ボタンをクリックします。

③ X軸とY軸の項目設定が自動的に終了した後、[実行]ボタンをクリックすると、グラフ画面に切り替わります。



マップ自動作成の組み合わせ一覧

	X 軸	Y 軸	グラフ表示の規定値
1	年	出願人+権利者	泡
2		総合IPC	泡
4		総合 FI	泡
5		F ターム	泡
6		発明者	泡
7		複合項目	複合
8		ポートフォリオ	ポートフォリオ
9		ライフ・サイクル	ライフ・サイクル
10		キーワード	泡
11		出願人+権利者	総合IPC
12	総合 FI		泡
13	F ターム		泡
14	発明者		泡
15	出願人+権利者		泡
16	複合項目		泡
17	発明者	発明者	泡
18		統合IPC	泡
19		統合 FI	泡
20		F ターム	泡
21	キーワード	統合IPC	泡
22		統合 FI	泡
23		F ターム	泡
24		出願人+権利者	泡
25		発明者	泡
26	解決手段 (解決手段又は請求範囲)	課題(発明の課題)	泡
27		課題(発明の効果)	泡
28		課題(抄録[要約])	泡

マップ自動作成選択欄の特殊な項目

項目名	Y 軸
ポートフォリオ	Y 軸を出願件数、X 軸を出願伸び率とし、円の大きさを総出願件数を表わしたグラフ。 出願伸び率の式 $= (\text{本年の出願件数} - \text{前年の出願件数}) \div \text{前年の出願件数}$
ライフ・サイクル	Y 軸を出願件数、X 軸を出願人数とした時系列グラフ。




ポートフォリオ、ライフ・サイクルのグラフは、技術や商品の開発の探索期、成長期、開発期、成熟期、衰退期を調べるために用います。どちらも、X 軸は、「年」を指定しています。

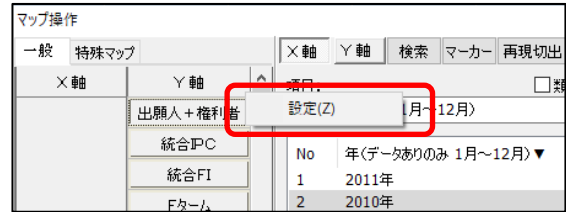
8.5.2 データ操作ダイアログボックスの表示

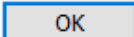
項目のマトリックス数の初期値は、X軸、Y軸いずれも 10 個です。
マトリックス数の変更方法は、次の通りです。

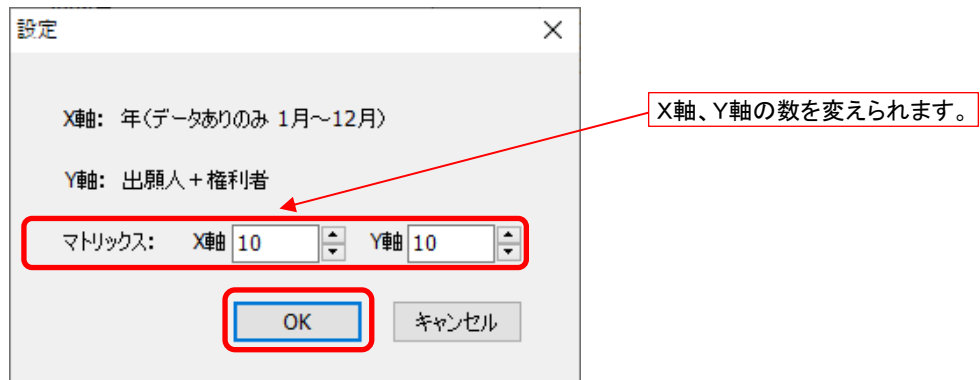
9. 変更するX軸とY軸の組み合わせの Y 軸項目
ボタンの上で、右クリックをして下さい。

 変更ボタンが現れます。

 をクリックします。



10. 「設定」ダイアログボックスで、X軸とY軸のマトリックス数の変更ができます。設定できるマトリックス数は、1
から 100 までです。変更したい数に変えたら、 をクリックして下さい。

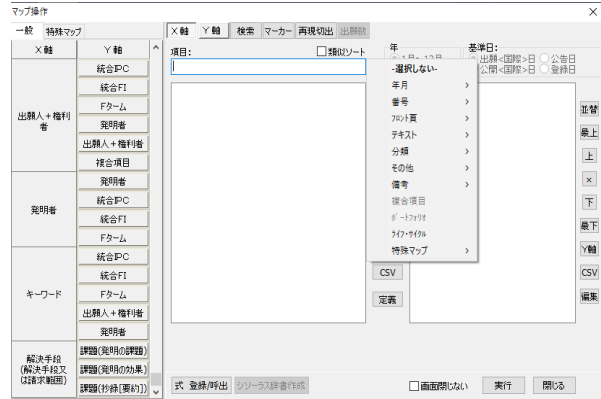


8.6 マップ軸の設定・実行

こちらでは、手動で行うマップ軸(X・Y 軸)の設定方法について説明します。メニューから選択してマップ軸の設定を行う自動設定については、「8.5 PAT-MAP(マップ自動作成)機能」をお読み下さい。

8.6.1 マップ軸の設定

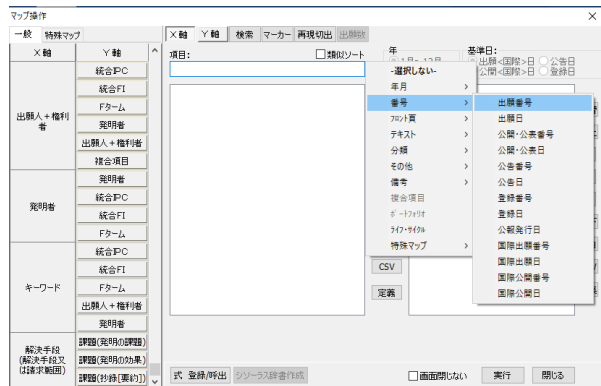
「マップ操作」ダイアログボックスの「項目」欄内でマウスカーソルを移動させ、クリックします。



軸項目として設定できる項目がメニュー表示されます。

このメニューから、マップ軸に設定する項目を選択します。

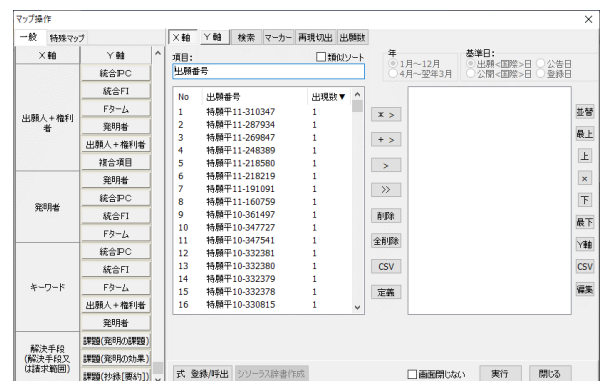
メニューに表示される項目は、巻末の「資料 3: マップ画面の X(Y)軸に選択可能な項目一覧」に記載しています。



選択した項目に関する文献のデータが、マップ選択項目ボックスに表示されます。

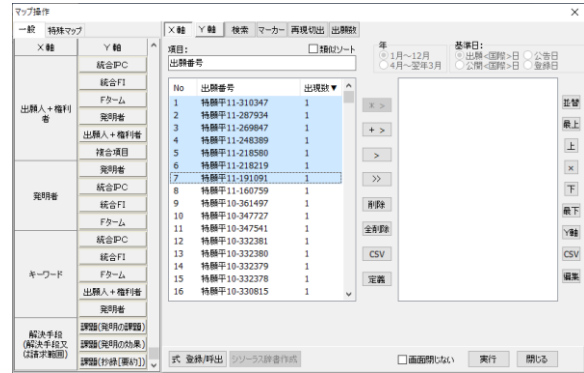
このデータの中から、マップ軸に用いるデータを選択します。

その基本手順や、編集方法を以下に記します。



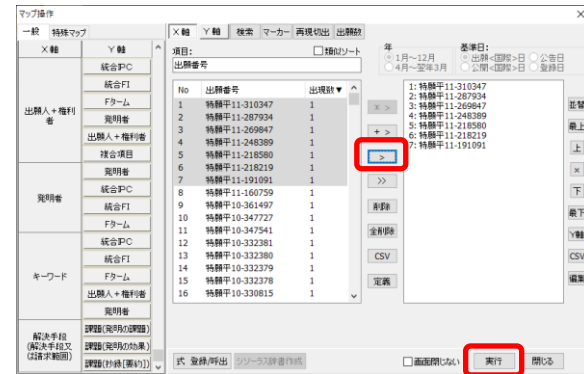
- 数個のデータをマップ軸に設定する場合

マップ軸に用いたいデータを、マップ選択項目ボックスから、**Shift**、**Ctrl** キーを用いて選択します。




中央にある  をクリックします。

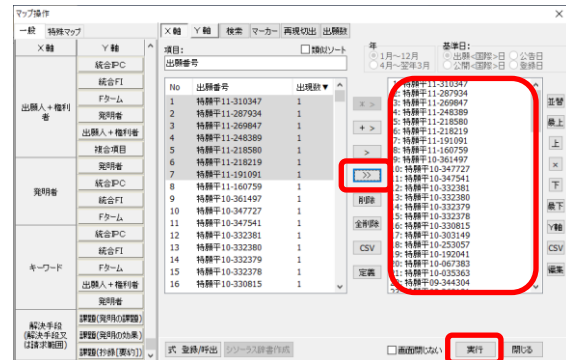
選択したデータが、マップ表示項目ボックスに表示されます。



- マップ選択項目ボックスのデータ全部をマップ軸に設定する場合

「マップ操作」ダイアログボックス中央にある、

 をクリックします。

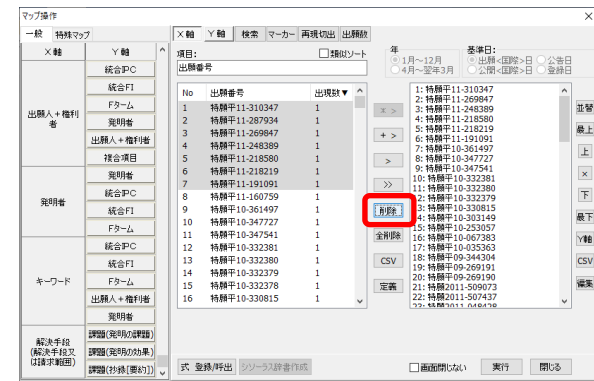


- マップ表示項目ボックスのデータを数個削除する場合

マップ表示項目に表示されているデータの中から、マップ軸に使わないデータを **Shift**、**Ctrl** キーを用いて選択します。

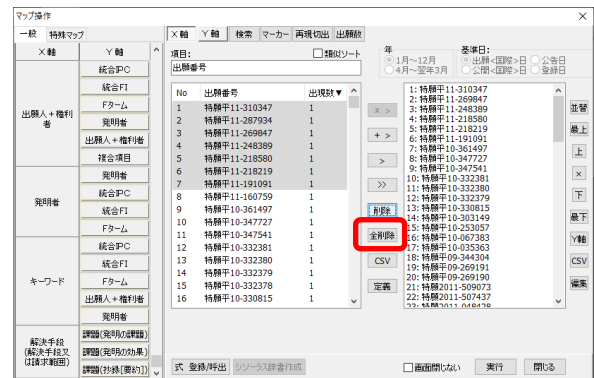


削除 をクリックすると、選択したデータが削除されます。

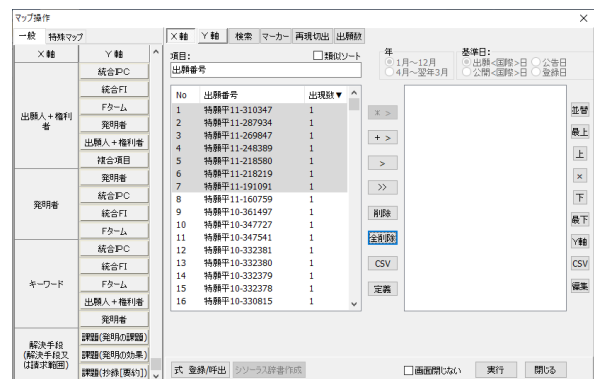


- マップ表示項目ボックスのデータを全て削除する場合

マップ表示項目ボックス内のデータを全て削除したい場合は、**全削除** をクリックします。



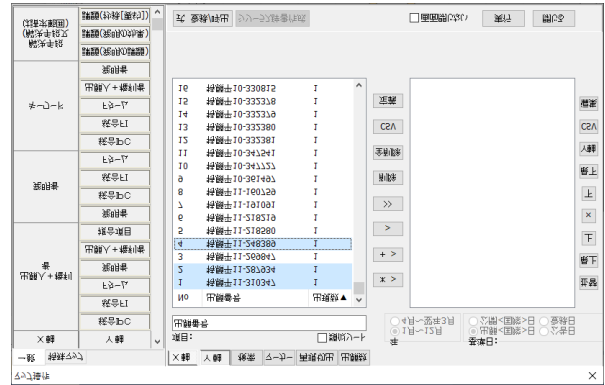
マップ表示項目ボックス内のデータが全て削除されます。



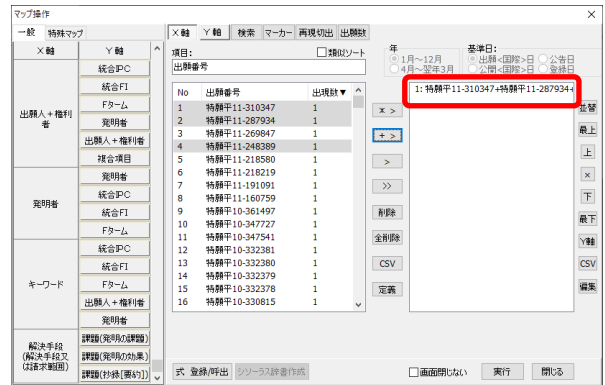
また、マップ表示項目ボックスにあるデータを複数選択して OR 結合や AND 結合を行うことも可能です。詳しくは「8.6.2 軸項目への追加結合機能」を参照してください。

- OR 結合したデータをマップ軸に設定する場合

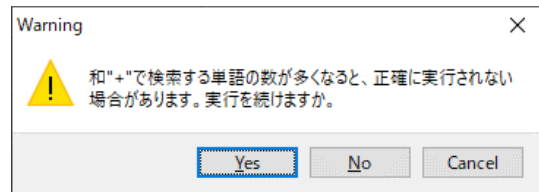
複数のデータを OR 結合し、マップ軸に設定する場合は、マップ選択項目ボックスのデータを、**Shift**、**Ctrl** キーを用いて複数選択します。



+ > をクリックすると、選択したデータを OR 結合したものが、マップ表示項目ボックスの一番下に追加されます。

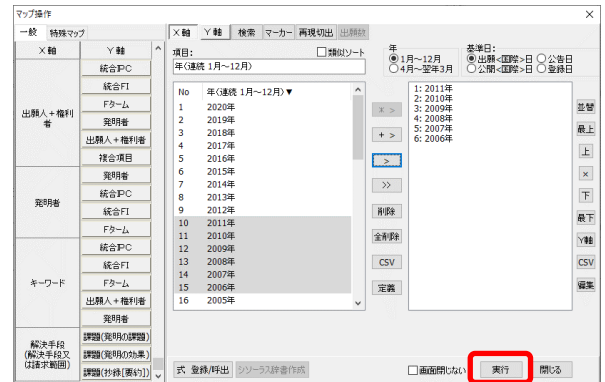


OR 結合できるデータ数に制限がありません。しかし、結合するデータの総文字数が大きくなりすぎると、右図の警告が現れます。警告が現れない、総文字数の限度はおおよそ 2000 字です。

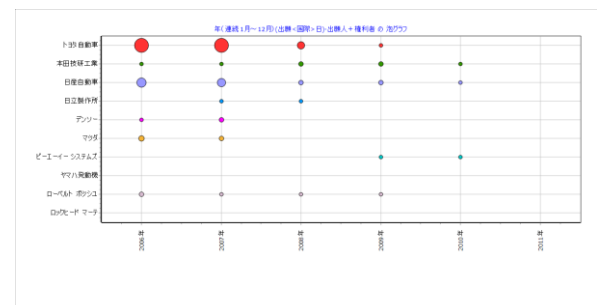


X 軸と Y 軸の項目を選択した後、**実行**

ボタンをクリックします。
設定した X 軸と Y 軸の処理が行なわれます。



処理が終了しますと、グラフ表示されます。



8.6.2 軸項目への追加結合機能

「マップ操作」ダイアログボックスでは、選択したマップ表示項目ボックス内の項目と、マップ選択項目ボックス内の項目との OR 追加結合や、AND 追加結合をすることができます。

追加結合させるマップ表示項目ボックス内の項目を選択します。

ここでは、「日産自動車」を選択しています。



次に、追加結合させる項目を、マップ選択項目ボックスの中から選択します。

ここでは、追加結合する項目として、「15 日産ディーゼル工業」を選択します。

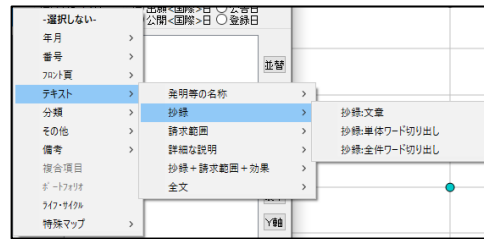
選択が終わりましたら、「OR 追加結合」の場合は **+ >** を、「AND 追加結合」の場合は *** >** を選択してください。

ここでは、前述のキーワードに対して、OR 追加結合を行いますので、**+ >** をクリックします。



8.6.3 キーワード抽出方法

「項目」欄のメニューから「テキスト」を選択しますと、ワード切り出しメニューがあります。切り出し方法は、「文書」「単体」「全体」の3種類です。




<切り出し方法>




- 文章: 1件毎に該当項目のテキスト文を、そのまま出力します。
- 単体ワード切り出し: 1件毎に該当項目の中からワードを切り出します。
- 全件ワード切り出し: 全体の該当項目の中からワードを切り出します。

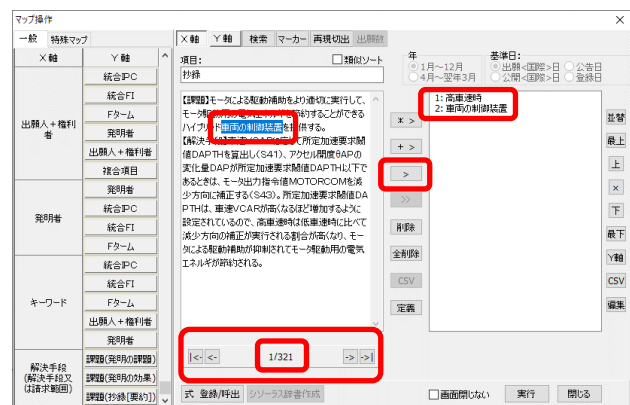
●文章を切り出す場合

文献(頁)毎に、選択した項目の文章がマップ選択項目ボックスに表示されます。

ここから、マウスで選択して、 ボタンをクリックすることで、マップ軸に設定することが可能です。

表示する文献(頁)は、 (最初の文献に




移動)、 (前の文献に移動)、 (次の文献に移動)、 (最後の文献に移動) ボタンを使って他文献を表示することが可能です。

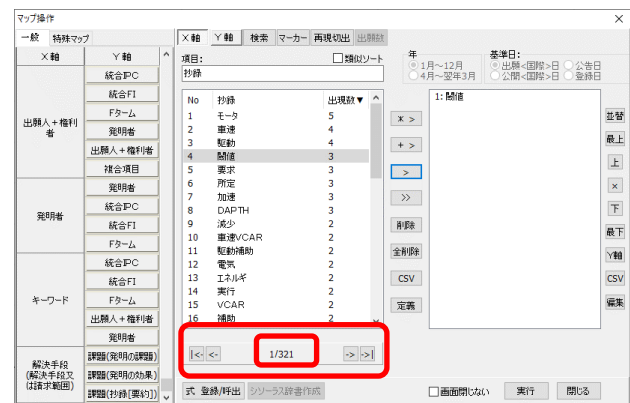


●単体ワード切り出しの場合

文献(頁)毎に、選択した項目を抽出したワードが、マップ選択項目ボックスに表示されます。この中のワードから選択して、マップ軸に設定することが可能です。


表示する文献(頁)は、 (最初の文献に移

動)、 (前の文献に移動)、 (次の文献に移動)、 (最後の文献に移動) ボタンを使って他文献を表示することが可能です。



●全体ワード切り出しの場合

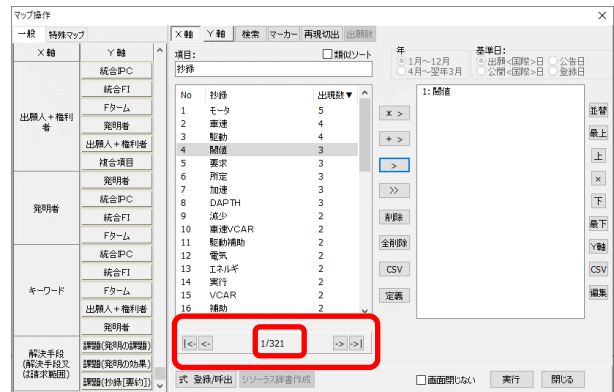
全文件から、選択した項目を切出したワードが、マップ選択項目ボックスに表示されます。この中のワードから選択して、マップ軸に設定することが可能です。

マップ選択項目ボックスには、最大、2000 項目まで表示されますが、それ以上のワードが切出された場合は、下にある、 ボタンを使って、

ページ移動します。



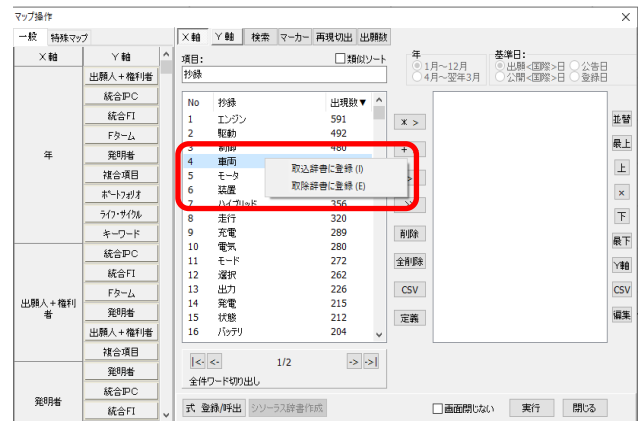
全てのキーワードを OR 結合する場合、文字数制限(おおよそ 2000 文字)により、入力できなくなる可能性があります。



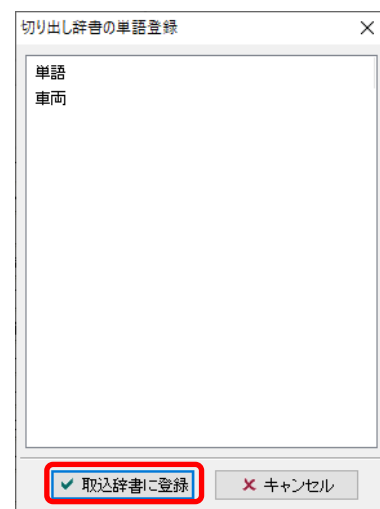
8.6.4 切り出されたキーワードの辞書登録

「単体ワード切り出し」、「全体ワード切り出し」によって切出されたワードを、取込辞書および取除辞書に登録することができます。

- 1) 取込(取除)辞書に登録したい語句、またはそれに近い語句の上で右クリックします。
(**Shift** や **Ctrl** キーを使つての複数選択も可能です)
- 2) 「**取込辞書に登録**」、または「**取除辞書に登録**」を選択します。



- 3) どちらを選択しても、右に表示される「切り出し辞書の単語登録」ダイアログボックスが開きます。
「**取込辞書に登録**」を選択した場合は、左下のボタンに **取込辞書に登録** と表示されます。
「**取除辞書に登録**」を選択した場合は、左下のボタンに **取除辞書に登録** と表示されます。



- 4) 「**切り出し辞書の単語登録**」画面が表示されます。
語句を編集する場合は、語句の上で右クリックをし、「**追加**」、「**削除**」、「**編集**」のいずれかを選択します。

追加 辞書に新たに語句を追加します。
削除 選択した語句を削除します。
編集 選択した語句を編集します。
 切り出された語句の一部を辞書登録することも可能です。
 ただし、この場合は切り出しが部分一致検索となります。

- 5) 語句を編集しない場合、または、編集が完了したら、 **取込辞書に登録** / **取除辞書に登録** を押します。
- 6) この動作で語句は辞書に登録されます。
一度登録された語句については、プルダウンメニュー「**編集**」の「**辞書登録**」で確認および編集することができます。

8.6.5 マップ軸選択項目の検索機能とマーカー機能

ここでは、マップ軸に設定する項目を検索する機能と、マーカーでハイライトする機能について説明します。

- 検索機能について

- 1) 「マップ操作」ボタンをクリックし、「マップ操作」ダイアログボックスを開きます。

「項目」欄上でクリックし、マップの軸に設定する項目を選択してください。

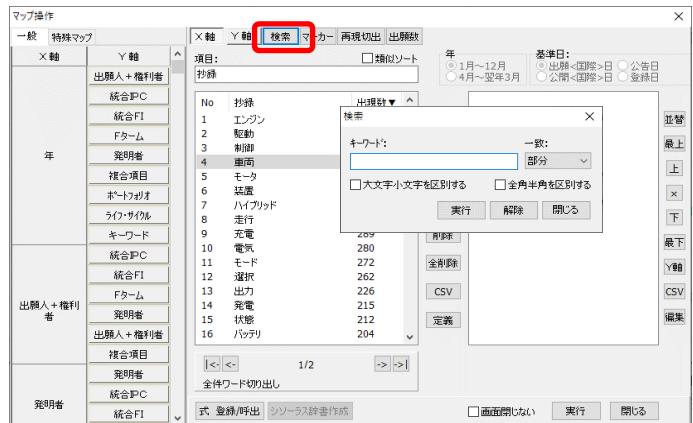
ここでは

「抄録の名称:全件ワード切り出し」を選択します。



- 2) 「検索」をクリックしてください。

「検索」ダイアログボックスが開きます。



- 3) 「検索」ダイアログボックス内の「キーワード」欄に、検索したいキーワードを入力します。

「キーワード」欄の右隣にある「一致」プルダウンメニューから、キーワードに対する一致の方法を選択してください。

キーワードに対して、

「部分一致」、

「前方一致」、

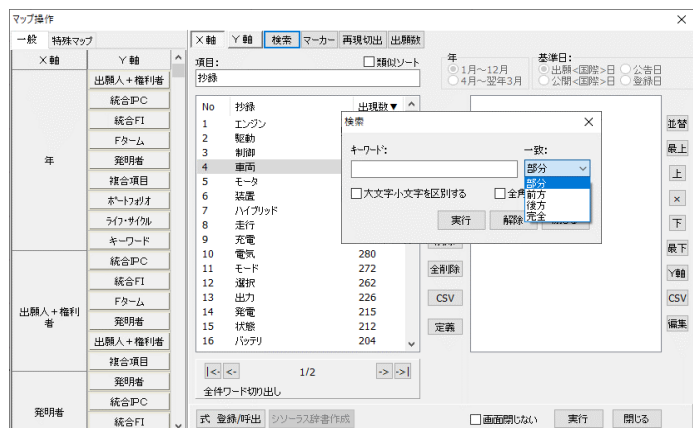
「後方一致」、

「完全一致」

の検索ができます。

ここでは、「dryer」というキーワードを

「部分一致」で検索します。



- 4) キーワードの入力と「一致」プルダウンメニューの選択が終わったら、**実行** をクリックしてください。
「マップ操作」ダイアログボックスのマップ選択項目ボックスに検索結果が表示されます。
検索する前の状態に戻したい場合(検索結果を解除したい場合)は、再度「検索」ダイアログボックスを開き、**解除** をクリックしてください。

検索を実行する場合

検索

キーワード: 一致: **一致** (部分)

大文字小文字を区別する 全角半角を区別する

実行 解除 閉じる

検索結果

マップ操作

項目: 抄録

No	抄録	出現数
1	車用	444
2	ハイブリッド車用	175
3	車用速度	8
4	車用減速時	7
5	車用外部	6
6	車用充電スタンド	5
7	電気車用	5
8	ハイブリッド車用補助力...	4
9	シリアルハイブリッド車用	4
10	車用内	3
11	車用状態	3
12	車用駆動力	3
13	排ガス出力車用	3
14	ハイブリッド車用用	3
15	ハイブリッド車用駆動機構	2
16	ハイブリッド電気車用	2

式 登録/呼出 シリウス終番作成

検索を解除する場合

検索

キーワード: 一致: **一致** (部分)

大文字小文字を区別する 全角半角を区別する

実行 **解除** 閉じる

- マーカー機能について

- 1) 「マップ操作」ボタンをクリックし、「マップ操作」ダイアログボックスを開きます。
「項目」欄上でクリックし、マップの軸に設定する項目を選択してください。
ここでは、「検索」機能の説明の結果を用います。

- 2) **マーカー** をクリックします。

「マーカー」ダイアログボックスが開きます。

マップ操作

項目: 抄録

マーカー 再現切出 出願数

No 1 工 2 転 3 製 4 車 5 モ 6 装 7 ハ 8 走 9 充 10 電 11 モ 12 産 13 出 14 架 15 状 16 ハ

キーワード: 色:

一致: 部分 完全

式 登録/呼出 シリウス終番作成

- 3) 「マーカー」ダイアログボックスのキーワードにハイライトしたいキーワードを入力します。
「キーワード」欄の隣にある「色」プルダウンメニューから、ハイライトの色を選択してください。

ハイライトの色は、全部で 10 色の中から、任意で選択できます。同時に、絞込み方法についても、「一致」欄で、「部分一致」か「完全一致」のどちらかにチェックを入れて選択してください。

以上のことが終わりましたら、**OK** をクリックしてください。

ここでは、「検索」機能の説明の結果に対して、「装置」というキーワードを部分一致で絞込みを行い、ハイライト表示します。

マーカー

キーワード: 色:

一致: 部分 完全

OK クリア 閉じる

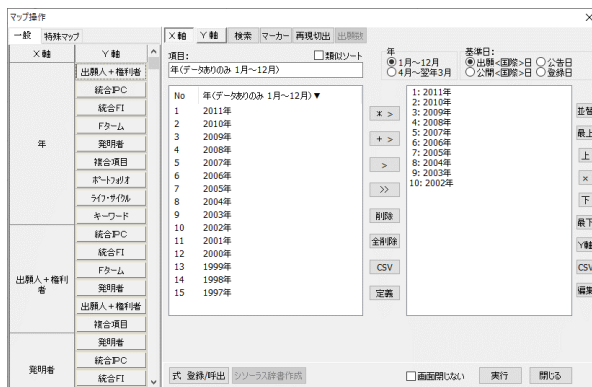
- 4) 入力したキーワードに対して(ここでは「装置」)、絞り込まれた項目がハイライトされた状態を下の図に示しました。ハイライト表示された項目を、**Shift**、**Ctrl**キーを押しながらクリックして選択し、**>** でマップ表示項目ボックスに移動することができます。ハイライトを解除したい場合は、再度、「マーカー」ダイアログボックスを開き、**クリア** をクリックしてください。



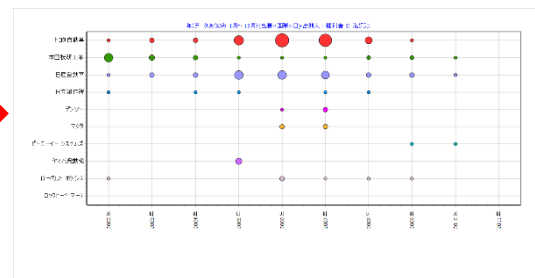
検索とマーカー機能は、X軸とY軸に対して、それぞれ独立に有効です。X軸からY軸、あるいはY軸からX軸へ表示を切替えたときには、検索条件は全て解除され、またマーカーは全てクリアされます。

8.6.6 軸項目の表示と実行

X軸、Y軸の項目が決定しましたら、マップ操作画面 **実行** をクリックします。



処理が終了しますと、泡グラフが表示されます。



8.7 マトリックスとグラフの表示

ここでは、マトリックス表とさまざまなグラフの表示について説明します。

8.7.1 マトリックス表の表示

「マトリックス」タブを開くと、マップの X 軸と Y 軸に設定した項目のマトリックス表が表示されます。ここでは、そのマトリックス表について説明します。

マトリックス表

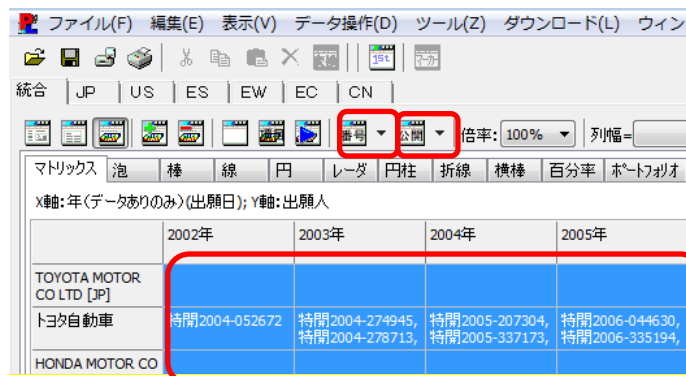
- 1) ツールバーの「マトリックスの表示形式選択」ボタンと「マトリックスの表示内容選択」ボタンを使って、マトリックスの表示内容を変更することが可能です。
ボタンの説明については、「6.3.3 ツールバーのボタン」を参照してください。

初期設定では、表示形式に「番号/項目」、表示内容に「出願番号」に設定されています。



マトリックスには、出願番号が表示されます。

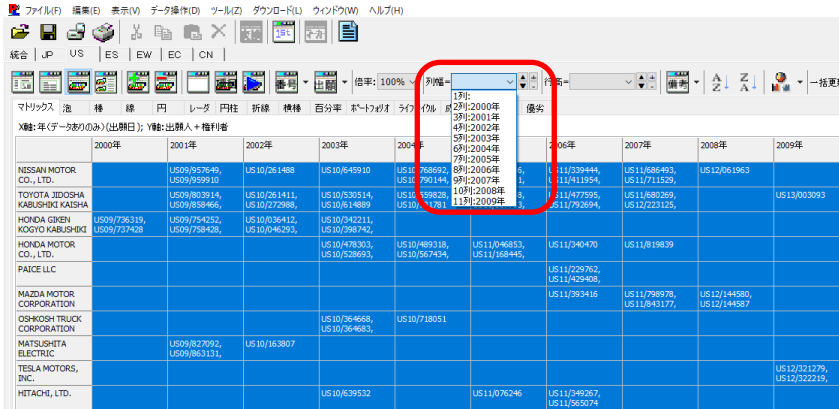
表示形式に「番号/項目」、表示内容に「公開・公表/国際公開番号」を設定した場合、マトリックスには、「公開・公表/国際公開番号」が表示されます。



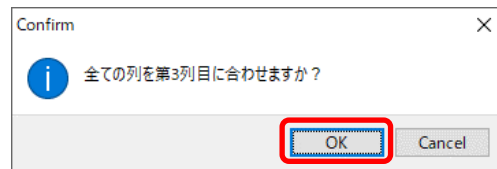
- 2) デフォルトに設定されたマトリックスの大きさでは、表示された内容を全て見るできない場合があります。そのときは、「列幅」、「行高」選択ボタンで、マトリックスの行や列の幅を調整します。

- 選択部分を特定の列(行)と同じ幅(高さ)に設定する方法

- ① 選択した部分の列幅を選択する場合、「列幅」プルダウンメニューから、列幅の基準にしたい列を選択します。(行の高さを変更する場合も同じ手順になります)

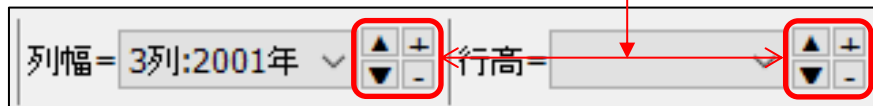
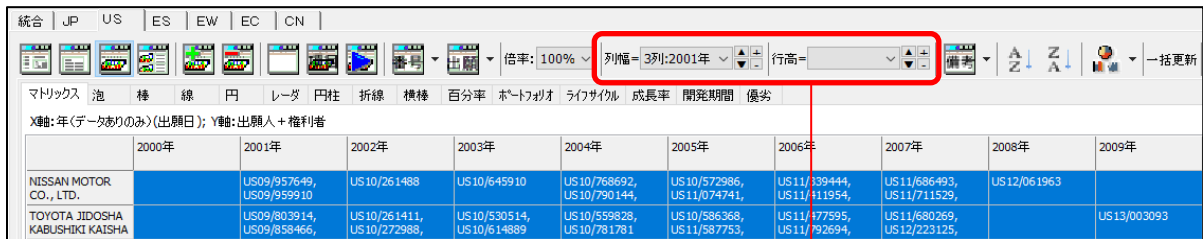


- ② 「Confirm」ダイアログボックスが開き、列幅変更の確認をされます。
 をクリックします。



- 列の幅(行高)を調整する方法

列幅(行高)にある「▲」(拡大)ボタン、「▼」(縮小)ボタンを使って、選択した部分の列幅(行高)を調整します。



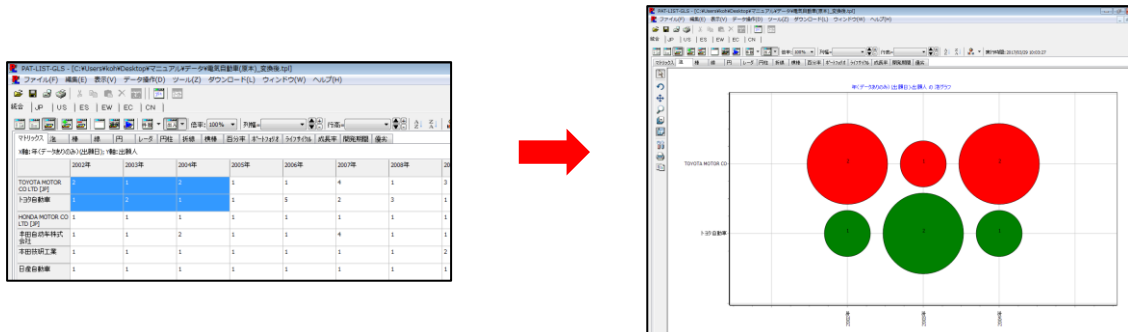
- 項目欄の列の幅(行高)を調整する方法

項目欄の内容が全て表示されないときに、項目欄の列の幅や行の高さを、列幅、行高にある「+」(拡大)ボタンや「-」(縮小)ボタンを使って、項目欄の内容を全て表示できるように調整します。

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2006年	2007年	2008年	2009年
NISSAN MOTOR CO., LTD.	US09/957649, US09/959910	US10/261488	US10/645910	US10/768692, US10/790144	US11/339444, US11/411954	US11/686493, US11/711529	US12/061963		
TOYOTA JIDOSHA KABUSHIKI KAISHA	US09/803914, US09/858466	US10/261411, US10/272988	US10/530514, US10/614889	US10/559828, US10/781781	US11/477595, US11/792694	US11/680269, US12/223125			US13/003093

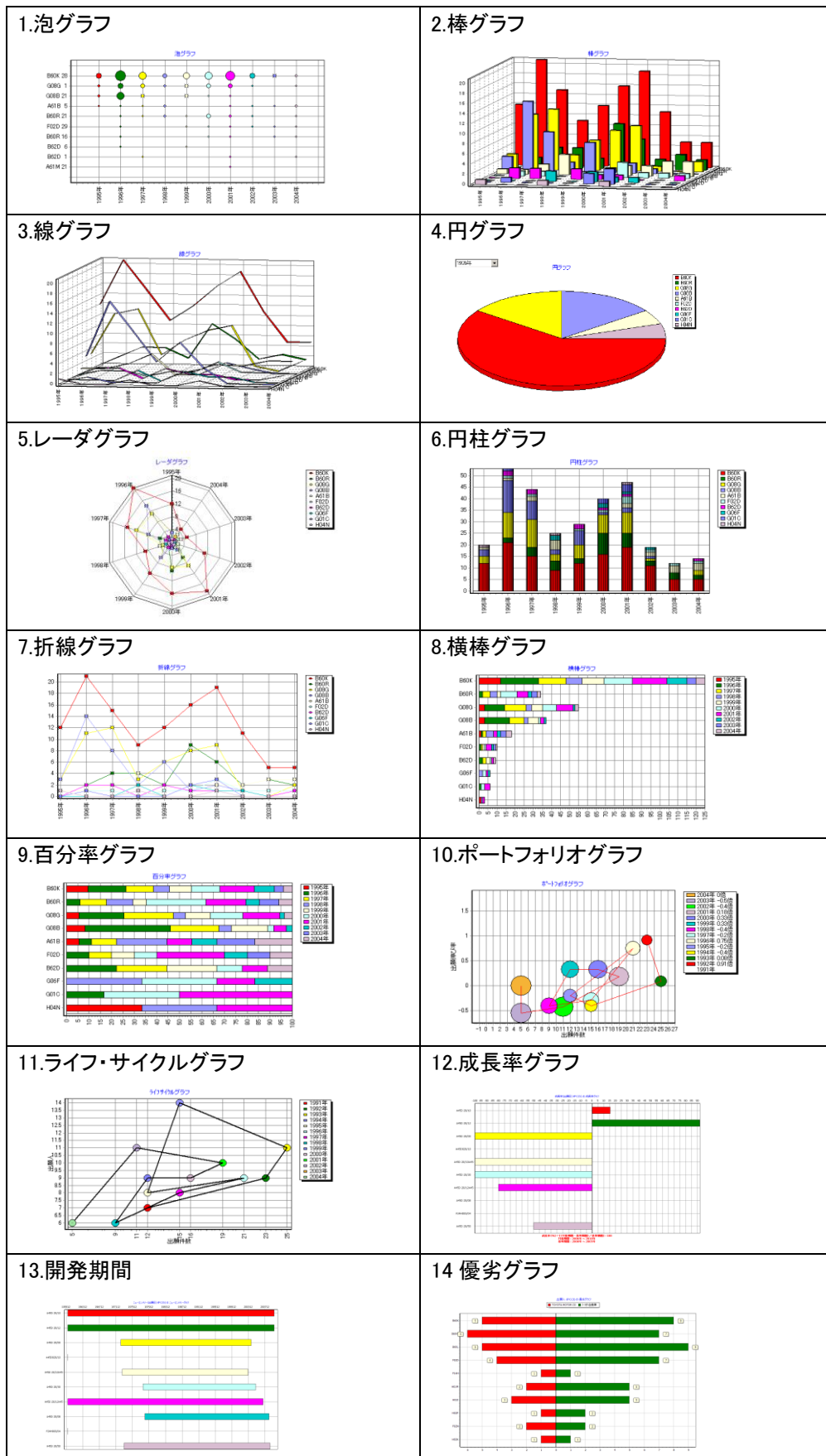


- 3) 「マトリクス」タブを開くと、「マップ操作」ダイアログボックスで選択したマップの X 軸、Y 軸の項目が、マトリクスで表示されます。デフォルトでは、選択した項目全てが選択されています。この選択している部分が、グラフに表示されます。もし、このマトリクスの一部をグラフ表示したい場合は、グラフ表示したい部分のみ選択しますと、グラフに表示される項目数等が変更されます。












8.7.2 グラフ表示

「マップ」画面で作成できるグラフは、次の 13 種類です。




8.7.3 グラフ画面のボタンと機能の説明

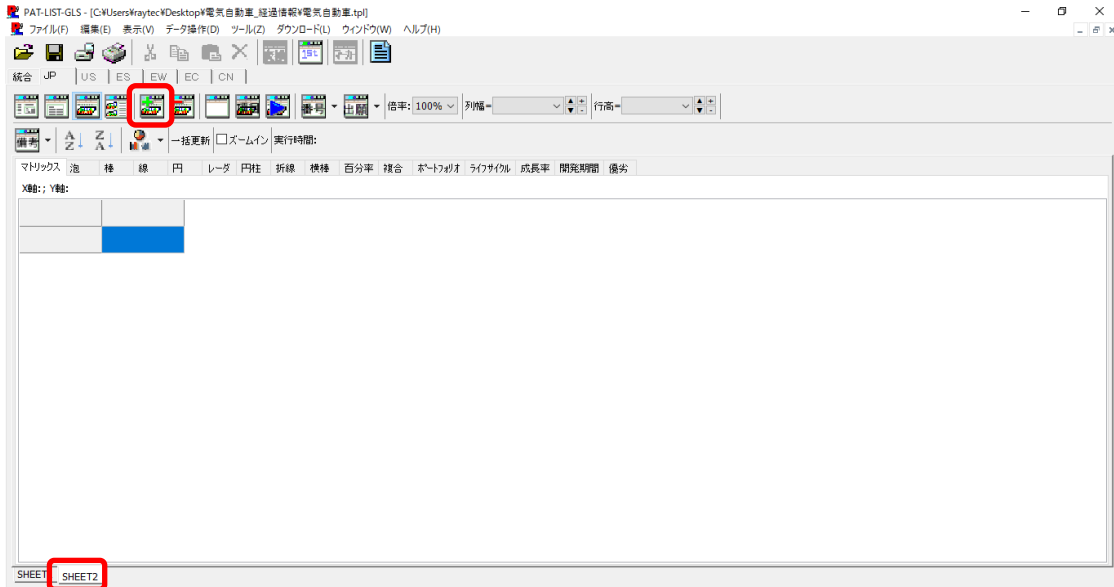
「マトリックス」タブ以外の各グラフ画面左側にあるボタンの機能は次の通りです。

ボタン	機能
 「Normal」 (標準)	グラフを標準表示します。
 「Rotate」 (回転)	グラフを上下 90 度と右左 90 度回転できます。
 「Move」 (移動)	グラフを移動できます。
 「Zoom」 (ズーム)	グラフのズームインとズームアウトができます。マウスを下から上に動かしますと拡大され、上から下に動かしますと縮小されます。
 「Depth」 (深さ)	3次元グラフの奥行きを調節できます。
 「3D」 (3D)	3次元グラフを表示します。
 「Edit」 (編集)	「Editing GhtMap」ダイアログボックスを開きます。グラフの色、フォントの設定など詳細な設定を行うことができます。
 「Print」 (印刷)	印刷プレビューが表示されます。余白の設定などをし、「Print」ボタンで、印刷します。
 「Copy」 (コピー)	グラフをビットマップファイルとしてクリップボードにコピーします。(他のソフトに貼りつけて資料作成することができます)

8.7.4 シートの追加

現在、閲覧画面に表示しているデータで、別にマップを作成する場合は、ツールバー  をクリックして、マップシートを追加することができます。

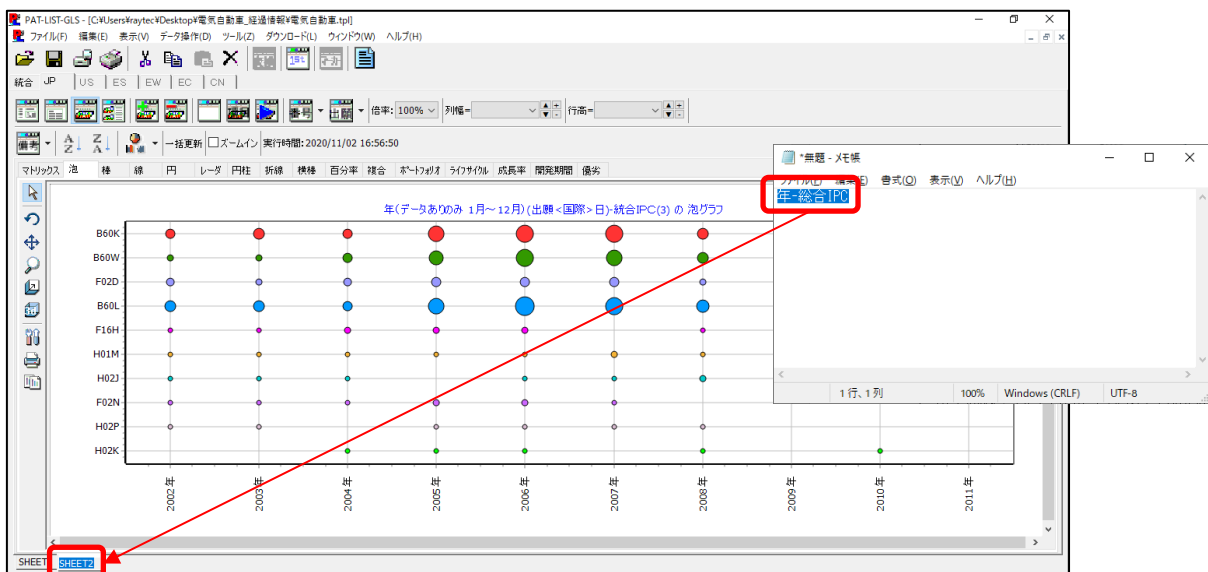
また、マップシートの名称を変更することも可能です。



閲覧画面で、検索を行い、文献を絞り込んだ状態でマップを作成する場合は、必ず「新規」ボタンをクリックして、マップシートを追加してマップを作成してください。

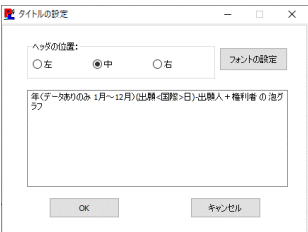
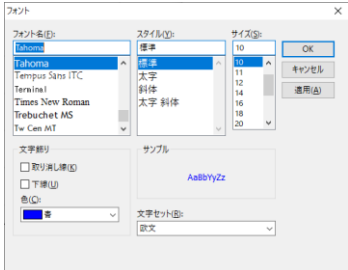


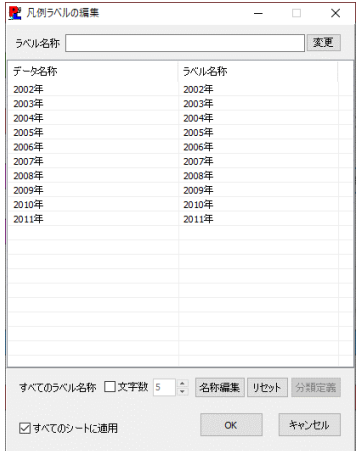
マップシートは、シートが作成された時点のデータを反映するため、絞り込む以前に存在するシートは、絞り込んだ後のデータを反映しないためです。

現マップシートの名称を変更するには、シート名称上にマウスカーソルを移動させ右クリックして、変更します。予め、メモ帳等に変更するシート名を入力し、それをコピーし貼り付けると非常に便利です。



8.8 グラフ編集機能

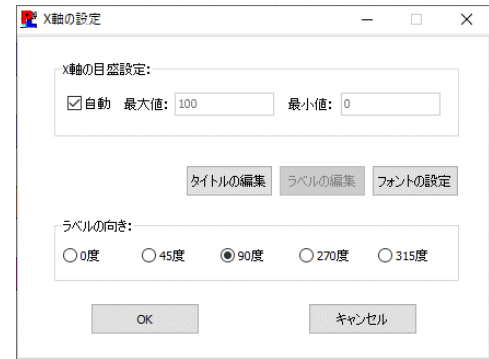
各グラフ画面上で右クリックをすると、メニューが表示され、そこから選択することで、簡単なグラフの編集ができます。メニューの機能は次の通りです。

メニュー	機能
マーカー表示	グラフの値を表示します。
タイトルの設定	<p>グラフのタイトルをつけます。右記の設定画面が表示されますので、入力画面にタイトルを入力し、OK をクリックします。</p>  <p>フォントを変更する場合は、「フォントの設定」ボタンをクリックしますと左記のフォント設定画面が表示されますので、フォント名、スタイル、サイズ、色などを設定し、OK をクリックします。</p>  <p> グラフのタイトルを変更した後に、そのタイトルを確定するためには、同じマップシートの表示中のタブとは異なるタブを選択し、表示グラフの切替を行ってください。変更したタイトルに、更新されます。</p>
凡例の設定	<p>凡例の設定を変更します。出願人名などが長い場合に、変更することができます。「凡例の設定」を選択しますと、右記画面が表示され、ここでは、凡例の位置を変更することができます。</p>  <p>「ラベルの編集」ボタンを押すと、左の画面が表示されます。</p>  <p>現在のラベル名称が表示されますので、変更したい「データ名称」を選択し、入力画面に入力し 変更 をクリックします。</p> <p>他にも変更箇所がある場合は、続けて変更をし 変更 をクリックします。</p> <p>変更後、「ラベル名称」欄に変更したラベル名称が表示されたら、OK をクリックします。</p>
X軸の設定	X軸の設定を変更します。
Y軸の設定	Y軸の設定を変更します。
Z軸の設定	Z軸の設定を変更します。
X-Y軸の入換	X軸とY軸を入れ換えます。
色の設定	色の設定を変更します。
大きさの設定	泡グラフとポートフォリオグラフの泡の大きさを変更します。

X・Y・Z 軸の設定画面は、下記のようになります。変更できないものに関しては、表示されない項目もあります。

変更した内容は、保存されます。
軸の目盛設定は、自動のチェックを外すと、最大値・最小値を設定できます。

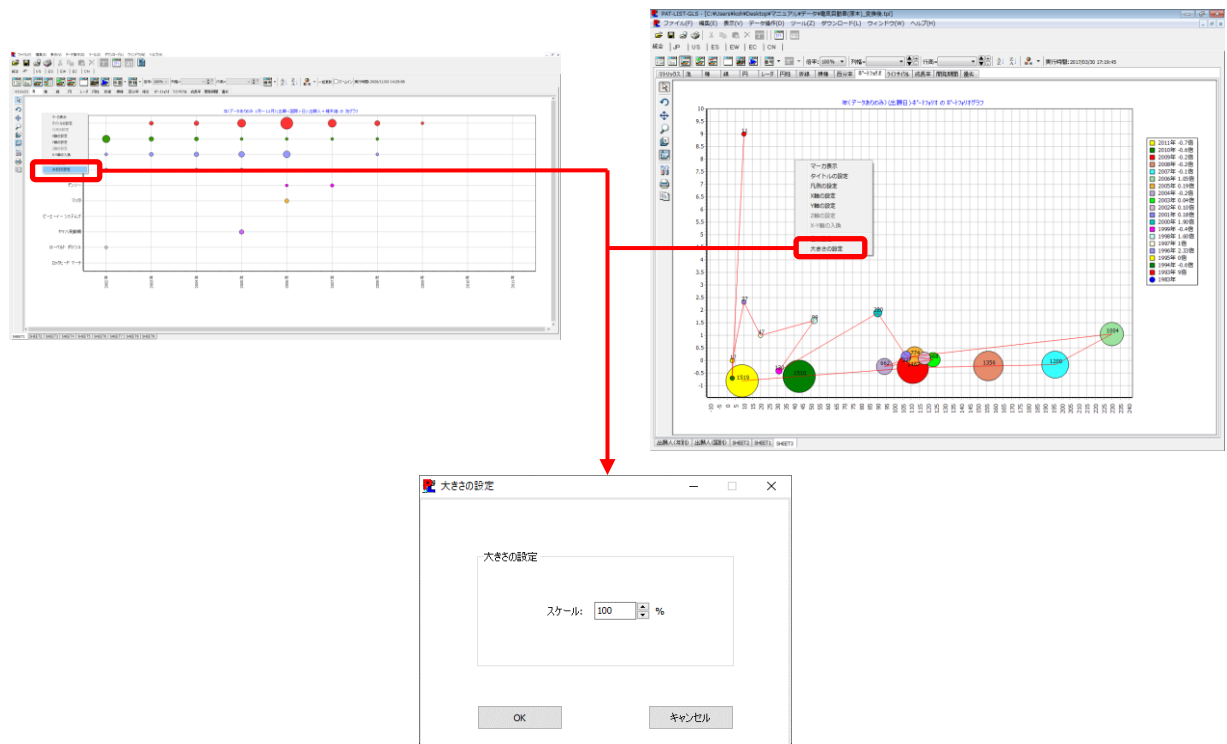
間隔調整(%)、(倍)



グラフのタイトルを変更した後に、そのタイトルを確定するためには、同じマップシートの表示中のタブとは異なるタブを選択し、表示グラフの切換を行ってください。変更したタイトルに、更新されます。

8.8.1 泡グラフの調整

泡グラフとポートフォリオグラフの場合のみ、グラフ上で右クリックして表示されるメニューの、「**大きさの変更**」がアクティブになります。この「**大きさの変更**」では、泡グラフ、及びポートフォリオグラフの泡の大きさを変更することができます。



8.8.2 編集したグラフの保存機能

作成したグラフを、グラフ上で右クリックして表示されたメニューや、マップ画面左側にあるボタンを使って編集した場合、編集したグラフを保存するには、編集したグラフ以外のタブを開き、他のグラフを表示すると、編集したグラフが保存されます。しかしマップ画面左側にある、「移動」と「深さ」を使って編集した場合は、保存することができません。

「移動」、「深さ」を使って編集したグラフを保存する場合は、「コピー」ボタンをクリックして、他のアプリケーションに貼り付け、グラフを保存することをお勧めします。

8.9 2次マップ作成機能

PAT-LIST-GLS では、各グラフの母集団から2次マップが作成できます。繰り返し絞り込みが可能となります。絞り込み対象(母集団)をダブルクリックすると、メニューが表示され、「表示画面」と「再度マップ」を選択することができます。

「表示画面」を選択した場合、母集団のみの帳票が表示画面に表示されます。

「再度マップ」を選択した場合は、「マップ操作」画面が表示され、XY 軸を再設定した後、母集団のみのデータに関する2次マップが作成できます。

そのシートに新しい名前を付けることも可能です。

「表示画面」を選択した場合

「再度マップ」を選択した場合

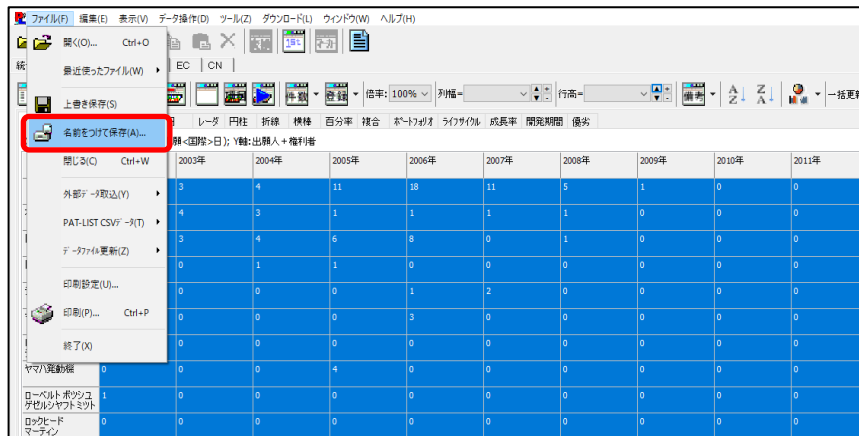
シートが追加されます。

8.10 グラフの書き出し

「マップ」画面からデータを Microsoft Excel へ出力し、同時に、棒・百分率・線・レーダ・折線・円・泡グラフの計 7 種類のグラフを自動作成することができます。横軸に 100 項目、縦軸に 100 項目まで選択できます。また、Microsoft Excel の機能を用いれば、その他のグラフもマニュアルで作成することができます。

操作手順は、以下の通りです。

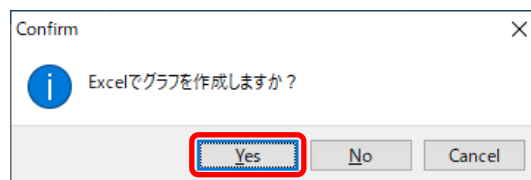
- 1) 「マトリクス」タブをクリックし、マトリクスを表示させ、メニューバーから、「ファイル」>「名前を付けて保存」を選択します。



- 2) 表示された「確認」ダイアログボックスに、「Excel でグラフを表示しますか」と表示されますので、

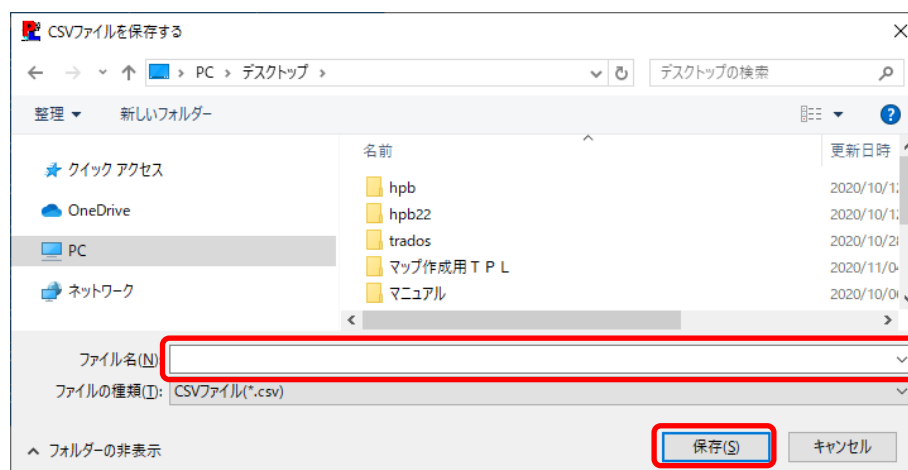
を選択します。

尚、 を選択すると、「マトリクス」タブに表示されている内容が CSV 出力され、グラフ表示がありません。

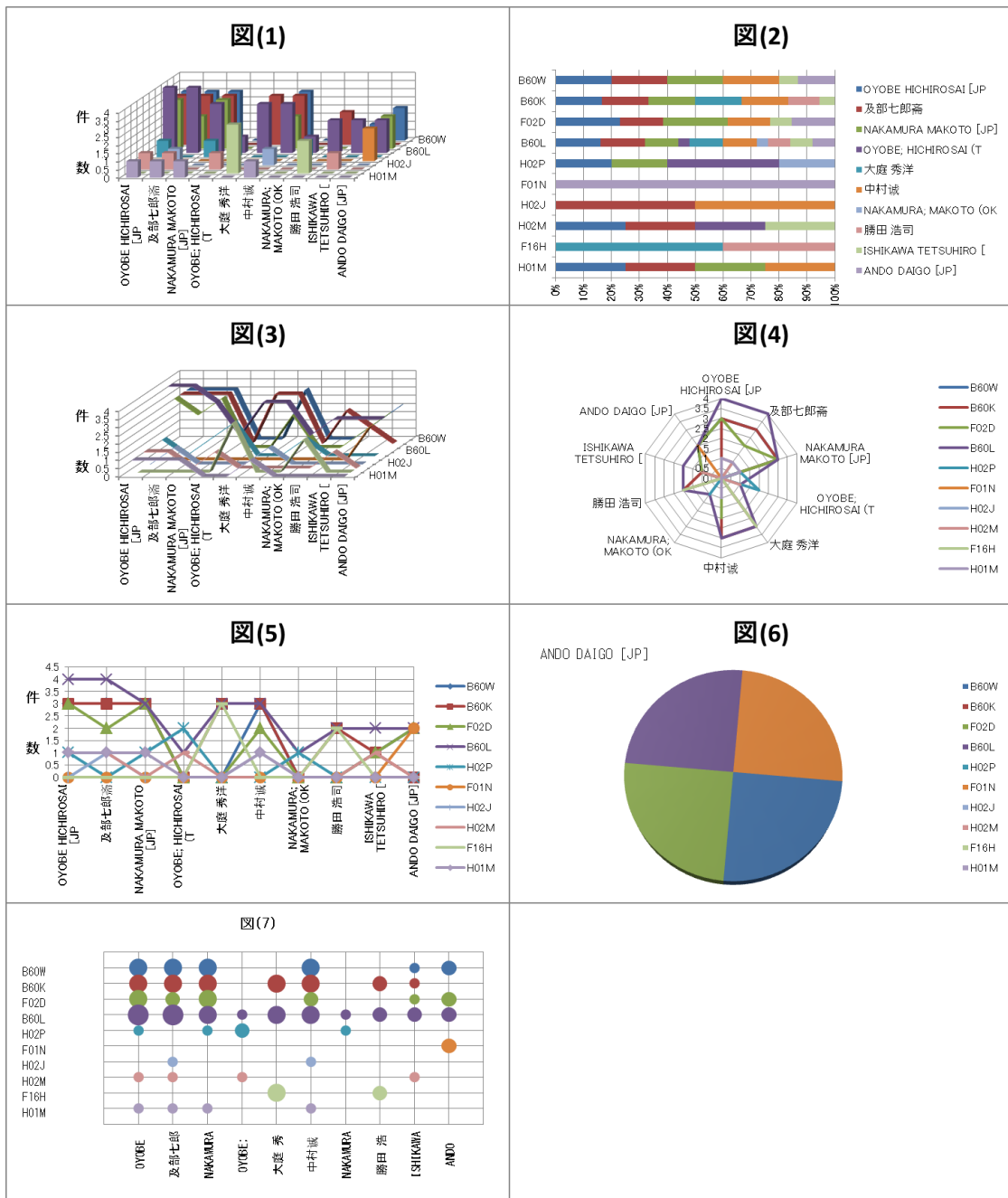


- 3) 「CSV ファイルを保存する」ダイアログボックスが開きます。

名前を付けて をクリックします。



- 4) Microsoft Excel が起動し、「マクロを有効にする」をクリックしますとグラフが作成されます。表示されるグラフは、次ページに示す。
6種類のみです (Sheet1 : マトリックスで作成した表、Sheet2 : 全部のグラフ、Sheet3~ : 個別のグラフ)



上記の作業を実行しても、Microsoft Excel が立ち上がらない場合、「ツール」 > 「マクロ」 > 「セキュリティ」を開き、「セキュリティレベル」を「低」に設定してください。

8.11 特殊マップ

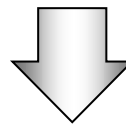
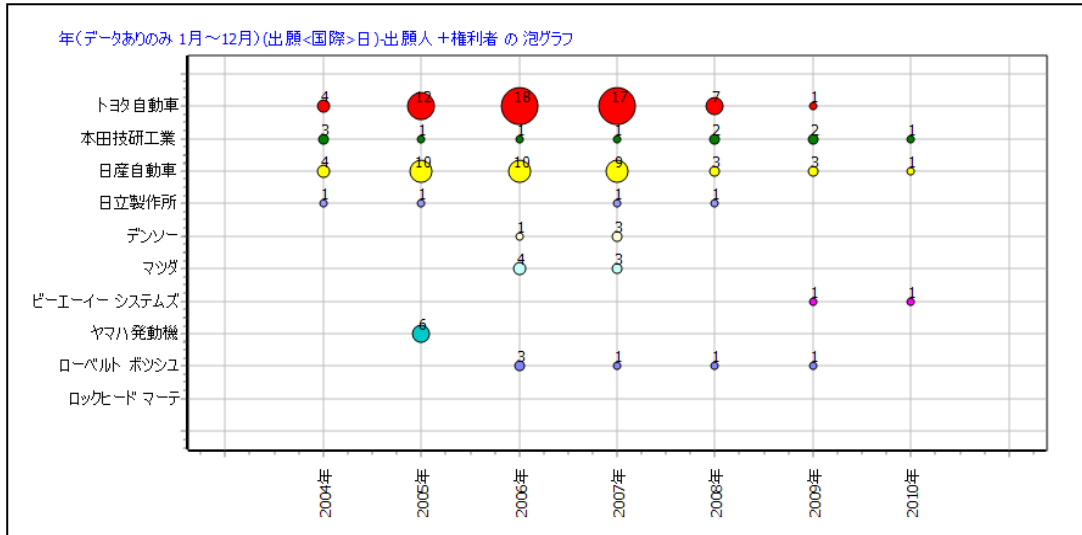
8.11.1 3D 泡グラフ

泡マップの中にZ軸の要素を加えて表示します。

操作手順は、以下の通りです。

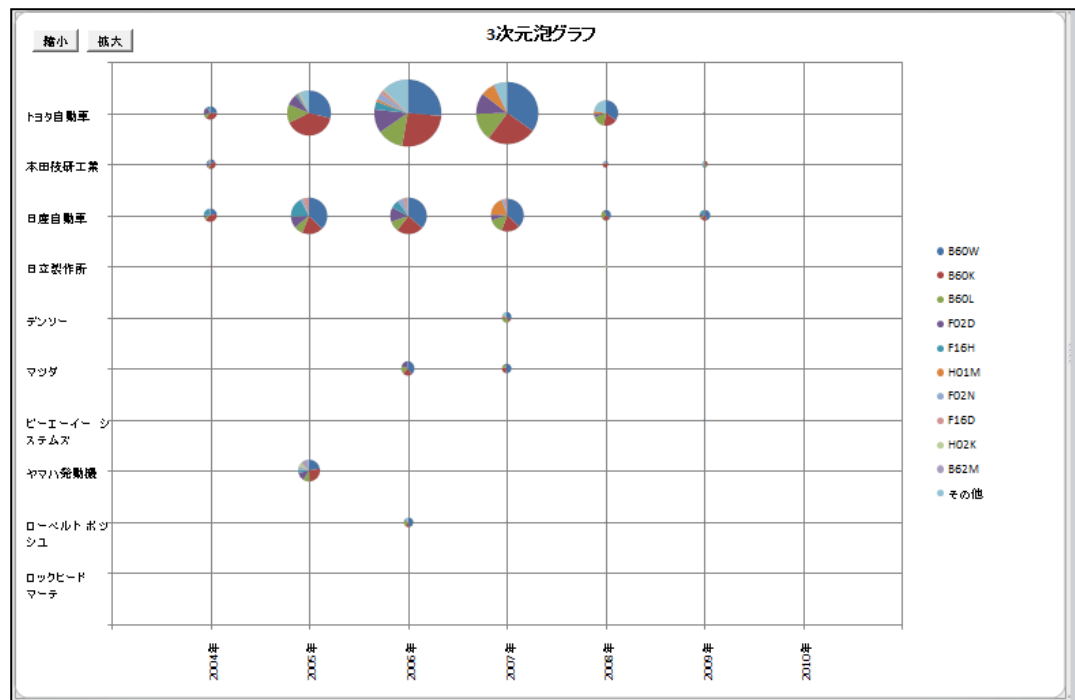
泡マップ画面

泡の内訳を表示

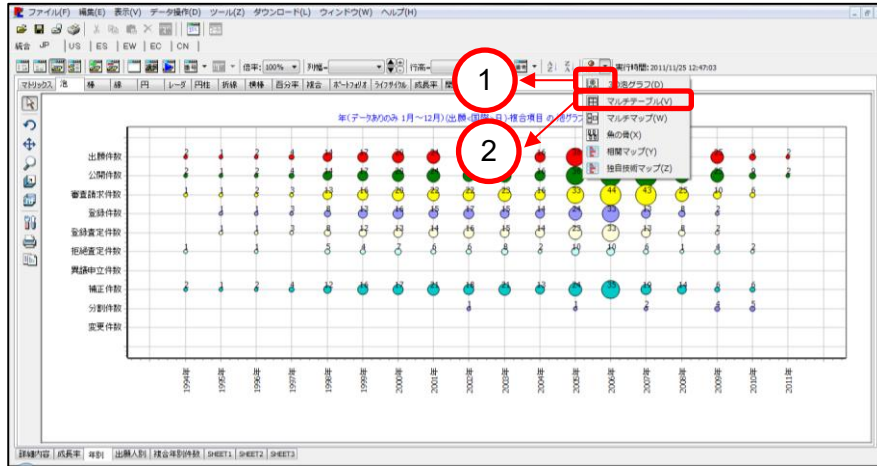


※Excel2007 以降が必要になります。

3次元泡マップ画面



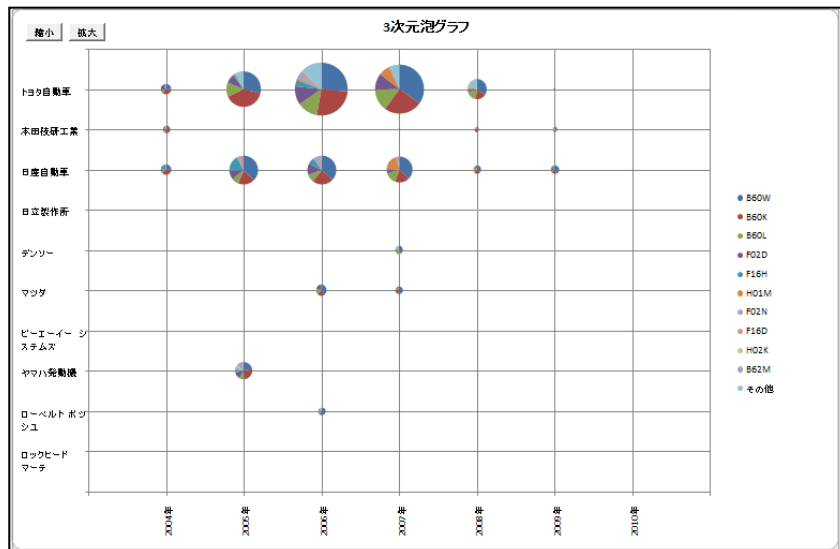
- 1) 特殊マップをクリックします。
- 2) 3D 泡グラフをクリックします。



- 3) Z 軸項目を選択します。
- 4) Z 軸を設定します。
- 5) 実行をクリックします。



MS-Excel が起動して 3D 泡マップ画面が作成されます。



8.11.2 マルチテーブル

図面付きのマトリクス・マップを作成できます。

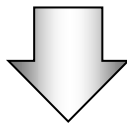
レイアウトは、既存の帳票だけでなく、オリジナル帳票が選択可能です。

表示されたレイアウトそのままに Excel 出力も可能ですので、2次加工も簡単に行えます。

マップ画面

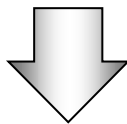
標準仕様のレイアウト

※年(データ取得)※1月~12月)出願(国際)日)特出(特許)	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
トヨタ自動車	特許2002-211773	特許2003-072586 特許2003-065500 特許2003-045300 特許2003-178730	特許2004-059651 特許2004-279751 特許2004-159753 特許2004-014318	特許2005-037336 特許2005-372594 特許2005-371560 特許2005-363777 特許2005-338334	特許2006-072834 特許2006-066236 特許2006-046640 特許2006-184565 特許2006-092760	特許2007-092187 特許2007-088495 特許2007-088336 特許2007-082217 特許2007-099756	特許2008-091953 特許2008-091952 特許2008-074130 特許2008-037737 特許2008-225885	特許2009-189308 特許2009-091952 特許2009-087778 特許2008-028097 特許2009-086744		
本田技研工業	特許2002-009661 特許2002-004523 特許2002-237864 特許2003-333923 特許2003-295971	特許2003-338823 特許2003-249652 特許2003-294663 特許2003-192313 特許2003-313259	特許2004-044627 特許2004-256839 特許2004-229414 特許2004-192313 特許2004-313259	特許2005-042070 特許2005-357078 特許2005-324296 特許2005-318185 特許2005-324295 特許2005-328286	特許2006-491547 特許2006-090028 特許2006-308140 特許2006-080600 特許2006-076211	特許2007-097961 特許2007-308140 特許2007-308139 特許2007-080600 特許2007-099756	特許2008-054652 特許2008-054011 特許2008-052445 特許2008-028097 特許2008-063456	特許2009-046464 特許2009-036924 特許2009-173620 特許2009-086744	特許2010-041289	
日産自動車	特許2002-246539	特許2003-063095 特許2003-378539 特許2003-339677 特許2003-178434	特許2004-077074 特許2004-077964 特許2004-318185 特許2004-192313	特許2005-357078 特許2005-324296 特許2005-324295 特許2005-328286	特許2006-491547 特許2006-090028 特許2006-308140 特許2006-080600 特許2006-076211	特許2007-097961 特許2007-308140 特許2007-308139 特許2007-080600 特許2007-099756	特許2008-054652 特許2008-054011 特許2008-052445 特許2008-028097 特許2008-063456	特許2009-046464 特許2009-036924 特許2009-173620	特許2010-041289	
日産製作所	特許2002-257242		特許2004-318660	特許2005-101425						
ディーゼルシステムズ										
マツダ					特許2006-091770 特許2006-229373	特許2007-090049 特許2007-313219				
ローベルトソング	特許2003-556264				特許2006-546343 特許2006-526463	特許2008-553719	特許2010-545366	特許2009-159470		
ヤマハ発動機				特許2005-086415 特許2005-082815						
デンソー					特許2006-309076	特許2007-091387 特許2007-088495				
ロケットドマーティン										



マルチ・テーブル画面




燃焼	1	2	3	4	5	6	
トヨタ自動車	<p>排気浄化装置</p> <p>特許平13-305565 H13.10.01 特許平15-106142 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F01N 3/24 F01N 3/08 F01N 3/20 F01N 3/28 F02D 3/04</p>	<p>内燃機関燃定</p> <p>特許平13-297693 H13.09.27 特許平15-106152 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02B 23/00 F01N 3/00</p>	<p>箱内噴射式火花点火内燃機関</p> <p>特許平13-306000 H13.10.02 特許平15-106154 H15.04.09</p> <p>豊田中央研究所 トヨタ自動車</p> <p>F02B 23/10 F02B 17/00 F02F 3/26 F02M 81/18</p>	<p>箱内噴射式火花点火内燃機関</p> <p>特許平13-301304 H13.09.28 特許平15-106158 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02B 31/00 F02B 17/00 F02B 17/00 F02B 23/10 F02D 41/02</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-221661 H13.09.12 特許平15-106190 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02D 41/04 F02D 21/08 F02D 43/02 F02D 25/07</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-309049 H13.10.04 特許平15-113708 H15.04.18</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F01N 3/20 F01N 3/24</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>
触媒	<p>内燃機関の排気浄化装置</p> <p>特許平13-305424 H13.10.01 特許平15-106136 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F01N 3/02 F01N 3/08 F01N 3/24 F01N 3/28 F02D 41/02</p>	<p>内燃機関燃定</p> <p>特許平13-305424 H13.10.01 特許平15-106136 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F01N 3/02 F01N 3/08 F01N 3/24 F01N 3/28 F02D 41/02</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>	<p>触媒吸気装置</p> <p>特許平13-305402 H13.10.01 特許平15-106220 H15.04.09</p> <p>トヨタ自動車</p> <p>F02M 25/07 F02M 25/07 F02M 26/07 F02M 25/07 B01D 53/94</p>



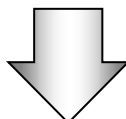
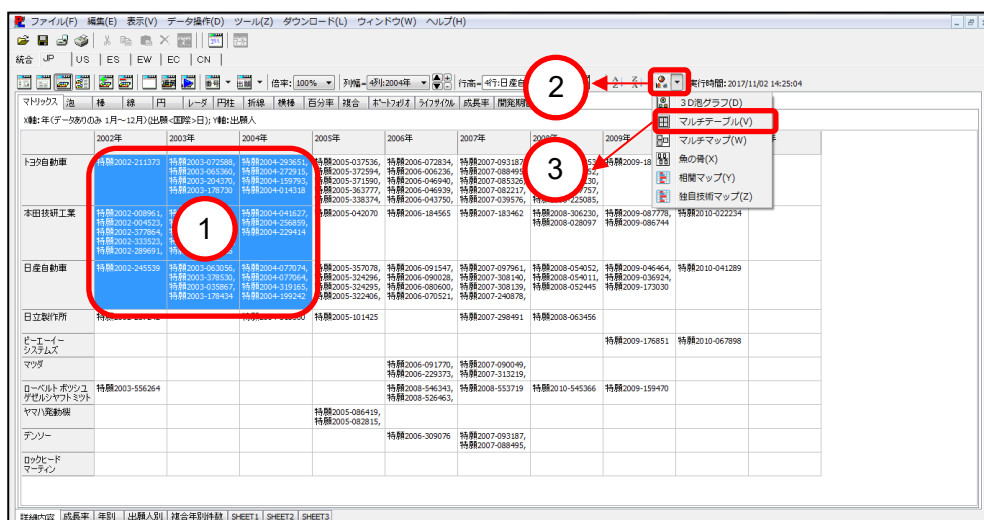
エクセル出力

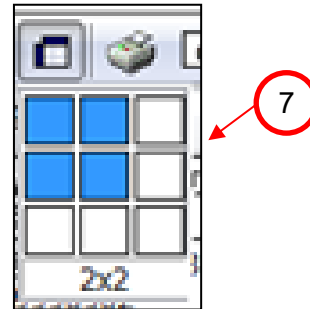
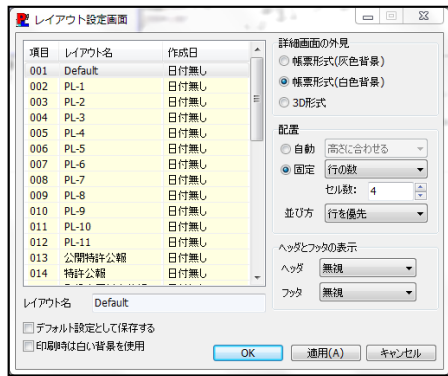
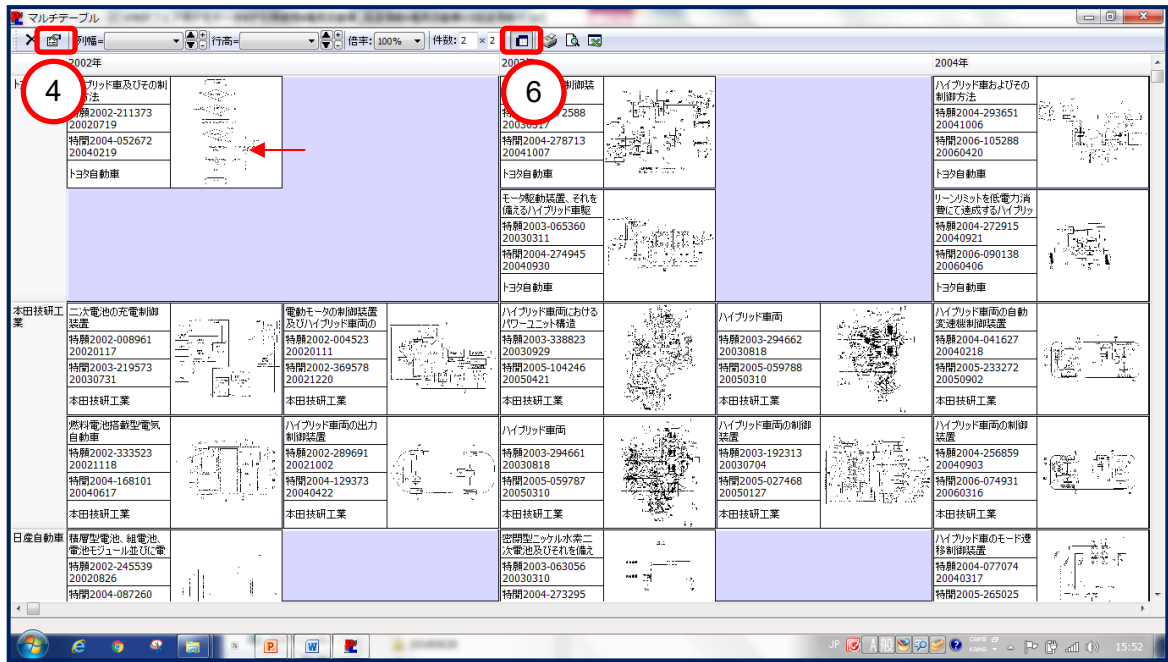


操作手順は、以下の通りです。

- 1) マトリクス画面より範囲を選択します。
- 2)  をクリックします。
- 3) マルチテーブルをクリックします。
- 4)  をクリックします。
- 5) 帳票レイアウトを選択します。
- 6)  をクリックします。
- 7) 表示形式を設定します。

マップ画面





8.11.3 マルチマップ

構成要素マップが簡単に作成できます。

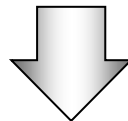
図面だけでなく、既存の画像をインポートして、表示可能です。

表示されたレイアウトそのままに Excel 出力も可能ですので、2次加工も簡単に行えます。

マップ画面

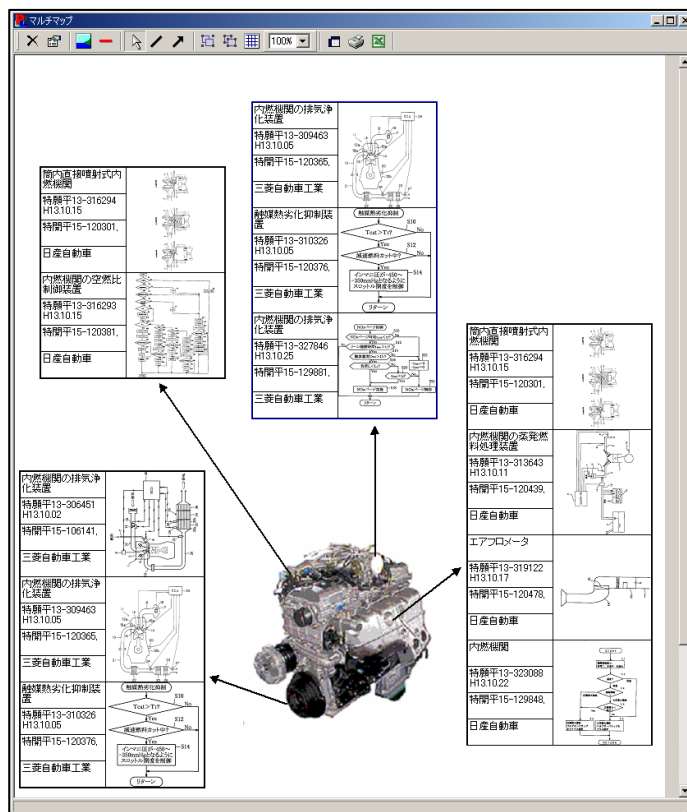
標準仕様のレイアウト

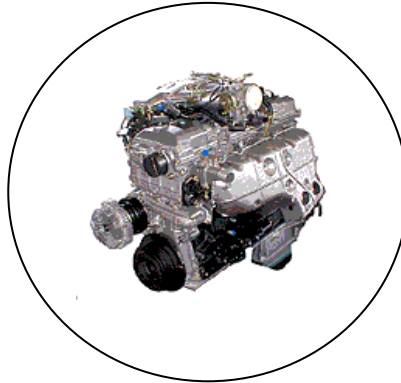
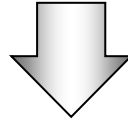
年(データありのみ 1月~12月)出願(国際-日): 特許:出願人	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
トヨタ自動車	特許2002-211373	特許2003-072988 特許2003-065300 特許2003-304370 特許2003-178730	特許2004-263651 特許2004-272151 特許2004-159793 特許2004-414318	特許2005-037936 特許2005-372994 特許2005-371590 特許2005-363777 特許2005-338374	特許2006-072834 特許2006-006238 特許2006-046940 特許2006-046939 特許2006-046796 特許2006-070521	特許2007-093187 特許2007-088495 特許2007-085326 特許2007-082217 特許2007-093976 特許2007-298491	特許2008-091953 特許2008-091952 特許2008-074130 特許2008-037757 特許2008-025985 特許2008-306230 特許2008-028097	特許2009-189308 特許2009-091952 特許2009-074130 特許2009-037757 特許2009-025985 特許2009-087778 特許2009-086744		
本田技研工業	特許2002-008961 特許2002-004823 特許2002-377826 特許2002-535523 特許2002-289691	特許2003-338823 特許2003-378320 特許2003-433867 特許2003-178494	特許2004-041627 特許2004-258889 特許2004-077664 特許2004-229414 特許2003-192313 特許2003-415326	特許2005-042070 特許2005-357078 特許2005-324295 特許2004-319165 特許2005-324295 特許2005-199242	特許2006-184565 特許2006-091947 特許2006-090208 特許2006-080600 特許2006-046796 特許2006-070521	特許2007-183462 特許2007-097961 特許2007-308140 特許2007-082217 特許2007-308139 特許2007-240878	特許2008-306230 特許2008-028097 特許2008-054052 特許2008-049611 特許2009-046464 特許2009-096924 特許2009-173030	特許2009-087778 特許2009-086744	特許2010-022234	
日産自動車	特許2002-246539	特許2003-063056 特許2003-378320 特許2003-433867 特許2003-178494	特許2004-077074 特許2004-077664 特許2004-319165 特許2004-229414	特許2005-357078 特許2005-324295 特許2004-319165 特許2005-324295 特許2005-199242	特許2006-091947 特許2006-090208 特許2006-080600 特許2006-046796 特許2006-070521	特許2007-097961 特許2007-308140 特許2007-082217 特許2007-308139 特許2007-240878	特許2008-054052 特許2008-049611 特許2009-046464 特許2009-096924 特許2009-173030		特許2010-041289	
日立製作所	特許2002-257242		特許2004-318660 特許2005-101425	特許2005-101425		特許2007-298491	特許2008-063456			
ディーゼルシステムズ								特許2009-176851	特許2010-067898	
マップ					特許2006-091770 特許2006-229373 特許2006-546343 特許2008-526463	特許2007-090049 特許2007-313219 特許2008-546343 特許2008-553719	特許2010-545366	特許2009-159470		
ローベルト・ボッシュ ゲゼルシャフト・ミット ベリハング	特許2003-556264			特許2005-086419 特許2005-062815						
ヤマハ発動機					特許2006-309078	特許2007-093187 特許2007-088495				
デンソー										
ロケット マーション										



マルチマップ画面

マルチマップ画面のレイアウト








エクセル出力

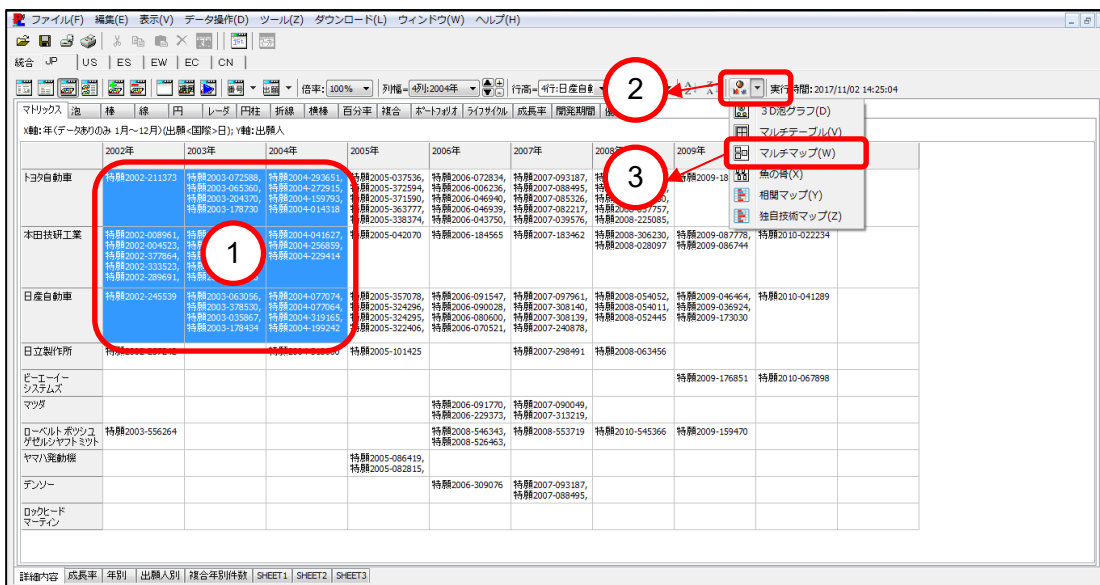
画像のインポートが可能

図番	部品名	説明	部品番号	単位	備考	画像
1	内部機構の吸気装置	【説明】吸気装置の吸気通路の吸気抵抗を低減するための吸気通路の吸気抵抗を低減する。	H12 1012 H12 1011 H12 1010	個		
2	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
3	内部機構の排気浄化装置	【説明】排気浄化装置の排気通路の吸気抵抗を低減するための排気通路の吸気抵抗を低減する。	E01 3020 E01 3021 E01 3022 E01 3023	個		
4	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
5	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
6	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
7	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
8	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
9	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
10	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
11	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
12	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
13	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
14	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
15	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
16	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
17	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
18	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
19	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		
20	内部機構の燃料供給装置	【説明】燃料供給装置の燃料供給通路の吸気抵抗を低減するための燃料供給通路の吸気抵抗を低減する。	F02 41704 F02 21700 F02 41702 F02 43700	個		

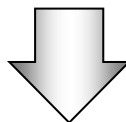
操作手順は、以下の通りです。

- 1) マトリクス画面より範囲を選択します。
- 2)  をクリックします。
- 3) 「マルチマップ」をクリックします。
- 4)  をクリックします。
- 5) 画像ファイルを選択します。
- 6)  をクリックします。
- 7) 矢印を挿入します。
- 8) 表示レイアウトを編集します。(マウス操作)

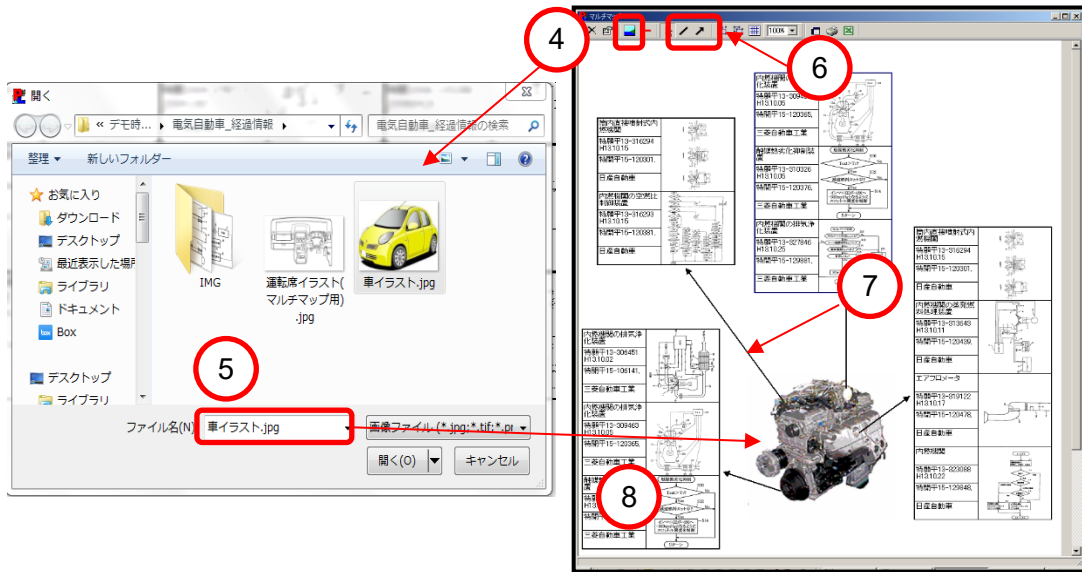
マップ画面



マトリクス	池	種	円	レーダ	円柱	折線	棒線	百分率	複合	ホトフ列	ライオ列	成長率	開列期間	実行時期: 2017/11/02 14:25:04
X軸:年(データありのみ 1月~12月)(出願-国際>日)	Y軸:出願人													
2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年							
トヨタ自動車	特願2002-211373 特願2003-065390 特願2003-384320 特願2003-198720	特願2003-072388 特願2003-065390 特願2003-384320 特願2003-198720	特願2004-293651 特願2004-272915 特願2004-159793 特願2004-014318	特願2005-037536 特願2005-372594 特願2005-371590 特願2005-363777 特願2005-338374	特願2006-072834 特願2006-006236 特願2006-046940 特願2006-046939 特願2006-043750 特願2006-184565	特願2007-093187 特願2007-088495 特願2007-085226 特願2007-082317 特願2007-039576	特願2008-306230 特願2008-028997	特願2009-187778 特願2009-086774						
本田技研工業	特願2002-008961 特願2002-004829 特願2002-37864 特願2002-333523 特願2002-289691	特願2003-072388 特願2003-065390 特願2003-384320 特願2003-198720	特願2004-041627 特願2004-256859 特願2004-229414	特願2005-042070	特願2006-184565	特願2007-183462	特願2008-306230 特願2008-028997	特願2009-087778 特願2009-086774						
日産自動車	特願2002-245339	特願2003-063056 特願2003-339830 特願2003-038887 特願2003-178431	特願2004-077074 特願2004-017704 特願2004-319165 特願2004-199242	特願2005-357078 特願2005-344966 特願2005-324295 特願2005-322406	特願2006-091547 特願2006-090028 特願2006-080600 特願2006-070521	特願2007-097961 特願2007-308140 特願2007-308139 特願2007-240878	特願2008-054052 特願2008-054011 特願2008-052445	特願2009-046464 特願2009-036924 特願2009-173030						
日立製作所	特願2002-211373	特願2003-072388 特願2003-065390 特願2003-384320 特願2003-198720	特願2004-041627 特願2004-256859 特願2004-229414	特願2005-101425	特願2006-184565	特願2007-298491	特願2008-063456	特願2009-176851 特願2010-067898						
ディーゼル システムズ								特願2009-176851 特願2010-067898						
マツダ					特願2006-091770 特願2006-229373	特願2007-090049 特願2007-313219	特願2008-054052 特願2008-054011 特願2008-052445	特願2009-046464 特願2009-036924 特願2009-173030						
ローベルト ボンツ ゲゼルシャフト ミット ベリハフト	特願2003-556264			特願2005-546343 特願2005-526463	特願2006-546343 特願2006-526463	特願2007-553719	特願2008-545366	特願2009-159470						
ヤマハ発動機			特願2005-086419 特願2005-092815	特願2006-309076	特願2007-093187 特願2007-088495									
デンソー														
ロッケード マーティン														



マルチマップ画面

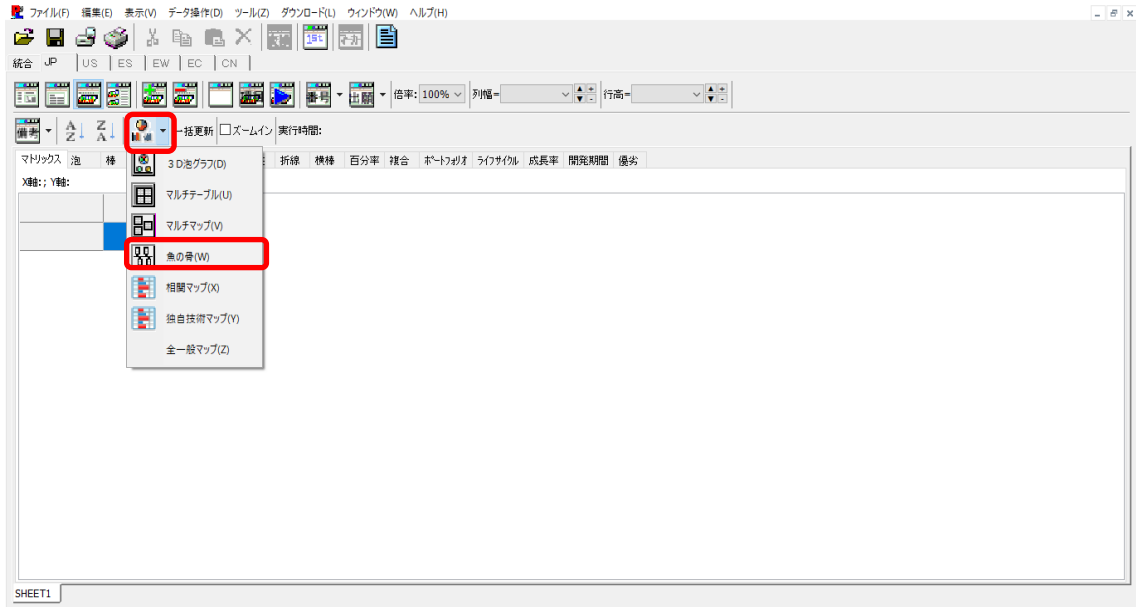


8.11.4 魚の骨

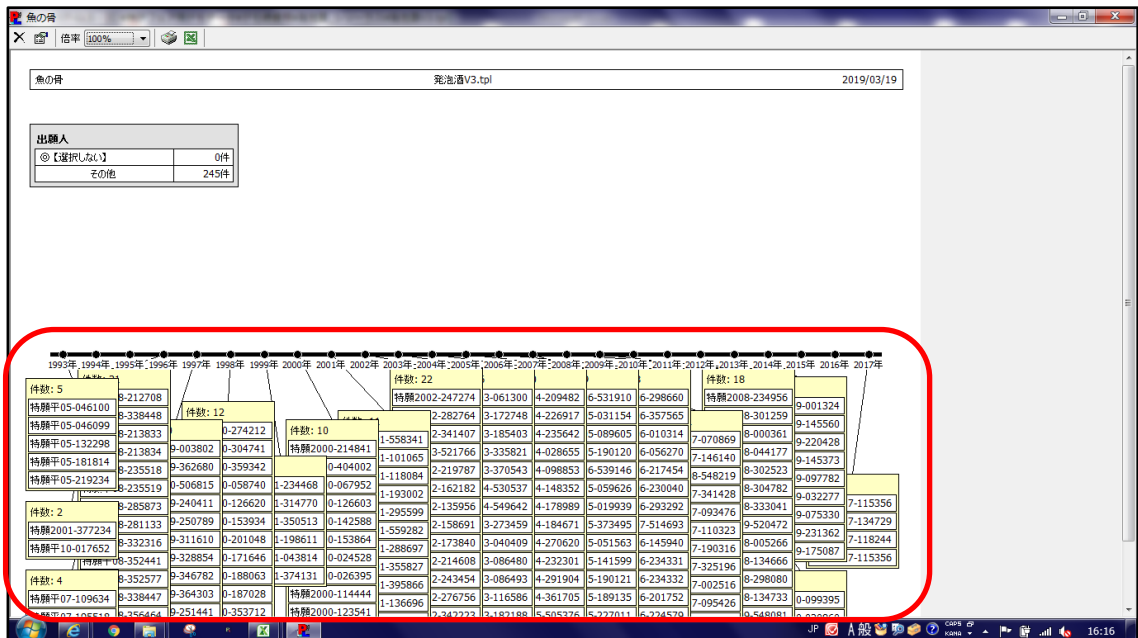
PAT-LIST では、魚の骨マップ(PL-Fish)を別ウィンドウで作成し、Excel シートに出力することもできます。

操作手順は、以下の通りです。

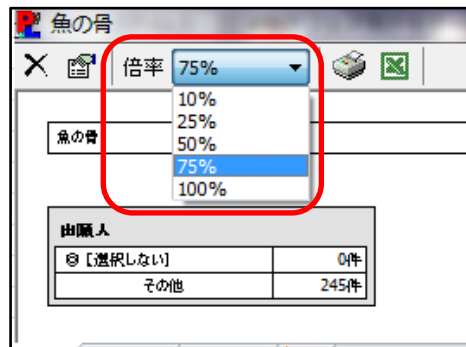
- 1) マップの軸項目を設定した後、特殊マップメニューの「魚の骨」をクリックします。



- 2) 「魚の骨」ウィンドウが開かれ、FishBone マップが表示されます。
画面下段に、母集団内のすべての特許が表示されます。

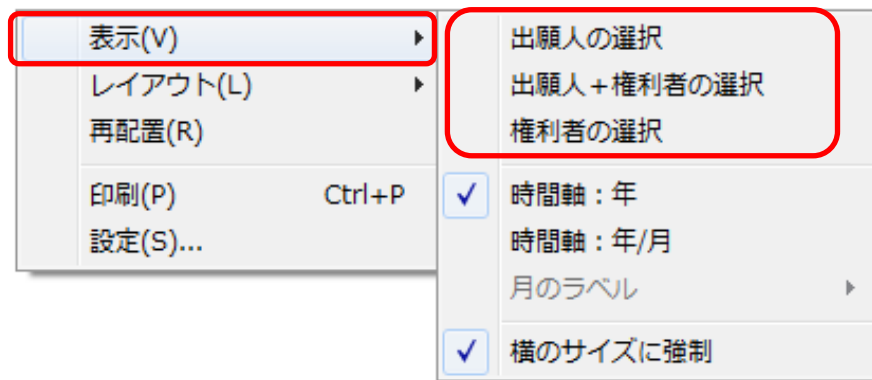


※画面左上の倍率表示を変更することで、全体を表示出来ます



- 4) マップ上で右クリックすると、編集メニューが表示されます。
表示をクリックして、マップ上部に表示する出願人もしくは権利者を選択します。

右クリック時のメニュー



表示	出願人の選択	「魚の骨」ウィンドウの上部に、表示したい出願人もしくは権利者の選択を行います。 筆頭出願人のみを表示したい場合、出願人の選択画面で「筆頭のみ」にチェックを入れます。		
	時間軸: 年	時間軸を年単位で表示します。		
	時間軸: 年/月	時間軸を年と月単位で表示します。		
	月のラベル (時間軸を「年/月」 に設定するとアク ティブになります)	表示しない	月のラベルは表示しません。	
		全て表示する	表示されている年の全ての月を表示します。	
		データありのみ	データがある月のみを表示します。	
横のサイズに強制	印刷設定の「印刷の向き」にかかわらず用紙方向を横に設定します。 規定値では横のサイズに設定されています。			

※表示されている各データの枠は、マウスで自由にドラッグして移動することが出来ます。

魚の骨

倍率 75%

魚の骨

出願人+権利者

◎ サントリー	19件
その他	226件

ドラッグして移動可能

特願2002-111226 (件数: 1)

特願2004-549642 (件数: 3)

特願2004-517285 (件数: 4)

特願2004-548076 (件数: 4)

特願2005-505376 (件数: 5)

特願2004-356089 (件数: 5)

特願2005-516184 (件数: 5)

特願2005-506509 (件数: 5)

特願2006-531910 (件数: 5)

特願2005-190120 (件数: 5)

特願2006-539146 (件数: 5)

特願2005-190121 (件数: 5)

特願2006-547904 (件数: 5)

特願2006-234331 (件数: 5)

特願2006-234332 (件数: 5)

特願2006-201752 (件数: 5)

特願2006-224238 (件数: 5)

特願2006-001125 (件数: 5)

特願2008-152582 (件数: 1)

- 4) 任意の案件(レイアウト、ここでは出願番号)にカーソルを移動させます。
 ダブルクリックすると、その案件の詳細情報が記された「詳細ウィンドウ」が表示されます。

特願2003-185403 (件数: 5)

特願2003-116586 (件数: 4)

特願2003-202299 (件数: 2)

特願2003-421107 (件数: 2)

特願2003-425750 (件数: 2)

特願2004-098853 (件数: 4)

特願2004-184671 (件数: 2)

特願2004-270620 (件数: 2)

特願2004-058402 (件数: 2)

特願2005-302568 (件数: 2)

特願2006-159109 (件数: 2)

特願2007-093476 (件数: 2)

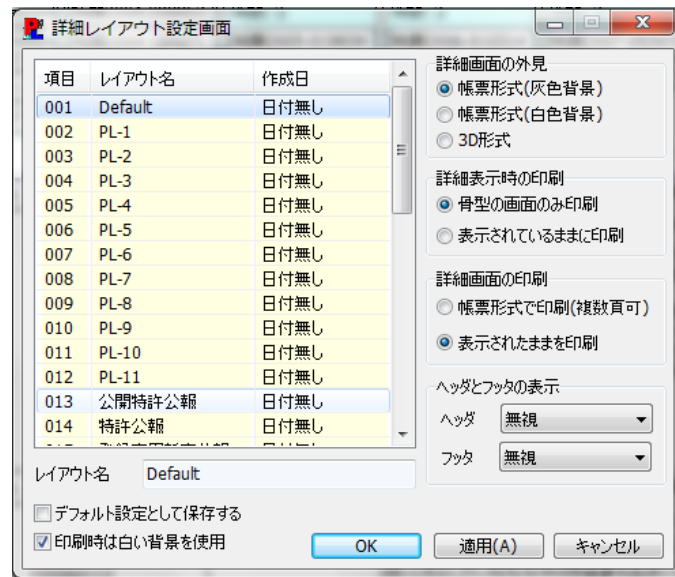
特願2007-110323 (件数: 2)

ダブルクリック

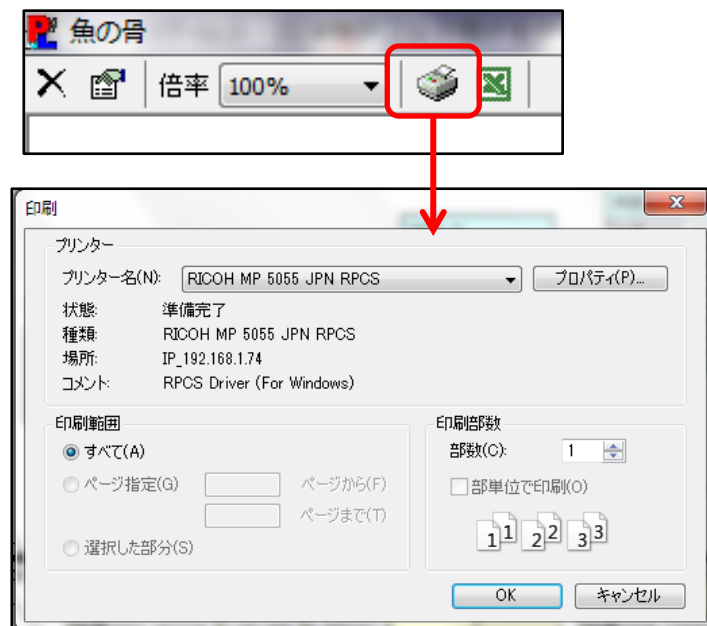
詳細表示

No.	番号・日付/出願人	IPC/FI/発明者	発明の名称/要約文
1	特願2004-098853 20040330 特開2005-278544 20051013	C12G 3/02 A23L 1/302 C12C 1/00 C12C 5/02	発明の名称/要約文 イノシトール含量の高いビール、発泡酒、麦芽発酵飲料およびその製造方法 【課題】イノシトールは脂肪肝、肝硬変の予防などに効果が期待できるビタミン様物質である。本発明は、イノシトール含量の高いビール、発泡酒、麦芽発酵飲料およびその製造方法を提供する。 【解決手段】本発明は、麦汁製造開始時に所定量のフィターゼまたは酸性ホスファターゼを添加し、イノシトール含量の高い麦汁を製造することを特徴とするビール、発泡酒または麦芽発酵飲料の製造方法である。麦汁製造時にフィターゼ、酸性ホスファターゼ等フィチン酸の脱リン酸化に寄与する酵素を添加することを特徴とするものである。
2	特願2004-184671 20040623 特開2006-008149 20060112	B67C 9/00 B65D 25/20	発明の名称/要約文 粘性流体の取り出し方法及びその方法に用いられるエア供給具 【課題】本発明の課題は、軟質樹脂製バッグからの粘性流体の取り出し時間を短くできると共に粘性流体の残留量を低減できる粘性流体の取り出し方法及びその方法に用いられるエア供給具の提供することである。 【解決手段】粘性流体を取納した軟質樹脂製バッグ1からポンプAにより粘性流体を取り出す粘性流体の取り出し方法において、樹脂製バッグ1の一端側下部1aに設けた取出口からポンプAにより粘性流体を送り出すと共に、樹脂製バッグ1の上部から樹脂製バッグ1内に加圧エアを供給している。

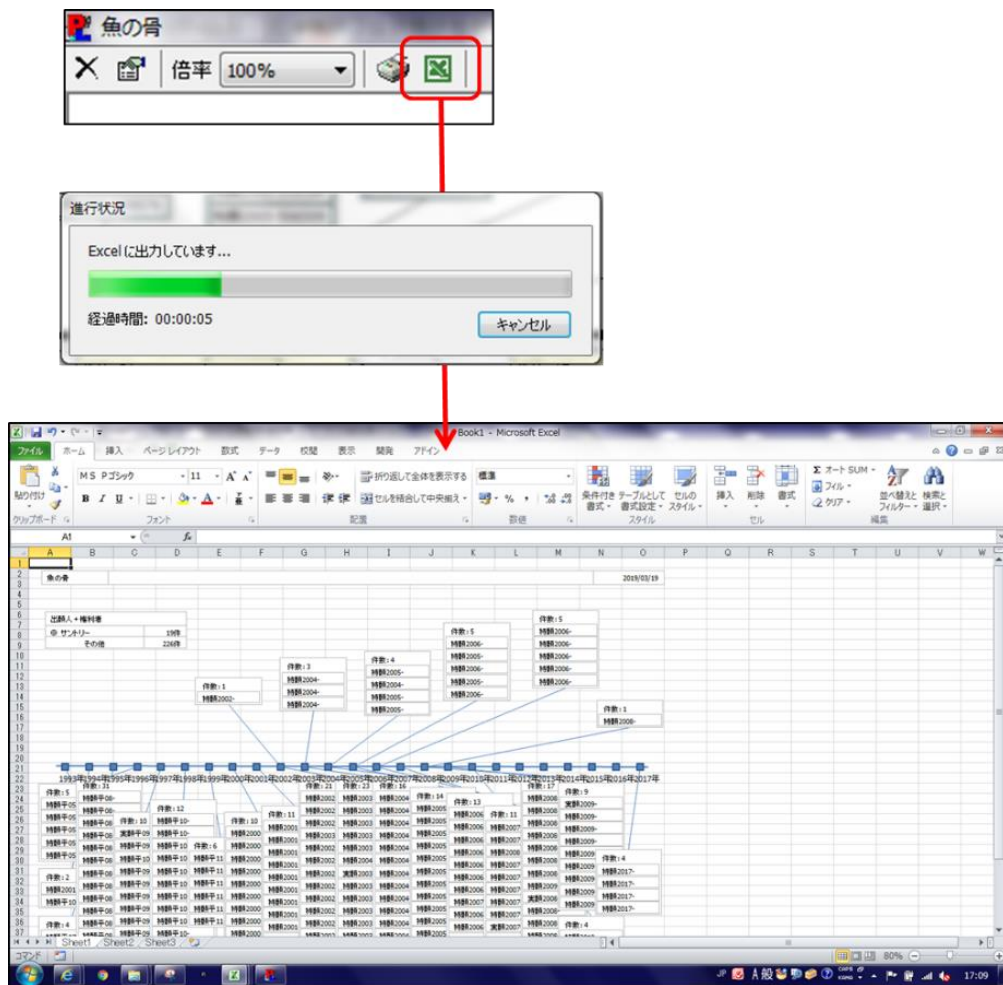
- 5) 詳細ウィンドウの表示方法を変更する場合、詳細ウィンドウ上で、右クリックしてください。
表示されたメニューから、「レイアウト」>「詳細表示」を選択してください。
「詳細レイアウト設定画面」が表示されますので、選択・設定することができます。



- 6) 画面左上のプリンタのアイコンをクリックすると、印刷出力します。



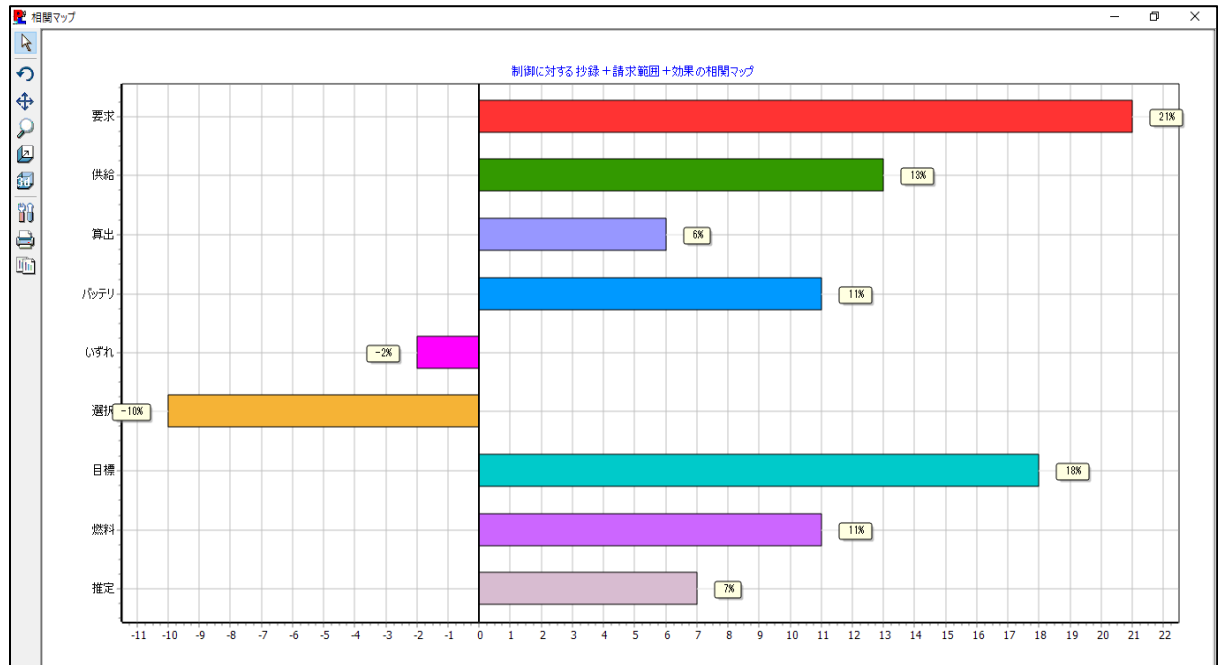
7) 画面左上のエクセルのアイコンをクリックすると、そのままエクセルに出力可能です。




8.11.5 相関マップ

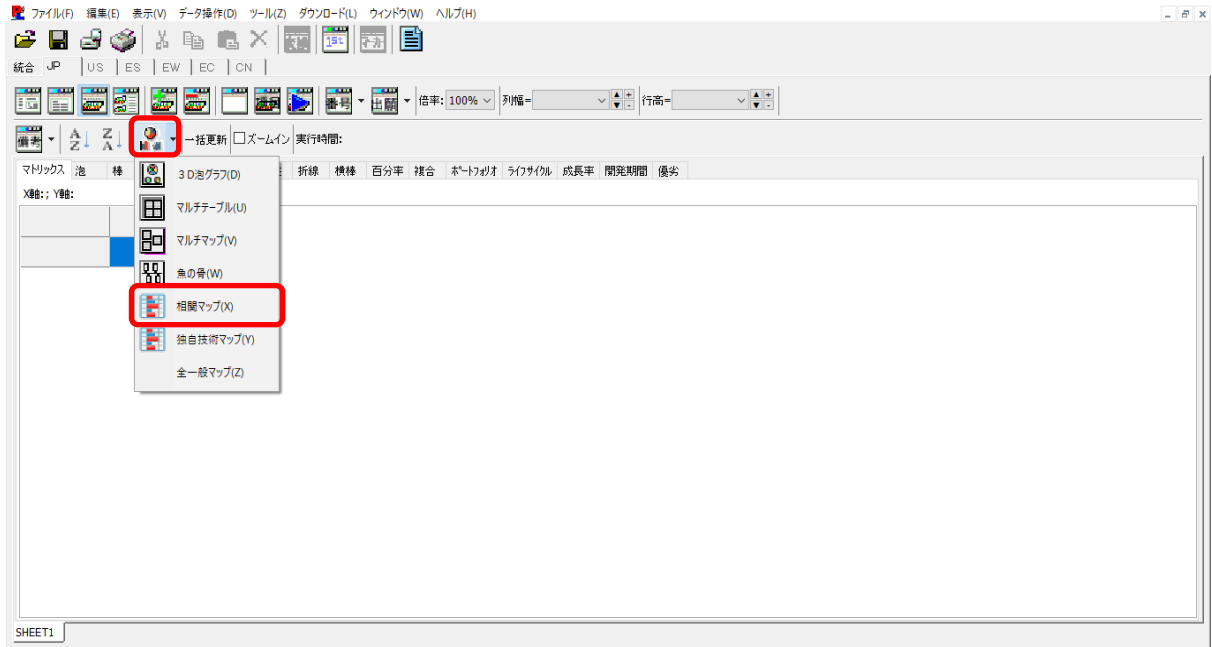
ひとつの主キーワードに対して、副キーワードの出現頻度を抽出し、主キーワードとの相関関係を表します。相関関係の深いものはプラスで、相関関係のないものはマイナスで表示されます。


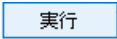
主項目(分類、キーワード等)に対する相関関係を表示

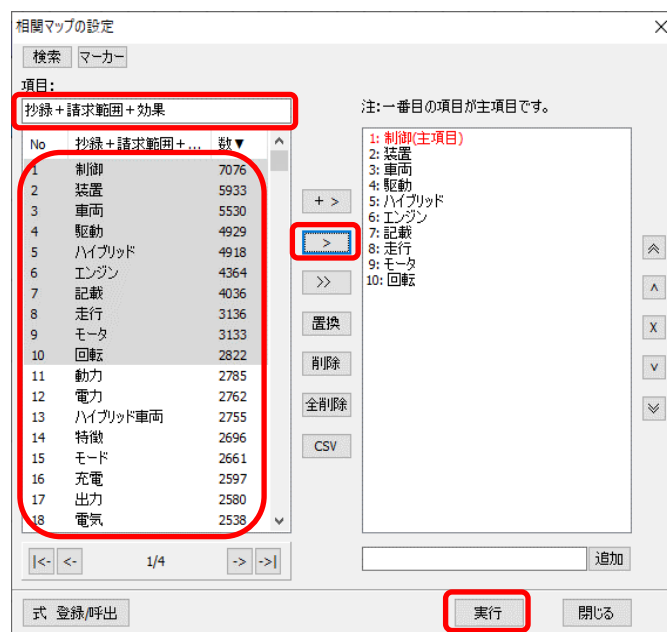


例:サイクロンに対する他のキーワードとの相関関係の比較

- 1)  をクリックします。
- 2) 「相関マップ」を選択します。



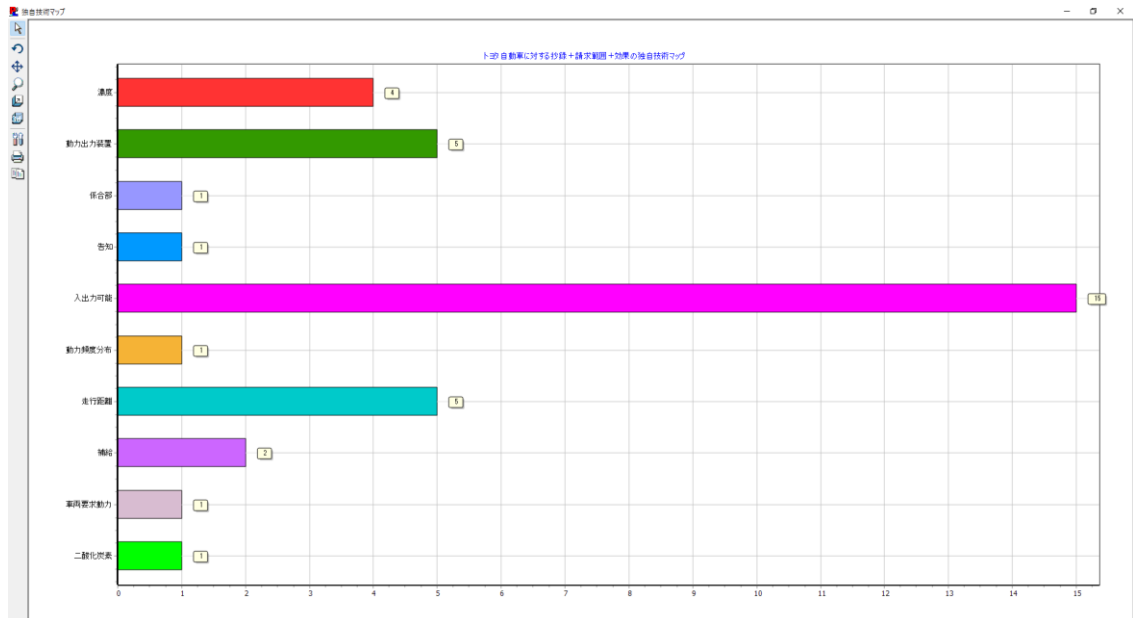
- 3) クリックして項目を選択します。
- 4) キーワードを選択します。
- 5)  をクリックします。
- 6)  をクリックします。




8.11.6 独自技術マップ

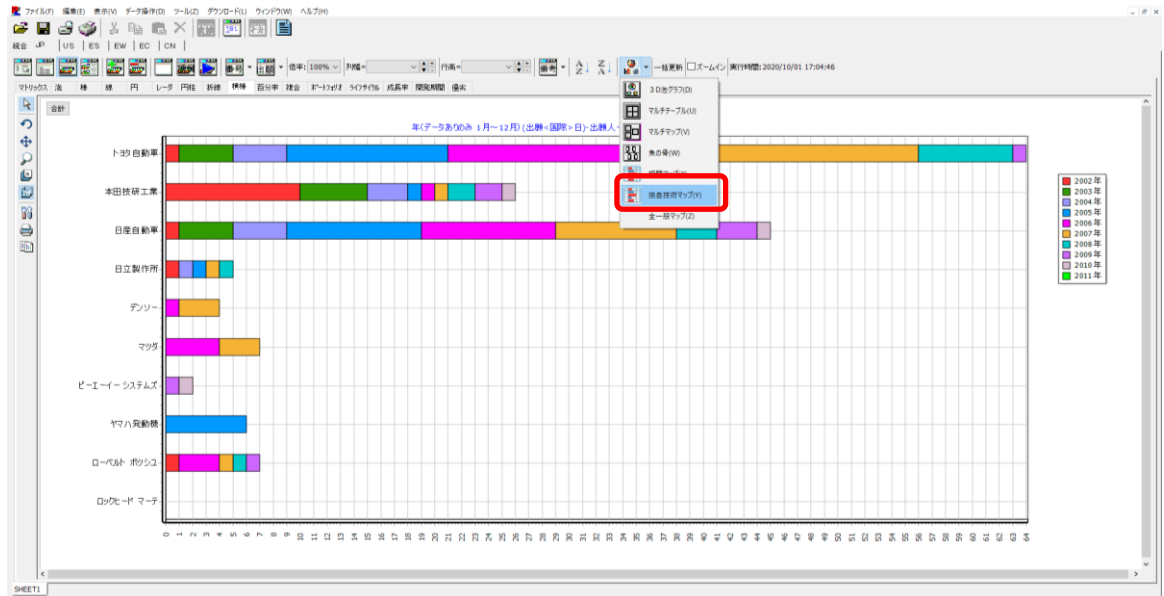
特定の出願人もしくは発明者だけが使用しているキーワードや分類を抽出します。
他社にはないキーワードや分類を確認することができます。

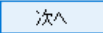
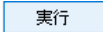
独自技術やキーワードを抽出



例:任意の出願人に対する独自キーワードの抽出

- 1)  をクリックします。
- 2) 「独自技術マップ」を選択します。
- 3) クリックして項目を選択します。



- 4) 出願人+権利者を選択します。
- 5)  をクリックします。
- 6) クリックして項目を選択します。
- 7) キーワードを選択します。
- 8)  をクリックします。

No	出願人+権利者 [110]	数 [5...]
1	トヨタ自動車	135
2	本田技研工業	93
3	日産自動車	77
4	日立製作所	16
5	デンソー	11
6	マツダ	10
7	ピーイー システムズ コントロールズ インコーポレーテッド	10
8	ヤマハ発動機	10
9	ローベルト ボツシユ ザベルシャフトミット ベシユレクテ...	8
10	ロクヘッド マーティン コーポレーション	6
11	ジャヤトコ	6
12	パナソニック	5
13	富士重工業	5
14	フォード モーター カンパニー	5
15	日立オートモティブシステムズ	4
16	豊田中央研究所	4
17	リミテッドライアビリティ カンパニー	4
18	松下電器産業	4
19	フォードグローバル テクノロジーズ	4

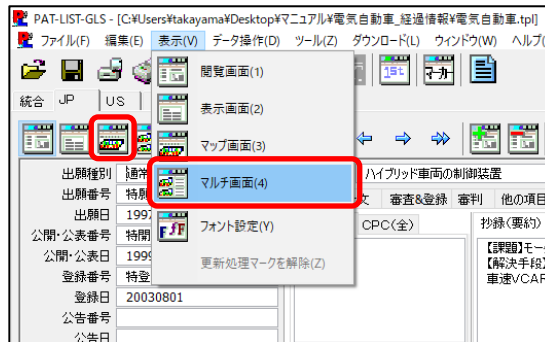
No	抄録+請求範囲+...	数
1	濃度	142
2	動力出力装置	88
3	係合部	88
4	告知	80
5	入出力可能	79
6	動力頻度分布	76
7	走行距離	76
8	補給	66
9	車両要求動力	60
10	二酸化炭素	57
11	二酸化炭素排出量	57
12	運転条件設定部	50
13	取支	49
14	電圧変換器	48
15	油圧ポンプ	47
16	可動係合要素	46
17	軸式動力入出力手段	45
18	ポジション	44

第9章 マルチ画面の操作ガイド

PAT-LIST には、作成したマップや帳票を同時に 2 つずつ表示することができる「マルチ画面」があります。この「マルチ画面」は 4 つの画面を持ち、それぞれの画面に作成したマップや帳票を選択して表示することができます。ここでは、その「マルチ画面」にある機能について説明します。

9.1 マルチ画面を開く

「マルチ画面」ボタンをクリック、またはメニューバーから「表示」>「マルチ画面」を選択すると、4 つの独立に操作できる画面が同時に表示されます。



The screenshot displays four panels in the application interface:

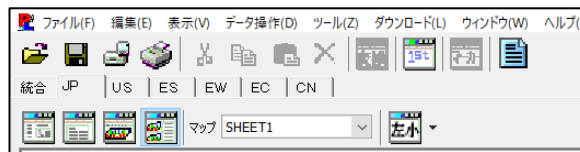
- Top Left:** A scatter plot titled '年(データありのみ 1月~12月)(出願<国際>日)出願人+権利者の 泡グラフ' (Bubble Chart of Applicants and Rights Holders by Year). The y-axis lists vehicle types: トヨタ自動車, 日産自動車, デンソー, ビーイーシステムズ, ローバート ポリッシュ. The x-axis shows years from 2002 to 2011.
- Top Right:** A table titled 'PL-1' showing a list of 9 entries with columns for '出願番号/出願日', '公開/国際公開番号/日', '公告番号/公告日', and '登録番号/登録日'.
- Bottom Left:** A 3D bar chart titled '年(データありのみ 1月~12月)(出願<国際>日)出願人+権利者の 棒グラフ' (Bar Chart of Applicants and Rights Holders by Year). The y-axis represents a count from 0 to 18. The x-axis shows years from 2002 to 2011.
- Bottom Right:** A detailed report titled 'PL-5' for entry 1, including a '要約文' (Summary) and a '図面' (Diagram) showing a flowchart of the registration process.

9.2 ツールバーのボタン配置

ここでは、表示画面のツールバーにあるボタンの配置と帳票タブを示します。閲覧画面のツールバーにもあるボタンについては省略します。



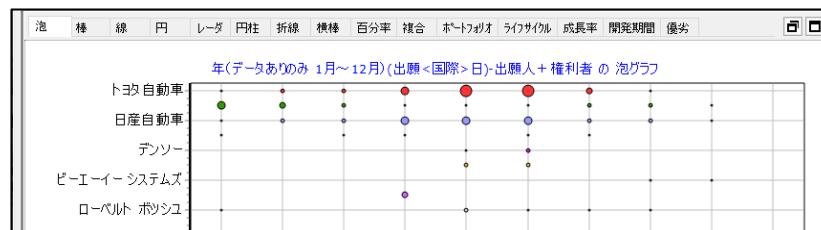
- 帳票表示画面のツールバー



ビュー: PL-1~7 / 頁: 1 / 12 倍率: 100%

PL-1		2020/10/15		
	出願番号/出願日	公開/国際公開番号・日	公告番号/公告日	登録番号/登録日
1	特願平09-344304 19971128	特開平11-164406 19990618		特登03456624 20030801
2	特願平09-269191 19970917	特開平11-093723 19990406		特登03096446 20000804

- マップ表示画面のツールバー



9.3 ツールバーのボタン機能

ボタン	機能
マップ	表示されている箇所、縦表示が最大になります。例えば、左下画面ですと、左上画面の表示画消え、左下画面に表示されていた内容が左全部で表示されます。
枠幅選択	該当画面が、画面全体に表示されます。
ビュー	拡大表示、または、全画面表示を閉じます。
帳票選択	「ビュー」プルダウンメニューから選択したカテゴリーに属している帳票の中から、表示する帳票を選択します。
頁番号	表示している帳票の頁を表しています。この中に数字を入力して、その頁にジャンプすることが可能です。
先頭	表示している帳票の先頭の頁にジャンプします。
前頁	表示している帳票の前の頁にジャンプします。
次頁	表示している帳票の次の頁にジャンプします。
末尾	表示している帳票の末尾の頁にジャンプします。
表示倍率	帳票の表示倍率を選択します。
拡大表示	その画面の帳票またはグラフを縦に拡大表示します。
全画面表示	その画面の帳票またはグラフを全画面表示します。
閉じる	帳票またはグラフを「拡大表示」、「全画面表示」したときに表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、初期状態の画面の大きさに戻ります。

9.4 画面の初期表示について

ここでは、マルチ画面を開いたときに表示される4画面の初期表示について説明します。 枠幅は「左小」が選択されています。

- 左上画面: マップ画面で選択されているマップシートの軸設定で作成した泡グラフが表示されます。
- 左下画面: マップ画面で選択されているマップシートの軸設定で作成した棒グラフが表示されます。
- 右上画面: 帳票の PL-1 が表示されます。
- 右下画面: 帳票の PL-5 が表示されます。

初期表示画面

The screenshot displays the PAT-LIST-GLS software interface with four main panels:

- Top Left Panel:** A bubble chart titled "年(データありのみ 1月~12月)(出願<国際>日)出願人+権利者の 泡グラフ". The Y-axis lists categories: トヨタ自動車, 日産自動車, テンソー, ビーエーエスシステムズ, ローバート, ポンツユ. The X-axis shows years from 2002 to 2011.
- Bottom Left Panel:** A 3D bar chart titled "年(データありのみ 1月~12月)(出願<国際>日)出願人+権利者の 棒グラフ". The Y-axis represents a numerical value from 0 to 18. The X-axis shows years from 2002 to 2011. The Z-axis lists categories: トヨタ自動車, 日産自動車, テンソー, ビーエーエスシステムズ, ローバート, ポンツユ.
- Top Right Panel:** A document titled "PL-1" showing a table of patent entries. The table has columns for "出願番号/出願日", "公開/国際公開番号/日", "公告番号/公告日", and "登録番号/登録日". It lists 9 entries.
- Bottom Right Panel:** A document titled "PL-5" showing a table of patent entries with columns for "番号・日付/出願人", "IPC/FL/発明者", "要約文", and "図面". It lists 2 entries, including one for "本田技研工業" (Honda R&D Co., Ltd.) and another for "三菱自動車工業株式会社" (Mitsubishi Motors Corporation).

9.5 画面内容変更機能

各画面の表示内容を変更することができます。

左側のマップ表示画面では、ツールバーの「マップ」プルダウンメニューから、マップシートを選択し、それぞれの画面上部にあるタブより、表示するグラフを選択することができます。

一方、右側の帳票表示画面では、画面上部のツールバーから、表示する帳票の種類を選択することができます。

表示する帳票を、各画面上部にあるツールバーの「ビュー」プルダウンメニューから帳票カテゴリを選択することが可能です。

更に各画面で、「ビュー」プルダウンメニューで選択した帳票カテゴリの中から、表示する帳票を画面内のプルダウンメニューから選択します。

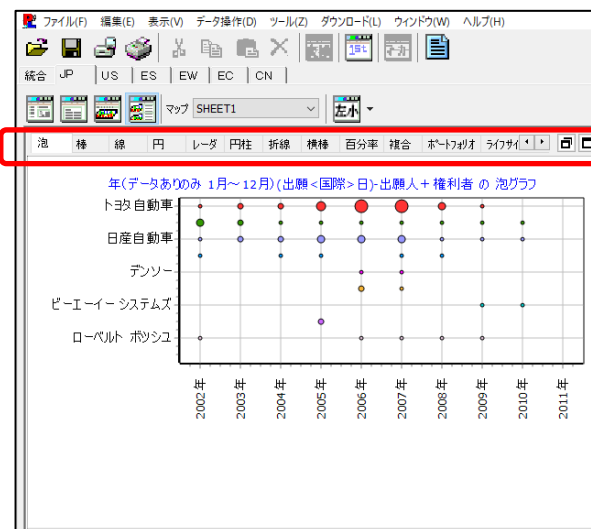
1. 表示するグラフを選択する方法

- ① ツールバーの「マップ」プルダウンメニューから、マルチ画面に表示するマップシートを選択します。

プルダウンメニューに表示されるマップシート名は、マップ画面で表示されているマップシートと同じ名称になります。



- ② 表示するマップシートを選択したら、マップ表示枠内にあるタブから、表示するグラフを選択して表示させます。



2. 表示する帳票を選択する方法

- ① 帳票表示枠上部のツールバーにある「ビュー」プルダウンメニューから、表示する帳票のカテゴリを選択します。

「JP」では、「PL-1～7」、「PL-8～11」、「PL-M」、「PL-User」、「PL-Image」、「PL-FT」があります。

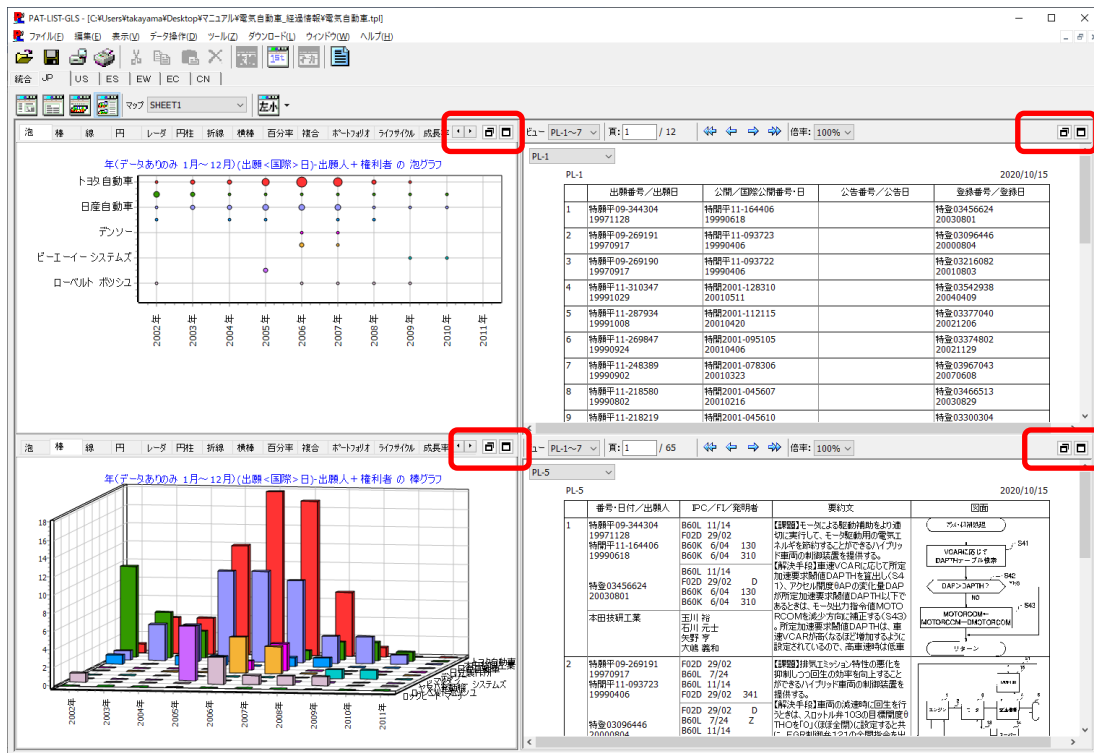
出願番号/出願日	公開/国際公開番号・日	公告番号/公告日	登録番号/登録日
1 特許平09-344304 19971128	特開平11-164406 19990618		特登03456624 20030801
2 特許平09-269191 19970917	特開平11-093723 19990406		特登03096446 20000804

- ② 帳票カテゴリを選択後、帳票表示画面の左上に、プルダウンメニューが表示されます。

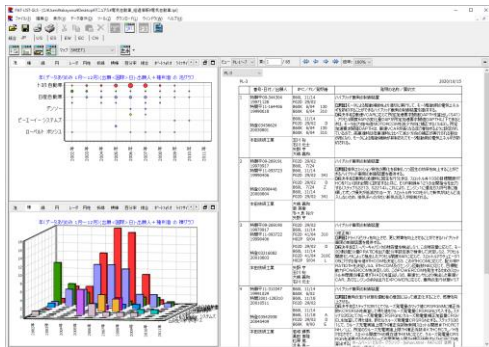
ここから、表示する帳票を選択し、表示させます。

9.6 マルチ画面の拡大縮小表示切替機能

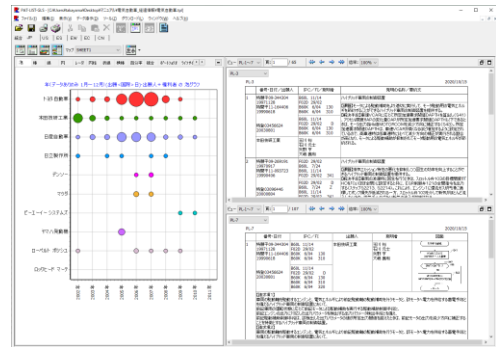
各画面には拡大縮小機能がありますので、3画面または2画面に変更することが可能です。



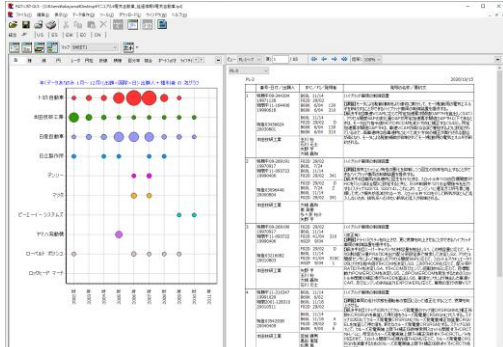
● 帳票を拡大表示させた場合



● グラフを拡大表示させた場合



● 帳票とグラフを拡大表示させた場合



補足資料

資料 1: マップ画面のX(Y)軸に選択可能な項目一覧

項目	No.	項目名
年月	1	月
	2	年(連続)
	3	年(データありのみ)
	4	年(2年ごと)
	5	年(3年ごと)
	6	年(5年ごと)
	7	年(10年ごと)
番号	8	出願番号
	9	出願日
	10	公開・公表番号
	11	公開・公開日
	12	公告番号
	13	公告日
	14	登録番号
	15	登録日
	16	公報発行日
	17	国際出願番号
	18	国際出願日
	19	国際公開番号
20	国際公開日	
フロント頁	11	出願人
	12	権利者
	13	出願人+権利者
	14	発明者等氏名
	15	出願人代理人
	16	権利者代理人
	17	出願人代理人+権利者代理人
	18	フリーキーワード
テキスト	16	発明等の名称: 文章
	17	発明等の名称: 単体ワード切り出し
	18	発明等の名称: 全件ワード切り出し
	19	抄録: 文章

	20		抄録: 単体ワード切り出し	
	21		抄録: 全件ワード切り出し	
	22	公開独立項請求範囲	公開独立項請求範囲: 文章	
	23		公開独立項請求範囲: 単体ワード切り出し	
	24		公開独立項請求範囲: 全件ワード切り出し	
	25	公開請求範囲	公開請求範囲: 文章	
	26		公開請求範囲: 単体ワード切り出し	
	27		公開請求範囲: 全件ワード切り出し	
	28	登録独立項請求範囲	登録独立項請求範囲: 文章	
	29		登録独立項請求範囲: 単体ワード切り出し	
	30		登録独立項請求範囲: 全件ワード切り出し	
テキスト	31	請求範囲	登録請求範囲: 文章	
	32		登録請求範囲: 単体ワード切り出し	
	33		登録請求範囲: 全件ワード切り出し	
	34	技術分野	技術分野: 文章	
	35		技術分野: 単体ワード切り出し	
	36		技術分野: 全件ワード切り出し	
	37	従来技術	従来技術: 文章	
	38		従来技術: 単体ワード切り出し	
	39		従来技術: 全件ワード切り出し	
	40	発明の課題	発明の課題: 文章	
	41		発明の課題: 単体ワード切り出し	
	42		発明の課題: 全件ワード切り出し	
	43	詳細な説明	解決手段	解決手段: 文章
	44			解決手段: 単体ワード切り出し
	45			解決手段: 全件ワード切り出し
	46	実施の形態	実施の形態	実施の形態: 文章
	47			実施の形態: 単体ワード切り出し
	48			実施の形態: 全件ワード切り出し
	49	発明の効果	発明の効果	発明の効果: 文章
	50			発明の効果: 単体ワード切り出し
	51			発明の効果: 全件ワード切り出し
	52	図面の簡単な説明	図面の簡単な説明	図面の簡単な説明: 文章
	53			図面の簡単な説明: 単体ワード切り出し
	54			図面の簡単な説明: 全件ワード切り出し

	55	符号の説明	符号の説明:文章
	56		符号の説明:単体ワード切り出し
	57		符号の説明:全件ワード切り出し
	58	全詳細な説明	全詳細な説明:文章
	59		全詳細な説明:単体ワード切り出し
	60		全詳細な説明:全件ワード切り出し
	61	抄録+請求範囲+効果	抄録+請求範囲+効果:文章
	62		抄録+請求範囲+効果:単体ワード切り出し
	63		抄録+請求範囲+効果:全件ワード切り出し
	64	全文	全文:文章
	65		全文:単体ワード切り出し
	66		全文:全件ワード切り出し
	分類	67	CPC(主)
68		CPC(全)	
69		IPC	
70		更新IPC	
71		登録IPC	
72		統合IPC	
73		FI	
74		更新FI	
75		登録FI	
76		統合FI	
77		Fターム	
78		更新Fターム	
79		広域分類	
80	固定キーワード		
その他	81	審査官フリーワード	
	82	請求数	
	83	出願種別	
	84	優先権主張国	
	85	関連種別	
	86	早期審査	
	87	審査異議有効数	
	88	請求項数	
	89	図の数	

	90	査定種別
	91	審査最終処分
	92	審査種別
	93	審判異議申立人
	94	審判最終処分
	95	公報種別
備考	96	備考(全)
	97	備考 1
	98	備考 2
	99	備考 3
	100	備考 4
	101	備考 5
	102	備考 6
	103	備考 7
	104	備考 8
	105	備考 9
	106	備考 10
	107	備考 11
	108	備考 12
	109	備考 13
	110	備考 14
	111	備考 15
類似度	112	備考 16
	113	備考 17
	114	備考 18
	115	備考 19
	116	備考 20
	117	類似度(一括)
	118	類似度 A
	119	類似度 B
120	類似度 C	
121	類似度 D	
122	類似度 E	
123	類似度 F	
124	類似度 G	

	125	類似度 H
	126	類似度 I
	127	類似度 J
評価	128	特許力偏差値
	129	ランク
	130	特許価値
	131	審査・権利状況
	132	拒絶査定不服審判の有無
	133	請求一覧数
	134	無効審判の数
	135	被引用出願数
	136	ファミリー数
	137	引用文献数
	138	拒絶理由通知数
139	情報提供数	
複合項目 (Y軸のみ)	140	複合項目
ポートフォリオ (Y軸のみ)	141	ポートフォリオ
ライフ・サイクル	142	ライフ・サイクル
特殊マップ	143	成長率
	144	開発期間
シソーラス	145	シソーラス

改訂履歴

項番	改訂年月日	改訂項目	改訂内容
1	2017.5.31	全体	GLS の新機能の登録
2	2021.5.31	全体	GLS の新機能の登録

初版	2017. 5. 31
----	-------------